brother

取扱説明書

刺しゅう機付コンピューターミシン EMW40 シリーズ

使い方動画



https://s.brother/cvdaf/

- ●ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、正しくお使いください。
- ●本書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。
 ●最新の取扱説明書は、ブラザーのサポートサイト(https://s.brother/cpdaf/)でご覧いただけます。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、ま ことにありがとうございます。 お使いになる前に「安全にお使いいただくため に」をよくお読みいただき、取扱説明書で機能 や正しい使い方を十分にご理解のうえ、末永く ご愛用ください。また取扱説明書は、読み終 わったあとも、いつでもご覧になれるところに 保管してください。

安全にお使いいただくた めに

人への危害や損害を 未然に防ぐために、必ずお 守りください。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危 害や損害の程度を区分して説明して います。



■お守りいただく内容を区分して説明しています。

「してはいけない」内容です。
 「実行しなければならない」内容です。





☆ お願い -

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。日本国外では使用できません。
 This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらお買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。
- 本機をご使用になる方(お子様を含む)が、身体/知覚/精神的能力になんらかの障がいを持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用してください。
- •お子様が使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

規格について 無線 LAN ご使用時のご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科 学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されて いる移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)お よび特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用さ れています。

- 1. 製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局 および特定小電力無線局が運用されていないことを確認 してください。
- 2. 万一、製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波 干渉の事例が発生した場合には、使用周波数を変更する ため、速やかに無線 LAN の使用チャンネルか内線用の通 信チャンネルを変更するか、または電波の発射を停止し た上、お客様相談窓口へお問い合わせください。
- 3. その他、製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対し て電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが 起きたときは、お客様相談窓口へお問い合わせください。

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリ ティに関するご注意

- 無線 LAN では、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
- ●その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関す る設定を行っていない場合、以下のような問題が発生す る可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへ アクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を 流す(なりすまし)
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシス テムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

- ●本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
- ●セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を 十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセ キュリティに関する設定を行い、製品を使用することを おすすめします。

電波の種類と干渉距離



- 「2.4」: 2.4GHz 帯を使用する無線設備を表す。
- 「DS」: 変調方式が DS-SS 方式であることを表す。 (IEEE802.11b のとき)
- 「OF」: 変調方式が OFDM 方式であることを表す。 (IEEE802.11g/n のとき)
- 「4」 : 想定される与干渉距離が 40m 以下である ことを表す。
- 「---」:全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の 帯域を回避可能であることを意味する。

無線モジュール内蔵について

この製品は、日本の電波法に基づき認証された無線 モジュールを搭載しております。

レーザ機器について

IEC 60825-1 基準

このミシン付属のアクセサリは、IEC 60825-1:2014 基準で定められたクラス1レーザ製品です。



ステッチレギュレーターには、出力 0.6mW、波長 840 ~ 860nm、ビーム広がり角 1.5mrad、パルス持 続時間 26us, 繰返し周波数 10 kHz の目に見えない レーザを搭載し、保護筐体や回路設計によって、安 全なレベルの出力に制限されています。 ただし、ステッチレギュレーターを分解・改造する と、目に障がいをもたらす可能性があります。



- ステッチレギュレーターは、レーザ装置にクラス1 レーザを使用しています。レーザ装置はいかなる状況 でも分解・改造しないでください。
- 取扱説明書に記載している以外の操作や調整を行った 場合は、危険な値のレーザ光にさらされるおそれがあ ります。

スキャンに関するご注意

スキャンを行うときは、以下の点にご注意ください。

- ●法律で禁止されているもの(絶対にスキャンしないでください)
- 紙幣、貨幣、政府発行有価証券、国債証券、地方 証券
- 外国で流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用の郵便切手やはがき
- 政府発行の印紙、および酒税法や物品税法で規定 されている証券
- 著作権のあるもの
- 著作権の対象となっている著作物を、個人的に限られた範囲内で使用する以外の目的でスキャンすることは、禁止されています
- その他注意を要するもの
- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手)、定期 券、回数券
- 政府発行のパスポート、身分証明書、通行券、食券などの切符類など
- * 上記のスキャンデータの取り扱いは、お客様の自 己責任となります。弊社ではそれらの利用、漏洩、 その他法令上の取扱等について責任を負いかねま す。
- * 著作権の対象となっている著作物(特に人気キャ ラクター)を、著作者の許諾なく営利用または業 務用として複製することはできません。また、有 名ブランド品の図案、ロゴ、名称、マーク等につ いては、無許諾での複製は法律上罰せられます。 これらについては、勝手に複製、縫製しないよう ご注意ください。

警告表示について

本製品には下記の警告が表示されています。警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。

また、警告表示は、はがれたり、傷ついたりし ないよう十分注意してください。

■ ミシン本体





■ 糸立てスタンド

底面に警告ラベルが貼りつけられています。



本製品にはマグネットが含まれています。

- 糸たてスタンドと本機の上ふたの間に指や物を挟 まないように注意してください。
- ② マグネットを精密電子機器、コンピューターの ディスク装置、磁気ストライプ付きクレジット カードなどに近づけないでください。
- ③ ペースメーカーをお使いの場合は、糸たてスタン ドを使用しないでください。

■ ステッチレギュレーター

ステッチレギュレーターに関する警告表示が側面 にあります。



① レーザー発光部



目に見えないレーザーが矢印の開口部から発光しています。本製品はレーザー製品クラス1に準拠し安全性を確保しておりますが、レーザー発光部を覗き込まないでください。目に悪影響を及ぼす可能性があります。

商標について

WPA™、WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance[®] の商標です。 「マジックテープ」は(株)クラレの面ファス ナーの登録商標です。 QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登 録商標です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されてい る社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または 登録商標です。

無線 LAN <mark>接続に関する</mark>ご 注意

本製品の無線LAN インターフェースは、電気通 信事業者(移動通信会社、固定通信会社、イン ターネットプロバイダ等)の通信回線(公衆無 線LAN を含む)に直接接続することができませ ん。本製品をインターネットに接続する場合は、 必ずルーター等を経由し接続してください。

注目の機能

■ ステッチレギュレーター

ステッチレギュレーターを使用すると、設定した ぬい目の長さでフリーモーションキルトやフリー モーションしつけぬいができます。 (P. 112)



■ピクチャープレイ刺しゅう機能

写真を刺しゅうデータに変換できます。(P. 175)



■ 布地に映し出した刺しゅう模様の編 集

刺しゅう模様を布地に映し出して編集することが できます。 (P. 152)



■プロジェクターでガイドラインを映 す

ガイドライン機能で布地に映し出された線をたどると、縫製しやすくなります。(P. 63)



■使い方動画

使い方動画をモバイル端末やパソコンでご覧いた だけます。



https://s.brother/cvdaf/

画面に表示される QR コードからもアクセスできます。(P. 27)

■ 刺しゅう枠とサポートテーブル

刺しゅう枠(465 mm × 297 mm)が使用できま す。(P. 126) サポートテーブルを使うと、刺しゅう枠と布地が 支えられるため、縫製品質を維持できます。 (P. 124)



■その他の機能

- 刺しゅう模様の絞り込み (P. 133)
- ボイスガイダンス (P.26)

目次

第1章 ぬう前の準備

各部の名称	1
付属品	2
アクセサリーケースを使用する	2
補助テーブルを使用する	3
マルチドライバーを使う13	3
デュアルタッチペンを使用する13	3
電源の入れ方14	ł
液晶画面の操作15	5
ツールチップ	5
市販の USB マウスを使用する15	5
ホーム画面	ô
実用・文字模様画面 17	7
設定画面)
ミシンの使い方画面27	7
無線 LAN 接続機能 29)
操作できること	9
無線 LAN 接続を設定する 30)
針と糸を準備する 32	2
布地と糸の種類による針の使い分け	2
糸こま押えと糸こまネットの使い方	3
針の交換	ł
下糸を巻く / 取り付ける 35	5
下糸を巻く	5
下糸をセットする38	3
下糸を引き出す	Э
上糸通し)
上糸通し40)
糸たてスタンドを使う 43	3
押えの交換 46	3
押えを交換する 46	3
付属のアダプターを使用して押えを取り付ける	3
デュアルフィードを使う47	7

第2章 基本のぬい方

ぬい方	49
ステッチの種類	49
基本のぬい方	49
マルチ機能フットコントローラーを使う	51
返しぬい/止めぬいをする	53
自動返しぬい/止めぬい	54
自動糸切り	56
自動押え上下機能	56
自動押え上げ機能	57
模様の先頭に戻る	57
文字/飾り模様を編集する	57
模様の設定	59
振り幅/ぬい目の長さ/ [L/R シフト]を設定する	59
糸調子を調節する	60
実用ぬい設定を記憶する	61
メモリー機能を使う(文字・模様ぬい)	62
文字/飾り模様を保存する	62
模様を呼び出す	
布地にガイドラインを映す	63
ガイドラインを設定する	63
ガイドラインを使用したピーシング	
ボタン穴のガイドライン	
デュアルタッチペンでプロジェクターを	
リュノルノノノ ママンロノエノノ と	60
「床TF y る	
テュアルタッナヘノでノロシェクターを探作りる プロジェクターで描述を映す(短告する	
ノロンエクターで模様を吹り/ 編集9 る	
伊利/よ () に	
ニーリノターを使用する	
ぬいなから振り幅を変更する	71

画面で針位置を確認する 針位置 - ぬい位置	72 73
ぬい終わり位置を設定する	73
上手にぬうコツ	76
ぬい方のコツ	76
いろいろな布地をぬう	76
文字/飾り模様をぬう	78

第3章 いろいろなぬい方 79

実用模様	79
直線ぬい	
ジグザグぬい	
たち目かがり	
まつりぬい	
ボタン穴かがり	85
4 ステップ ボタン穴かがり	
ボタンつけ	90
かんどめ	
ダーニング(つくろいぬい)	
アイレット (はとめ穴)	
しつけぬい	93
ファスナーつけ	
テーパリング機能	
カウチング	
横送り	101
ステップ模様を作成する	102
模様を調整する	103
2本針でぬう	104
ぬうときのテクニック	105
キルトぬい	108
ピーシング	108
デュアルフィードを使ったキルティング	109
フリーモーションキルト	109
ステッチレギュレーターを使って、フリーモーショ	ン
キルト/しつけぬいをする	112
手ぬい風直線	117
マイイラスト機能	118
イラストデザイン	118
イラストの入力	119
メモリー機能を使う(マイイラスト機能)	121

第4章 基本の刺しゅう 123

刺しゅうの準備	123
刺しゅうの手順	123
刺しゅう押えく W >を取り付ける	123
刺しゅう機を取り付ける	124
刺しゅう枠に布地を張る	125
刺しゅう枠をセットする	129
きれいに刺しゅうするために	130
刺しゅうする	132
刺しゅう模様カテゴリー	132
刺しゅう模様を選ぶ	132
刺しゅう模様を絞り込む	133
枠模様を選ぶ	134
ボタン穴/アイレット模様を選ぶ	134
アルファベット文字模様を選ぶ	135
模様の位置を確認する	137
刺しゅうする	138
キーのはたらき (刺しゅう)	140
刺しゅう編集画面	140
文字模様編集画面	142
縫製画面	143
模様の編集	144
模様の大きさを変える	144
模様を組み合わせる	145
複数の模様を選択する	146
選択した複数の模様をグループ化する	147
模様を整列する	147
八家で主/1/ 6	

連続模様(ボーダー模様)を作る	148
模様を繰り返し刺しゅうする	150
模様のイメージを確認する	151
布地に映し出した刺しゅう模様を確認/	
編集する	152
プロジェクターで刺しゅう模様を確認する	152
デュアルタッチペンを使用して布地に映し出した	
刺しゅう模様を編集する(スタイラスによる	
プロジェクター編集)	153
刺しゅう位置を合わせる	155
布地を画面に表示する	155
刺しゅう位置合わせシールを使う	157
模様と針の位置をあわせる	158
カメラビューウィンドウを使用する	159
刺しゅう時の調整	160
下糸が少なくなったら	160
刺しゅうの途中で糸が切れたときは	161
針に糸を通しにくい場合や刺しゅう枠を外しぬくい	
場合	162
電源を切った後、刺しゅうを再開する	162
糸調子を整える	163
上糸調子を調整する	163
下糸張力調整用内かま(調整ネジに着色なし)を	
調整する	164
メモリー機能を使う (刺しゅう)	165
刺しゅう模様を保存する	165
刺しゅう模様を呼び出す	166
	100

第5章 いろいろな刺しゅう 167

色を編集する	. 167
刺しゅうの糸色を変える	167
カラーシャッフル機能を使って、新しい配色を	
設定する	167
糸色ごとに並べ替える	168
1 色で刺しゅうする	169
さまざまな刺しゅうの機能	. 169
縫製スキップ設定	169
組み合わせた模様のぬい順を変える	170
刺しゅうのしつけぬい	171
文字をつなげて刺しゅうする	172
印刷と刺しゅうの組み合わせ機能	173
ピクチャープレイ刺しゅう機能	. 175
取り込んだ画像を調整する	175
変換方法を選択する	179
適切な糸色と糸密度を選択する	181
アップリケとカウチング	. 182
アップリケピースを作る	182
アップリケ模様を刺しゅうする	185
枠模様を使ってアップリケを作る	187
カウチング模様を刺しゅうする	189
キルト作品に刺しゅうを使う	. 192
デザインの周りにキルティング模様を作る	192
布地全体にキルト模様を刺しゅうする	
(エッジトゥエッジキルト機能)	193
キルトサッシ模様(キルトの縁飾り)を刺しゅうする	
(目動模様つなき)	199
キルトサッシ模様(キルトの縁飾り)を刺しゆつする	
(半目動模様つなき)	201
ハ用形キルトワツン模様 (キルトの縁師り)	206
カメフを使つ (倶様をつなく	. 210
分割模様を刺しゆうする	210
位置を指定して模様をつなく	215
セハイルアフリを使用する	. 223
My Stitch Monitor アブリ	223
Artspira (アートスビラ) アブリ	223
My Design Snap アフリ	223

第6章 マイデザインセンター 225

マイデザインセンター	225
模様を作る前に	225
基本操作でスティップリング模様を作る	225

キーのはたらき(マイデザインセンター)	228
描画画面	228
スタンプキーの使い方	229
線を描く	230
模様を塗る	230
線やステッチの種類、色を設定する	231
ブラシの種類、ステッチの種類、塗りつぶしの色を	
設定する	232
選択キーの使い方	233
消しゴムキーの使い方	233
サイズキーの使い方	234
モチーフステッチデータまたはデコラティブフィル模	様
データを取り込む	234
ステッチ設定画面	236
模様ごとにぬい方を設定する	236
線ぬいと面ぬいの設定	237
一括でぬい方を設定する	239
スキャンした画像や画像データを使って模様	ŧを
作成する	239
スキャン枠を使用する	239
下絵をスキャンする	241
下絵を取り込む	242
	242
線画変換で模様を作る	243
線画変換で模様を作るイラスト変換で模様を作る	245
線画変換で模様を作るイラスト変換で模様を作る マイデザインセンターでさまざまな刺しゅう	243 245)を
線画変換で模様を作る… イラスト変換で模様を作る… マイデザインセンターでさまざまな刺しゅう する	243 245 シを 247
線画変換で模様を作る… イラスト変換で模様を作る… マイデザインセンターでさまざまな刺しゅう する 模様の周りに飾りぬいをする	243 245 うを 247 247
線画変換で模様を作る イラスト変換で模様を作る マイデザインセンターでさまざまな刺しゅう する 模様の周りに飾りぬいをする	243 245 うを 247 247 249
線画変換で模様を作る イラスト変換で模様を作る マイデザインセンターでさまざまな刺しゅう する 模様の周りに飾りぬいをする 2枚の布地にキルト綿を挟んで刺しゅうする場合 カウチング模様の周りに飾りぬいをする	243 245 うを 247 247 249 250

第7章 お手入れとトラブルシューティン グ 253

お手入れのしかた	253
注油に関して	253
ミシンを保管するときのご注意	253
お手入れ	253
カメラ/プロジェクターの針位置調整	255
製品を貸与・譲渡・廃却するときの注意	256
プロダクトナンバー/シリアル番号(機械番号)を	を
確認する	256
ミシンのソフトウェアをアップデートする	š 256
USB メディアでアップデートする	256
無線 LAN でアップデートする	257
困ったとき	258
上糸がつる	
糸調子が合わない	259
布がミシンに入り込んでとれなくなった	260
ボビン受け座の下に糸がからまってしまった	261
こんなときは	262
エラーメッセージ	267

第8章 付録

仕様	269
ぬい方早見表	271
索引	278

第**1**章 ぬう前の準備 ■右側面 / 背面図 づ お願い - 必ず最新のソフトウェアをインストールして ください。 詳しくは、P.256「ミシンのソフトウェアを アップデートする」を参照してください。 (10 ത 各部の名称 (8) 5 ■ 正面 ① 押えコネクタ (P. 47) ② ハンドル ミシンを持ち運ぶときに持ちます。 ③ 押えレバー • 1 kg 以上の重さのあるものを上ふたに置かないでくだ さい。上ふたが破損する可能性があります。 押えを上げ下げします。 カメラやプロジェクターに触れないでください。正し えを上げた後は、押えレバーは使用できません。 く表示されなくなります。 ④ 換気口 モーターの換気用の穴です。ミシンを使用しているときはふさがないでください。 ⑤ 電源スイッチ (P.14) ⑥ 電源ジャック (P.14) (1) ⁽²⁾ ⑦ マルチ機能フットコントローラー (P.51) (18) ⑧ フットコントローラージャック (P. 51) ⑨ USB ポートコネクタ (P. 15、P. 62) 8 00000 10 プーリー 針を上げ下げするときに手前に回します。 17 (14) ■ 針と押え部分 .15 8 (11) (12) (16) 1 (7)* カメラとプロジェクター(内蔵) 2 ① 上ふた ② 下糸巻き案内(P.35) 6 ③ 糸案内 (P.35) 3 ④ 糸たて棒 (P.40) ⑤ 糸こま押え (P.40) 4 ⑥ 補助糸たて棒 (P. 35、P. 104) 5 ⑦ 下糸巻き装置 (P.35) ⑧ 糸巻き量調整つまみ (P.35) (1) 押えホルダーのネジ (P. 46) ③ デュアルタッチペントレイ (P.13) ② 押えホルダー (P. 46) ⑩ 液晶画面 (P.15) ③ 押え ① スピーカー 縫製するときに布地を押さえます。選択した模様に合った押え を取り付けてください。 12 ニーリフター (P. 70) ④ 送り歯 1③ ニーリフター差し込み口 (P.70) ぬう方向に布地を送ります。 (4) 操作スイッチとスピードコントロールレバー (P. 12) ⑤ 針板ふた (P.38、P.81) (5) 針板レバー (P. 253) ⑥ 針板 (P. 80、P. 253) (16) 付属品ケース/補助テーブル(P.13) ⑦ 針棒糸かけ (P.40) ① 糸案内板 (P. 40) ⑧ 針のとめネジ (P.34)

■刺しゅう機 3 ① キャリッジ (P. 124) ② 刺しゅう機取り外しレバー (P. 125) ③ 刺しゅう枠ホルダー (P. 129) ④ 枠固定レバー (P. 129) ⑤ 刺しゅう機のコネクタ (P. 124) ■ 操作スイッチ 8 3 4 5 6 7 (\downarrow) (ĥ) († ① スタート/ストップスイッチ [縫製を開始または停止します。スタート/ストップスイッチ は、ミシンの状態によって色が変わります。 スタートできる状態のときまたは縫製中。 緑: スタートできない状態。 赤: ② 返しぬいスイッチ 🔒 このスイッチを押すと、選択した模様に応じて、返しぬいや止めぬいをします。 (P.54) ③ 止めぬいスイッチ 〇 このスイッチを押すと1針ぬいを繰り返した後で、止めぬいし ます。 文字・模様ぬいをするときは、模様を最後までぬってから止め ぬいをします。(P.53) また、刺しゅうモードで下糸を交換するとき、糸を切る前にこのスイッチを押して止めぬいをします。(P. 160) ④ 針上下スイッチ 斗 このスイッチを押すと、針の位置が上下に切り換わります。こ のスイッチを繰り返し押すと、1 針ぬいができます。 ⑤ 糸切りスイッチ 🔧 ぬい終わった後にこのスイッチを押すと、上糸と下糸を切りま す。 ⑥ 押え上下スチッチ このスイッチを押すと、押えが下がり布地を押えます。もう一 度押すと押えが上がります。 ⑦ スピードコントロールレバー このレバーを左右に動かして、ぬう速さを調節します。左に動 かすと遅くなります。右に動かすと速くなります。 ⑧ 自動糸通しスイッチ このスイッチを押すと、自動的に針の糸通しをします。

付属品

ミシンの付属品については、別紙「付属品」を 参照してください。

アクセサリーケースを使用する

アクセサリケースの前面にあるつまみを外側に スライドさせて開きます。



① つまみ

🛛 お知らせ

- ボビンクリップを取り付けることで、糸がボ ビンからほどけなくなります。
- ボビンクリップはアクセサリーケースカバー の中に収納できます。





補助テーブルを使用する

補助テーブルの中に付属品を収納することができます。図のようにふたを開いてください。

🖉 お知らせ

- ・押え収納トレイがアクセサリーケースに3つ 入っています。 補助テーブルの中に押え収納トレイがひとつ
 - 入るので、入れておくと便利です。



- ① 押え収納トレイがセットできます。
- ② 押え収納トレイ
- ③ 針板収納スペース

マルチドライバーを使う



ポジション「1」	押えホルダーや針のとめネジを取り付けたり 取り外したりする際に使用します。 (P. 34、P. 46)
ポジション「 3 」	枠調整ネジをしめたり、ゆるめたりする際に 使用します。 (P. 128)

デュアルタッチペンを使用する

付属のデュアルタッチペンはどちらのペン先も 使用します。画面の操作には透明ディスクを使 用し、プロジェクターの操作にはライトを使用 してください。(P.68)



① 透明ディスク

② ライト



- デュアルタッチペンの透明ディスクで液晶画面を押してください。他の部分で液晶画面を押すと、傷がつくことがあります。
- 透明ディスクを引っ張らないでください。破損の原因 になります。

■ 画面を操作する

デュアルタッチペンの透明ディスクで液晶画面を 押します。



🖉 お知らせ

- デュアルタッチペンを極端に傾けて液晶画面 を押すと、押した位置が正しく検出されない ことがあります。
- デュアルタッチペンはミシン内に保管できます。上ふたを開け、デュアルタッチペンを置きます。







① 電源スイッチ(左側(O側)が押されている状態)
 ② 電源コード

- 2 電源を入れるときは、電源スイッチの右側 (I側)を押します。
 - * ミシンが起動するまでに時間がかかることがあり ます。起動中に画面が暗くなることもありますが、 電源を切らずにオープニング画面が表示されるま でお待ちください。



3 オープニング画面が表示されたら、液晶画 面を指で押します。

🖉 お知らせ -

- 電源が入ると針や送り歯が動く音がしますが、 故障ではありません。
- 電源を切るときは、電源スイッチの左側 (O側)を押します。

■ミシンを初めて使うとき

初めて本機の電源を入れたときは、言語と日時を 設定してください。

くと>を押して言語を設定し、[OK] を押 します。



- 2 [OK] を押して、エンドユーザー使用許諾契約(EULA)を読みます。
- 3 エンドユーザー使用許諾契約を読んだら、 [同意します]を押します。
 - * 各ページお読みください。画面を指でスワイプし てページをめくります。

- 4 日時設定の確認メッセージが表示されます。 [OK] を押します。
- 5 または + を押して日時設定をします。
 その後、[OK] を押します。



- ① 時計表示のオン/オフを切り替えます。
- ② 年 (YYYY)、月 (MM)、日 (DD) を設定します。
- ③ 24 時間表示/ 12 時間表示を選択します。
- ④ 現在の時刻を設定します。

🖉 お知らせ

- 一定期間、ミシンを使用しなかった場合は、 設定した日時がクリアされます。
- 毎日日本
 毎日日本
 毎日日本
 毎日日本
 6
 無線 LAN 接続を設定する場合は、[OK] を押し、P. 30「無線 LAN 接続を設定する」の
 5 ~ 8 の手順を参照して無線 LAN 接続の設定を完了します。
 6
 6
 7
 7
 7
 8
 7
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10
 10

無線LANを設定してください。 無線ネットワークの接続設定に移行しますか	?
今はしない	ок

7 ボイスガイダンス設定の確認メッセージが 表示されます。ボイスガイダンス機能をオ ンにする場合は、[OK]を押し、P.26「ボイ スガイダンス」を参照して設定します。

液晶画面の操作

液晶画面やキーは必ず指または付属のデュアル タッチペンで押し、機能を選択してください。 (P. 13)

重要

 指または付属のデュアルタッチペンで画面を押してく ださい。

シャープペンシルやドライバーなど、先がとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面を強く押さないでください。故障の原因となります。

🖉 お知らせ・

 本書に記載されている画面やアイコンは実際 と異なる場合があります。

ツールチップ

ー部のキーにはツールチップがあり、キーを長 押しすると、キーの説明を小さなウインドウで 表示します。



市販の USB マウスを使用する

市販の USB マウスをミシンの USB ポートコネ クタに接続することができます。マウスの左ボ タンでアイコンやキーの選択などの操作が可能 です。

🖉 お知らせ

- ミシンの操作には、パソコンで使う一般的な マウスを使用してください。本機で使用でき ないマウスもあります。
- マウスをミシンに接続すると、画面にポイン ターが表示されます。
- キーの上にマウスを移動すると、ツールチップを表示することができます。



- ① USB ポートコネクタ
- ② USB マウス
- ③ USB マウスのレシーバー



No	表示したらき		会网
NO.	名称	はたりさ	梦照
1	====	実用模様または文字/飾り模様を 選択します。	17、49
	実用・文字模 様(実用ぬい) キー		
2	A A A A A	刺しゅう模様を選択します。 	132
	刺しゅっキー		
3	©Disney	ティズニー模様を選択します。 	_
	Disney(ディ ズニー)キー		
4	\bigcirc	オリジナルの刺しゅう模様を作成 します。	225
	My Design		
	Center (マイ		
	デザインセン ター) キー		
5		無線 LAN 設定を行います。また、	30、257
	Ţ.	無線 LAN の電波強度も表示されま	
	無線 LAN 設定	す。 新レいマップデートファイルがち	
	+-		
6	0	針の位置を確認します。 	72
	カメラビュー キー		
7	\$	設定を変更します。	20
	設定キー		

No.	表示名称	はたらき	参照
8	? ミシンの使い 方キー	ミシンの使い方を確認します。画 面に表示される QR コードから、 ミシンの使い方動画にアクセスで きます。	27
9	し 針・押え交換 キー	針や押えなどを交換する前に押し ます。ミシンが作動しないように 他のすべてのキーと操作スイッチ がロックされます。	34、38、 46
0	 直面ロック キー 	画面をロックします。もう一度押 すと、解除します。	
1	介 ホームキー	前に行った操作をすべてキャンセ ルし、ホーム画面に戻ります。	_
12	し 日時設定キー	日時を設定します。	14

Ð

う前の準備

■キーのはたらき(実用模様画面) 実用・文字模様画面 🖉 お知らせ 🌣 ? 🐮 🔒 🛧 0 実用模様 文字 模様ぬい 1X • 模様の種類によって、使用できない編集機能 1 3 があります。使用できる編集機能の場合は、 01 直線(左基絡 155 <u>}</u> *Ø Π Ř 模様を選択しているときにキーが表示されま 2 す。 1-08 1-09 1-10 WWW 2 3 4 (5) 4 ----0 💠 🛛 🐮 🔒 🛧 (6) 1-12 1-13 1-14 1-11 1-15 1 文字 模様ぬい 11 実用模様 6) ş 1-01 直線(左基線 25 n C 7 18E <u>}</u> ** 1-16 1-17 Å 1-18 1-19 1.20 L*** (8) 1-03 1-04 (5)*** * 9 ∩ ≫ 11 ₩ 10 呼び出し 1-07 1-08 1-09 振り幅 糸調子 0 00 1 記憶 0.00 mm 4.0 _{III} 2.5 mm (12) リセット \sim \sim 1-11 1-12 1-1-**WWN** × S L. _____**+** (13) 24 (14) 23 1-16 11/1/1 2 表示 No. はたらき 参照 (21) ∩ ≫ 1 11 名称 (15) 呼び出し 振り幅 長さ L/Rシフト 糸調子 選択模様が実際の大きさから 1 100% ~ 記憶 (16) \sim どれくらいの比率で画面表示 2.5 mm 0.00 mm 4.0 util リヤット 17 \times \times $\overline{}$ \sim されているか示します。 模様表示サイズ O 縫製に適した押えを示しま 46 2 20 (19) (18) Ē す。縫製前に、ここで表示し ている押えを取り付けてくだ 押え表示 さい。 表示 選択中の模様の番号と名前を No. はたらき 参照 1-01 直線(左基線) _ 3 名称 表示します。 選択中の模様 選択した模様を拡大して表示し 1 選択模様のイメージを表示し 72 4 ます。 ます。100%のときは、ほぼ プレビューキー 実寸大での表示になります。 ■ を押すと、画像の糸色が変 模様イメージ わります。 「つ」を押すと、模様のイ 拡大画像を表示するときは、 メージとカメラ映像が同時に 表示できるので、模様が実際 Q を押します。 の布地にどうぬわれるかを確 表示エリアからはみ出している 認できます。 部分を見るときは、ヘ/~/ カテゴリーを選択し、ぬいた 49 5 * 188 * * * * * * * * * * * * い模様のキーを押します。 く/>を押します。 141 142 143 144 145 プロジェクター機能を使うとき 68 2 模様選択画面 に押します。 スクロールバーをスライドし プロジェクター 6 て、模様選択画面のページを +-移動します。 ______ ガイドラインマーカーを表示ま 63 3 • スクロールバー たは設定するときに押します。 ガイドラインマーカーを使用す ガイドラインマー ると、布端のキルトピーシング カーキー や位置合わせが簡単になりま す。 49 直線ぬい、ジグザグぬい、ボタ (4) 実用模様 ン穴かがり、まつりぬいなど洋

裁によく使う模様 (実用模様)

を選ぶときに押します。

実用模様キー

液晶画面の操作

No.	表示	はたらき	参照	
	名称			
5	文字 模様ぬい	文字や飾りなどの模様を選ぶと きに押します。	49	
	文字模様ぬいキー			
6		画面に編集機能キーを表示する ときに押します。	-	
	編集メニューキー		100	
	ی	フリーモーンヨンモートにする ときに押します。 畑ぇがフリーモーションキルト	109	
	フリーモーション モードキー	に最適な高さに上り、送り歯が 下がります。		
8	L***	停止時に押すと、縫製中の模様 を先頭に戻すことができます。	57	
	模様の頭出しキー			
9	*** *	連続ぬい/単独ぬいを切り替え ます。	57	
	連続/単独ぬい キー			
10		模様が左右に反転します。	_	
	反転キー		10.1	
	0 00	2本針モードを選択するときに 押します。押すごとに、1本針	104	
	1本針 /2 本針 +	と2本針の設定が切り替わり ます、キーが匹免でまテキわて		
	+-	いるときは、選択した模様を2		
		本針モードでぬうことはできま せん。		
12	Ī	ボタン穴かがり模様を選択した	87	
	ボタン穴長さキー	で設定します。		
13	+	ぬい終わり位置を設定するとき に押します。	73	
	ぬい終わり位置設 定キー			
14		模様のぬい始めとぬい終わりの 角度を変更します。	96	
	模様テーパリング キー			
15	呼び出し	保存した模様を呼び出すときに 押します。	61	
400	呼ひ出しキー	亦再した描述の訊字 /モロ梔に	61	
	記憶 記憶キー	変更した候様の設定(孤り幅と ぬい目の長さ、糸調子など)を 記憶するときに押します。	01	
17		選択した模様の、保存済みの設	61	
	リセットキー	定を初期値に戻すときに押しま す。		
18	糸調子	選択した模様の糸調子を示しま	60	
	4.0 util	す。とで糸調子 の設定を変更できます。		
	糸調子キー			
19	L/Rシフト	を押すとぬい模様が右	59	
	0.00 mm	へずれ、 を押すと左へず わます 模様に上ってけの		
		機能が使用できません。この機		
		能が使用できる模様のみ、位置 の調整ができます。		

No.	表示	はたらき	参照
20	名林 振り幅 長さ ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	選択した模様の振り幅とぬい目 の長さを示します。 ~ と を押すと、振り幅とぬ い目の長さを調節することがで きます。	59
2)	□ 自動止めぬいキー	自動止めぬい(返しぬい)を使 用するときに押します。	54
2	★ 自動糸切りキー	自動糸切り機能を設定するとき に押します。	56
0	↓ 針停止位置設定 キー	 計の停止位置(上/下)を選択します。1本針と2本針のどちらが設定されているかを確認することもできます。 ↓↓1本針/針位置下 ↓↓1本針/針位置上 ↓↓2本針/針位置下 ↓↓2本針/針位置下 	70、104
24	 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ビボットキー↓↓ は、針位置 設定キーが↓↓ に設定されてい るときに表示されます。ピボッ ト設定にするときに押します。 ピボット設定にしている間は、 ミシンを停止したとき、針が下 がり、押えは少し上がった状態 になります。さらに、再度ぬい 始めると、自動で押えが下がり ます。 自動上げキー ↓ は、針位置 設定キーが↓↓ に設定されて いるときに表示されます。自動 上げキーを押すと、ミシンが停 止したときに押えが上がりま	57、70
25	糸色変更キー	」9。 このキーを押すと、画面の糸色 が変わります。	72

■キーのはたらき(文字・模様ぬい画面)

🖉 お知らせ

 ⑦に表示されるキーは、選択されている模様 によって異なります。



No.	表示	はたらき	
	名称		
1	+	このキーを押すと、模様を追加 できます。	57
	模様追加キー		
2	~	このキーを押して、編集する模 様を選択します。	58
	\checkmark		
	模様選択キー		
3	E	最後に入力した模様のみを選択 するか、組み合わせたすべての	_
	全選択オン/オフ キー	模様を選択するかを切り替えま す。	
4	×	ステップ模様を作成するときに 押します。	102
	ステップ効果キー		
5		模様を選んでから押すと、模様 が上下に反転します。	—
	上下反転キー		
6	\$	選択した模様を削除します。	57
	削除キー		

No.	夜小	はたらき	参昭
	名称		37.11
7	選択した模様に応	じて、次の3つのキーのいずれか	が表示さ
	れます。		
	<u>>>></u>	└──\$> の模様を選んでから、こ	-
	糸密度キー	のキーを押すと、模様の糸密度 が変わります。	
		≷ ■: 糸密度・低	
		≷ ፤: 糸密度・高	
		全選択オン/オフキーを	
		目にしたときは、すべての模	
		様の糸密度を変更でさまり。	
	1)з	¹³)! の模様を選んでから、こ	-
	模様の長さキー	のキーを押すと、振り幅とぬい	
		目の長さを変えりに、倶様の長 さを5段階から選ぶことがで	
		きます。	
		$D_1 D_2 D_3 D_4 D_5$	
	A B C I←→I	文字模様の文字間隔を調整でき ます。入力されたすべての文字	—
	文字間キー	に設定が適用されます。	
8	Ø	模様を拡大または縮小するとき に縦横比を維持します。	58
	縦横比維持キー		
9		このキーを押すと、組み合わせ た模様や設定を変更した模様を	62
	模様データ保存 キー	保存できます。	

🖉 お知らせ・

• 他のキーについては、P.17「キーのはたらき (実用模様画面)」を参照してください。

設定画面

を押してミシンの初期設定(言語、スピーカー音量、オープニング表示など)を変更します。

((+	o (* 2	<u> </u>	ô 🕈
	2		ô.	۱
1	2	3	4	56

- ① 実用ぬい、文字模様ぬいの設定を表示します
- ② ミシン本体の設定を表示します
- ③ 刺しゅうの設定を表示します
- ④ 無線 LAN 設定を表示します
- ⑤ このキーが表示されているページの各設定が初期 値に戻ります。
- ⑥ 表示されている設定画面を画像ファイルとして USBメディアに保存できます。USBメディアを ミシンの USB ポートコネクタに差し込みます。 画像ファイルが [bPocket] という名前のフォル ダーに保存されます。

🖉 お知らせ・

- くまたは > を押すと、前または次のページ が表示されます。
- ・

 は機能のオン/オフを切り替えるス イッチです。
 ・
 ・
 と表示されているときは、 機能がオフ(使用不可)になっています。
 ・

■実用ぬい、文字模様ぬいの設定 □1ページ



- この設定をオンにすると、スピードコントロール レバーが振り幅調節レバーに切り替わります。 (P. 71) 直線ぬいを選択した場合、スピードコントロール レバーを使って針位置を変えることができます。 (P. 79)
- ② 模様を調整します。(P. 103)
- ③ 押えの高さを調節します。(押えが上がった状態の、押えの高さを選択します。)
- ④ 押え圧を調節します。数字が大きいほど押え圧は 強くなります。通常は[3]に設定してください。
- ⑤ オンにすると、縫製中に内蔵センサーが布地の厚 さを自動的に検知します。これにより、スムーズ に布送りすることができます。(P. 71、P. 77)

□ 2 ページ

M		
120		۱
L	基線切り替え	
<u>}</u>	ピボット押え高さ	3.2mm >
<u>4</u>	フリーモーション押え高 さ	ilomm >
d	デュアルフィード送り量 調整	<u> </u>
L ‡	自動押え上下	
	自動下げ	
	≫糸切り時	•

- ① 電源スイッチを入れたときに自動的に選択される 模様として、[1-01 直線(左基線)]または[1-03 直線(中基線)]のいずれかを選択します。
- ② ピボット機能を有効にしたときの、縫製停止時の 押えの高さを変更します。(P.70)

- ③ フリーモーションモードに設定したときの、押えの高さを変更します。(P. 109)
- ④ デュアルフィードの送りを調整します。(P.48)
- ⑤ スタート/ストップスイッチを押すか、フットコントローラーを踏むと、押えが上がっている場合は、自動的に押えを下げてぬい始めます。
- ⑥ ※ (糸切スイッチ)を押すと、糸を切る前に自動的に押えが下がります。また、糸を切った後に押えが上がります。

□ 3 ページ



- 模様選択画面で最初に表示する模様として、実用 模様 ↓
 ● またはキルト模様 ↓
 ● のいずれかを選 択します。
- ② この設定をオンにして止めぬいをする模様をぬうと、ぬい始め/ぬい終わりに、()(返しぬいス)
 - イッチ)を押しても止めぬいをします。 (P.54)
- ③ マルチ機能フットコントローラーへ設定したい機能を選択します。(P.51)
- ④ 編集メニューの[ぬい終わり位置設定]を設定しているときに、この設定をオンにすると、ミシンが一時的に停止し、ぬい終わり設定シールをはがすことができます。(P.73)

■ ミシン本体の設定 □ 4 ページ



- ① 表示言語を選択できます。
- ボイスガイダンス機能のオン/オフを切り替えます。(P. 26)
- ボイスガイダンスの言語や音声を変更します。 (P. 26)
- ④ ボイスガイダンスの音量を調節します。
- ⑤ スピーカーの音量を調整できます。
- ⑥ ステッチレギュレーターの警告音量を調節します。(P. 116)
- ⑦ 針元と縫製エリアのライトの明るさを調整します。
- ⑧ 画面の明るさを調整します。

□ 5 ページ



- ミシンの電源を入れたときにオープニング画面を 表示するかしないかを選択します。
- ② [エコモード]または[電源オフサポートモード]を設 定すると、消費電力を節約できます。(P.25)
- スクリーンセーバーに切り替わるまでの時間を選 択できます。

- ④ スクリーンセーバーの画像を選択します。(P. 25)
- ⑤ [針位置 ぬい位置]のオン/オフを切り替えます。 (P. 73)
- ⑥ 上糸・下糸センサーのオン/オフを切り替えます。オフにすると、糸をセットしていなくてもミシンを動かすことができます。

□6ページ



- プロジェクター機能使用時の背景色を選択します。(P. 68)
- ② 模様のアウトラインを表示します。(P.68)
- ③ ポインターの色を選択します。(P.137)
- ④ ポインターの形状を十字または点から選択します。(P. 137)
- ⑤ 針位置を測定して、カメラ表示とプロジェクター 投影を調整します。(P. 255)

□7ページ



- ミシンの前回のメンテナンス以降にぬわれた針数 を表示します。(定期メンテナンスの時期につい ては、お買い上げの販売店にご相談ください。)
- ② 本機でぬわれた累積針数を表示します。
- ③ ミシンのプロダクトナンバーを示します。
- ④ プログラムのバージョンを表示します。
- ⑤法的情報を表示します。
- ⑥ ミシン内に保存されているすべてのデータ、設定した内容、ネットワーク設定情報を消去します。 (P.256)

■ 刺しゅうの設定 □ 8 ページ



- ① 使用する刺しゅう枠を選択します。(P.225)
- ② 中心マークやグリッドの表示を変更します。
- ③ 刺しゅう時の速度を調節します。
- ④ 刺しゅうの糸調子を調整します。(P. 163)
- ⑤ 刺しゅう押えの高さを調節します。
- ⑥ 刺しゅう時の針停止位置を選択します。
- ⑦ オンに設定され、押えが上がっている状態でス タート/ストップスイッチを押すと、刺しゅうを 開始するときに押えが自動的に下がります。

□9ページ



- 表示単位(mm / インチ)を選択します。
- ② 縫製画面の糸色表示を変更します。[糸色名]または[#123](糸番号)を選択します。
- ③ 糸色表示の糸ブランドを選択します。初期設定の [オリジナル]は、模様を作成時に使用したブランドの糸で表示されます。 糸ブランドの設定は、次に模様を取り込んだとき に反映されます。(P. 138)
- ④ 模様表示エリアの背景色を選択します。
- ⑤ 模様サムネイルの背景色を選択します。
- ⑥ 模様サムネイルのサイズを選択します。
- ⑦ 模様からしつけぬいまでの距離を設定します。 (P. 171)

□ 10 ページ o 🌣 ? ς υ ÷ • ۱ 🔇 9 ▲ 背景画像表示 きれい >--- ① スキャン画質 2 背景画像 赤厚センサー 3 ▲ LEDポインター付き 刺しゅう押え調整 (4) < 10/13 > ОК •

- ① 布地を背景画像として表示するときの画質を選択 できます。(P. 155)
- ② スキャンした画像を消去します。
- ③ オンに設定すると、内蔵カメラが布地の厚さに応じて背景画像の表示を調整します。(P.156)
- ④ LED ポインター付き刺しゅう押え< W+ > (別売) の位置と明るさを調整します。

■無線 LAN の設定

□ 11 ページ



- (1) 無線 LAN 機能のオン/オフを切り替えます。 (P. 30)
- ③ ミシンを無線 LAN に接続します。(P. 30)
- ④ 無線 LAN 機能のミシンの名前を表示します。
- ⑤ 無線 LAN 機能のミシンの名前を変更します。
- (6) 無線 LAN の状態を表示します。
- ⑦ ネットワーク設定をリセットします。
- ⑧ アプリケーションの概要を表示します。

□ 12 ページ



- 新しいソフトウェアがある場合は、アップデート ファイルをダウンロードします。(P. 257)
- ② プログラム情報を表示します。 (P. 257)

□ 13 ページ

((;-	\$?	L	÷ ·	A	
		(;				
Artspira						
Artspira				登録		1
	1	3/13	>	C	ж	
	•	0	·			

 Artspira (アートスピラ) アプリを登録します。 (P. 223)

■[エコモード]または[電源オフサポー トモード]を選択する

[エコモード]または[電源オフサポートモード] を設定することで、消費電力を節約できます。 ◆
を押して、[エコモード]と[電源オフサポー トモード]を表示して、モードに入る時間を設定 します。(P. 21)

[エコモード]:

ミシンは設定した一定時間を過ぎるとスリープ モードになります。もう一度操作するときは、画 面に触れるかスタート/ストップスイッチを押し てください。

[電源オフサポートモード]:

ミシンは設定した一定時間を過ぎると省電力状態 になります。電源を切り、もう一度電源を入れて 操作を再開してください。

🖉 お知らせ

- [エコモード]または[電源オフサポートモード]を設定した状態で本機の電源を入れ直す場合は、電源を切って5秒ほど待ってから入れてください。
- [エコモード]と[電源オフサポートモード] について詳しくは、P. 269「仕様」を参照し てください。

■ スクリーンセーバーの画像を変更する

あらかじめ登録されている画像の代わりに、お持ちの画像を本機のスクリーンセーバーに使用することができます。 対応画像ファイルについて詳しくは、P.269「仕様」を参照してください。

- 1 ●を押して、設定画面の[スクリーンセー バー]を表示します。
- 2 [選択]を押して、次に[ユーザー設定]を押し ます。

スクリーンセーバー	5 min >
	選択

- 3 画像が入った USB メディアをミシンの USB ポートコネクタに差し込みます。
- 4 [変更]を押します。



* [削除]を押すと、画像が削除されます。

5 ミシンに接続したデバイスを押します。

* USB メディアが 2 つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。

	•	MB	
キャンセル			

6 ファイル名を押して画像を選択し、[セット] を押してから [OK] を押します。

🖉 お知らせ

スクリーンセーバー用にあらかじめ登録されている画像を使用するときは、[標準]を押します。



■ ボイスガイダンス

ガイダンスメッセージの読み上げ機能を使用でき ます。

- 音声をダウンロードできるように、あらか じめ無線 LAN に接続しておきます。 (P. 30)
- 2 を押して、設定画面の[ボイスガイダンス] を表示し、機能をオンに設定します。



① ボイスガイダンスの音量を調節します。

- 3 [変更]を押して、ボイスガイダンスの言語と 音声を選択します。
 - * ▶ を押すと、選択した設定のサンプル音声を確 認できます。



- 4 [次へ]を押します。
 - → ボイスガイダンスのデータの確認中であることを 示すメッセージが表示されます。ボイスガイダン スのデータのダウンロードが必要な場合は、ダウ ンロードが開始されます。
- 5 ボイスガイダンスの準備ができたことを示 すメッセージが表示されたら、[OK]を押し ます。
 - → ガイダンスメッセージが読み上げられるようになります。

🖉 お知らせ・

●を押すと、メッセージをもう一度聞くことができます。読み上げを停止したいときは、
 ●を押します。



ミシンの使い方画面

?を押すと、ミシンの使い方画面が表示されます。下図の画面から各機能が利用できます。

○ ↓ 2 4 A

■ 説明書
①
②
▲ ぬい方
③
◎
◎
● 動画
⑤
○
アブリガイド

	閉じる	
C		

- ① ミシンの取扱説明書を表示します。(P. 28)
- ② ミシンの使い方の説明を表示します。(P. 27)
- ③ 実用模様のぬい方の説明を表示します。(P. 27)
- ④ 選択した模様の説明を表示します。(P. 27)
- ⑤ 画面に表示される QR コードから、ミシンの使い 方動画にアクセスできます。動画に表示される仕 様は、実際の製品とは異なる場合があります。
- ⑥ アプリケーションの概要を表示します。情報を表示したいアプリのキーを押します。

■使い方キーを使う

[使い方]を押すと、次の画面が表示されます。画 面上部に項目が表示されます。詳しい内容を知り たい項目のキーを押します。



- ① ミシンの主要部とそのはたらき
- ② 操作スイッチの使い方
- ③ ミシンの糸通し、押えの交換などの基本操作
- ④ 刺しゅう機の取り付けや刺しゅう時の布地の準備 などの刺しゅうの基本操作
- ⑤ よくあるトラブル
- ⑥ ミシンのお手入れ

■ ぬい方キーを使う

作りたいものに適した模様がわからないときや、 選択した模様についての詳しい説明が見たいとき に、この機能を活用してください。

- 1 ホーム画面で[実用・文字模様]を押します。
- 2?を押します。
- 3 [ぬい方]を押します。
- 4 ご覧になりたいぬい方のカテゴリーキーを 押します。



5 説明を読んで、適切な模様を選択します。

→ 選択した模様のぬい方が画面に表示されます。画面に表示された手順に従ってぬってください。

■ 模様説明キーを使う

実用模様を選んでから?を押して、[模様説明] を押すと、選んだ模様の詳しい説明が表示されま す。



- 1 01を押します。
- 2?を押します。
- 3 [模様説明]を押します。

■取扱説明書(PDF ファイル)の見方 |

- 1?を押します。
- 2 [説明書]を押します。
- 3 ご覧になりたい文書を選択します。
- 4 取扱説明書を読みます。 画面を指でスワイプしてページをめくります。
 - * ページをめくる方向を変える場合は、 ≫(⑦)を 押します。



- ① 各ページのサムネイルが表示されます。
- ② 文書内を検索できます。(日本語入力はできません)
- ③ 最初のページ/前のページ/次のページ/最後のペー ジを表示できます。
- ④ 現在のページ/ページの総数を表示します。特定の ページを表示する場合は、ボックスにページ番号 を入力します。
- ⑤ ページを拡大/縮小表示できます。
- ⑥ ページの拡大率を選択します。
- ⑦ その他の設定が表示されます。
- ⑧ 画面を閉じます。

🖉 お知らせ

 ブラザーサポートサイトにアクセスすると、 モバイル端末やパソコンで取扱説明書を表示 できます。お使いの PDF ビューワーに検索機 能がある場合は、文書内を検索することもで きます。



https://s.brother/cpdaf/

■ 使い方動画

使い方動画をモバイル端末やパソコンでご覧いた だけます。



https://s.brother/cvdaf/

画面に表示される QR コードからもアクセスでき ます。 (P. 27)

無線 LAN 接続機能

操作できること

ミシンが無線 LAN に接続していると、次の便利 な操作をすることができます。

■アップデートを行う場合

アップデートファイルをミシンに直接ダウンロー ドします。 (P. 257)



■モバイルアプリ



名称	機能	参照	
My Stitch Monitor	モバイル端末からミシンの動作状 況を確認できます。	223	
My Design Snap	刺しゅうのデザイン作成のため に、モバイル端末からミシンに画 像を転送できます。	223	
Artspira(アート スピラ)	アプリで公開したコンテンツをミ シンに転送し、アプリの機能を 使ってオリジナル作品作りを楽し めます。	223	

■ Windows アプリ



名称	機能	参照
Design Database Transfer	パソコンから刺しゅう模様を無線 でミシンに転送できます。アプリ は以下の URL からパソコンにダ ウンロードできます。 https://s.brother/cadkc/	
	Design Database Transfer 側の設 定も必要です。詳しくは、 Design Database Transfer の取扱 説明書を参照してください。	
刺しゅう PRO (別売)	パソコンの刺しゅう編集ソフト (刺しゅう PRO バージョン 11 以 降) で編集した刺しゅう模様を無 線でミシンに転送できます。 また、ミシンで編集した刺しゅう 模様を刺しゅう PRO に転送でき ます。 刺しゅう PRO 側の設定も必要で す。詳しくは、刺しゅう PRO の 取扱説明書を参照してください。	_

無線 LAN 接続を設定する

本機はお使いの無線 LAN に接続することができ ます。無線 LAN の接続要件については、P. 269 「仕様」を参照してください。

1 🛜を押します。



2 [無線 LAN 有効]をオンにします。



- → 本機から無線LANへ接続信号の送信が始まります。
- 3 ミシンを無線 LAN に接続するために、お使いのホームネットワークのセキュリティー 情報(SSID とパスワード)が必要です。パスワードは、ネットワークキー、セキュリティーキー、または暗号化キーと呼ばれる 場合もあります。最初にセキュリティー情報を確認し、メモします。



- ① SSID
- ② パスワード (ネットワークキー)

☑ お知らせ

- セキュリティー情報がない場合、無線 LAN 接続を設定することはできません。
- セキュリティー情報を見つける方法
 - お使いのホームネットワークに付属の説明 書を確認してください。
 - 初期設定時の SSID は、メーカー名やモデ ル名の場合があります。
 - セキュリティー情報がわからない場合は、 ルーターの製造元、ネットワーク管理者、 またはインターネットプロバイダーにお問 い合わせください。
 - SSID やパスワード(ネットワークキー)
 は、大文字と小文字が区別されるものがあ ります。正しく記録してください。

4 [無線 LAN 接続]の横にある >を押します。

((+	ō	\$?		÷	î	
	-	1	11.	h.			I
無線LAN	N有効					C)
						なし	
無線LAN	N接続						>

- → 使用可能な SSID のリストが表示されます。
- 5 3 でメモした SSID を選択します。



→ パスワード(ネットワークキー)を入力する画面 が表示されます。

🖉 お知らせ

- 無線アクセスポイント/ルーターが SSID を 発信していない場合、SSID は自動検出され ません。この場合は、[ネットワークを追加] を押し、必要な情報を入力します。
- ミシンがすでにホームネットワークに接続している場合は、[保存済みネットワーク]を押します。保存した SSID を選択し、[接続]を押します。

5 メモしたパスワード(ネットワークキー)
 を入力して、[接続]を押します。



- ① 文字入力エリア
- ② バックスペース キー (カーソル位置の文字を削除 します)
- ③ 押すとキーボードが非表示になります。文字入力 エリアを押すと、キーボードが再び表示されます。
- ④ スペースキー
- ⑤ 文字/数字選択キー
- ⑥ 大文字/小文字選択キ-
- 7 SSIDの下に[接続済み]が表示されていることを確認したら、←を押します。



☆ お願い

- パスワードを誤って入力した場合は、もう一度 SSID を押し、正しいパスワードを入力してください。パスワード入力画面が表示されない場合は SSID を押します。表示された画面で
 を押してパスワード入力画面を表示して、正しいパスワードを入力してください。
- ・ 誤った SSID を選択した場合は、正しい SSID を押してください。誤った SSID を手動で入 力した場合は、[ネットワークを追加]を押 し、必要な情報を入力してください。

🖉 お知らせ

 接続している SSID を押すと、詳細情報が表示 されます。右上の
 を押して[詳細設定]を 表示し、IP アドレスとプロキシーを設定でき ます。 8 [OK]を押して、設定を終了します。



① [マシン名]にある名前が P.29「操作できること」 で説明したアプリで使用されます。

🖉 お知らせ・

- 接続している間、信号強度はディスプレイの 左上隅のアイコンで表示されます。
- 一度無線 LAN 接続を設定すると、ミシンの電源を入れるたびに無線 LAN に接続します。ただし、無線 LAN 設定画面の [無線 LAN 有効] はオンのままにする必要があります。

針と糸を準備する

布地と糸の種類による針の使い分け

布地により、ミシン針や糸を使い分けます。次の表を参考にして、布地に適した糸と針を選択してく ださい。

- 表は目安です。必ず試しぬいをしてください。使用する布地を、実際にぬう枚数分重ねてぬってください。
- ミシン針は消耗品です。美しい仕上がりと安全のために、折れる前の早めの針交換をおすすめします。針交換の目安は P.34「針の交換」を参照してください。

	左曲の柱御・孫海	ミシン糸		40++	ぬい目の長さ	
	市地の特徴・権規	種類	太さ	<u> 国</u> の入合	mm	
薄地	ローン、ジョーゼット、ポーラ、	ポリエステル糸	$60 \sim 90$			
	オーガンジー、シフォン、ボイル、 ガーゼ、チュール、綿サテン、裏地 など	綿糸、絹糸	$50 \sim 80$	$9\sim 11$	細かいぬい目 (1.8 ~ 2.5)	
普通地	ブロード、タフタ、ギャバジン、フ	ポリエステル糸	$60 \sim 90$			
	ラノ、サッカー、ダブルガーゼ、リ ネン(麻布)、ちりめん、タオル地、 ワッフル、シーチング、ポプリン、 シャンブレー、ダンガリー、サテ ン、サージ など	綿糸、絹糸	$50\sim 60$	11 ~ 14	普通のぬい目 (2.0 ~ 3.0)	
厚地	デニム(12 オンス以上)、帆布 など	ポリエステル糸、 綿糸	30	16		
	デニム(12 オンス以上)、帆布、	ポリエステル糸	60		粗いぬい目 (2.5 ~ 4.0)	
	ツィード、コーデュロイ、ベロア、 キルティング、メルトン、モッサ、 ビニールコーティング地 など	綿糸、絹糸	$30 \sim 50$	$14 \sim 16$		
のびる布地(ニッ ト素材など)	ジャージー、トリコット、T シャツ 地、フリース、スムース など	ニット用糸	50	ニット用針(金) 11 ~ 14	布地の厚みに応じて設定	
ステッチをかける場合		+ ² + 7 - 11 × 30		$14 \sim 16$	左映の原ルに広じて記つ	
		ハリエステル糸	$50\sim60$	11 ~ 14		

🖉 お知らせ

- このミシンで使用できる針:家庭用ミシン針(HA×1シリーズの太さ9~16番)
 例) HA×1、HA×1SP など
 - 針は数字が大きいほど太くなります。小さいほど細くなります。
- このミシンで使用できる糸:30~90番
- 20 番以下の太い糸は使用しないでください。故障の原因となります。
- 糸は数字が小さいほど太くなります。大きいほど細くなります。
- 基本として、薄い布地には細い針と細い糸、厚い布地には太い針と太い糸を使用します。
- 布地に適した模様を選択し、ぬい目の長さを調節してください。薄地をぬうときは、ぬい目の長さを細く(短く)します。厚地をぬうときは、ぬい目の長さを粗く(長く)します。(P. 59)のびる布地をぬう場合は、P. 77「伸びる布地をぬう」を参照してください。

■ ナイロン透明糸

布地や糸にかかわらず 14~16番の針を使用します。

■文字/飾り模様をぬうとき(針・糸)

薄地、普通地、のびる布地をぬう場合は、ニット用針(金)11番を使用します。厚地をぬう場合は、家庭 用ミシン針14番を使用します。 糸は50番~60番を使用します。

■刺しゅう用の針

11 番を使用します。小さな文字など、ぬい目の短 い模様を刺しゅうする場合は、ボールポイント針 (刺しゅう用)の使用をお勧めします。



布地と糸と針の組み合わせは、先述の表に従ってください。組み合わせが適切でない場合、ぬい目がふぞろいになり、ぬいじわや目とびの原因になります。特に、厚い布地(デニムなど)を細い針(9~11番)でぬうと、針が折れ、けがをするおそれがあります。

糸こま押えと糸こまネットの使い方

使用する糸こまを確認し、必要な部品を用意し ます。

■糸こま押え

糸こま押えのサイズは3種類ありますので、使用 する糸こまのサイズに合わせてお選びください。



下図のような糸こまを使用するときは、糸こま押 え(特殊)を使用してください。

糸こま押え(特殊)がしっかり取り付けられてい ることを確認してください。取り付けた後、糸を ひっぱってひっかかりなく糸が繰り出すことを確 認してください。





- ① 糸こま押え (特殊)
- 穴の直径が8mmから10.5mm
- ③ 糸こま (チーズ巻き)

■ 糸こまネット

ナイロン透明糸やメタリック糸などの張りが強い 糸を使用する場合は、糸こまネットを糸こまに付 けてから糸たて棒にセットしてください。ネット が長い場合は、糸こまの大きさに合わせて折って 使用します。



- ① 糸こまネット
- ② 糸こま
- ③ 糸たて棒
- ④ 糸こま押え
- * 糸こまネットを使用する場合は、必ず約5~6cm 糸を引き出してください。
- * 糸こまネットを使用する場合は、必要に応じて糸 調子を調節してください。







- ② 平らな面
- ・針は消耗品です。次の事例にあてはまるときは、針を交換してください。
 - ・ 針が布地に刺さる際に通常と異なる音(パッパッやバスッバスッなど)が出るとき(針先が折れていたりつぶれていたりする可能性があります。)
 - 目とびが起きるとき(針が曲がっている可能性があります。)
 - 目安として、洋服などを1作品ぬい終えた とき
- 1 (斗)(針上下スイッチ)を押して針を上げま す。
- 2 10を押して、すべてのキーと操作スイッチをロックします。
 - * [押えが自動で下がります。よろしいですか?]の メッセージが表示されたら、[OK]を押して操作を 続けてください。
 - ☆ お願い
 - ・針を交換する前に、押えの下に布や紙を置いて、針が針板の穴から下へ落ちないようにしてください。
- **3** 押えを取り外します。(P. 46)

4 左手で針を持ちながら、右手でマルチドラ イバーを手前に回し、針のとめネジをゆる めます。針を抜きます。



針の平らな面を背中側にして、新しい針を ストッパーに当たるまで差し込みます。マ ルチドライバーで針のとめネジをしっかり しめます。



① ストッパー



- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、ドライ バーでとめネジを確実にしめてください。針が正しく 取り付けられていないと、針が折れ、けがをするおそ れがあります。
- 6 押えを取り付けます。(P. 46)
- 7 しを押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。
下糸を巻く / 取り付ける

下糸を巻く



3 ボビン用の糸こまと糸こま押えを補助糸た て棒にセットします。



① 糸は下から手前に巻き出します。
 ② 糸こま押え



- 糸こまや糸こま押えが正しくセットされていないと、
 糸たて棒に糸がからまり、故障の原因となります。
- 使用する糸こまのサイズに合った糸こま押えを選んでください。使用する糸のサイズに合った糸こま押えの選び方については、P.33「糸こま押えと糸こまネットの使い方」を参照してください。



4 右手で糸こま付近で糸を持ちます。左手で 糸端を持って、両手で糸案内に糸をかけま す。



① 糸案内

5 下糸巻き案内に糸を巻きつけて、糸が下糸 巻き案内の下にあることを確認します。



- ① 下糸巻き案内
- ② 糸が下糸巻き案内の皿の間にしっかり入っている ことを確認してください。







右手でボビンを軽く押さえながら、左手で 巻き終わりの糸を針板のツメにかけます。



① ツメ

☆ お願い

- ボビンは必ず指で押え、正しい方向から糸が 出るようにセットしてください。ボビンを逆 の方向にセットすると、糸切れや糸調子不良 の原因となります。
- 右手でボビンを軽く押さえながら、針板の ミゾに糸を通し、左手で軽く引っ張ります。



① ミゾ

🖉 お知らせ

- このように糸をひっぱることで、内かまの板 ばねの間に糸が入り、縫製時、下糸に適切な 張力を加えることができます。
- 右手でボビンを軽く押さえながら、左手で 残りのミゾに糸を通します。その後、糸を カッターで切ります。



① カッター

 針板ふたの左下のタブを針板に差し込んで から(1)、針板ふたの右側を上から軽く押 して取り付けます(2)。



10 **い**を押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。

🖉 お知らせ

下糸を引き出さずにぬい始めることができます。ぬい始める前に下糸を引き出したい場合は、P.39「下糸を引き出す」の手順で糸を引き出します。

下糸を引き出す

ギャザーやダーツ、フリーモーションキルト (ステッチレギュレーターぬいを含む)、刺しゅ うをぬうときなど、あらかじめ下糸を引き出し ておきたいときは、以下の手順に従って操作し てください。

🖉 お知らせ

- 先に上糸を通してから、下糸を引き出します。 (P. 40「上糸通し」)
- P. 38「下糸をセットする」の1~5を参照 して、ボビンをかまに入れます。
- 2 下糸を矢印のようにミゾにそって通します。
 - * 糸をカッターで切らないでください。
 - * 針板ふたは外したままにしてください。



- 3 しを押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。
- 4 上糸を持ち、(⊥)(針上下スイッチ)を押し て針を下げます。



5 (斗)(針上下スイッチ)を押して針を上げま す。 6 上糸を軽く引き上げて、下糸を針板の穴から出します。



7 そのまま下糸を引き出し、上糸とそろえて 押えの下を通し、後ろ側へ 10 c m ほど引き 出しておきます。



上糸
 工※

- ② 下糸
- 8 針板ふたを元に戻します。

上糸通し

上糸通し



上糸は必ず正しく通してください。糸が正しく通されていない場合、糸がからんで針が折れ、けがをするおそれがあります。



- 20 番以下の太い糸は使用しないでください。故障の原因となります。針と糸は正しい組み合わせで使用してください。詳しくは P.32「布地と糸の種類による針の使い分け」を参照してください。
- 9番の針を使用する場合は、手で針に糸を通してください。糸通し装置を使用すると、ミシンが破損することがあります。

🖉 お知らせ

- 糸通し装置は、家庭用ミシン針(HA × 1)11 番~16番で使用してください。
- ナイロン透明糸や特殊な糸を使用するときは、 糸通し装置は使用できません。
- 2本針を取り付けているときは、糸通し装置 は使用できません。



1 電源スイッチを入れます。



4 糸たて棒が上向きになるように起こします。 糸が手前から出るように糸たて棒に糸こま を差し込みます。



- 糸たて棒
- ② 糸こま押え
- ③ 糸こま
- ④ 糸こまフェルト

5 糸こま押えを奥までしっかり差し込み、糸 たて棒を元に戻します。



- 糸こまや糸こま押えが正しくセットされていないと、
 糸が糸たて棒にからまり、針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 使用する糸こまのサイズに合った糸こま押えを選んでください。使用する糸こまのサイズに合った糸こま押えの選び方については、P.33「糸こま押えと糸こまネットの使い方」を参照してください。



6 右手で糸こまからの糸を持ち、左手で糸端 を持って、糸案内板のミゾに糸を通します。



① 糸案内板

7 右手で糸を持ちながら、矢印のように糸案 内カバーに糸を通します。





12 図のように、糸を引き上げて、ミシンの糸 切りで糸を切ります。



 ・ メタリック糸のようにほどけやすい糸を使用 する場合は、糸を切ってしまうと針に通しに くくなります。
 その場合は、糸案内皿(7の印)に糸を通し た後、糸切りた使わずに糸を約9 cm 引き出

た後、糸切りを使わずに糸を約 8 cm 引き出 してください。



13 (→)(自動糸通しスイッチ)を押して、針に 糸を通します。

14 針穴を通った糸をゆっくり引き出します。

* 針穴を通った糸が輪になった場合は、輪を後ろ側 に引っ張り、針穴から糸を引き出します。





- ① 約 10 cm
- ☑ お知らせ
- ・ 針に糸が通っていなかったり、針棒糸かけに 正しくかかっていなかった場合は、手順3か らやり直してください。
- 糸通し装置を使用できない針や糸を使用する 場合は、手で手前から針穴に糸を通してくだ さい。



糸たてスタンドを使う

付属の糸たてスタンドは直径の大きな糸こま (チーズ巻き) に使用すると便利です。



- ① 糸たてスタンド
- ② 糸こま押え(特大) < 2 個>
- ③ スプールクッション<2個>
- ④ 糸こま押えベース<2個>
- ⑤ 糸こまフェルト<2個>
- ⑥ リング<4個>
 - * ② から ⑥ の部品はビニール袋に入っています。

■糸たてスタンドを組み立てる

 糸たてスタンドの出っ張り部を持ち、ふた を取り外します。



 2ヶ所のストッパーがカチッとはまるまでア ンテナをいっぱいに伸ばします。 糸たて棒を起こします。



② 糸たて棒



■糸たてスタンドを使ってミシンに糸 を通す

- ミシンに糸たてスタンドを取り付けます。 (P. 43)
- 2 糸こまを、時計回りに糸が引き出される方 向に糸たて棒にセットします。糸こま押え をしっかりと糸たて棒に差し込みます。



▲ 注意

糸こまが互いに接触しないようにしてください。接触していると、糸がスムーズに引き出されず、針が折れてけがをするおそれがあります。また、糸こまが中央のアンテナに接触していないことを確認してください。

☆ お願い ☆

- 糸こまを2つ使用するときは、両方の糸こま を必ず同じ方向にセットしてください。
- 糸こまの下に糸がはさまらないようにしてく ださい。
- 3 糸こまから糸を引き出します。真上の糸か けに奥から手前に糸をかけます。



☆ お願い -

- 隣接する糸こまの糸にからまないように、糸 をかけてください。
- 糸をかけた後、糸こままわりのたるんだ糸を 巻き取ってください。糸がたるんでいると、 糸がらみなどの原因になることがあります。
- メタリック糸などの張りが強い糸を使用する 場合は、糸のからまりを防ぐため、付属のリングを使用します。糸通しの順序:糸を、まずリングに下から通し(①)、糸かけに通した後(②)、再びリングに上から通します(③)。 リングを使用するときは、糸こま押えベース は使用しないでください。



4 糸案内の右から左へ糸を通します。



① 糸案内

 5 P. 40「上糸通し」の手順 6~15 を参照して 上糸を通します。



取り付ける押えのピンと押えホルダーのミ ゾが合う位置に押えを置きます。押えレ バーを手で下げて、押えホルダーのミゾを 押えのピンにはめます。





- 押えレバーを上げて、押えがしっかりと取り付けられていることを確認します。

付属のアダプターを使用して押えを 取り付ける

付属のアダプターとネジ(小)を使用すると、 エコーキルト押えく E >や別売の押えを取り付 けることができます。



- 1 押えを取り外します。 (P. 46)
- 2 押えホルダーのネジをゆるめ、押えホル ダーを外します。



- ① マルチドライバー
 ② 押えホルダーのネジ
- ③ 押えホルダー
- 3 押えホルダーのネジを押え棒から完全に外します。

4 押え棒の平らな面とアダプターの穴の平ら な面を合わせて差し込みます。アダプター のネジ穴と押え棒のネジ穴を合わせ、ドラ イバーで押えホルダーのネジをしっかりと 締めます。



① 押えホルダーのネジ

🖉 お知らせ

- エコーキルト押えくE>を取り付ける場合 は、P.111「エコーキルト」を参照し、4に 進みます。
- 5 付属のネジ(小)を2~3回手で回して、押 え棒に仮止めします。



① ネジ (小)

6 別売の押えの取扱説明書を参照して押えを 取り付けます。付属のドライバー(大)で ネジ(小)をしめます。





付属のドライバー(大)を使って、しっかりとネジをしめてください。ネジがゆるい場合、針が押えに当たり、けがをするおそれがあります。

デュアルフィードを使う

デュアルフィードを使うと、針板や押えに貼り ついてぬいにくい布(ビニール素材、革、合成 皮革など)や、ぬいずれしやすい布(キルト生 地など)でもきれいに仕上がります。

☆お願い -

 デュアルフィードを使うときは、中速か低速 でぬってください。

🖉 お知らせ・

- デュアルフィードをミシンに接続している場合は、デュアルフィードでぬえる模様のみ選択できます。
- 貼りつきやすい布地を重ねてぬうときは、ぬいはじめにしつけをしておくと、きれいに仕上がります。

■デュアルフィードを取り付ける

- 1 します。押えを取り外します。 (P. 46)
- 2 押えホルダーのネジをゆるめ、押えホル ダーを外します。



① マルチドライバー
 ② 押えホルダーのネジ
 ③ 押えホルダー

 7 押え棒のネジにデュアルフィードのミゾを 合わせて取り付けます。



4 デュアルフィードを右手で押えながら、付属のマルチドライバーでネジをしっかりとしめます。





- 付属のマルチドライバーを使って、しっかりとネジを しめてください。ネジがゆるい場合、針が押えに当た り、けがをするおそれがあります。
- 5 デュアルフィードのプラグをミシンの背面 にある押えコネクタに差し込みます。



- して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。
- 7 布地をデュアルフィードの下に置き、ぬい 始めの位置に布地を合わせます。
- 8 フィード位置レバーを下げて、縫製ができる状態にします。



① フィード位置レバー

☆ お願い ·

 ・ 縫製中は、フィード位置レバーを操作しない でください。

☑ お知らせ

 フィード位置レバーが上がっていると布送り しません。フィード位置レバーが下がってい ると、黒いローラーベルトが下がり、布送り できる状態です。

■ 押え足を取り付ける/取り外す

押え足のピンをミゾに合わせて取り付け、カチッ となるまで押し込みます。



① ピン

外す場合は、押え足の先端と後部を押し下げると 外れます。

■デュアルフィードの送り量を調整する

デュアルフィード機構によって、上側の布地はぬ い目長さの設定に従って送られます。ぬいにくい 布地を使う場合はデュアルフィードの送り量を微 調整します。

- た押して設定画面の[デュアルフィード送り量調整]を表示します。
- 2 数字を押して上側の布地の送り量を選択し ます。
 - * 通常は [00] を選択してください。
 - * 大きい数字を押すと、上側の布地の送り量が増え ます。 小さい数字を押すと、上側の布地の送り量が減り ます。



② ミゾ

第2章 基本のぬい方

ぬい方

ステッチの種類

■ 実用模様

隠れているカテゴリーを表示するときは、カテゴ リキーを横にスワイプします。



表示	カテゴリー名
1	直線/たち目かがり
2 🚴	飾り
³ **	ヘアルーム
	ボタン穴かがり/かんどめ
5 🗮	横送り
Q :	キルト
S	その他
T	テーパリング

■文字・模様ぬい

隠れているカテゴリーを表示するときは、カテゴ リキーを横にスワイプします。



表示	カテゴリー名
6 	大型飾り
7 👯	大型植物
8	大型モチーフとメッセージ
° 8	小型飾り
10	小型植物
" † \$	キャンドルウィック

表示	カテゴリー名
¹² \$ >	大型サテンステッチ
	7mm サテンステッチ
14 8 8	クロスステッチ
15	実用飾り
° D Stary	ディズニー * ディズニー模様は個人使用目的かつ非営 利目的でのみ使用できます。商業目的で 使用することは固く禁じられています。
AB	アルファベット書体(ゴシック体)
AB	アルファベット書体(筆記体)
AB	アルファベット書体(アウトライン文字)
АБ	キリル文字
	ポケット (内蔵 / 外部メモリー)(P. 62)

基本のぬい方

▲ 注意

- ミシン操作中は、針の動きに十分にご注意ください。
 針、プーリー、てんびんなど、動いているすべての部
 品に手を近づけないでください。
- ・縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしない でください。けがの原因となります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。けがの原因となります。
- ぬう際には、まち針などが針に当たらないように注意 してください。針が折れ、けがをするおそれがありま す。

重要

 ぬい目が詰まる場合は、ぬい目の長さをあらくしてく ださい。針が曲がったり折れたりするおそれがありま す。

☆ お願い
·

 まず、実際にお使いになるものと同じ布地と 糸を使って、試しぬいをしてください。

- 1 ホーム画面の[実用・文字模様]を押して、実 用模様を表示します。針が下がっている場 合は、↓↓ (針上下スイッチ)を押して針を 上げます。
- 2 カテゴリーを選択し、ぬいたい模様のキー を押します。
 - * 隠れているカテゴリーを表示するときは、カテゴ リキーを横にスワイプします。



- ① カテゴリー
- ② 模様キー
- → 画面の左上に使用する押えが表示されます。
- 3 画面左上に表示されている押えを確認して、 押えを取り付けます。(P.46)
- 4 布地を押えの下に置きます。左手で布地と 糸端を押え、↓↓(針上下スイッチ)を押し てぬい始め位置に針を刺します。



5 押えを下げます。

② はやく

6 スピードコントロールレバーでぬう速さを 調節します。



- 7 スタート/ストップスイッチを押して、ぬ い始めます。(フットコントローラーで操作 している場合は、フットコントローラーを ゆっくり踏み込みます。)
 - * 布地に軽く手を添えてください。



🖉 お知らせ

- フットコントローラーを接続しているときは、 スタート/ストップスイッチでぬい始めるこ とはできません。
- ぬい終わったら、もう一度スタート/ス 8 トップスイッチを押します。(フットコント ローラーで操作している場合は、フットコ ントローラーから足を離します。)



9 |≫|(糸切りスイッチ)を押して糸を切りま す



重要

- ・糸を切った後は、 |>
 >
 >
 (糸切りスイッチ)を押さないで ください。糸がからまったり、ミシンが故障する原因 となります。
- 押えの下に布地がないときや、ミシンが動いていると きは、| >>>|(糸切りスイッチ)を押さないでください。 糸がらみや故障の原因となります。

☆ お願い -

- ナイロン透明糸などの特殊な糸を切るときは、 はさみを使用してください。
- 10 針が完全に止まったら、押えを上げて布地 を取り出します。

マルチ機能フットコントローラーを 使う

マルチ機能フットコントローラーを使用すると、 縫製のスタート/ストップのほかに糸切りや返 しぬいなど、さまざまな機能を設定してミシン を操作することができます。



- ① メインフットコントローラー
- ② サイドペダル
- ③ 固定プレート
- ④ 取付けネジ×2
- 1 固定プレートの小さい方の端をサイドペダ ル下部のガイドに合わせ、取付けネジで軽 く固定します。 固定プレートの大きい方の端をメインフッ トコントローラー下部のガイドに合わせ、 取付けネジで軽く固定します。



- ① サイドペダルのガイド
- ② 固定プレート
- ③ メインフットコントローラーのガイド

🖉 お知らせ・

- サイドペダルは、メインフットコントロー ラーの左右どちらにも取り付けることができ ます。
- メインフットコントローラーとサイドペダル は、固定プレートを取り付けずに使用するこ ともできます。

- メインフットコントローラーとサイドペダ ルの間隔を調整します。
 - * 間隔を調整する際は、固定プレートについている 目盛りを目安にしてください。



3 取付けネジをしっかりとしめ、メインフットコントローラーとサイドペダルを固定します。



🖉 お知らせ

メインフットコントローラーとサイドペダルの間隔を再調整するする場合は、取付けネジを少しゆるめてから、メインフットコントローラーとサイドペダルの位置を調整します。



	コントロール部分	設定できる機能
1	メインフットコント ローラー	スタート/ストップ
2	ヒールキックスイッ チ	以下のいずれかを選択 ・ [糸切り] ・ [糸切り]
3	サイドペダル	 [ゴエド] [1 針ぬい] [返しぬい] (模様によっては、止めぬい機能が 働きます。(P.54)) [止めぬい] [抑え上下] [指定なし]

🖉 お知らせ

- サイドペダルに[返しぬい]を設定すると、 ジグザグ模様を使ったつくろいぬい(ダーニ ング)が簡単にできます。メインフットコン トローラーを踏み続けながら、もう一方の足 でサイドペダルを踏んだり離したりを繰り返 し、ぬい進んだ分だけ返しぬいをすると、つ くろいぬい(ダーニング)ができあがります。 返しぬいのスピードは、メインフットコント ローラーを踏み込む量に応じて決まります。
- <mark>3</mark> [OK] を押します。
- 試しぬいをして、意図した設定になっていることを確認します。

縫製速度は、メインフットコントローラーを浅く踏む と遅く、深く踏み込むと速くなります。 メインフットコントローラーまたはサイドペダルを離 すと縫製が止まります。



🖉 お知らせ

- スピードコントロールレバーで、メインフットコントローラーの最高速度を調節することができます。
- マルチ機能フットコントローラーを接続して いる場合は、スタート/ストップスイッチで ぬい始めることはできません。

メインフットコントローラーのコー ドの長さを調節する

- メインフットコントローラーのコードをほどきます。
- コードをツメの間に通し、お好みの長さに なるまでコードを巻きます。
 - * コードは時計回りでも反時計回りでも巻くことが できます。



3 コードをツメの間に通します。



☆ お願い

 メインフットコントローラーでコードを踏ま ないように、コードはツメの間に通してくだ さい。

🖉 お知らせ

 コードを収納するときは、コードをツメの間 を通してから、プラグをメインフットコント ローラーのジャックに差し込みます。



返しぬい/止めぬいをする

ぬい始めとぬい終わりは、糸の端がほつれない ように、返しぬいまたは止めぬいをします。 (返しぬいスイッチ)を押している間、模様 によって返しぬいまたは止めぬいをします。

 ○(止めぬいスイッチ)を長押しすると、同じ
 場所で3~5針ぬってから止まります。(P.12)



スイッチを押したときのミシンの動きは、選択 している模様によって異なります。(P.55「返 しぬいスイッチまたは止めぬいスイッチを押し た場合のミシンの動き」の表を参照。)

🖉 お知らせ

文字・模様ぬいの場合に

 (止めぬいスイッチ)を押すと、模様の途中でスイッチが押されたときも、1模様がぬい終わったところで止めぬいがぬわれます。1模様がぬい終わるまでの間は、

 (止めぬいスイッチ)の右横にある緑のLEDライトが点灯します。止めぬいが終わると、LEDライトは消えます。

自動返しぬい/止めぬい

模様を選んだときに自動止めぬいを設定してお くと、ぬい始めとぬい終わりに自動的に止めぬ い(模様によっては返しぬい)をします。

模様を選択します。

2 ①を押して、自動止めぬいを設定します。



- → 表示が ∩ に変わります。
- 3 ぬい始めの位置に針をさして、スタート/ ストップスイッチを押します。



- ① 返しぬい (または止めぬい)
- → 自動的に返しぬい(または止めぬい)をして、縫 製を続けます。

🖉 お知らせ

• 縫製中にスタート/ストップスイッチを押す と、縫製を一時停止または再開できます。 4 ぬい終わりの位置まできたら、(∩)(返しぬ

いスイッチ)または**o**(止めぬいスイッ チ)を押します。



- ① 返しぬい (または止めぬい)
- → 自動的に返しぬい (または止めぬい) をして止ま ります。

🖉 お知らせ

■返しぬいスイッチまたは止めぬいス イッチを押した場合のミシンの動き

スイッチを押したときのミシンの動きは、選択し ている模様によって異なります。

	〔↓ (返しぬい スイッチ)	○ (止めぬい スイッチ)
自動返しぬい/止めぬ	ない機能がオフの場合。	
実用模様 1-01 1-01 1-03 1-09 1 1-09 1-	●を押している 間、返しぬいをし ます。	 を押している 間、3~5 針の止め ぬいをします。
実用模様 1 ⁻⁰² 1 ⁻¹⁰⁴ 1 ⁻¹¹⁰ 1 ⁻¹⁰ ↓ 1 ⁻¹⁰	●を押している間、返しぬいをします。*	 を押している 間、3~5 針の止め ぬいをします。
実用模様 直線/ジグザグ模様 以外	● を押している 間、3~5 針の止め ぬいをします。	 ● を押している 間、3~5 針の止め ぬいをします。
文字 模様ぬい	●を押している 間、3~5針の止め ぬいをします。	 を押している 間、3~5針の止め ぬいをします。 ぬい終わりに を押すと、ス イッチ横の LED が 点灯し、1 模様を完 成させてから3~5 針の止めぬいをし ます。

	〔↓ (返しぬい スイッチ)	○ (止めぬい スイッチ)		
自動返しぬい/止めぬい機能がオンの場合。				
実用模様 + ↑↑ 1-01 1-03 1-09 1 1 1-09 1 1 1-09 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ぬい始めにスター ト/ストップス イッチを押すと、 自動的に返しぬい をします。 ぬい終わりに ↓ を押すと、返 しぬいをします。	ぬい始めにスター ト/ストップス イッチを押すと、 自動的に返しぬい をします。 ぬい終わりに のを押すと、止 めぬいをします。		
実用模様 1-02 1-02 1-04 1-10 1-10 1-10 1-10 い い い い い い い い い い い い い	ぬい始めにスター ト/ストップス イッチを押すと、 自動的に止めぬい をします。 ぬい終わりに ↓ を押すと、返 しぬいをします。*	ぬい始めにスター ト/ストップス イッチを押すと、 自動的に止めぬい をします。 ぬい終わりに のを押すと、止 めぬいをします。		
<mark>実用模様</mark> 直線/ジグザグ模様 以外	ぬい始めにスター ト/ストップス イッチを押すと、 自動的に止めぬい をします。 ぬい終わりに ↓ を押すと、止 めぬいをします。	ぬい始めにスター ト/ストップス イッチを押すと、 自動的に止めぬい をします。 ぬい終わりに のを押すと、止 めぬいをします。		
文字 模様ぬい +	ぬい始めにスター ト/ストップス イッチを押すと、 自動的に止めぬい をします。 ぬい終わりに ← を押すと、止 めぬいをします。	ぬい始めにスター ト/ストップス イッチを押すと、 自動的に止めぬい をします。 ぬい終わりに のを押すと、ス イッチ横の LED が 点灯し、1 模様を完 成させてから3~5 針の止めぬいをし ます。		

* 設定画面で[止めぬい優先設定]をオン(P.20)にすると、返し ぬいの代わりに止めぬいをします。

自動糸切り

ぬい終わりに自動的に糸を切るように設定する ことができます。自動糸切りを設定すると、自 動返しぬい/止めぬいも有効になります。

模様を選択します。

2 🛛 🗷 を押して、自動糸切りを設定します。



🖉 お知らせ

- 自動糸切り機能をオフにするときは、もう一度 ※を押します。
- 3 ぬい始めの位置に針をさして、スタート/ ストップスイッチを押します。
 - → 自動的に返しぬい(または止めぬい)をしてぬい 始めます。
- 4 ぬい終わりの位置まできたら、(∩)(返しぬ

いスイッチ)または**○**(止めぬいスイッ チ)を1回押します。

ボタン穴かがりやかんどめなど、止めぬいが含まれて いる模様を選択したときは、この操作は必要ありませ ん。

→ 返しぬい(または止めぬい)を行った後、ミシン が停止し、糸を切ります。



自動押え上下機能

押えを自動的に上下させるように設定をするこ とで、よりスムーズにぬうことができます。 ▶ を押して、設定画面の[自動押え上下]を表示します。



- オンに設定した場合、スタート/ストップスイッ チを押すか、フットコントローラーを踏むと、押 えが上がっている場合は、自動的に押えを下げて ぬい始めます。
- ② オンに設定した場合、() (糸切りスイッチ)を押すと、押えが上がっている場合は、自動的に押えを下げて糸を切ります。糸切り後に押えが上がります。

自動押え上げ機能

針位置が↓ に設定されている場合、ピボット キーの代わりに自動上げキーが表示されます。 自動上げキーが → に設定されている場合、ミシ ンが止まると押えと針が自動的に上がります。



模様の先頭に戻る

ぬっている途中でミシンを停止したときに、模様を先頭に戻すことができます。この機能は、 試しぬいの後や、模様が正しくぬわれなかった ときに役立ちます。

縫製を再開する前に、 ■を押してから しょ を押 すと、 模様の先頭に戻ります。



文字/飾り模様を編集する

■いろいろな模様を組み合わせる 例:



1 を選択して+を押すと、表示が+にな ります。 2

((·	2	L	ô 🕈
	実用模様	文字 模様ぬい	K 11
	د بیل 7-01 ا	7-02 7-02 7-03 5-55 5-55 7-03 7-03 7-03 7-03 7-03 7-03 7-03 7-03	7-04 7-05 7-05 8-86 8-86 8-86 8-86 8-86 8-86 8-86 8-8

2 フォントを選択します。

7-01

100%	N+	АВ	AB	AB	АБ
(+)	***	***	<u> </u>	2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 1

3 タブを押して、文字の種類を選択します。

AB		B	AB	АБ
ABC	abc	0~9,.	&?!	ÂÄà
A	В	С	D	E

- 4 文字を入力します。
 - * スペースを入力するときは、__ を押します。



5 連続ぬいにしたいときは、 II を押してから



- ●を押すと、入力した最後の模様が削除されます。他の模様を削除するときは、へまたは ●を 押して模様を選択してから、●を押します。
- ② 組み合わせた模様の全体のイメージを表示することができます。
- 🖉 お知らせ
- ぬい終わったら、文字間の余分な糸を切り 取ってください。

■模様を挿入する

 ▲または ✓を押して、挿入したい箇所の 前にある模様を選択します。



2 挿入したい模様を選択します。



→ 1 で選択した模様の直後に新しく挿入されます。

■ 模様の大きさを変える

模様を選んでから<u>へ</u>または<u>〜</u>を押し、振 り幅とぬい目の長さを変えます。



① 全選択オン/オフキーを 📗 にしたときは、すべ ての模様のサイズを変更できます。



② 縦横比維持キーを ご にしたときは、縦横比を 維持しながらぬい模様のサイズを変更できます。



模様の設定

振り幅/ぬい目の長さ/[L/R シフト] を設定する

模様を選択すると、適切な模様設定が自動的に 選択されます。この設定は、必要に応じて変え ることができます。

☆ お願い

 振り幅または L/R シフトを調節した後は、 プーリーをゆっくりと手前(反時計回り)に 回し、針が押えに当たらないことを確認して ください。

🖉 お知らせ

- [リセット]を押すと設定が初期設定に戻ります。
- 設定を変更できない模様もあります。
- ・模様の設定を記憶しないで(P. 61)、ミシンの電源スイッチを切ったり、他の模様を選択すると、初期設定に戻ります。

■振り幅を調節する

<u>へ</u>または<u>、</u>を押して、振り幅を広げたり 狭くしたりします。



■ぬい目の長さを調節する

□ たは□ マ 〕を押して、あらく(長く)したり細く(短く)したりします。



 ぬい目がつまる場合は、ぬい目の長さをあらくしてく ださい。ぬい目がつまった状態でぬい続けると、針が 折れたり、曲がったりするおそれがあります。





こへ」または、「マ」を押して、模様を左右に動かして位置を変更します。

振り幅	長さ	L/Rシフト	糸調子	呼び出し
	<u> </u>	$ \land $	~	記憶
3.5 mm	1.4 m	0.00 mm	4.0 att 11	
\sim	\sim	\sim	\sim	リセット





■上糸が弱すぎる場合

上糸が布地の裏に出る場合は、上糸の糸調子が弱 すぎます。

① 上糸

「へ」を押すごとに、上糸が強くなります。



してください。(P. 40)

2 下糸 ③ 裹 ④ 上糸と下糸の重なりが 裏にできます。

実用ぬい設定を記憶する

反転、2本針、振り幅、ぬい目の長さ、L/R シフト、糸調子などの設定は、模様ごとに保存できます。

■ 模様の設定を記憶する

- 1 模様を選びます。
- 2 設定を変更します。



3 [記憶]を押します。



→ 設定が記憶され、自動的に元の画面に戻ります。

🖉 お知らせ・

- [リセット]を押した後に[記憶]を押すと、 選択した模様の記憶済みの設定が初期設定に 戻ります。
- 模様の設定がすでに5つ記憶されているときに、[記憶]を押すと、メッセージが表示されます。[OK]を押してメッセージを閉じ、
 P.61「記憶した設定を呼び出す」を参照して、[呼び出し]を押して設定を消去してください。再度[記憶]を押すと、設定が記憶されます。

- 記憶した設定を呼び出す
- 1 模様を選びます。
- 2 [呼び出し]を押します。
- 3 呼び出す設定の番号の付いたキーを押して、 [呼び出し]を押します。
 - * [閉じる]を押すと、設定を呼び出さずに元の画面 に戻ります。



- ① 番号の付いたキー
- → 選んだ設定が呼び出され、自動的に元の画面に戻 ります。

🖉 お知らせ

- [削除]を押すと、選択した番号の設定を消去 します。
- [全削除]を押すと、記憶されている設定をす べて削除できます。

メモリー機能を使う(文字 模様ぬい)

文字/飾り模様を保存する

よく使う模様を、ミシンのメモリーまたは USB メディアに保存できます。

1 □▶ を押します。



2 USB メディアに模様を保存する場合は、 USB メディアをミシンの USB ポートコネ クタに差し込みます。



① USB ポートコネクタ

- 3 保存先を選択し、保存します。
 - * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。



- ① ミシンのメモリーに保存します。
- USB メディアに保存します。 模様が [bPocket] という名前のフォルダーに保存 されます。

☆ お願い・

• [記憶中 …]の画面が表示されているときは、 電源スイッチを切らないでください。記憶さ れている模様データが消えるおそれがありま す。

☑ お知らせ

 ・ メモリー機能については、P. 269「仕様」を 参照してください。

模様を呼び出す

ミシンのメモリーまたは USB メディアに保存された模様を呼び出します。

- USB メディアから模様を呼び出す場合は、 USB メディアをミシンの USB ポートコネ クタに差し込みます。
 - * 対応しているファイル拡張子について詳しくは、 P. 269「仕様」を参照してください。
- 2 □を押して、保存先を押します。
 この例では、≪を押します。
 - * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。



- ① ミシンのメモリーから呼び出します。
- ② USB メディアから呼び出します。
- ③ 無線 LAN 経由で呼び出します。詳しくは、刺しゅう PRO (バージョン 11 以降)の取扱説明書を参照してください。



布地にガイドラインを映す

ガイドラインを設定する

ガイドライン機能で布地に映し出された線をた どると、縫製がしやすくなります。

1 「を押します。

([.	ō	\$?	L	÷	↑
	T	実用模様		文字 関様ぬい		1M

→ ガイドライン設定画面が表示されます。

2 ガイドライン設定を行います。

■メインライン



- ① ガイドライン機能のオン/オフを切り替えます。
- ② 設定を行うガイドラインを選択します。
- ③ ガイドラインマーカーの形状を十字、線または点から選択します。
- ④ メインラインの長さを選択します。
- ⑤ メインラインの色を選択します。
- ⑥ メインラインの位置を指定します。位置をリセットするときは、
 ▶ を押します。
- ⑦ 針位置の中心を基準としてメインラインの位置を 反転します。
- ⑧ ガイドライン設定を終了します。

■サブライン

🖉 お知らせ

- サブラインの位置はメインラインの位置が基準になります。メインラインとサブラインの間隔を変えずにガイドラインを動かしたいときは、メインラインの位置を変更してください。

🗆 サブライン 📋

直線のガイドラインが表示されます。



- ① サブラインの色を選択します。
- ② サブラインの位置(メインラインからの距離)を 指定します。



- *1 サブライン
- *² メインライン
- *3 [サブライン位置] (②) で指定した距離

ロ サプライン 🏢

格子状のラインが表示されます。



- ① サブラインの色を選択します。
- ② サブラインの格子の間隔を指定します。

ロ **サブライン** フ 角度のあるキリトピーフを#

角度のあるキルトピースをぬうためのガイドライ ンが表示されます。



- ① サブラインの色を選択します。
- ② サブラインの角度を指定します。(*3)

③ サブラインのぬいしろ幅を指定します。(*4)

キルトピースを中表でぬい合わせる(ぬい始め位 置ができあがり線の交点になる)場合



- *1 サブラインをキルトピースの端に合わせます。
- *2 メインラインの交点からぬい始めます。
- ^{*3} [角度] (②) で指定した角度
- ^{*4} [縫い代幅] (③) で指定した距離

🗆 サブライン 🔶

同心円が表示されます。



- ① サブラインの色を選択します。
- ② 同心円の位置(メインラインからの距離(*3))を 指定します。
- ③ 同心円の間隔(*4)を指定します。



- *1 サブライン
- *2 メインライン
- *3 [サブライン位置] (②) で指定した距離
- ^{*4} [間隔] (③) で指定した半径
- *5 半径が ③ で指定した長さの円
- *6 半径が ③ で指定した長さの 2 倍の円

ロ サブライン 🏢

3本格子を表示します。



- ① サブラインの色を選択します。
- ② 3本格子の位置(メインラインからの距離(*3)) を指定します。
- ③ 3本格子の間隔を指定します。



- *1 サブライン
- *² メインライン
- *3 [サブライン位置] ②)で指定した距離
- ^{*4} [間隔] (③) で指定した長さ

ガイドラインを使用したピーシング

- Q-01 [ピーシング直線(中基線)]を選択し、
 ▼●を押します。
- 2 画面に表示されている模様と[メイン]のガイ ドライン位置が合っていることを確認しま す。

🖉 お知らせ‐

・設定画面の[基線切り替え]が し に設定されている場合は、[メインライン位置]を3.50mmに設定し、ガイドラインを模様の中基線に合わせます。







3 [サブ]の[サブライン位置]を7 mmに設定します。

<u></u>	¢? 1	Ê A
	実用 ガイドライン	O
100%	メイン	サブ
	タイプ	
		• # 0FF
	色	選択
	サブライン位置	
	↔ 7.00	0 mm — 🕂 📎

- 4 [閉じる]を押します。
- 5 布端をサブラインに合わせ、布端から 7 mm をぬいます。
 - * 詳しくは、P.64「サブライン」を参照してください。



■ ボタン穴を横に並べる場合

- P. 66「ボタン穴を縦に並べる場合」の手順
 1~3に従ってください。
- 2 … を押して、ガイドラインの設定を行います。



- ガイドライン機能のオン/オフを切り替えます。 この機能をオンにすると、サブライン(*4、*5) もオンになり、メインライン(*1、*2)と共に映 し出されます。
- ② メインラインの色を選択します(*1、*2)。
- ③ ボタン穴を配置する方向を切り替えます。
- ④ ボタン穴の間隔を示すサブライン(*4)のオン/ オフを切り替えます。
- ⑤ サブライン (*4) の色を変更します。
- ⑥ ボタン穴の間隔(*3)を変更します。
 を押すと、間隔がリセットされます。
- ⑦ ボタン穴の下端から布端までの距離を示すサブラ イン(*5)のオン/オフを切り替えます。
- ⑧ サブラインの色 (*5) を変更します。
- ⑨ ボタン穴の下端から布端までの距離(*6)を変更します。
 ◎ を押すと、間隔がリセットされます。



- *1 ボタン穴の中心線(メインライン)
- *2 ボタン穴の長さ(メインライン)
- ^{*3} [間隔] (⑥) で指定したボタン穴の間隔
- *4 次にぬうボタン穴の中心線(サブライン)
- *5 布端 (サブライン)
- *6 [端からの距離](③)で指定したボタン穴の 下端から布端までの距離
- ^{*7} ボタン穴かがり押え< A+ >
- *8 これからぬうボタン穴の位置
- *9 ▲を押すと、選択したボタン穴かがり模様が 押えの横に投影されます。(P. 69)
- 3 [閉じる]を押します。



プロジェクターで模様を映す/編集

プロジェクター機能で選択した模様を布地に映 すことができます。

2 お知らせ

 本書に掲載されている映像のイラストはイ メージです。実際の映像とは異なる場合があ ります。

- 模様を選択します。
- ▲を押します。



- → 選択したぬい模様と調整キーが布地に映し出され
- デュアルタッチペンを操作したいキーの上 に置き、ボタンを押してライトを点灯させ
 - ミシンの内蔵力メラがデュアルタッチペンからの 光を検出すると、デュアルタッチペンでプロジェ クターを操作できます。



- プロジェクターをオフします。
- ② 別の模様を選択します。(P.69)
- ③ [背景色]の設定を変更します。
- ④糸色を変更します。
- ⑤振り幅を設定します。
- ⑥ ぬい目の長さを設定します。
- ⑦ [L/R シフト]を設定します。

☑ お知らせ

・ 設定画面で、投影時の背景色と実用模様のア ウトラインの設定を変更できます。 (P. 22)

実用: 模様のアウトライン	

■模様を選択する

デュアルタッチペンのボタンを押して、
 の上でライトを点灯させます。

🖉 お知らせ

- 模様が映し出されている間は、液晶画面で模様を選択することはできません。液晶画面から模様を選択するときは、画面の[キャンセル]を押してください。[キャンセル]を押すと、プロジェクターはオフになります。
- 2 、)の上でデュアルタッチペンのボタン
 を押し、模様を選択します。模様が表示されたら、
 の上でボタンを押します。



設定する模様

■ボタン穴かがり押えを使用する模様 を選択する場合

1 ボタン穴かがり模様を選びます。ボタン穴 かがり押えくA+>を取り付け、押えの台 皿を引き出し、ボタンを挿入します。

- * 詳しくは P. 85「ボタン穴かがり」を参照してく ださい。
- * かんどめまたはつくろいぬい模様を選択した場合 は、目盛りをぬいたい長さに合わせます。詳しく は、P.91「かんどめ」および P.91「ダーニング (つくろいぬい)」を参照してください。
- 2 ▲を押します。
 - → 選択したぬい模様と調整キーが布地に映し出され ます。

☑ お知らせ

- ボタン穴かがり押え<A+>の横に模様が映し出されます。
- 押えを下げると、調整キーは表示されなくなります。

- 3 (押え上下スイッチ)を押して、ボタン 穴かがり押えく A+ >を下げます。
 - → ボタン穴の長さが映し出された模様に反映されま す。

🖉 お知らせ

- ボタン穴かがり押え<A+>を下げると、ボ タン穴の長さが投影に反映されます。
- 4 必要に応じて、デュアルタッチペンを使っ て模様の設定を変更します。



- ① 映し出されたボタン穴かがり模様
- ② 振り幅を設定します。
- ③ ぬい目の長さを設定します。
- ④ ボタン穴の長さは映像に反映されます。

🖉 お知らせ

 ボタン穴かがり押えくA+>にボタンを入れ なくても、「」の順に押すと、[スリット] でボタン穴の長さを設定できるようになりま す。(P. 87)



ボタン穴の長さを[スリット]で設定すると きは下図のように調整キーが投影されます。



① ボタン穴の長さを設定します。

便利な機能

ピボット

ピボット機能を選択すると、ミシン停止時に針 が下がり、押えが自動的に上がります。ミシン を止めて布地を回転するときに便利です。

▲ 注意

ピボット設定が選択されている場合、スタート/ス トップスイッチを押したり、フットコントローラーを 踏み込むと、押えが上がっていてもミシンが作動しま す。事故を防ぐために、針の付近に手や物を近づけな いように注意してください。

🖉 お知らせ

・縫製を止めたときの押えの高さを変更することができます。
 を押して設定画面の[ピボット押え高さ]を表示し、高さを選択します。



- 1 模様を選びます。
- - * ピボット機能を使うときは、針位置を **+!** に設定 してください。



→ 表示が 🔱 に変わります。

🖉 お知らせ

- ・ 模様選択時に → が灰色で表示される場合は、 ピボット機能は使用できません。
- 3 布地をぬい始めの位置に合わせて、スター ト/ストップスイッチを押します。

- 4 方向を変える位置でスタート/ストップス イッチを押して、ミシンを止めます。
 - → 針が布地にささった状態でミシンが止まります。 このとき、押えは上がっています。
- 5 布地を回転して、スタート/ストップス イッチを押します。



→ 押えが自動的に下がり、ぬい始めます。

ニーリフターを使用する

ニーリフターを使うと、ひざで押えの上げ下げ ができ、両手が使え便利です。

 ニーリフターハンドルを少し上にスライド させ、使いやすい角度までニーリフターの ハンドルを回してください。






2 ニーリフターの先端の突起部をミシン本体 の前面にある差し込み口のミゾに合わせま す。ニーリフターを奥まで差し込みます。



重要

ニーリフターのハンドル部の角度変更は、ニーリフ
ターがミシンに取り付けられていないときに行ってく
ださい。ニーリフターを取り付けたまま角度変更した
場合、ミシン本体の前面にある差し込み口が破損する
おそれがあります。

🖉 お知らせ

- ニーリフターは差し込み口の奥までしっかり と差し込んでください。正しく差し込まれて いないと、使用中に外れることがあります。
- 3 押えを上げるときは、ニーリフターをひざ で右に押します。押えを下げるときは、 ニーリフターからひざを離します。



◇ お願い
 ・ 縫製中は、ニーリフターにひざが触れないように注意してください。

自動押え圧補正

縫製中、内蔵センサーが布地の厚さを自動検出 し、押え圧を自動補正します。そのため、布地 をスムーズに送ることができます。押え圧の補 正はぬっているあいだ続きます。厚地の布 (P.76)やキルト生地(P.109)をぬう場合、こ の機能は便利です。



1) 押え圧

ぬいながら振り幅を変更する

スピードコントロールレバーで振り幅を調節す ることにより、微妙に振り幅を変化させながら 模様をぬうことができます。この機能が設定さ れているときは、フットコントローラーを使用 してぬいます。

- フットコントローラーを取り付けます。 (P. 51)
- 2 を選択し、ジグザグ押えくJ>を取り付けます。
- 3 [長さ]の□▽□を押して、ぬい目を細かくします。

	^		記憶
3.50 mm	0.00 mm	4.0 utl	
		\sim	リセット

🖉 お知らせ‐

ぬい目の長さを 0.3 ~ 0.5 mm に設定すると、
 きれいなサテン模様になります(ぬい目の設定は、布地の種類や糸の太さによって異なります)。

2



画面で針位置を確認する

実際にぬう布地に模様を表示して、縫製のイ メージを画面で確認することができます。

1 模様を選択し、 を押します。

→ 選択した模様とセットされている布地が表示され ます。



① 画面に表示される糸色を変更します。

2 表示されたイメージまたは のを押します。



- カメラの映像を USB メディアに保存するときに押します。
 ミシンに USB メディアを差し込み、カメラの映像を保存します。(P. 11)
- ② 画面にグリッドを表示するときに押します。
- ③ 押えを下げてから、
 「を押すと針落ち位置が

「 ➡ 」で画面に表示されます。

- * 布地を動かすときは、一度押えを上げてから動かし、再度下げてください。
- ④ ウィンドウを閉じます。
- ⑤ Q を押すと、拡大表示されます。Q を押すと、
 元の表示サイズに戻ります。

🖉 お知らせ

- もう一度
 を押すと、カメラの映像は消えます。
- ぬい始めるとカメラの映像は表示されません。
- ・ 画面で表示される針落ち位置は実際に針が落ちる位置と異なることがあります。
 その場合は、カメラの針位置を設定を行うと問題が解決する場合があります。詳しくは、
 P.255「カメラ/プロジェクターの針位置調整」を参照してください。

針位置 - ぬい位置

☆を押してから、[針位置 - ぬい位置]をオンに 設定します。(P. 21)



[針位置 - ぬい位置]がオンになっている場合、 ぬい始めの針位置を確認できるように針が布地 の近くまで下がります。↓ (針上下スイッチ) を押すたびに針位置が変わります。



 送り歯が下がります。このとき、布地を動かして 針落ち位置を細かく合わせることができます。

ぬい終わり位置を設定する

☆ お願い -

- 実際に使用するものと同じ素材と模様を使用して、試しぬいをしてぬい上がりを確認してください。次のような場合、ミシンのぬい終わり位置がずれることがあります。
 ぬい終わり設定シールが緩んでいる。
 - 布地がまっすぐにぬわれていない。
 - 送り時に布地を強く押しすぎた。
 - 厚地、キルティング生地、のびる布地、薄 地など、ぬいにくい布地を使用した。

1 模様を選びます。

2 を押して、設定画面の [ぬい終わり位置設定一時停止]がオフになっていることを確認し、[OK]を押します。



3 ▼を押して、[ガイドライン]をオンに設定します。選択した模様に合わせて、[メインライン位置]を設定します。その後、[閉じる]を押します。

(()	Ó	\$?		Ĥ	A
		実用;	ガイドラ	イン		
100%	N+		XI	`ン	ታ	ブ
+	2 10	Ŧ	形状		+	

🖉 お知らせ

- [サブ]に () を選択すると格子状のラインが 表示されます。
- 4 図を押します。

(()	Ō	\$?	Ĥ	<u>↑</u>
	T	実用模様	文字 模様ぬい	6	11

5 👍 を押します。



🖉 お知らせ

- ・ が灰色で表示され、選択できない場合
 は、選択した模様のぬい終わり位置を設定で
 きません。別の模様を選択してください。
- この機能の使用時は、自動止めぬい機能と自動糸切り機能は使用できません。
- 6 <u>そ</u>を押して、模様のぬい終わりを設 定します。

選択後に[閉じる]を押します。



(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	模様の長さが調整され、設定したぬい終 わり位置で縫製が止まり、模様が完成し ます。 このキーが灰色で表示され使用できない 場合、この機能は使えません。この調整 によって、模様が縦方向に少し伸縮して ぬわれることがあります。	
E C C C C C C C C C C C C C C C C C C C	ぬい終わりは調整されません。ぬい終わ りの位置に達すると、模様が完成してい なくても、縫製は直ちに停止します。	(m) (m)

🖉 お知らせ

- [ぬい終わり位置設定]をオンに設定すると、 模様はプロジェクターで映せません。
- [ぬい終わり位置設定]をキャンセルするとき は、[ぬい終わり位置設定]をオフにしてから [閉じる]を押します。

- 7 チャコペンで布地に模様をぬう線(できあ がり線)とぬい終わりの線を引きます。
- 8 ぬう範囲を避けてぬい終わり設定シールを 貼ります。チャコペンで引いたぬい終わり 位置の左右4cm以内にぬい終わり設定シー ルを貼ります。



1) 4 cm

🖉 お知らせ

- ぬい終わり位置の左右どちらにも貼れる場合 は、左側に貼ることをお勧めします。
- ぬい終わり設定シールはできるだけぬい終わり位置の近くに貼ることをお勧めします。
- ぬう範囲を避けてぬい終わり設定シールを貼 れない場合は、P.75「一時停止設定」を参照 してください。
- ・針下の水平ガイドラインは、ぬい終わり設定 シールを貼ることができる範囲を示していま す。



① 4 cm

- ② ガイドライン
- 9 布地をミシンにセットし、押えを下げます。

☆ お願い ·

ぬう前に、ぬい終わり設定シールがはがれていないことを確認してください。また、ぬい終わり設定シールが手で覆われていないことを確認してください。ミシンがぬい終わり設定シールを検知できなくなります。

10 スタート/ストップスイッチを押して、ぬい始めます。フットコントローラーを接続している場合は、フットコントローラーを 踏み込みます。 ぬい目がまっすぐになるように、布地を ゆっくりと送ります。

☆ お願い

- チャコペンで引いた線とガイドラインが合っていることを確認しながら、布を傾けないようにまっすぐにぬってください。
- 無理に布地を送らないでください。ミシンが 設定したとおりに停止できなくなることがあ ります。
- → ミシンは設定したぬい終わり位置で自動的に停止 します。

🖉 お知らせ

• 6 で <u></u>

・ 6 で <u></u>

・ 6 で <u></u>

こ設定したときに、模様が調整

できなかった場合は、次のメッセージが表示

されます。[ぬい終わり位置設定]をキャンセ

ルして、別の模様を選択するか、模様の長さ

を変更します。



11 ぬい終わり設定シールをはがします。

■一時停止設定

ぬう範囲を避けてぬい終わり設定シールを貼るこ とができない場合は、縫製を一時停止する設定に 変更することで、ぬい終わり設定シールに近づく とステッカーをはがせるようにすることができま す。

- 1 模様を選びます。
- 2 ●を押して、設定画面の [ぬい終わり位置設 定一時停止]をオンに設定し、[OK]を押し ます。

÷	ぬい終わり位置設定 一時停止	O
---	-------------------	---

P. 73「ぬい終わり位置を設定する」の手順
 3~6を行います。

4 チャコペンで布地に模様をぬう線(できあがり線)とぬい終わりの線を引き、ぬい終わり設定シールを貼ります。



- 5 P. 73「ぬい終わり位置を設定する」の手順
 9~10を行います。
 - → 針がシールに近づくとミシンが停止し、次のメッ セージが表示されます。
- 6 ぬい終わり設定シールをはがし、[OK] を押します。

ぬい終わり設定シールをはがして、縫製を続け い。	てくださ
	ок

7 もう一度スタート/ストップスイッチを押します。 フットコントローラーを接続している場合は、フットコントローラーを踏み込みます。 → 模様をぬい終わると、ミシンは停止します。

上手にぬうコツ

ぬい方のコツ

■ カーブをぬう

ぬい目を布端と平行になるように、ミシンを止め て少しずつ布地の向きを変えながらぬいます。



ぬい目の長さを少し短めに設定すると、きれいな ぬい目ができます。ぬい目が布端と平行になるよ うに少しずつ布地の向きを変えながら、ゆっくり とぬいます。

■ ぬい方向を変える

方向を変える位置でミシンを止めます。針を布に 刺したまま、 (押え上下スイッチ)を押して押 えを上げます。針を軸にして布地を回し、ぬい方 向を変えます。 (押え上下スイッチ)を押し て、押えを下げてぬいます。



ぬい方向を変えるときは、ピボット機能を有効に しておくと便利です。 (P. 70)

■ 筒ものをぬう

補助テーブルを取り外すと、フリーアームでぬう ことができ、袖口やズボンの裾など、筒状のもの をぬいやすくなります。



いろいろな布地をぬう

☆ お願い -

• P. 32「布地と糸の種類による針の使い分け」 を参照して、作品で使用するものと同じ布地 に試しぬいをしてください。布地の枚数や模 様に合わせて糸調子や振り幅、ぬい目の長さ を調節しながら、仕上がりを確認してください。

■ 厚い布地をぬう





 無理に布地を押し込まないでください。針が折れけが をするおそれがあります。

🖉 お知らせ

 厚い布地ほど太い針を使用してください。 (P. 32)

□ 押えの下に布地が入らない場合

布地が押えの下にスムーズに入らない場合は、2 つの方法を試してください。 方法1:押えの高さを設定画面で変更する。 (P.20) 方法2:押えレバーをさらに押し上げて、押えも う一段上げて、布地を押えの下に入れる。

🖉 お知らせ‐

(押え上下スイッチ)を押して押えを上げた後は、押えレバーは使用できません。

□ 布地が送られない場合

デニムやキルト生地のような厚い布地をぬう場合、押えが水平でないとぬい始めに布地が送れないことがあります。この場合、ジグザグ押えくJ>の押え固定ピン(左側の黒いスイッチ)を使って押えを水平に保ちながらぬうことで、布送りがスムーズになります。

押えのずれが大きい場合は、押えのかかとの下に 厚紙や布地(ぬう布地と同じ厚さのもの)を敷く とスムーズにぬい始められます。



- ゆ
 ゆ
 ゆ
 う
 た
 ゆ
 ゆ
 う
 た
 ゆ
 ゆ
 う
 た
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
 ゆ
- ② ずれ
- ③ ぬう布地
- ④ 布地または厚紙
- 1 押えを上げます。
- ジグザグ押え<J>の左側にある黒いボタン を押したまま、(」)(押え上下スイッチ)を 押して押えを下げます。



3 ボタンから手を離します。



→ 押えが水平になり、布が送られます。ぬい進める と押えはもとに戻ります。

🖉 お知らせ

・設定画面で自動押え圧補正をオンにすると、センサーが布地の厚さを自動的に読み取ります。スムーズに布送りができ、きれいに仕上げることができます。(P.71)

■ 薄い布地をぬう

アイロンスプレーのりを使ってアイロンをかけた り、布地の下にハトロン紙などの薄い紙、または 刺しゅう用の芯をしいてぬうと、ぬいやすくなり ます。紙や芯をしく場合は、ぬい終わった後にて いねいに取り除きます。



① ハトロン紙など

■ 伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らないようにぬいます。ぬい目がずれている場合は、不織 布の水溶性シートを布地の下に敷き、ぬい合わせ ます。

また、ニット用の糸を使用したり伸縮ぬいを使用 すると、きれいにぬうことができます。

🖉 お知らせ

 伸びる布地は、押え圧を弱くするときれいに 仕上がります。



① しつけ

■皮革またはビニール生地をぬう

皮革やビニール生地など、押えに貼りつきやすい 布地をぬう場合は、押えをデュアルフィードに交 換してください。 (P. 47)

皮革やビニール生地が補助テーブルに貼りつく場合は、コピー用紙やトレーシングペーパーを補助 テーブルの上に置いてぬうと、布地がスムーズに 動きます。

針板にかからないように紙を置くと、紙は布と一 緒にぬわれません。



① コピー用紙またはトレーシングペーパー

■ 面ファスナー(マジックテープ[®]) をぬう

▲ 注意

• 面ファスナーを細い針(9~11番)でぬうと、針が折 れてけがをするおそれがあります。



 ・ 面ファスナーは、のりが付いていない縫製用のものを 使用してください。のりが針やかまに付着すると、故 障の原因となります。

☆ お願い ・

 ミシンでぬう前に、しつけをして面ファス ナーと布地をぬい合わせておいてください。

プーリーを手で回して面ファスナーに針を刺し、 針がスムーズに通ることを確認します。面ファス ナーの端を低速でぬいます。 針が通らない場合は、厚地用の針に交換してくだ さい。(P.32)



① 面ファスナーの端

文字/飾り模様をぬう

次の表で、布地/針/糸の適切な組み合わせを ご確認ください。

布地	伸びる布地、薄地、織りのあらい布地は、裏面に 別売の接着芯を貼ってください。接着芯を貼りた くないときは、ハトロン紙などの薄い紙を布地の 下に敷いてぬってください。
	2
	① 布地
	 2 接着芯
	③ 薄い紙
糸	50 ~ 60 番
針	薄地、普通地、のびる布地:ニット用針(金)11 番 厚地:家庭用ミシン針(HA × 1)14 番
押え	模様ぬい押えく N+ > 他の押えを使用すると、きれいに仕上がらないこ とがあります。

第3章 いろいろなぬい方

実用模様

▲ 注意

 押えを交換するときは、必ず を押して、すべての キーと操作スイッチをロックしてください。ロックされていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。押えの交換について詳しくは、 P.46「押えを交換する」を参照してください。

直線ぬい

1 模様を選びます。

* 模様について詳しくは、P. 271「ぬい方早見表」 を参照してください。

2 縫製します。

- * 詳しくは P. 49「基本のぬい方」を参照してくだ さい。
- * 必要に応じて、ぬい始めとぬい終わりに返しぬい または止めぬいをします。 (P. 53)

■ 針位置を変更する

直線ぬいの場合は、[L/R シフト]の□ ✓ 〕または □ ^ 〕を押して針位置を左右に移動させることが できます。押えの右端から針までの距離を L/R シ フトで合わせ、押えの端を布端に合わせながらぬ うときれいな仕上がりになります。



① L/Rシフト

振り幅	長さ	L/Rシフト	糸調子	呼び出し
^			^	記憶
mm	2.5 ⊓	0.00 mm	4.0 utl	
\sim	\sim		\sim	リセット



🖉 お知らせ

- L/R シフト機能を使用する場合、Q-01の模様 は使用できません。
- ・設定画面の[振り幅コントロール]がオンに 設定されている場合、直線ぬいの針位置をス ピードコントロールレバーで変更できます。 フットコントローラーでミシンを操作してく ださい。



- ① 模様を左に動かします。
- ② 模様を右に動かします。



Q

(6)



- 直線押えは必ず直線針板と組み合わせて使用してくだ • さい。針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 1 ミシンの電源を切ってから、針板を外しま す。
 - * 詳しくは、P. 253「かまの掃除」の手順1~6 を参照してください。



①手前に引きます。

→ 針板が開きます。

直線針板の出っ張り部をミシンのミゾに入 2 れます。



① 出っ張り部 ② ミゾ 3 丸い穴



① ぬい目 ② 押え

⑥約16mm

③ センチ目盛り

□ 中基線の模様の場合 (L/R シフト: 3.50 mm)



- ① ぬい目
- ② 押え
- ③ インチ目盛り
- ④ 針板ふた (マーク付)
- ⑤約16mm



- 4 必要に応じて、補助テーブルを取り付けます。
- 5 針と直線押えを取り付けます。(P. 34、 P. 46)
- 6 直線ぬいの模様を選択します。

🖉 お知らせ

- ・直線針板がミシンに取り付けられている場合
 は、直線針板でぬえる模様のみ選択できます。
- 直線針板がミシンに取り付けられている場合は、針が自動的に中基線に移動します。

☆ お願い

 ぬう前に、プーリーをゆっくりと手前(反時 計回り)に回し、針が直線押えと直線針板に 当たらないことを確認してください。

7 縫製します。

* ぬい終わった後は、必ずミシンの電源を切り、直 線針板と直線押えを取り外してください。標準針 板とジグザグ押えくJ>を再度取り付けてください。

☑ お知らせ

押えの目盛りをガイドとして使うこともできます。



- ① 2.25 mm
- ② 4.25 mm
- ③ 6.25 mm
- ④ 8.5 mm

ジグザグぬい

ジグザグぬいは、たち目かがり(P.82)やアッ プリケ(P.105)、パッチワークなどいろいろな 用途に使えて便利です。模様について詳しくは、 P.271「ぬい方早見表」を参照してください。



■コードガイドふたを使用する

- 1 ミシンから針板ふたを外します。(P.38)
- 図のように、コードガイドふたの穴に芯ひ もを通します。



① ミゾ

② 芯ひも

- 3 コードガイドふたを取り付け、芯ひもがス ムーズに送られることを確認します。
- 4 ジグザグの振り幅を2.0 mm~2.5 mmに設定 します。
- 5 模様ぬい押え< N+ >を取り付けます。
- 6 芯ひもを、押えの下にくるようにミシンの 後ろ側へ引き出します。その上に布地の表 面を上にして置きます。







布端から約5mmのところにチャコペンで印 をつけ、しつけをします。

2

2

3

(4)

1

1

1) 7 $\overline{7}$ (6)

*2

6

4

3

5 布端を開いて裏返します。



- ① 布地の裏
- ② 布地の表
- ③ 布端
- ④ できあがり線
- ⑤ しつけの位置
- ⑥ しつけ
 - *1 厚い布地
 - *2 普通地
- 6 まつりぬい押え < R > を取り付けます。



7 模様を選びます。



- 8 補助テーブルを取り外し、フリーアームが 使えるようにします。
- 9 フリーアームに布地を入れ、布地が正しく 送られることを確認します。





10 押えのガイドと布地の折り山が合うように 布地をセットし、押えを下げます。



- ① 布地の裏
 ② 折り山
- ③ ガイド
- 11 プーリーをゆっくりと手前に回し、針が折 り山に少しかかっていることを確認します。



① 針落ち位置

針落ち位置を変更するときは、針を上げてから振り幅 を変更します。(振り幅はミリ単位やインチ単位で設 定することはできません。)

振り幅	長さ	L/Rシフト	糸調子
	~		
00	2.0 mm	-,- mm	4.0 mi
	\sim	\sim	\sim



- 厚い布地
- ② 普通地
- ③ 針が折り山のほうにかかりすぎている場合は、針落ち位置を右に移動させます。
- ④ 針が折り山にかかっていない場合は、針落ち位置 を左に移動させます。

🖉 お知らせ -

 ・ 左側の針落ち位置が折り山にかかっていない と、まつりぬいをすることができません。針 が折り山のほうにかかりすぎると、折りを広 げることができず布地の表側にぬい目が大き く出て、きれいに仕上がりません。

- * ぬい始めと終わりに止めぬいをすることをお勧め します。
- 13 ぬい終わったらスタート/ストップスイッ チを押してミシンを止め、針と押えを上げ て、押えの下にある布地をミシンの後ろに 引いて取り出します。

重要

- ぬい終わった後は、布地を後ろに引いてください。前 方向や横方向に布地を引っ張ると押えが破損するおそ れがあります。
- 14 しつけをほどき、布地を表に返します。



① 布地の裏

② 布地の表

ボタン穴かがり

☆ **お願い** -

- ボタン穴かがり模様とガイドラインをプロ ジェクターで映すことができます。詳しくは 以下を参照してください。
 - P. 68「プロジェクターで模様を映す/編集 する」
- P.66「ボタン穴のガイドライン」

ボタンの大きさに合ったボタン穴かがりができます。

ボタン穴かがりは、図のように押えの手前から 後ろに向かってぬいます。

🖉 お知らせ‐

• 模様について詳しくは、P. 271「ぬい方早見 表」を参照してください。



① 止めぬい



ボタン穴かがり押え<A+>の取り付けおよび取り外しの際、押えに過度の力を加えないでください。押えが破損する可能性があります。また、ボタン穴かがり押え<A+>を着脱するときは、針に当たらないように注意してください。

☆ お願い

- 押えを取り付ける前に、ボビンに糸が十分あることを確認してください。
- P.32「布地と糸の種類による針の使い分け」 を参照して、作品で使用されているものと同 じ布地に試しぬいをしてください。
- 内蔵カメラはボタン穴かがり押え< A+ >の 位置を検出します。カメラに触れないでくだ さい。(P. 11「各部の名称」参照)
- ボタン穴かがり押えくA+>からくA+>の シールを剥がしたり、上糸などをシールの上 にのせたりしないでください。カメラが押え を検出できなかったり、ボタン穴がぬえな かったりすることがあります。
- のびる布地をぬうときなど、布地が正しく送られない場合は、安定板を取り付けてください。(P.88)
- 2 布地にボタンの穴の位置と長さのしるしを つけます。



- ① 布地上のしるし
- ② できあがりのボタン穴かがり

🛛 お知らせ -

 ボタン穴の長さは最大で約47mm(ボタンの 直径+厚み)です。 3 押えの台皿を引き出し、ボタン穴に通すボ タンをのせます。ボタンにすき間がないよ うに台皿を戻します。



① 台皿

🖉 お知らせ

- 台皿に入れたボタンの大きさによって、ボタン穴かがりの大きさが決まります。ボタンが 台皿に収まらない場合は、P.87を参照して ください。
- 4 布地につけたしるしと押えのしるしを合わ せ、押えを下げます。



① 布地のしるし

② 押えのしるし

☆ お願い

押えを下げた後、①にすき間がないことを確認してください。





押えスケールの長い印の間隔は5mmです。



- ① 押えスケール
- ② 台皿

③ でき上がり寸法 (ボタンの直径+厚み)

④ 5 mm

例:直径 15 mm、厚さ 10 mm のボタンの場合、 スケールを 25 mm に合わせます。



- ① 10 mm
- ② 15 mm

□ ボタン穴の長さを調節する

台皿の目盛りを合わせる代わりに、でき上がり寸 法を画面で設定することもできます。



🖉 お知らせ

プロジェクターを起動し、デュアルタッチペンでボタン穴の長さを調節することもできます。(P.68)

■ 布地が正しく送られない

布地が送られないときは、ぬい目をあらくしてく ださい。

厚い布地やのびる布地をぬう場合など、ぬい目を あらくしても布地が正しく送られない場合は、安 定板を取り付け、安定板とボタン穴かがり押え < A+ >の間で布地を送ります。はじめに、安定 板を押えに取り付けてから、押えを押えホルダー に取り付けてください。



■ 厚い布地をぬう

布または紙を折りたたんだものを布地の横に置い て、ボタン穴かがり押えが水平になるようにする と、安定して布を送ることができます。



- ① 押え
- 2 厚紙
- ③ 布地

■ 伸びる布地をぬう

伸びる布地にボタン穴かがりをするときは、ボタ ン穴かがりに芯ひもを入れてください。

🖞 お願い -

- ・ 布地の裏に接着芯を貼って、布地が伸びない ようにしてください。
- 1 ボタン穴かがり押え < A+ >の後部のつのに 芯ひもをひっかけます。芯ひもの端を押え のミゾにはさんで仮結びします。



① 芯ひも
 ② 上糸

2 模様を選択してぬいます。



🖉 お知らせ

- 振り幅を芯ひもの太さに合わせて調整します。
- 3 ぬい終わったら、芯ひもを軽く引いてぴん と張り、余分な部分を切り落とします。



いろいろなぬい方



ボタンつけ

このミシンでは、2つ穴または4つ穴のボタン つけができます。

ボタンつけをするときは自動糸切り機能を使用しないでください。糸の始末ができなくなります。

1

4-23

- ⊖ を選択します。
- → 自動的に送り歯が下がります。
- 2 押えを上げます。
- 3 ボタン付け押え<M>を取り付け、ボタン を金属板に沿って押えにはさんで、押えを 下げます。



- ① ボタン
- ② 金属板
- 4 プーリーを手前(反時計回り)に回し、針 が正しく左右のボタン穴に入ることを確か めます。



- ボタンの穴をボタン付け押え<M>の印に合わせます。
- * 針が穴に入らない場合は、模様の振り幅を調節し てください。
- 5 上糸の端を軽く持ってぬいます。
 - → ぬい終わるとミシンは自動的に止まります。
 - * ボタンつけの操作を2回繰り返すと、ボタンが しっかり付きます。

重要

ぬうときには、ボタンに針が当たらないように注意してください。

6 裏から下糸の端を引っ張って上糸を引き出します。2本の糸の端を結び、余分な糸を切ります。



■4 つ穴ボタンをつけるときは

手前の2つの穴からボタンつけをします。ぬい終わったら押えを上げ、針が次の2つ穴に入るように布を移動し、同様にぬいます。



- ■ボタン足をつけるときは
 - ゆう前に、足レバーを手前に押します。



① 足レバー

ぬい終わったら、上糸を長めに切り、ボタンと布地の間に巻きつけ、ぬい始めの上糸と結びます。



- 3 ぬい始めとぬい終わりの下糸の両端を布地の裏側で結びます。
- 4 余分な糸を切ります。



かんどめは、ポケットロなど、力のかかる部分 を補強するときに使います。 4-22 を選びます。 ボタン穴かがり押えく A+>を取り付け、目 盛りをかんどめの長さに合わせます。 ボタン穴かがり押え< A+ >を取り付ける前に、上糸 は押えの穴から押えの下に通しておきます。 5 (T WWWWWWWWW A+3 2 ① 押えスケール ② できあがり寸法 ③ 5 mm □ お知らせ • ボタン穴かがり押えでかんどめの長さを設定 する代わりに、画面上で設定できます。 (P. 87) ポケットロが手前にくるように布地を置き ます。 ・ 押えを下げた後、① にすき間がないことを確 認してください。 1 (1)

かんどめ

1

2

3

4 最初の針落ち位置を確認して押えを下げま す。



① 2 mm

上糸の端を軽く引っ張ってぬいます。

→ ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まりま す。

☑ お知らせ

• 布地が送られないとき(たとえば、布地が厚 すぎるとき)は、P.88「厚い布地をぬう」を 参照してください。

ダーニング(つくろいぬい)

ダーニングは補修などに使います。 ダーニングぬいは、下図のように押えの手前か ら後ろに向かってぬいます。



① 止めぬい

模様を選び、ボタン穴かがり押えくA+>を 取り付けます。

ボタン穴かがり押え<A+>を取り付ける前に、上糸 は押えの穴から押えの下に通しておきます。



 押えスケールの目盛りを、つくろいぬいの 長さに合わせます。



- ① 押えスケール
- ② できあがり寸法
- ③ 7 mm 幅
- ④ 5 mm

🖉 お知らせ

- ボタン穴かがり押えでつくろいぬいの長さを 設定する代わりに、画面上で設定できます。 (P. 87)
- 3 つくろいぬいを始める位置に針が落ちることを確認して、上糸を押えの下に送り、押えを下げます。



☆ お願い

・押えを下げた後、①にすき間がないことを確認してください。



- 4 上糸の端を軽く引っ張って、スタート/ス トップスイッチを押し、ぬいます。
 - → ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

アイレット(はとめ穴)

アイレットはベルトの穴かがりなどに使います。

1 o または * を選択します。

4-24

2 • を選択する場合は、振り幅またはぬい

目の長さを調節して、アイレットの大きさ を選びます。(P.59)

3 模様ぬい押えくN+>を取り付け、プーリー を手前(反時計回り)に回して針落ち位置 を確認します。



 ① 針落ち位置

- 4 押えを下げてぬいます。
 - → ぬい終わると、自動的に止めぬいをして止まります。

☆ お願い -

- きれいに仕上がらない場合は、P. 103「模様 を調整する」を参照して調節を行ってください。
- 5 はとめ穴パンチでぬい模様の中央に穴をあ けます。



しつけぬい

- 1 を選択し、ジグザグ押え<J>を取り付けます。
- 2 ぬう前に、下糸を引き上げて上糸と合わせ、 ミシンの後方へ引き出します。(P.39)
 - * ぬい目をきれいにするために、両方の糸端を持っ たままぬい始めてください。
- 3 必要に応じて、(∩)(返しぬいスイッチ)ま

たは(o)(止めぬいスイッチ)を押し続けて 止めぬいを4針ぬいます。その後、スター ト/ストップスイッチを押して縫製を続け ます。

4 布地をまっすぐに保ちながらぬいます。



- 5 必要に応じて、ぬい終わりに止めぬいをします。
- ■ステッチレギュレーターを使ったし つけぬい

ステッチレギュレーターを使用すると、設定した ぬい目の長さでフリーモーションしつけぬいがで きます。詳しくは、P.112「ステッチレギュレー ターを使って、フリーモーションキルト/しつけ ぬいをする」を参照してください。

■ フリーモーションしつけぬい

送り歯をさげることにより、布地を自由に動かし ながらしつけをぬうことができます。

- 1 「を押してから」を選択します。
 - → 押えがフリーモーションぬいに必要な高さに上が り、送り歯が下がります。
- 2 必要に応じて、(∩)(返しぬいスイッチ)または

 ○(止めぬいスイッチ)を押したままで、止めぬいを4針行います。

3 スタート/ストップスイッチを押して、ぬいます。針が上がっている間に、布地を次のぬい位置にスライドさせ、1 針ぬいます。この操作を繰り返します。

🖉 お知らせ

- マルチ機能フットコントローラーのサイドペダルが [1 針ぬい] に設定すると、サイドペダルを使用して1 針ぬいのしつけができます。 (P. 51)
- 4 必要に応じて、ぬい終わりに止めぬいをします。

ファスナーつけ

■ つき合わせ

袋物などに使います。



- ☆ お願い ──
- ・必ず直線(中基線)を選んでください。
- 2 ジグザグ押えくJ>を取り付け、あき止まり まで直線でぬいます。あきの部分はしつけ ぬい(P.93)をかけます。



- ① しつけぬい
 ② 返しぬい
- ③ あき止まり
- ④ のと並び /④ 布地の裏
- 3 ぬいしろを割り、図のようにぬい目とファ スナーの中央を合わせ、しつけぬいでファ スナーを付けます。



- ② ファスナー
- ③ 布地の裏

 ジグザグ押えくJ>を外します。片押えくI
 >の右側のピンを押えホルダーに合わせて 取り付けます。



- ① 右側
- 2 左側
- ③ 針落ち位置
 - な お願い
- ・片押えくI>を使用するときは、必ず直線 (中基線)を使用してください。プーリーを手 前(反時計周り)に回し、針が押えに当たら ないことを確認してください。
- 5 表を上にして7~10mmのぬいしろでぬい、 ぬい終わったらしつけを外します。



▲ 注意

 ぬうときには、ファスナーに針が当たらないように注 意してください。針が折れて、けがをするおそれがあ ります。

■ 脇あき

1

スカートやワンピースの脇あきに使います。

- を選択します。
 - ☆ お願い

・ 必ず直線(中基線)を選んでください。

 ジグザグ押えくJ>を取り付け、あき止まり まで直線でぬいます。あきの部分はしつけ ぬいをします。



- ① 返しぬい
- ② 布地の裏
- ③ しつけぬい
- ④ あき止まり
- 3 ぬいしろを割り、後ろスカート(後ろ身頃) のぬいしろを3mm出して折り山をファス ナーのムシのきわに合わせます。



- ① スライダー
- ⑦ 布地の裏
- ③ ムシ
- ④ あき止まり
- ⑤ 3 mm
- 4 ジグザグ押えくJ>を外します。
- 5 片押えく1>の右側のピンを押えホルダーに 合わせて取り付けます。



- ① 右側
- ② 左側
- ③ 針落ち位置

☆ お願い・

- ・ 片押えくI>を使用するときは、必ず直線 (中基線)を使用してください。プーリーを手 前(反時計周り)に回し、針が押えに当たら ないことを確認してください。
- 3mm のぬいしろの中心に針が落ちるように 布を置きます。

- 7 あき止まりからぬい始め、布の先端から 5 cm ほどのところまでぬい、ミシンを止め ます。
- 8 スライダーを下げ、端までぬいます。



- ① 約5cm
- ② 3 mm



9 ファスナーを閉じて表に返し、しつけぬい をします。



- ① スカートの前身頃 (裏)
- ② しつけぬい
- ③ スカートの前身頃 (表)
- ④ スカートの後身頃(表)
- **10** 押えを外し、押えの左側のピンを押えホル ダーに合わせて付け替えます。
 - * ファスナーの左側をぬうときには、針の位置は押 えの右側に落ちるようにします。ファスナーの右 側をぬうときには、針の位置は押えの左側に落ち るようにします。



- ① 右側
- 2 左側
- 11 押えの左端に、ファスナーのムシがくるように布を置きます。
- 12 ファスナーの端まで返しぬいをし、ぬい続 けます。

- 13 布端から5cm ほど手前までぬい、ミシンを 止めます。針を布地に落としたまま、しつ けを外します。
- 14 ファスナーを開け、端までぬいます。



- ① しつけぬい
- ② 返しぬい
- ③ 7 mm \sim 10 mm
- ④ 約5cm

テーパリング機能

模様のぬい始めとぬい終わりの角度を変えるこ とができます。これは、鋭角の図形をぬうとき や飾りぬい、アップリケの固定などに便利です。



用途に応じて、ぬい終わる方法を選びます。

- P.96「方法1:返しぬいスイッチを押してぬい終わりの角度を変える」
- P.98「方法2:指定した数の模様をぬう」
- P.98「方法3:ぬい終わり設定シールでぬい 終わり位置を設定する」

☆ お願い

- 実際に使用するものと同じ素材と模様を使用して、試しぬいをしてぬい上がりを確認してください。必要に応じて、布に接着芯を貼ってください。
- ぬい始めとぬい終わりに止めぬいが必要な場合は、
 し、
 し、

テーパリング機能がオンの場合、(♪)(返しぬい スイッチ)を止めぬいに使用することはできま せん。

- ■方法1:返しぬいスイッチを押して ぬい終わりの角度を変える
- [実用模様]を選択してから
 ▶ を押し、テーパリングの模様を選択します。



- 2 必要に応じて、振り幅とぬい目の長さを変 更します。
- 3 Mを押してから アを押します。





- ① ぬい始めまたはぬい終わりを選択します。
- ② 角度を選択します。
- ③ 角度を変えないように設定します。

5 終了スタイルを選択します。この例では、

(返しぬいスイッチ)を押したときにぬい終わりの角度変更を開始するために、 ふを選択します。



- (返しぬいスイッチ)を押すとぬい終わりの 角度が変わり始め、ぬい終わるとミシンが停止し ます。
- ② 指定した数の模様がぬい終わるとミシンが停止します。指定した模様の数には、角度を変えるために使用する模様の数も含まれます。(P.98)
- ③ ぬい終わり設定シールを貼った位置でミシンが停止します。(P.98)
- 必要に応じて、ぬう位置にチャコペンで線 を引きます。

- 7 縫製を開始します。
- 8 必要な長さをぬったら、(i→)(返しぬいス イッチ)を押します。
 - → (返しぬいスイッチ)を押すと、ぬい終わりの角度変更が始まり、ぬい終わるとミシンが停止します。

🖉 お知らせ・

- ぬい終わりの角度変更を開始する位置で、縫 製を止めた場合((スタート/ストップスイッ チを押すか、フットコントローラーから足を 離した場合)は、 ((返しぬいスイッチ)を 押し、スタート/ストップスイッチを押すか、 フットコントローラーを踏むと縫製が再開し ます。縫製が再開されると同時にぬい終わり のテーパリングが開始されます。
- 9 ぬい終わったら、[テーパリング]をオフにしてから[閉じる]を押します。

- 方法 2:指定した数の模様をぬう この方法では、模様(角度を変えるために使用す る模様も含む)の数を指定します。指定することで、同じ長さの模様を繰り返しぬうことができます。
- P.96「方法1:返しぬいスイッチを押して ぬい終わりの角度を変える」の手順1~4 を参照して、ぬい始めとぬい終わりの角度 設定を選択します。
- 2 」 を押して、模様の数(角度を変えるた めに使用する模様も含む)を指定します。



① 模様のおおよその長さ

🖉 お知らせ

- 角度を変えるために使用する模様の数は、模 様や角度によって異なります。試しぬいをし て仕上がりを確認してください。
- 3 縫製します。
 - → ぬい終わるとミシンは自動的に止まります。

🖉 お知らせ

 ・正方形にぬうときは、ぬい始めに ▲45 をぬい 終わりに ▲45 を選択してから、辺をぬい終え るごとに布地を 90 度回転して、同じ模様を ぬいます。
 ぬい方向を変えるときは、ピボット機能を有 効にしておくと便利です。(P. 70)



■ 方法 3: ぬい終わり設定シールでぬ い終わり位置を設定する

☆ お願い

- 手順と注意事項については、P. 73「ぬい終わ り位置を設定する」を参照してください。
- チャコペンで布地に模様をぬう線(できあ がり線)とぬい終わりの線を引きます。
- 2 ぬう範囲を避けてぬい終わり設定シールを 貼ります。チャコペンで引いたぬい終わり 位置の左右4cm以内にぬい終わり設定シー ルを貼ります。



① 4 cm

🖉 お知らせ

ぬう範囲を避けてぬい終わり設定シールを貼れない場合は、P.75「一時停止設定」を参照してください。



- 3 P.96「方法1:返しぬいスイッチを押して ぬい終わりの角度を変える」の手順1~4 を参照して、ぬい始めとぬい終わりの角度 設定を選択します。
- 4 「∛を押します。
 - * キーが灰色で表示されているときは、この機能は 選択した模様で使うことができません。



自動止めぬい機能と自動糸切り機能は使用できません。

6
 6
 6
 6
 7
 7
 8
 7
 8
 7
 8
 7
 8
 8
 9
 8
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9
 9

→ ぬい終わるとミシンは自動的に止まります。

6 ぬい終わり設定シールをはがします。

■ 設定を保存する

設定したぬい始めとぬい終わりの角度、終了スタ イル、模様の設定をミシンのメモリーに保存でき ます。

 テーパリング機能を設定したら、[閉じる]を 押します。



- 2 [記憶]を押します。
- ■保存した設定を呼び出す
- 1 模様を選択し、[呼び出し]を押して、保存した設定を呼び出します。
- 2 呼び出す設定の番号の付いたキーを押して、 [呼び出し]を押します。
 - * テーパリング機能がオンに設定されている場合、 設定を呼び出すことはできません。



- 🖉 お知らせ
- ・設定の保存と呼び出しについて詳しくは、
 P.61「実用ぬい設定を記憶する」を参照してください。

カウチング

毛糸を使って、飾り模様をぬうことができます。



☆お願い -

- 実際にぬいつける前に、布地に試しぬいをしてください。
- 伸びる布地、薄地、織りが粗い布地、ぬい縮みしやすい布地をぬう場合は、接着芯を使用することをお勧めします。

■ カウチングの準備をする

1 ミシンに糸たてスタンドを取り付けます。

このとき、アンテナをのばさないでください。



- * 詳しくは、P.43「糸たてスタンドを組み立てる」 を参照してください。
- カウチング用糸ガイドをミシンの左上にあ る差し込み口に挿入します。



3 10を押して、すべてのキーと操作スイッチ をロックしてから、押えレバーを上げます。

- 4 デュアルフィード用カウチング押えは取り 付けずに、デュアルフィードをミシンに取 り付けます。
 - * 詳しくは、P. 47「デュアルフィードを取り付け る」を参照してください。



5 毛糸をアンテナとカウチング用糸ガイドに 通します(①から②へ)。



な お願い

- 作業中に糸がからまないように注意してください。
- 6 毛糸をデュアルフィード用カウチング押え に通します。
 毛糸を紐通しの輪に通し、紐通しをデュア ルフィード用カウチング押えの穴の上から 下へ通します。



7 デュアルフィード用カウチング押えをデュ アルフィードに取り付けます。



- 8 毛糸をミシンの後方へ 10 cm ほど引き出します。

10 ミシンに上糸を通します。

🖞 お願い -

 上糸を糸たてスタンドにセットしないでくだ さい。糸同士がからまるおそれがあります。

■ カウチングぬいをする

- 1 § を選びます。
- 2 毛糸の幅を測り、その幅に合わせて振り幅 を設定します。



☆ お願い

毛糸をぬいつけることができる十分な幅があることを確認してください。



- 3 プーリーを回して針をぬい始めの位置にセットします。毛糸の右側からぬい始めます。
- 4 毛糸がデュアルフィード用カウチング押え の裏のミゾをまっすぐ通ることを確認し、 押えを下げます。



① ミゾ

- ☆ お願い
- 毛糸がぴんと張らないように、毛糸玉または
 毛糸の束から適度な量の毛糸を引き出してく
 ださい。

100 -



101





3 ぬい上がりを次の正しい模様と比較します。
を押し、[模様調整たて]または[模様調整よこ]で模様を調整します。





症状	対処
模様がつまっている とき	[模様調整たて]の数字を押して値を大きく します。模様が伸びます。
\bigcirc	
模様にすきまがある とき	[模様調整たて]の数字を押して値を小さく します。模様がつまります。
模様が左にずれてい るとき	[模様調整よこ]の数字を押して値を大きく します。模様が右にずれます。
\bigcirc	
模様が右にずれてい るとき	[模様調整よこ]の数字を押して値を小さく します。模様が左にずれます。

- 4 もう一度ぬいます。
 - * 模様が正しくぬえるようになるまで調整してくだ さい。

🖉 お知らせ‐

設定画面のままぬうことができます。

2 本針でぬう

2本針を使用すると、2色の上糸で同じ模様を ぬうことができます。上糸は同質で同じ太さの ものを用意します。

▲ 注意

2本針を使用するときは、ジグザグ押えくJ>を使用してください。針が折れ、けがをするおそれがあります。
 針を交換するときや糸を通すときは、必ず液晶画面のですべてのキーと操作スイッチをロックしてください。ロックされていない状態で、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチを押すと、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。

重要

- 2本針は、必ずブラザー専用2本針を使用してください。
- (↓→)(自動糸通しスイッチ)は使用できません。2本針 の手前から向こう側に、手で針穴に糸を通してくださ

い。(+)(自動糸通しスイッチ)を使用すると故障の原 因となります。

☆ お願い

2本針を使用すると、使用する布地や糸の種類によっては、ぬい目が詰まることがあります。
 模様ぬい押え<N+>を使用するか、接着芯を使用してください。

1 ● を押して、2本針を取り付けます (P.34「針の交換」)。

* [押えが自動で下がります。よろしいですか?]の メッセージが表示されたら、 へを押して操作 を続けてください。



 P. 40「上糸通し」の手順1~8を参照して、 1本目の上糸を通します。



3 糸を針棒糸かけにかけ、手で左側の針に糸 を通します。



① 針棒糸かけ

② 1本目の上糸

4 補助糸たて棒を上げて、下から手前に糸が 出るように2本目の上糸の糸こまを置きま す。



- ① 補助糸たて棒
- ② 糸こま
- ③ 糸こま押え

いろいろなぬい方



105

■ ゴムひもつけ

🖉 お知らせ

• 模様について詳しくは、P. 271「ぬい方早見 表」を参照してください。

- 直線ぬいを選び、ジグザグ押えくJ>を取り 付けます。
- 2 ぬい目の長さを 4.0mm に、糸調子を 2.0 (ゆるめ)に設定します。(P. 59、P. 60)

🖉 お知らせ

- 3 布地の表に直線ぬいを2本ぬい、下糸を引っ 張ってギャザーを寄せます。



🖉 お知らせ

- ・直線ぬいをかける前に、プーリーを手前(反時計回り)に回して下糸を引き出します。上糸と下糸を持ち、ミシン後方にある程度引き出します。(必ず押えを上げた状態で行ってください。)
- 4 ギャザーの上にゴムひもを置き、まち針で 止めます。



① ゴムひも

5 模様を選びます。

1-13	1-14	1-15	2-13	2-14
<	<	$ \langle $	2	>
\leq		<		2
2	≥	$ \langle $		$ \langle \rangle $
- 3	-8		·×	-

6 ゴムひもの上をぬいます。



▲ 注意

- ぬうときには、まち針などが針に当たらないように注 意してください。糸がからまったり針が折れたりして、 けがをするおそれがあります。
- 7 直線ぬいの糸を引き抜きます。



■ギャザー

スカートのウェストやシャツの袖などに使いま す。

- 直線ぬいを選び、ジグザグ押えくJ>を取り 付けます。
- ぬい目の長さを 4.0mm に、糸調子を 2.0 (ゆるめ)に設定します。
- 3 下糸と上糸を 50 mm ほど引き出します。 (P. 39)
- 4 できあがり線をはさんで平行に2本ぬい、上 糸と下糸を端から50mmほど残して切ります。



- ① できあがり線
- 2 10 mm \sim 15 mm
- ③ 約 50 mm
5 下糸を引っ張りながらギャザーを寄せ、糸 を結びます。



6 ギャザーにアイロンをかけ、整えます。



- 7 できあがり線をぬって、しつけを取ります。
- ■シェルタック

貝殻を並べたようなアーチ状のタックを「シェル タック」と呼びます。ふちどりや、ブラウスの胸 もと、そでロの飾りなどに使用します。薄い布地 を使用します。

 バイアスに沿って等間隔に線を引き、その 線に沿って布地を折ります。



2

を選択し、糸調子を強くします。

- 3 ジグザグ押え<J>を取り付けます。
- 4 針が布端よりわずかに外側に落ちるように しながらぬいます。

線にそって順番に折り、ぬってください。



 ① 針落ち位置

5 ぬい終わったら、布地を取り出します。布 を広げアイロンで折り山を片側に倒します。

■ スカラップぬい

波型のサテンステッチを「スカラップ」と呼びま す。ブラウスの襟やハンカチなどのふち飾りに使 います。

- 1 と を選びます。
- 2 模様ぬい押え< N+ >を取り付けます。
- 3 模様が布端にかからないように、端を残してぬいます。



4 ぬい目に沿って切り取ります。



• ぬい目を切らないように注意してください。

いろいろなぬい方

キルトぬい

🖉 お知らせ

- Q-01からQ-40までの40種類のキルト模様 と、S-03からS-05までの模様、キーに「P」 あるいは「Q」が表示されている実用模様が キルトぬいに最適です。
- 模様について詳しくは、P. 271「ぬい方早見 表」を参照してください。

ピーシング

■ジグザグ押えくJ>を使う

布と布をぬい合わせることをピーシングといいま す。キルト用の布をカットするときは、ぬいしろ を 6.5 mm つけて裁断してください。

- 1 $\begin{bmatrix} 0^{\circ 2} \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}$ または $\begin{bmatrix} 0^{\circ 3} \\ 0 \\ 0 \end{bmatrix}$ を選択し、ジグザグ押えくJ >を取り付けます。
- 2 押えの端に布端を合わせてぬいます。
 - * 押えの右側を布地の端に合わせる場合は、

使用してぬいます。



① 6.5 mm

* 押えの左側を布地の端に合わせる場合は、 使用してぬいます。



① 6.5 mm

🛛 お知らせ

- ・ 針位置を変更するときは、[L/R シフト]の
 ____または____を押します。
- ガイドラインマーカーを参考にしてピーシン グができます。詳しくは P.63「ガイドライ ンを設定する」を参照してください。

■ ガイド付きピーシング押えを使用し たピーシング

ピーシング押えを使用すると、6.4 mm または 3.2 mm のぬいしろを正確にぬうことができます。 キルトのピーシングや、飾りぬいに使用できま す。

- 1 を選択し、ガイド付きピーシング押え を取り付けます。
- 2 ガイドと押えのしるしを使って、ぬいしろ をぬいます。

ぬいしろ 6.4 mm のピーシング 布地の端をガイドに当ててぬいます。



① ガイド

を

② 6.4 mm

ぬいしろを仕上げる

押えのしるしを使って、ぬい始め、ぬい終わり、布地 の回転時の針位置を、布端から 6.4 mm の位置に合わ せます。



① このしるしに布端を合わせてぬい始めます。

② ぬい始め

③ ぬい終わり

 ④ このしるしが反対側の布端に合ったときにミシン を止めます。必要に応じて布地を回転します。

⑤ 6.4 mm

🖉 お知らせ・

ピボットについては、P. 70「ピボット」を参照してください。

3.2 mm の飾りぬいキルト

布端またはぬい目を押え前部の左端に合わせてぬ います。



- ① 布地の表
- ② ぬい目
- ③ 3.2 mm

デュアルフィードを使ったキルティ ング

表地、キルト綿、裏地をぬい合せることをキル ティングと呼びます。デュアルフィートを使用 すると、ぬいずれを防ぐことができます。

1 模様を選びます。



☆ お願い

- 必要に応じて、ぬい目の長さを調整してください。(P. 59)
- **2** デュアルフィードを取り付けます。 (P. 47)
- 3 縫製中は、押えの両側に手を置いて、布地をしっかり押えます。



🖉 お知らせ

- 低速から中速でぬってください。
- ぬい始める前に、キルト面がしっかりとしつ けされていることを確認ください。

フリーモーションキルト

フリーモーションキルトをするときは、 「 を押 してから で を押して、フリーモーションモー ドにします。このモードでは、自動的に送り歯 が下がり、布地を自由に動かすことができます。 押えはフリーモーションぬいに最適な高さにな ります。

選択した模様に応じてフリーモーションキルト押 え<C>またはオープントゥキルト押え<O> を使用します。

フットコントローラーを取り付けて、一定の速 度でぬうことをお勧めします。ぬう速度は、ミ シンのスピードコントロールレバーで調節でき ます。

▲ 注意

 フリーモーションキルトでは、ぬう速度に合うように 布を動かしてください。ぬう速度よりも速く布地を動 かすと、針が折れてけがをするおそれがあります。

🖉 お知らせ

 ぬい始めるときに内蔵センサーが布地の厚さを検知し、設定画面で設定した高さにキルト 押えが上がります。
 アリーモーション押え高さ]を表示します。
 素材の厚みに合わせて押えの高さを調節してください。

プリーモーション押え高
 さ
 さ
 こ
 づけの
 て
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 こ
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む
 む

 バランスのとれた糸調子でぬうには、上糸の 糸調子の調節が必要です。実際に使用する布 と同じ布地で、試しぬいをしてください。

☆ お願い

・最初はきれいに仕上がらないことがあります。
 十分に試しぬいをした後に作品をぬってください。



■オープントゥキルト押え<0>を使 用する

オープントゥキルト押えくO>は、ジグザグ模様 や飾り模様でフリーモーションキルトをする場合 や、厚さが均一ではない布地にフリーモーション キルトの直線ぬいをする場合に使用します。オー プントゥキルト押えくO>を使用すると、いろい ろな模様をぬうことができます。使用できる模様 の詳細については、P. 271「ぬい方早見表」を参 照してください。



- お知らせ

 ジグザグ模様や飾り模様を選ぶときは、標準 針板を使用する必要があります。
- I Mを押してから Pを押し、ミシンをフ リーモーションモードに設定します。
- 2 模様を選びます。
- 3 押えホルダーを取り外します。(P. 46)
- 4 図のようにオープントゥキルト押えくO> を取り付け、押えホルダーのネジで締めま す。



- ① 押えホルダーのネジ
- ② ミゾ
- ③ ピン
 - な お願い
- オープントゥキルト押えくO>が傾いていないことを確認してください。



必ず付属のマルチドライバーを使用して、ネジを確実にしめてください。確実にしめないと、針がキルト押えに当たり、折れてけがをするおそれがあります。

5 布地がたるまないように両手で伸ばすよう にぬいます。ぬい目が 2.0 ~ 2.5 mm ほど になるよう、一定の速度で布地を送ります。



- ① ぬい目
- 6 のを押して、フリーモーションモードを 解除します。

■エコーキルト

モチーフの周囲を等間隔で幾重にもキルトする方 法を、エコーキルトと呼びます。エコーキルトに はエコーキルト押えく E >を使用します。



- 6.4 mm
 9.5 mm
 エコーキルト押え<E>
- 1 を選びます。
- Image を押してから でを押し、ミシンをフ リーモーションモードに設定します。
- 3 押えホルダーを取り外し、アダプターを取り付けます。(P.46)

4 エコーキルト押え<E>を穴を合わせるよう に、押え棒の左側に置きます。

5 付属のドライバー(大)でネジ(小)を締 めます。



▲ 注意

- 必ず付属のドライバー(大)を使用して、ネジを確実 にしめてください。確実にしめないと、針がキルト押 えに当たり、折れてけがをするおそれがあります。
- 6 キルト押えの寸法を参考にして、モチーフの回りをぬいます。



① 6.4 mm



7 のを押して、フリーモーションモードを 解除します。

ステッチレギュレーターを使って、 フリーモーションキルト/しつけぬ いをする

ステッチレギュレーターを使用すると、設定し たぬい目の長さでフリーモーションキルトやフ リーモーションしつけぬいができます。ミシン が布地の動きを検知し、設定したぬい目の長さ になるように調整します。

■各部の名称とはたらき

用途に応じて、ステッチレギュレーターで使う押 えを交換します。



- ステッチレギュレーターキルト押え 一般的なキルトぬいに使用します。
- ② ステッチレギュレーターオープントゥキルト押え 針元やぬい目が確認しやすい押えです。押えの先端に布地が 引っかからないように注意してぬってください。この押えは [しつけモード]を選択している場合には使用しないでください。
- ③ ステッチレギュレーターエコーキルト押え エコーキルトぬいに使用します。この押えは、毛足の長い素材 や段差がある素材をぬうとき、異なる素材をぬい合せるときに も適しています。
- ④ 押え差し込みロ
- ⑤ ステッチレギュレーター窓
- 内部センサーが布地の動きを検知します。 ⑥ **押え取り外しボタン**
- 并ん取り外のホック 手前に押すと押えが外れます。
- ⑦ ステッチレギュレーターのミゾ
- ⑧ ステッチレギュレーターのコネクタ

■ ステッチレギュレーターと押えを取り付ける



- 3 押えレバーを上げます。
- 4 押えと押えホルダーを取り外します。 (P. 46)

- 5 ステッチレギュレーターで使用する押えを 準備します。
- 6 使用しない押えが取り付けられている場合 は、押え取り外しボタンをゆっくりと手前 に押し込みます。押えが押し出されたら、 取り外します。



7 押えの向きが正しいことを確認して、押え 差し込み口の奥まで押えを押し込みます。



1) 押え差し込み口

② 押え

5 押えを少し手前に引いて、しっかりと固定 されていることを確認します。押えが抜け た場合は、奥まで入れ直します。



▲ 注意

- 押えがしっかりと固定されていることを確認してください。押えが外れたり、針が折れてけがをするおそれがあります。
- 9 ステッチレギュレーターのミゾを押え棒の ネジに合わせ、ネジをしっかりと締めます。





■模様とステッチレギュレーターモー ドを選択する

- 実用ぬい画面が表示されている状態で、ステッ チレギュレーターをミシンに取り付けます。
 - → メッセージが表示されたら、[OK] を押します。ス テッチレギュレーター縫製画面が表示されます。

🖉 お知らせ

 実用ぬい以外の画面が表示されている状態で ステッチレギュレーターを取り付けた場合、 ホーム画面で[実用・文字模様]を押すとス テッチレギュレーター用のぬい画面が表示されます。

2 キーを押して適切なモードを選択します。

* いずれのモードでもフットコントローラーを接続している場合は、フットコントローラーを踏み込んで縫製を始めると、ステッチレギュレーターが布地の動きを検知します。フットコントローラーから足を離すと、ミシンが止まります。スタート/ストップスイッチを使用する場合は、スタート/ストップスイッチを押して縫製を始めると、ステッチレギュレーターが布地の動きを検知します。もう一度押すと縫製が止まります。 選択したモードによって、布を動かしていないときのミシンの動作は異なります。



₩	1 <u>1</u> 1	<u>[</u>	1.5 mm	-+
振り幅	長さ	L/Rシフト	糸調子	呼び出し
	^		~	記憶
- mm	2.5 mm	0.00 mm	4.0 _{utt}	
\sim	\sim	\sim	\sim	リセット
		ß		

① 間欠モード:

布地を動かすと、設定したぬい目の長さで縫製し ます。布地の動きがないと、針が上がり、ミシン はスタンバイ状態になり、スタート/ストップス イッチが点滅します。スイッチが点滅している間 に布地を動かすと縫製を開始します。 一定時間、布地の動きがないとメッセージが表示 され、縫製を終了します。

② 連続モード:

縫製を始めると、常にぬい続けるモードです。長 方形など角のある形をぬうのに適しています。 布地を動かしていないときは、同じ場所をゆっく りとぬっていきます。同じ場所をぬい続けるの で、糸がからまないように注意してください。 ③ しつけモード:

間隔の広いぬい目を作ります。布地を動かすと、 設定したぬい目の長さで縫製します。布地の動き がないと、針が上がり、ミシンはスタンバイ状態 になり、スタート/ストップスイッチが点滅しま す。スイッチが点滅している間に布地を動かすと 縫製を開始します。

ー定時間、布地の動きがないとメッセージが表示 され、縫製を終了します。 試しぬいをして、ぬい目や糸のほどきやすさを確

認し、必要に応じて糸調子を調整してください。 ④ [ステッチレギュレーター]のオン/オフを切り替

(4) 【ステッテレキュレーター】のオンノオフを切り目 えます。オフにすると、通常のフリーモーション ぬいができます。ミシンは布地の動きを検知しな いため、一定の速度で布地を送りながら縫製して ください。



 [ステッチレギュレーター]をオフの状態でステッチレ ギュレーターオープントゥキルト押えを使用するとき は、布地を無理に引っ張らないように注意してください。針が折れる原因となります。

3 模様を選択し、ぬい目の長さを調節します。



🖉 お知らせ

- ・ 直線ぬいで小さいパーツやスティップリング をぬう場合は、ぬい目の長さを1mm~

 1.5 mmに設定することをお勧めします。
- ジグザグ模様は、スレッドペインティングに 適しています。

4 その他の項目を設定します。



- ① ガイドラインを表示します。(P.63)
- ② ステッチレギュレーターのセンサー位置を投影す る機能のオン/オフを切り替えます。設定画面で 選択したプロジェクターの背景色と異なる投影色 を選択します(P.22)。P.116「ステッチレギュ レーターを使って、フリーモーションキルト/し つけぬいをする」の手順1 を参照してください。
- ③ ステッチレギュレーターの状態を投影する機能の オン/オフを切り替えます。P.116「ステッチレ ギュレーターを使って、フリーモーションキルト /しつけぬいをする」の手順1 を参照してください。
- ステッチレギュレーター押えの高さを調整します。

🖉 お知らせ

• 他のキーについて詳しくは、P. 17「実用・文 字模様画面」を参照してください。

■ ステッチレギュレーターを使って、 フリーモーションキルト/しつけぬ いをする

☆お願い -

- 作品を作る前に、実際に使用するものと同じ 布地と糸で試しぬいをしてください。
 使用する布地や糸、ステッチレギュレーター のモード、押えの高さ、布地の動きによって 仕上がりが異なる場合があります。
- ぬい目が飛んだり、糸がほつれたりする場合 は、次の条件で試しぬいをしてください。
 - 付属のニット用針(金色)を使用する。
 - ぬい目の長さは 2 mm 以下に設定する([間 欠モード]または[連続モード]選択時)。

- ・糸調子が強すぎると、布地を引っ張ったときに針が折れるおそれがあります。

 ・布地を動かしながらぬうときは、針に手を近づけないようにしてください。けがをするおそれがあります。
- 1 布地をミシンにセットします。このとき、 ステッチレギュレーターのセンサーの下に 布地がある状態で縫製できるように、布地 の向きを確認してセットします。



- センサーが布地を検知できる位置を示します。縫 製中はこの線が必ず布地の上に投影されているようにしてください。
- ② ステッチレギュレーターの状態を示します。 緑色に点灯:縫製の準備ができている、または縫 製中。
 緑色に点滅:間欠モードまたはしつけモードでス タンバイ中。
 赤色に点灯:縫製の準備ができていない。
 消灯:ステッチレギュレーター機能がオフになっているか、ステッチレギュレーターの状態を投影 する機能がオフになっています(P.115「模様と ステッチレギュレーターモードを選択する」の手 順 4 を参照)。

な お願い

 センサーの下に布地がない場合、布地の動き を検知できず、設定したぬい目の長さでぬう ことができません。必要に応じて、センサー が検知できるサイズの布地を用意してください。



 センサーが検知できる位置より手前に布地 があるため、布地を検知できません。
 センサーの位置

下糸を布地の上に引き出します。

* 詳しくは、P.39「下糸を引き出す」を参照してく ださい。

- 3 押えを下げます。フットコントローラーを 踏むか、スタート/ストップスイッチを押 し、布地を動かします。
 - キルトぬい



① ぬい目





→ 布地を動かす速度に応じて、設定したぬい目の長 さで縫製されます。

☆ お願い

- ・
 ・
 後製前に、
 押えがステッチレギュレーターに 取り付けられていることを確認してください。
- 布地がスムーズに動くように、ステッチレ ギュレーター押えの高さを調節してください。 ステッチレギュレーターのセンサーと布地が 離れすぎると、センサーが布地の動きを正確 に検知できないことがあります。その場合は、 布地の動きを妨げない程度にステッチレギュ レーター押えの高さを下げてください。
 - ∩ × +1 ₩

- ・針が上がっているときに、布地をゆっくり慎重に動かしてください。布地を早く動かしすぎると、アラームが鳴ります。
- ・縫製中、布地を回転させないでください。ス テッチレギュレーターのセンサーが布地の動 きを正しく検知できません。
- 均一な長さでぬうために、アラームが鳴らない程度の速度で布地を動かしてください。アラームの音量は設定画面で調整することができます。



・設定したぬい目の長さより大きく布を動かしてください。設定したぬい目の長さで縫製できなくなります。

4 フットコントローラーから足を離すか、ス タート/ストップスイッチを押して縫製を 止めます。

🖉 お知らせ

- ・針停止位置を +!(下)に設定すると、縫製を 止めたときに針が下がったままになります。 布地を動かすのを止めてからフットコント ローラーから足を離したとき、またはスター ト/ストップスイッチを押して縫製を終えた ときに、アラーム音が鳴り、針が下がります。
- •[記憶]を押すと、現在の設定を記憶することができます。後で設定を呼び出すときは、[呼び出し]を押します。詳しくは P. 61「実用ぬい設定を記憶する」を参照してください。



手ぬい風直線

手ぬい風直線模様をぬうときは、次の糸を使用 することをお勧めします。

上糸:糸が目立たないように、ナイロン透明糸 や布地と同じ色の糸を使用します。

下糸:模様が際立つように、布地と異なる色を 使用します。

1-33	Q-04	S-03	S-04	S-05
 	÷ –		. ! .	
1	1	i		
l ∎ Q	li q	ι ¦ Η	iн	Ιн

🖉 お知らせ

- ほとんどの布地と糸には、14 番の針を使うと きれいに仕上がります。
- 布地の表に下糸を多く出したいときは、糸調 子を強くしてください。
- S-03、S-04、S-05の模様は微小なステッチの集まりで作られています。

マイイラスト機能

イラストデザイン

マイイラスト機能を使用して、オリジナルの模様を登録できます。マイイラスト機能で作成したデザインと他の模様を組み合わせたデザインをぬうこともできます。(P.57)

🖉 お知らせ

- マイイラスト機能を使用して作成できる模様の大きさは、最大で7mm(幅) × 37mm (長さ)です。
- 1 模様のデザインをマイイラスト用紙に描き ます。目盛りと交差する点を直線で結びま す。



🖉 お知らせ

 模様を閉じるように線を交差させると、より きれいに仕上がります。より魅力的な模様に 仕上げるには、線を交差させてデザインを閉 じます。



ー筆書きの要領で、線の始めと終わりの高さ が同じになるように描きます。



2 ぬい順を決めます。



☑ お知らせ

これで、縫製する模様のデザインが決定されます。



■キーのはたらき(マイイラスト機能 画面)



- ① ここに作成中の模様が表示されます。
- ② 模様のポイント総数の上に、現在セットされているポイント番号を表示します。
- ③ 〇のY座標と〇のX座標を表示します。

番	表示	けたらき	参昭
号	名称	16/298	327M
4	1重ぬい/3重ぬい キー	2 つのポイントの間で1重ぬ いをするか、3重ぬいをする かを選ぶことができます。	119
5		選んだポイントを削除する ことができます。	119
6	_{戻る} 戻るキー	模様データの入力画面を終 了します。	_
7	 試しぬいキー	模様の試しぬいができます。	119
8		作成中の模様を保存するこ とができます。	121
9	ブロック移動キー	ポイントをグループにまと めて、まとめて移動するこ とができます。	120
10	「「」」	模様のデザインに新しいポ イントを挿入することがで きます。	121
1	セットキー	模様のデザイン上でポイン トをセットすることができ ます。	119、 120

番号	表示名称	はたらき	参照
12	「 へ つ く >) 上 > 」 矢印キー	表示領域で 🚫 を移動しま す。	119、 120
13	ペレポイント移動キー	 を模様の上でポイントからポイントに移動したり、 最初に入力されたポイント や最後に入力されたポイント トに移動することができます。 	120、 121
14	 凝≹→ 模様インポートキー	サンプル模様や保存した模 様を編集することができま す。	122
15	ク リッド方向キー	マイイラスト用紙の方向を 変えることができます。	—
16	Q 拡大キー	作成中の模様を拡大して表 示することができます。	_
17	ロ プレビューキー	模様のイメージを表示する ことができます。	119

■ ポイントを入力する

 ホーム画面で[実用・文字模様]を押してから [文字模様ぬい]を押します。

2 📧を押します。



□ ヘ □
 3 < ○
 ▶ を使って、 ○
 をマイイラスト用紙の
 □ < □
 □ < □
 最初のポイントの座標に移動します。

4 ∖ を押して、 ◇ が示すポイントを追加します。



- 5 最初の2つのポイント間で1重ぬいをするか、 3 重ぬいをするかを選びます。
- 6 模様のデザインが連続した線として画面上 に描画されるまで、マイイラスト用紙に描 画した各ポイントに対してこの手順を繰り 返します。
 - * <u>ヽ</u> を押すと、入力したポイントを削除できま す。
 - * [試しぬい]を押すと、試しぬいができます。試し ぬいが終わったら、[編集]を押して、前の画面に 戻ります。
 - * 🔟を押すと、模様のイメージが表示できます。



① 現在選択されているポイント番号/ポイント総数

② ⑤ の座標

7 模様データを入力し終えたら、□ を押し て模様を保存します。

■ポイントの移動

- ▲または wを押して、 wを移動させたい ポイントに合わせます。

 - * ◎ を最後のポイントに移動する場合は、 ● を押 します。





■イラストの移動

 ▲または ~ を押して、 [●]を移動したい最 初のポイントに移動します。 [↓]を押しま す。



→ 選んだポイントと、その後で入力したすべてのポ イントが選択されます。 ふまたは、を押して、選択されたポイントすべてを移動させて、を押します。



→ 選択したポイントすべてが移動します。

■ 新しいポイントの挿入

- ▲または∨を押して、新しいポイントを 追加したい場所に◎を移動します。
- 2 「 を押します。



→ 新しいポイントが挿入され、 が新しいポイント に移動します。



メモリー機能を使う(マイイラスト 機能)

■模様を保存する

1 □ を押します。



2 P. 62「文字/飾り模様を保存する」を参照 して、作成した模様を保存します。

■ 模様を呼び出す

P.62「模様を呼び出す」を参照してください。

■ 模様を呼び出して編集する

1 ▓→ を押します。



2 模様のカテゴリーを選択します。□を選択したときは、保存先を押します。



- ① サンプル模様
- ② 保存したマイイラスト模様
- ③ ミシンのメモリーから呼び出します。
- ④ USB メディアから呼び出します。
- * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。
- 3 編集したい模様を選択し、[OK] を押します。

第4章 基本の刺しゅう

刺しゅうの準備

刺しゅうの手順

刺しゅうの準備手順は次のとおりです。



	目的	操作	参照
1	押えの取り付け	刺しゅう押えく W >を取り付 けます。	123
2	針の確認	刺しゅうには、11 番の針を使 用します。	34
3	刺しゅう機/サ ポートテーブル の取り付け	刺しゅう機とサポートテーブ ルを取り付けます。	124
4	下糸のセット	刺しゅう用下糸を巻いて下糸 をセットします。	35
5	布地の準備	接着芯を貼った布地を刺しゅ う枠に張ります。	125
6	刺しゅう枠の取 り付け	刺しゅう枠を刺しゅう機に セットします。	129
7	模様の選択	電源スイッチを入れ、刺しゅ う模様を選びます。	132
8	レイアウトの確 認	刺しゅうの大きさと位置を確 認して調整します。	137
9	上糸のセット	模様に合わせて上糸をセット します。	40

刺しゅう押え < W >を取り付ける

▲ 注意

- 刺しゅうをするときは、必ず刺しゅう押えくW>を使用してください。針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 付属のマルチドライバーを使用して、押えホルダーの ネジをしっかりしめてください。ネジがゆるい場合、 針が刺しゅう押えに当たり、けがをするおそれがあり ます。
- 1 **№**を押します。押えレバーを上げて、押え と押えホルダーを取り外します。(P. 46)
- 押え棒のネジに刺しゅう押えくW>のミゾ を合わせて取り付けます。
 側面



3 刺しゅう押えを右手で押えながら、付属の マルチドライバーで押えホルダーのネジを しっかりとしめます。



① 押えホルダーのネジ

- - → すべてのキーと操作スイッチのロックが解除され、元の画面が表示されます。

4

基本の刺しゅ



• 刺しゅう機が取り付けられた状態でも、実用 ぬいや文字・模様ぬいができます。 🏠 を押し てから、ホーム画面で[実用・文字模様]を 押してください。

■刺しゅう機を取り付ける

電源スイッチを切り、補助テーブルを外し



コネクタを差し込み口にカチッと音がする まで刺しゅう機を差し込みます。



づ お願い

- 刺しゅう機と本体の間にすき間ができないよ うにしてください。すき間があると、模様く ずれの原因となります。
- サポートテーブルの背面にある3本の脚を、 カチッと音がするまで起こし、△印がある側 が上になるようにサポートテーブルを置き



ミシン背面とサポートテーブルの〇印を合 わせ、ツメをミシンに挿入します。



電源スイッチを入れます。

6 [OK] を押します。



→ キャリッジが初期設定の位置に移動します。

■刺しゅう機の取り外し方

- 1 刺しゅう枠を取り外します。
 - * 刺しゅう枠の取り外しについて詳しくは、P. 130 「刺しゅう枠の取り外し方」を参照してください。
- 2 ホーム画面で[刺しゅう]を押してから ● を 押します。

→ キャリッジが収納位置に移動します。

- **3** 電源スイッチを切ります。
- 4 刺しゅう機取り外しレバーを押して、刺しゅう機をミシンから引き出します。



① 刺しゅう機取り外しレバー

🖉 お知らせ

 実用模様は、サポートテーブルを取り付けた 状態でもぬうことができます。サポートテー ブルは常にミシンに取り付けておくことをお 勧めします。 ミシンを持ち運ぶときは、取り外しレバーを 手前に引き、サポートテーブルを取り外して ください。



刺しゅう枠に布地を張る



- 布地の厚さは 2mm より薄いものを使用してください。2mm 以上の厚さの布地を使用すると、針が折れ、けがをするおそれがあります。
- 伸びる布地や薄地、目の粗い織物、模様が縮む布地 を刺しゅうするときは、必ず刺しゅう用接着芯を使 用してください。接着芯を使用しないと、針が折 れ、けがをするおそれがあります。

■ 接着芯を布地に貼る

- 1 布地の裏側に接着芯をアイロンをかけて貼 ります。
 - 使用する刺しゅう枠より大きい接着芯を準備 します。



- ① 接着面
- ② 布地 (裏面)
- ③ 刺しゅう枠の大きさ

☆ **お願い**

 アイロンがかけられない布地(タオルなどの 起毛している布地)やアイロンのかけにくい 場所に刺しゅうをするときは、接着せずに、 布地の下に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張っ てください。 4

🖉 お知らせ・

 刺しゅう枠に張ることができない小さい布地 に刺しゅうをする場合は、接着芯を土台にし ます。軽くアイロンで布地を接着芯に貼り、 刺しゅう枠に張ります。アイロンで布地を接 着芯に貼ることができない場合は、しつけを します。接着芯は刺しゅうが終わってからて いねいに取り除きます。



- ① 布地
- 接着芯
- ③ しつけ
- オーガンジーやローンなど薄手の素材やタオ ル、コーデュロイなど起毛している布地に刺 しゅうをするときは、水で溶ける刺しゅう用 水溶性シート(別売)を使用してください。 水で洗うとシートが溶け、固くならずきれい に仕上がります。厚地のパイル織りのタオル には、水溶性シートをタオルの表面に置いて 布と一緒に枠に張ることをおすすめします。 タオル地の毛足がカバーされて、よりきれい に仕上がります。

■刺しゅう枠の種類

刺しゅう枠	縫製範囲
	465 mm × 297 mm (P. 126)
	272 mm × 272 mm (P. 127)
The second	180 mm × 130 mm (P. 128)
	100 mm × 100 mm (P. 128)

■刺しゅう枠(465 mm × 297 mm) に布地を張る

- 1 外枠のレバーをゆるめ、内枠を外します。
 - * 内枠が外れない場合は、枠調節ネジをゆるめてく ださい。



レバー
 枠調節ネジ

2 刺しゅう枠のガイドを左にして、外枠の上に布地を置きます。内枠の長方形の部分 (④)が上を向いていることを確認し、内枠の▲と外枠の▼の位置を合わせて内枠をはめ込み、布地を固定します。 内枠の上部が、外枠上部の縁に収まるようにしてください。



 内枠の取り付けを間違えると、内枠が外れて 刺しゅうが正しくできません。 3 上部のレバーをしめた状態で、内枠を外枠 7 下部のレバーをしめます。 に押し込みます。 てください。 * 下部のレバーはゆるめます。 T に布地を張る ① 上部のレバーをしめます。 図に示す順で内枠を外枠に押し込みます 4 (上から下)。 2 張る」の手順 2~5を行います。 3 5 布地をやさしく伸ばします。下部のレバー はゆるめたままで枠調節ネジを少ししめ、 布地の端を引っ張ってたるみを取ります。

基本の刺しゅう

仲調節ネジ

な お願い

- 布地が厚いときなど、上部の布がピンと張れない場合は、上部のレバーを少しゆるめ、上部の枠調節ネジをゆるめ、布地の端を引っ 張ってたるみをなくしてください。
- 6 布地を伸ばした後、布地がピンと張ってい ること、内枠と外枠の位置が合っているこ とを確認します。
 - * 刺しゅうを始める前に、内枠と外枠の高さが同じ になっていることを確認してください。



- * レバーがしまらない場合は、枠調節ネジをゆるめ
- 刺しゅう枠(272 mm × 272 mm)
- 1 外枠のレバーをゆるめ、内枠を外します。
 - * P. 126「刺しゅう枠(465 mm × 297 mm) に布地 を張る」の手順1を参照してください。
- P.128「レバーのない刺しゅう枠に布地を

枠調節ネジをしめ、レバーをしめます。

* P. 126「刺しゅう枠(465 mm × 297 mm) に布地 を張る」を参照し、手順7に進んでください。



- 布地をやさしく伸ばします。布地が平らで シワがないことを確認します。
 - 布地を引っ張った後、ピンと張っていることを確



刺しゅうを始める前に、内枠と外枠の高さが同じ になっていることを確認してください。





・枠調節ネジをゆるめたり、しめたりするときは、付属のマルチドライバーを「3」の位置



128

- 刺しゅうシート(別売)の使い方 刺しゅうシート(別売)を使うと、刺しゅうの位 置合わせができます。
- 布地の刺しゅうする位置にチャコペンで印 を付けます。
- 2 刺しゅうシートを内枠にのせます。刺しゅ うシートの基準線と布地の印を合わせます。



3 折り目やしわができないように、布をやさしくと引っ張り、内枠を外枠にはめます。



4 刺しゅうシートを取り出します。



刺しゅう枠をセットする

☆ お願い -

 465 mm×297 mm の刺しゅう枠をミシンに着 脱するときは、図のように刺しゅう枠レバー が押えに当たらないように斜めにしてください。刺しゅう枠のレバーが布地で隠れている 場合は、内枠の長方形の部分(くぼみ)が押 えに当たらないように着脱してください。



- ① 刺しゅう枠レバー
- ② 刺しゅう押え
- ③ 長方形の部分(くぼみ)(この部分に刺しゅ う押えが当たらないようにしてください。)
- 刺しゅう枠をセットする前に、刺しゅう用下 糸を巻いてボビンをセットしてください。ボ ビンに糸が十分あることを確認してください。
- 刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに取り付け た後、枠固定レバーが正しく下がっているこ とを確認してください。
- 1 (J)(押え上下スイッチ)を押して、刺しゅ う押えを上げます。
- 2 刺しゅう枠のガイドを刺しゅう枠ホルダー の右側面に合わせます。



① 刺しゅう枠ホルダー
 ② 刺しゅう枠のガイド

3 刺しゅう枠の△がホルダーの ▽の位置まで 来るように、刺しゅう枠をスライドさせま す。



- ① 矢印の印
- 4 枠固定レバーを枠に平行になるまで下げて、 刺しゅう枠を刺しゅう枠ホルダーに固定し ます。



 ① 枠固定レバー

■ 刺しゅう枠の取り外し方

┃ 枠固定レバーを上げます。



2 刺しゅう枠を手前に引きます。



きれいに刺しゅうするために

刺しゅうをきれいに仕上げるためには、いくつ かのポイントがあります。接着芯の貼り方 (P. 125) や布地の刺しゅう枠への張り方 (P. 128) は大きなポイントです。他のポイント もいくつかあります。



大きなもの(特にジャケットやキルト)に刺しゅうする場合は、布地をミシンを置いた台から下へ垂らさないようにしてください。刺しゅう機の動きが制限され、刺しゅう枠が針に当たり、針が折れてけがをするおそれがあります。

☆ お願い -

ぬい上がりを確認するために、実際に使用するものと同じ布と糸で試しぬいをすることをお勧めします。

■ 糸

上糸	ブラザー純正の刺しゅう糸をご使用ください。
下糸	付属の 60 番の刺しゅう用下糸またはブラザーが 推奨する 60 番の刺しゅう用下糸を使用してくだ
	さい。

■ 内かま

標準内かま(実用ぬいをするとき、付属の 60 番 の下糸で刺しゅうするとき)



① 標準内かま (ネジに緑のマーキング)

購入時ミシンに取り付けられている標準内かま はネジに緑のマーキングがあります。刺しゅう をするときは、この内かまと付属の刺しゅう下 糸をご使用ください。この内かまの緑のマーキ ングがあるネジは調整しないでください。 下糸張力調整用内かま(ブラザー推奨の刺しゅ う下糸以外の下糸で刺しゅう時に下糸調整の調 整が必要な場合)



下糸張力調整用内かま(ネジに色は付いていません)

ネジに色のついていない内かまは異なった太さ の下糸やさまざまな刺しゅうに対応するため、 張力が強くセットされています。この内かまは、 内側に印が付いています。この内かまを使用す るときは試しぬいをして、必要に応じて、締ネ ジを調整してください。(P. 164)

■ 刺しゅう専用針板カバー

布の種類や接着芯、使用する糸などによって、上 糸が浮く場合があります。このようなときは、図 のように刺しゅう専用針板カバーを針板の凹部に 挿入します。



ミゾ
 凸部
 凹部

▲ 注意

刺しゅう専用針板カバーはしっかり押し込んで取り付けてください。刺しゅう専用針板カバーの取り付け方が悪いと、針が折れてけがをするおそれがあります。

刺しゅう専用針板カバーを取り外すときは、ミゾ に爪を当て、持ち上げてください。

☆ お願い

 ・刺しゅう専用針板カバーは、刺しゅうの目的 以外では使用しないでください。

■刺しゅう時の速度

薄地、厚地、重い布地に刺しゅうするとき、メタ リック糸などの特殊な糸を使用するときは、速度 を遅くします。刺しゅう時の速度は設定画面で設 定できます。spm は1分間あたりの針数を示しま す。



■刺しゅう押えの高さ

厚い布地や毛羽立った布地は、設定画面で押えの 高さを調整することできれいに刺しゅうすること ができます。

◆を押して、[刺しゅうの押え高さ]で数字を大きくすると、針板から刺しゅう押えまでの高さが大きくなります。

■<u>▶</u> 刺しゅうの押え高さ 1.5mm >

刺しゅうする

■ 著作権について

ミシンに内蔵されている模様は、一般家庭用とし てのみお楽しみいただけます。営利または業務目 的での使用は著作権法上固く禁じられております のでご注意ください。

刺しゅう模様カテゴリー

🛛 お知らせ‐

 各カテゴリーの刺しゅう模様については、「模 様一覧」を参照してください。
 https://s.brother/cmdaf/をご覧ください。



- ① 刺しゅう模様
- ② 文字模様(P. 135)
- ③ 飾りアルファベット模様
- ④ 枠模様
- ⑤ ボタン穴/アイレット模様/デザイン模様(ボタン穴装飾用)/実用刺しゅう模様
- ⑥ 分割模様 (P. 210)
- ⑦ ロングステッチ刺しゅう模様 刺しゅうをする前に、「模様一覧」できれいに仕 上げるための注意事項をお読みください。
- ⑧ キルトサッシ/エッジトゥエッジキルト模様 (P. 193、P. 199、P. 201、P. 206)
- ⑨ ディズニー模様
- ⑩ カウチング模様 (P.189)
- ① 本機のメモリーや USB メディアなどに保存された 様様(P. 166)
- 12 ピクチャープレイ刺しゅう機能 (P. 175)
- 13 マイデザインセンター (P. 225)
- ④ このキーを押すと、刺しゅう機が収納位置に移動します(P.125)

刺しゅう模様を選ぶ

1 ホーム画面の[刺しゅう]を押して、刺しゅうしたい模様のカテゴリーキーを押します。



- ① 模様カテゴリーキー
- 2 サブカテゴリーを選択し、刺しゅう模様を 選択します。



- ① サブカテゴリー
- ② 刺しゅう模様
- 3 [セット]を押します。



このキーを押すと、選択した模様の詳細情報が表示されます。

* 「編集」画面については、P. 140「刺しゅう編集画 面」を参照してください。



- 5 [縫製]を押します。
 - → 縫製画面が表示されます。
- 6 必要に応じて、[レイアウト]を押して模様の 位置を調整します。
 - * 詳しくは、P. 143「縫製画面」を参照してください。



7 刺しゅうします。(P. 138)

刺しゅう模様を絞り込む

刺しゅう模様は、サイズや糸色の数で絞り込む ことができます。

- 1 絞り込む刺しゅう模様のカテゴリーを選択します。
 - * 以下のカテゴリーで絞り込みができます。



2 [フィルター]を押します。



3 刺しゅう模様のサイズと糸色数の上限と下 限を指定します。



- 刺しゅう模様のサイズの上限と下限を指定します。
- ② 糸色の数を指定します。指定したい色数のチェックボックスにチェックマークが入るようにチェックボックスを押します。
- ③ 設定をリセットします。

4

4 [適用]を押します。

- → 指定した条件を満たす模様が表示されます。模様のサイズを指定した場合は、サイズ順に表示されます。糸色の数を指定した場合は、糸色の数の順に表示されます。模様のサイズと糸色の数の両方を指定した場合は、サイズ順を優先して表示されます。
- 5 模様を選択し、[セット]を押します。



① 絞り込みをリセットします。

② 降順/昇順を切り替えます。

枠模様を選ぶ

- 1 □♡を押します。
- 2 画面の上段にある、刺しゅうしたい枠の形 のキーを押します。 次に、刺しゅうしたい枠模様のキーを押し ます。



 ① 枠の形

② 枠模様

 P. 132「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 3 ~ 7 を参照して操作します。

ボタン穴/アイレット模様を選ぶ

- 1 🕺 影 を押します。
- 2 模様を選択して、< >を押してサイズを変 更します。



アルファベット文字模様を選ぶ

- 1 AA を押します。
- 2 刺しゅうしたいフォントのキーを押します。



- チェックボックスをオンにすると、フォントを選 択した後にすべての文字のプレビューが表示され ます。
- 3 文字のプレビューが表示されたら、フォントを確認して、[OK]を押します。



4 入力する文字の大きさを指定します。文字 のカテゴリーを選択し、文字を入力します。



- ① 文字のフォントを変更します。
- ② 文字サイズを指定します。
- ③ カーソルを移動し、文字を選択します。 (P. 136)
- ④ 複数文字選択/単一文字選択を切り替えます。
 (P. 136)
- ⑤ 文字を削除します。
- ⑥ 行を追加します。
- ⑦ スペースを入力します。
- ⑧ 文字を右、左、中央に揃えます。 (P. 136)
- ⑨ 文字模様の間隔を変更します。(P. 142)
- ⑩ 文字模様の配列を変更します。(P. 142)

🖉 お知らせ

 文字を入力する場合、カーソルは最後に入力 した文字の後に配置されます。フォントや文 字サイズの設定を変更すると、次に入力した 文字から新しい設定が適用されます。



① カーソル

- 既に入力されている文字を選択することで、 そのフォントや文字サイズを変更することが できます。詳しくは、P. 136「入力した文字 を選ぶ」を参照してください。
- 5 [セット]を押します。
- 6 P. 132「刺しゅう模様を選ぶ」の手順 4 ~ 7 を参照して操作します。

■ 入力した文字を選ぶ 入力済みの文字のフォントやサイズを変更するた めに文字を選びます。	 2 2行目の文字を入力し、 ↓ を押します。3 行目の文字を入力します。
単一文字選択モード(ABC A)で、く>を押して 変更する文字を選択します	100%Q 👑 📖
	ABCDE FGH IJKLMN ABCDE_FGH_IJKL MN
① 選択した文字	A
□ 複数の文字を選ぶ 複数文字選択モード(ABC A) では、すべての文 字が選択されます。	ABC abc 012 &?? ÀÄÄ ÉÉÉ ñnň TTT A B C D E F G H < I J K L M N O P
ABC 30 - + ABC	
▲<▶▲▲▲▲▲▲▲▲▲ 文字の選択を解除する場合は、その文字を押しま す。	 ○ お願い ・文字が複数行ある複数文字選択モード (ABC ▲))では、カーソルがおかれた行の文字 がすべて選択されます。別の行にある文字を 避増する場合は、その行を押してください
① 選択解除した父子	3 □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
 お願い 文字入力時に改行の追加や文字の配置の変更 を行ってください。[セット]を押した後は変 更できません。 	■ 本本書: 右寄せ ABCDE FGH IJKLMN IJKLMN
1 1行目の文字を入力し、 J を押します。	≠≭╡ : 中央揃え
	ABCDE FGH IJKLMN



基本の刺しゅ

ىل



1 画面に表示されている色の刺しゅう糸を用 意します。



① 色替えの順番

🖉 お知らせ

この画面には、設定画面で選択した設定に応じて、糸色名または糸番号のいずれかが表示されます。糸ブランドを選択することもできます。(P.23)

#4	糸色	# 123 >
Đ	糸プランド	ブラザー >

- ・ 自動糸切り機能と渡り糸切り機能が使えます。
 (P. 139)
- 2 糸通し装置を使って、1 色目の糸を通します。



- 3 刺しゅう押えを下げ、スタート/ストップ スイッチを押して刺しゅうを始めます。
 - → 1 色目の刺しゅうが終わると、ミシンが止まります。 次にぬう色が、色替えの順番表示の一番上に移動

🖉 お知らせ

します。

 ・設定画面で、押えが上がっていてもスタート /ストップスイッチを押すと自動的に刺しゅ う押えが下がるように設定できます。(P.23)

し 刺しゅう押え自動下げ

よりきれいな仕上がりにしたい場合は、以下の手順で糸の処理をします。

 \bullet

- 5~6針 ぬった後、もう一度スタート/ス トップスイッチを押して、ミシンを止めま す。
- ぬい始めの余分な糸を切ります。刺しゅう 押えの下にぬい始めの糸が隠れているとき は、刺しゅう押えを上げてから余分な糸を 切ってください。



- 余分な糸が残っていると、縫製中に模様の下にぬい込まれることがあり、模様の完成後、糸の処理がむずかしくなります。各糸替えの始めに糸を切ってください。
- 4 1 色目の糸をミシンから取り外します。次の 色の糸を通します。

4

基本の刺しゅ

J

5 残りの色も同じ手順を繰り返して、刺しゅうします。



- ① 現在の針数/総針数
- ② 現在の時間/総時間
- ③ 次に刺しゅうする箇所
- ④ 刺しゅうした色数 / 総色数
- → 最後の色が刺しゅうされると、画面に [ぬい終わり ました。] と表示されます。[OK] を押して、元の 画面に戻ります。
- 6 余分な渡り糸を切ります。

■ 自動糸切り/渡り糸切り機能

自動糸切り機能 🔧 は、各色のぬい終わりに自動 的に糸を切ります。

渡り糸切り機能 🧏 📽 は、余分な渡り糸を自動的に 切ります。これらの機能は初期設定でオンになっ ています。



① 渡り糸

1 縫製画面で∑ゑを押します。



2 自動糸切り/渡り糸切り機能のオン/オフ を切り替えます。



- ① 自動糸切り機能のオン/オフを切り替えます。
- ② 渡り糸切り機能のオン/オフを切り替えます。
- ③ + または を押して、渡り糸の長さを設定します。例えば、値を25mmに設定すると、ミシンは次のぬい目に移動する前に、25mm以下の渡り糸を切らずに残します。

🖉 お知らせ

- 糸切りの多い模様の場合は、布地の裏面に残る糸の量を減らすために、渡り糸の長さ調節を長めに設定することをお勧めします。
- ・渡り糸の長さに設定する数値が大きくなるほど、糸を切る回数が減ります。この場合、布地にはより多くの渡り糸が残ることになります。

キーのはたらき(刺しゅう)

刺しゅう編集画面

各キーを押して、模様を編集します。

- 🛛 お知らせ -
- キー表示が灰色の場合、選択した模様にその 機能を使うことはできません。



No	表示	表示はたらき	
NO.	名称	IL/CDC	多照
1	100 % Q	倍率を選択することができ ます。	—
	拡大キー		
2		拡大画面で表示領域を動か すことができます。	_
	手のひらツール キー		
3	++++	選択した模様に使用できる 刺しゅう枠の種類を示しま	126
	使用可能な刺しゅ う枠	す。	
4	<u>™</u> 120.9mm ™ 120.6 _{mm}	組み合わせた模様全体の大 きさを示します。	—
	模様の大きさ		
5		刺しゅうの位置を合わせる ために、布地をスキャンす	155
	布地スキャンキー	ることができます。	
6		刺しゅうのイメージを確認 することができます。	151
	プレビューキー		
0	編集	[編集]ウィンドウが表示さ れます。	141
	模様編集キー	-	

No	表示	けたこキ	会四
NO.	名称	Id/CDC	多照
8	 プロジェクター キー	プロジェクター機能を使っ て、模様を映すことができ ます。	152
9		現在選択されている模様の 色替えの順番と、各色の縫 製時間を示します。	138
10	縫製	縫製画面を表示します。 -	
1	(保存キー	模様をミシンのメモリーま たは USB メディアに保存し ます。無線接続で模様をパ ソコンに送ることもできま す。	165
12	~ やり直しキー	取り消した最後の操作をや り直します。	_
13	元に戻すキー	最後の操作を取り消します。	_
14	前 前除キー	選択した模様(赤い四角で 囲まれている模様)を削除 します。	_
15	<u>追加</u> 追加キー	編集中の模様に、別の模様 を追加することができます。	145
16	ぼいまー ぼいまー ぼいまー ぼいまー ぼいまー ぼいまー ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう ひょう	画面上に複数の模様がある とき、選択した模様を変更 することができます。	145
17	2000 複数選択キー	画面上の複数の模様を同時 に選択できます。	146、147

■[編集]ウィンドウ

[編集]を押すと[編集]ウィンドウが表示されま す。



No	表示		金四
NO.	名称	14/253	参照
1	<u> </u> サイズキー	模様の大きさを変えること ができます。	144
2	移動キー	模様移動ウィンドウを表示 することができます。 ・ く●>: 矢印の方向に模 ↓ ♥ ↓ ↓ 様を移動させます。 • ●: 模様を中央に配置し ます。	_
3	し グループ化/グ ループ化解除キー	複数の模様を選択してグ ループ化できます。	_
4	<u> </u> 回転キー	模様回転ウィンドウを表示 することができます。 回転させたい方向と角度が 表示されたキーを選択しま す。 ・ ②: 回転を取り消しま す。 ・ < ○ : 矢印の方向に模 様を移動させます。 模様の四隅にある赤い点を ドラッグしても、模様を回 転することができます。	_
5	 左右反転キー	模様を左右に反転すること ができます。	
6	「「」	模様を複製することができ ます。	—
	夜 表 十 一		

No	表示	けたらき	会昭
NO.	名称	Id/COC	₩ NH
		糸密度を変更することがで きます。文字・枠模様の一 部などで設定することがで きます。他の模様は糸密度 が変更できるように設定し た後に、糸密度を設定でき るようになります。(P. 144)	_
8	ボーダー機能(繰 り返し模様作成) キー	連続模様(ボーダー模様) を作って編集することがで きます。	148
9	 アップリケピース キー	選択した模様の輪郭を刺 しゅうして、アップリケ ピースを作ることができま す。	182
10	糸色パレットキー	表示されている模様の色を 変えることができます。	167
1	<u> て</u> 文字編集キー	文字の編集をすることがで きます。	142
12	■ 整列キー	複数の模様を選択して整列 することができます。	147
13	スティップリング キー	模様の周囲にスティップリ ング、エコーキルト、デコ ラティブフィル模様を追加 することができます。	192
14	② アウトライン抽出 キー	模様の輪郭を抽出すること ができます。抽出した模様 はマイデザインセンターで 使用することができます。	247
15	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	組み合わせた模様のぬい順 を変えることができます。	170
16	////////////////////////////////////	選択した糸色をぬわないよ う設定することができます。	169

文字模様編集画面

文字を入力した後でも、文字を再編集すること ができます。[編集]ウィンドウで T を押すと、 次の画面が表示されます。

🛛 お知らせ

- キー表示が灰色の場合、選択した模様にその 機能を使うことはできません。
- ・文字模様を再編集するときは、改行キー(⑦) および整列キー(⑩)は使用できません。



No	表示	けたらき	条四
	名称	Id/CDC	9 1 1
1	101 ABC フォントタイプ キー	文字のフォントを変更します。 使用可能なフォントが表示され ます。	_
2	30 - + フォントサイズ キー	文字の大きさを変更します。	_
3	< >文字選択キー	カーソルを移動し、文字を選択 します。	136
4	ABC A 複数/単一選択 キー	 複数の文字を選ぶか、1つの文字を選ぶかを切り替えます。 ABC A: 複数文字選択モード ABC A: 単一文字選択モード 	136
5	_	文字のカテゴリーを選択しま す。	—
6	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	文字を削除します。	—
7	 改行≠-	行を追加します。 この機能は、文字を入力する場 合に使用できます。	136

No	表示	けたこキ	会四
NO.	名称	Id/CDC	梦照
8	Ц	スペースを入力します。	—
	スペースキー		
9	セット	文字模様の編集を適用します。	—
	セットキー		
	▶ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	文字を右、左、中央に揃えま す。この機能は、複数行で文字 が入力されている場合に使用で	136
		きます。	
1	ABC H-	文字模様の間隔を変更します。 • ◆▲▲▲▲◆ :文字間を広げます。	_
	乂子间十一	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	
		 選択されている文字と次の文字の間隔を変更します。 文字「D」を選択した場合: 	
		ABCD E ↔ ABCDE	
		← <u>ABC</u> ←	
		すべての文字を選択した場 合:	
		 ・ ・ : 選択されている1文 	
		子を上に 移動しま9。	
		字を下に移動します。	
		 ・ ▲ ・ 間隔をリセットします。 	
12	NB C	文字模様の配列を変更します。	145
	 配列キー	 文字模様を円弧上に配置する 場合は、 は、 ((((((((((
		たは『ピッを押します。	
		9。 「①:急な曲線にします。	
		 文字模様を斜めに配置する場 	
		合は、みらを押します。	
		📐 : 傾きを反時計回りに変	
		更します。	
		: 傾さを時計回りに変更 」ます	
		 ▲BC: レイアウトをリセット 	
13		しより。 文字の大きさを微調整します	
		へ」の八ここと以明正しより。	
11	サイスキー	前の画面に戻ります	
	キャンセルキー		
縫製画面



- プロジェクターで針落ち位置を確認することができます。(P. 137)
- ② 選択した模様に使用できる刺しゅう枠の種類を示します。必ず適切な枠を使用してください。 (P. 126)
- ③ 選択した模様が表示されます。
- ④ 設定画面で選択した枠の縫製範囲を示します。 (P.23)
- ⑤ 選択した模様の大きさを示します。
- ⑥ 選択した模様の針数と、現時点でぬい終わった分の針数を示します。
- ⑦ 選択した模様の色数と、現在刺しゅうしている色の順番を示します。
- ⑧ 選択した模様を刺しゅうするために必要な時間 と、現時点でぬい終わった分のぬい時間を示しま す(糸色替えの時間と自動的に糸を切る時間は含 みません)。
- ⑨ 色替えの順番の一番上にある糸で刺しゅうされる 部分を示します。
- ⑩ 色替えの順番と、それぞれの糸色の縫製時間を示します。
- * 表示される時間は、縫製に必要と予測される時間の目安です。実際の縫製時間は、使用する刺しゅう枠の種類によっては、表示よりも長くかかります。また、表示される縫製時間には、糸替えにかかる時間は含まれていません。

■[レイアウト]ウィンドウ

[レイアウト]を押すと[レイアウト]ウィンドウ が表示されます。



🖉 お知らせ‐

 模様によっては、操作や機能が使用できない 場合があります。キーが灰色の場合、選んだ 模様にその操作や機能を使うことはできません。

No.	表示	はたらき	参照
	名称		
1	送 針落ち位置確認 キー	プロジェクターで針落ち位 置を確認することができま す。	137
2	「市地スキャンキー」	刺しゅうの位置を合わせる ために、布地をスキャンす ることができます。	155
3	ア レビューキー	刺しゅうのイメージを確認 することができます。	151
4	 プロジェクター キー	プロジェクター機能を使っ て、模様を映すことができ ます。	152
5	▲ 移動キー	模様移動ウィンドウを表示 することができます。	_
6	 回転キー 	模様回転ウィンドウを表示 することができます。	—
7	り しつけキー	模様にしつけぬいを加える ことができます。	171
8	 剤しゅう位置決め 	内蔵カメラと刺しゅう位置 合わせシールを使って、刺 しゅう模様の位置合わせを することができます。	157
9	<u></u> 一色ぬいキー	選択した模様を、一色でぬ うことができます。	169

No	表示	1+4-2 +	金四
NO.	名称	はたらさ	参照
10	エエコ カラーソートキー	選択した模様の縫製順を糸 色ごとにまとめ、糸色を交 換する回数を減らすことが できます。	168
1	↓↓↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	模様をつないで刺しゅうす ることができます。内蔵カ メラを使って、正確に模様 をつなぐことができます。	215
12	□	模様をミシンのメモリーま たは USB メディアに保存し ます。無線接続で模様をパ ソコンに送ることもできま す。	165
13	● <	刺しゅう枠を簡単に脱着で きるようにキャリッジを移 動します。	162
14	刺しゅう範囲ト レースキー	模様のぬう位置を確認する ことができます。刺しゅう 枠を移動して、模様を刺 しゅうするために十分なス ペースがあるかを確認でき ます。	137
15	はい始め位置キー	ぬい始めの位置を移動して、 模様の位置に針を合わせる ことができます。	158、172
16	 進む/戻るキー	針を戻したり進めたりする ことができます。刺しゅう の途中で糸が切れたときや、 刺しゅうを始めからやり直 したいときに使います。	161
17	※ 糸切り/糸調子 キー	自動糸切り、渡り糸切り、 糸調子を設定できます。	139、163
18	_{戻る} 戻るキー	前の画面に戻ります。	-
19	プログレスバー切 り替えキー	プログレスバー(刺しゅう の進捗状況)の表示を1色 または全色に切り替えるこ とができます。	-

模様の編集

模様の大きさを変える

1 [編集]を押してから□□を押します。

	â 🕈
00%Q ↓ ↓ ↓ 120.9mm 120.6mm	
	編集
	b Ó

2 大きさを変える方法を選びます。

((+	0	\$?	L	÷	A
100% Q	1	++++	[120 [120 [120	.9mm .6mm		
					編	*
					<u></u>	120.9 mm 120.6 mm
						₩Į
					₽	₽

* 🛄 🕅 🚻 :

針数を保持したまま、模様の大きさを変えます。 模様を大きくすると密度が低くなり、小さくする と密度が高くなります。刺しゅうの品質維持のた め、模様の拡大、縮小には制限があります。

* 🛄 🗰 🖽 🖽 🗄 :

この機能では、通常の模様の拡大縮小よりも大き な割合で模様を拡大縮小することができます。 糸密度を保持したまま、模様の大きさを変えま す。模様の大きさに合わせて、針数が再計算され ます。

このキーが灰色で表示され使用できない場合、こ の機能は選択した模様で使用できません。 連続模様を作る場合は、この機能でサイズを変更 してから、連続模様を作ります。

🖉 お知らせ -

- ・ 単 型 で模様サイズを変更した後、刺しゅう編集画面で糸密度を変更することができます。(P. 141)
- 模様を拡大して、ぬい目にすきまがある場合 は、糸密度を細かくすると、仕上がりがより きれいになります。
- ・模様を縮小して、ぬい目が密集している場合は、糸密度をあらくすると、仕上がりがよりきれいになります。

3 大きさを変える方向を選びます。



- 様様の大きさ
- ② 元の大きさに戻ります。
- ③ 模様を移動します。

₽	縦横比を変えずに、模様を小さくします。
	模様を縦方向に小さくします。
	模様を横方向に小さくします。
+	縦横比を変えずに、模様を大きくします。
	模様を縦方向に広げます。
+-+	模様を横方向に広げます。

🛛 お知らせ

- 元の大きさと最大縫製範囲によって、模様の 拡大縮小できる範囲は異なります。
- 模様や文字によっては 90 度回転させると、 さらに拡大できます。
- 模様のイメージの赤い点をドラッグすること
 で、模様のサイズを変更することもできます。
- 4 [OK] を押します。

☆ お願い

 ぬい上がりを確認するために、作品と同じ布 と糸で試しぬいをしてください。

模様を組み合わせる

例:



- 1 模様を選択し、[セット]を押します。
- 2 [追加]を押します。



- **3** AA を押します。
- 4 フォントのキーを押して文字を入力します。 (P. 135)
 - → 入力した文字が、画面の中央に表示されます。

5 座 を押して、文字の配列を変えます。[OK] を押します。



- * 文字の配列変更についての詳細は、P. 142 を参照 してください。
- 6 [セット]を押してから[編集]を押します。
- 7 ⊕を押して、 < ・> を使って文字を移動し
 - ます。[OK] を押します。
 - * 指または付属のデュアルタッチペンで画面の模様 を直接ドラッグして移動することもできます。
- 8 すべての編集が終わったら、[縫製]を押しま す。



 組み合わせた模様を編集する場合は、
 使って編集する模様を選択します。指または付属のデュアルタッチペンで直接画面を押して模様を 選択することもできます。

🖉 お知らせ・

組み合わせ模様は、模様を選んだ順番に刺しゅうされます。ぬい順は変えることができます。(P. 170)

複数の模様を選択する

1 □□□□ を押します。

	選択	<	Þ			
追加	Î	r	5	2		縫製
				3		

2 選択したい模様をそれぞれ押します。



- ① くまたは > を押して選択する模様を確認してから、[選択]を押して模様を選択します。選択した 模様は赤で囲まれます。[無選択]を押すと、模様の選択を解除できます。
- ② 模様すべてを選択解除します。
- ③ 表示エリア内の模様すべてを選択します。
- ④ 複数選択画面が表示されているときは、模様を移 動することができます。

3 [OK] を押します。

→ 選択した各模様は赤で囲まれます。

🖉 お知らせ

一部の編集キーは、複数の模様が選択されている間は灰色で表示され使用できません。

選択した複数の模様をグループ化す る

複数の模様をグループ化すると、ひとつの模様 として編集することができます。

- 1 □□□□ を押します。
- 2 選択したい模様をすべて押してから、[OK] を押します。(P. 146)
- 3 🖪 を押します。



- → 選択した模様がグループ化されます。
- * <u>B</u>を押すと、グループ化を解除します。グルー プ化された模様が複数ある場合、選択した模様の グループ化が解除されます。

🖉 お知らせ

 一部の編集キーは、複数の模様がグループ化 されている間は灰色で表示され使用できません。

模様を整列する

1 [編集]を押してから 🖴 を押します。



2 整列させたい模様をすべて押します。



3 整列キーを押します。

例:



連続模様(ボーダー模様)を作る

■ 連続模様を作る

ボーダー機能を使用して、連続した模様を作るこ とができます。

1 [編集]を押してから 譅 を押します。



2 模様を連続させる方向を選びます。



- ① 縦方向
- ② 横方向 (P. 148)
- → 選んだ方向によって、模様の方向を示す表示が変わります。
- 上に模様を繰り返す場合は
 様を繰り返す場合は
 を押します。
 - * 上の模様を削除する場合は、 🗄 を押します。
 - * 下の模様を削除する場合は、 🖡 を押します。



① 連続模様キャンセルキー

- 4 連続模様の間隔を調節します。
 - * 間隔を広げる場合は、 🗄 を押します。
 - * 間隔を狭くする場合は、 🕴 を押します。
- 5 2から4の手順を繰り返して、連続模様を作成します。
- 6 [OK] を押します。

🖉 お知らせ

 2つ以上の模様がある場合は、すべての模様 が赤い枠の中で1つの模様としてグループ化 されます。



■ 横方向

左に模様を繰り返す場合は ♀ を、右に模様を繰り返す場合は ♀ を た に 模様を 繰

- * 左から模様を削除する場合は、 === を押します。
- * 右から模様を削除する場合は、🔤 を押します。



① 間隔キー

② 連続模様キャンセルキー

- 連続模様の一部を切り出し繰り返す 分割機能を使用すると、連続模様の一部を切り出 し、その模様だけを繰り返すことができます。
- まごを押して、連続模様を作ります。 (P. 148)。
- 2 連続模様を切る方向を選びます。



- ① 縦方向に連続した模様を切ります。
- ② 横方向に連続した模様を切ります。
- → 選んだ方向によって、模様の方向を示す表示が変わります。
- 3 ▲ と ◆ を使って、切り取り線を移動します。



- → 連続模様が分割されます。
- 4 …を押します。



5 くと>を使って、繰り返す模様を選びます。



選んだ模様を繰り返します。

6



7 [OK] を押します。

🖉 お知らせ・

連続模様を分割した後は、元の連続模様に戻すことはできません。



糸印をつけておくと、布地を張り直して連続し て刺しゅうするときに、簡単に模様の位置を合 わせることができます。

- 1 [編集]を押してから 🔛 を押します。
- 2 と を押します。
- 3 ▶ ▼ を押して、糸印をつける場所を選び ょす。



🖉 お知らせ -

- 2つ以上の模様がある場合は、
 く、
 また
 は
 (↓)を押して、糸印を付けたい模
 様を選んでください。
- 4 [OK] を押してから [縫製] を押します。



- 5 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを始めます。
 - → 刺しゅうが終わると、最後の糸色を使って、糸印 がぬわれます。



- 6 刺しゅう枠を取り外します。
- 7 刺しゅう枠に布地を張り直します。

☆ お願い -

 次の模様の刺しゅう範囲が縫製範囲内に収ま るように、布地の位置を調整してください。



- ① 最初に刺しゅうした模様
- ② 次に刺しゅうする模様の位置

8 刺しゅう枠をミシンに取り付けて、 します。



9 を押して、ぬい始め位置を模様の上中央に設定します。



- **10** [OK] を押します。
- 11 (」)(押え上下スイッチ)を押して、刺しゅ う押えを下げます。

③ 縫製範囲

- 12 0を押します。
- 13 刺しゅう枠を移動するために、カメラ ビューウィンドウで布地の糸印がぬい始め 位置に合わうように移動キーを押します。



- ① 布地の糸印
- ② ぬい始め位置



☆ お願い

- 移動キーで刺しゅう位置を合わせられない場合は、糸印と次に刺しゅうする模様が縫製範囲に入るように布地を張り替えてから、再度移動キーで位置を合わせてください。
- 連続模様を刺しゅうしているときは、カメラ ビューウィンドウで模様を回転しないでくだ さい。カメラビューウィンドウで模様を回転 した場合は、カメラビューウィンドウで糸印 とぬい始めの位置をあわせても、正しく位置 合わせされた状態で刺しゅうされません。
- 14 [OK] を押すと、前の画面に戻ります。
- 15 必要に応じて、糸印を取り除きます。
- 16 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを始めます。

模様のイメージを確認する

1 🔤を押します。



→ 刺しゅうされる模様のイメージが表示されます。

- 2 Ⅰ □ □ を押して、プレビューで使用する刺しゅう枠を選びます。
 - * 灰色で表示されている刺しゅう枠は選べません。
 - *
 を押すと、模様のイメージが拡大表示されます。



- 3 ▶▶●を押して、ぬい順を確認します。
 - → 縫製シミュレーター画面が表示されます。



① 再生/一時停止
 ▶ を押すと、アイコンが □ に変わります。



- ② ぬい始めに戻ります。
- ③ シュミレーション速度を選択します。
- ④ ●を押すと、刺しゅう枠選択画面に戻ります。

基本の刺しゅ

J



2 布地に映し出された刺しゅう模様を確認します。必要に応じて、ミシンの画面から、 布地に映し出す位置やプロジェクター設定を変更します。





- 四隅のいずれかの青い線をドラッグして刺しゅう 枠を移動し、布地に映し出す位置を変更します。
 四本は、以ての正式をキューはキャー
- ② 押すと、以下の画面を表示します。



[スタイラスによるプロジェクター編集](編集 キーを布地に映し出す機能)のオン/オフを切り 替えます。 [背景色]で、投影時の背景色を選択できます。

- ③ プロジェクターで映し出された刺しゅう模様
- ④ デュアルタッチペンで操作する編集キー (P. 153)

3 必要に応じて、模様を編集します。



🖉 お知らせ

- 表示されていない編集キーは、この機能では 使用できません。すべての編集機能を操作し たいときは、▲を押してプロジェクターをオ フにします。 各キーの詳細については、P. 141「[編集] ウィンドウ」またはP. 143「[レイアウト] ウィンドウ」を参照してください。
- 4 刺しゅう模様の確認が終了したら、▲を押してプロジェクターをオフにします。

デュアルタッチペンを使用して布地 に映し出した刺しゅう模様を編集す る(スタイラスによるプロジェク ター編集)

刺しゅう編集画面または縫製画面では、刺しゅ う模様を布地に映しながら編集することができ ます。

☑ お知らせ

- この機能に対応していない刺しゅう枠が取り 付けられている場合、メッセージが表示され ます。この場合は、液晶画面から編集してく ださい。
- 1 デュアルタッチペンを用意します。
 - * デュアルタッチペンの使用方法については、P.68
 「デュアルタッチペンでプロジェクターを操作する」を参照してください。
- 2 刺しゅう編集画面または縫製画面で▲を押します。(P. 152)

 必要に応じて、プロジェクター表示を変更します。キーの上でタッチペンのボタンを 押して、ライトを点灯させます。





 プロジェクターで映し出す編集キーの位置を左、 右または下に切り替えます。





- ② 布地に映し出す位置を変更するキーを表示します。(P. 154)
- ③ プロジェクターで映し出すキーを最小化します。



基本の刺しゅ



»の上で押してライトを点灯させてモード

を切り替え、編集します。

- * 内蔵カメラが光を検知し、刺しゅう模様が編集されます。
- * 編集が終了したら、液晶画面の ▲ を押してプロ ジェクターをオフにします。

■移動モード



① 刺しゅう模様を移動します。





- ① 刺しゅう模様を反時計回りに回転させます。
- ② 刺しゅう模様を時計回りに回転させます。

■サイズ変更モード(刺しゅう編集画 面のみ)



- ① 刺しゅう模様の高さを変更します。
- ② 刺しゅう模様の幅を変更します。
- ③ 縦横比固定を設定/解除します。

■ 映し出す位置を変更する

- 刺しゅう枠がミシンに取り付けられている ことを確認し、次の画面で▲を押します。
 - 刺しゅう編集画面
 - 縫製画面
 - マイデザインセンターのステッチ設定画面
- 2 刺しゅう編集画面または縫製画面で▲を押した場合は、デュアルタッチペンを予の上に合わせ、ボタンを押してライトを点灯させます。





- プロジェクターで映し出す編集キーの位置を左、 右または下に切り替えます。
- ② プロジェクターを編集モードに切り替えます(刺しゅう編集画面と縫製画面のみ)。(P. 153)
- ③ プロジェクターで映し出すキーを最小化します。
- → デュアルタッチペンの光をカメラが検知し、刺 しゅう模様を映し出す位置が変更されます。
- 4 編集が終了したら、液晶画面の▲を押して プロジェクターをオフにします。

刺しゅう位置を合わせる

布地を画面に表示する

刺しゅう枠に張った布地を画面に表示して、布 地に合わせて刺しゅう位置を調整することがで きます。

例:



🖉 お知らせ

- 別売の縦 20 mm × 横 60 mm の刺しゅう枠を 取り付けている場合、この機能は使用できま せん。
- キルティングのような厚みのある布地を使用 する場合は、P. 156「厚い布地を使用して模 様の位置合わせをする」を参照してください。
- 刺しゅう枠に布地を張り、枠をミシンにセットします。
- 3 🚡を押します。



4 [スキャン]を押します。



5 次のメッセージが表示されたら、[OK] を押します。

枠が動いて、スキ	テャンを開始し	ます。	
キャンセル			ок

- → キャリッジが移動し、布地をスキャンします。
- 6 スキャンした布地が模様の背景に表示されたら、[閉じる]を押します。



- ① スキャンした背景画像の透明度を調整できます。
- ② 背景画像を USB メディアに保存することができます。
- * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。

7 模様をぬいたい位置に合わせます。

* 「編集」画面については、P. 140「刺しゅう編集画 面」を参照してください。



🖉 お知らせ

 指や付属のデュアルタッチペンで画面の模様 をドラッグして、模様をぬいたい位置に移動 することができます。微調整が必要な場合は、
 ◆を押して模様を動かしてください。

☆ お願い

・背景画像の表示/非表示を切り替えることができます。必要に応じて、を押し、[背景画像]のオン/オフを設定してください。

スキャン
背景画像
C

 ・設定画面では、背景画像の画質を設定したり、 スキャンした画像を削除することができます。

0	背景画像表示	
	スキャン画質	きれい >
	背景画像	削除

■厚い布地を使用して模様の位置合わせをする

キルティングのような厚みがある布地をスキャン して位置合わせをする場合、布地を正しく認識で きないことがあります。正しく認識するために、 はじめにミシンで布地の厚さを確認します。

- 1 刺しゅう枠に布地を張り、枠をミシンに セットします。
- 2 模様を選択し、必要に応じて模様を編集します。
- 3 ●を押して、設定画面の[布厚センサー]を 表示し、オンに設定します。

0	背景画像表示	
	スキャン画質	きれい 〉
	背景画像	削除
*	布厚センサー	

- **4** [OK] を押します。
- 5 🔂を押します。

6 [スキャン]を押します。

7 プロジェクターで表示される赤い枠内に収 まるように、刺しゅう位置合わせシールを 布地に貼り、 本 を押します。



→ キャリッジが移動し、布地に貼った位置合わせ シールが検出されます。 8 次のメッセージが表示されたら、刺しゅう 位置合わせシールを布地からはがし、[OK] を押します。

布厚検出に成功しました。 位置合わせマークをはがして下さ OKキーを押すとスキャン動作を	さい。 5開始します。
キャンセル	ОК

- → キャリッジが移動し、布地をスキャンします。
- 9 P. 155「布地を画面に表示する」の手順 6 を 参照して、模様をぬいたい位置に合わせます。

刺しゅう位置合わせシールを使う

内蔵カメラと付属の刺しゅう位置合わせシール を使用して、縫製位置を合わせることができま す。

☆ お願い

- 刺しゅう位置合わせシールを貼る前に、使用 する布の切れ端に貼って、きれいにはがせる ことを確認してください。
- [レイアウト]を押してレイアウトウィンドウ を表示して、⑧を押します。



 次のメッセージが表示されます。[OK] を押 します。



3 模様の位置合わせに使う基準点を選択します。この例では模様の左下を基準点にします。



- * 模様の中心に刺しゅう位置合わせシールを合わせ たい場合は、+ を選択します。
- 4 刺しゅう位置合わせシールの大きい円の中 心が選択した基準点と合うように、刺しゅ う位置合わせシールを貼ります。



- ① 刺しゅう位置合わせシール
- ② 基準点
- ③ 縫製範囲

🖉 お知らせ

 小さい円が上になるように刺しゅう位置合わ セシールを貼ってください。刺しゅう位置合 わせシールを貼る角度によって、模様の角度 が変わります。お好みの角度にシールを貼り つけて、模様の角度を変えて刺しゅうするこ ともできます。 J

5 [スキャン]を押します。

* [スキャン]を押す前に、刺しゅう押えくW>を 取り付けてください。



 次のメッセージが表示されます。[OK] を押 します。



- → 内蔵カメラが自動的に刺しゅう位置合わせシール を検出し、選択した刺しゅう模様の基準点が刺 しゅう位置合わせシールに合うように、キャリッ ジが移動します。
- 7 確認メッセージが表示されます。刺しゅう 位置合わせシールを布地からはがして、 [OK]を押します。
 - * 健 を押すと、キャリッジが動き、刺しゅう位 置合わせシールが針の下から少し移動するので、 はがしやすくなります。



8 スタート/ストップスイッチを押して、刺しゅうを始めます。

模様と針の位置をあわせる

例:模様の左下と針を合わせます。

 次のように、刺しゅうを始める位置に印を つけます。

ABA	
/ANDAL9	-

2 縫製画面で 上を押します。



- 3 □を押してから [OK] を押します。
 - * **き**を押すと、プロジェクターのポインターは布 地に針落ち位置を示します。(P. 137)



- ① ぬい始めの位置
- → キャリッジが指定された針位置に移動します。
- 4 [レイアウト]を押してから → を押します。 その後、針と布地の印を合わせます。



カメラビューウィンドウを使用する

内蔵カメラを使うと、簡単に縫製位置を合わせることができます。

チャコペンで刺しゅうをしたい位置に十字の印を付けます。
 その後、布地を張ります。



① チャコペンの印

- 2 ミシンで模様を選び、[縫製]を押します。
- 3 縫製画面で ∄を押します。



4 → を押して、ぬい始めを模様の中心に設定 します。



- 5 [OK] を押します。
- 6 (」)(押え上下スイッチ)を押して、刺しゅ う押えを下げます。
- **7 0**を押します。



8 移動キーを押して、布地に描いたチャコペンの十字の印がカメラビューウィンドウに表示されるまで刺しゅう枠を移動します。



- 基本の
- 9 囲を押して、グリッド線を表示します。
- 10 角度キーを押し、グリッド線が布に描いた 印と並行になるまで角度を調整します。
- 11 移動キーを押して、カメラビューウィンド ウの模様の中心点と布地に描いたチャコペ ンの十字の印が重なるまで刺しゅう枠を移 動します。



② チャコペンの印

12 [OK] を押すと、前の画面に戻ります。

刺しゅう時の調整

下糸が少なくなったら

ぬっている途中で下糸が少なくなると、ミシン が止まり、次のようなメッセージが表示されま す。



- メッセージが表示されたまま

 (止めぬい スイッチ)を押し、ぬい目がほつれないよ うに止めぬいをします。
- 2 💷 を押します。

🛛 お知らせ・

- あと数針で刺しゅうが完了するときにメッセージが表示された場合は、スタート/ストップスイッチを押すことで、10 針ほど刺しゅうができます。
- 設定画面の[上糸・下糸センサー]がオフに 設定されている場合は、上記のメッセージは 表示されません。
- [戻る]を押すと、元の画面に戻ります。
- 3 [OK] を押します。



- → 自動的に糸切りが行われた後に、キャリッジが移 動します。
- メッセージが表示されたまま、次の手順に 進みます。



- 5 枠固定レバーのロックを解除して、刺しゅ う枠を外します。
 - * このとき、布地に無理な力をかけないよう注意してください。刺しゅう枠に張った布地がたるむことがあります。



6 下糸を巻いたボビンと交換します。(P.38 「下糸をセットする」参照)



- 7 刺しゅう枠をセットします。
- 8 [OK] を押します。
 → キャリッジが元の位置に移動します。
- 9 (止めぬいスイッチ)を押してぬい始め
 に止めぬいをし、スタート/ストップス
 イッチを押して刺しゅうを続けます。

刺しゅうの途中で糸が切れたときは 1 上糸が切れたり足りなくなった場合は、上糸をかけ直します。 ② お知らせ ・下糸が切れた場合は、P. 160「下糸が少なく

- 下糸が切れた場合は、P. 160 「下糸が少なく なったら」の手順を参照してください。
- 2 」を押します。



- 3 (」)(押え上下スイッチ)を押して、刺しゅ う押えを下げます。
- 4 しを押します。



→ カメラビューウィンドウが表示されます。

5 J-1、J-10、J-100またはJ-100を押して、糸が切 れた位置の前まで針数を正しく戻し、針を 移動します。



- ① 🔍 を押すと、拡大表示されます。
- ② 【 を押すと、画面から「 ➡ 」が消えます。

🖉 お知らせ -

- 始めからやり直すときは、
 を押してください。
- 6 [閉じる]を押してから [OK] を押します。
- 7 (止めぬいスイッチ)を押してぬい始め に止めぬいをし、スタート/ストップス イッチを押して刺しゅうを続けます。

J

針に糸を通しにくい場合や刺しゅう 枠を外しぬくい場合

刺しゅう枠の位置によっては、針に糸を通しに くかったり、刺しゅう枠を取り外しにくい場合 があります。その場合は、刺しゅう枠を動かし てください。

1 縫製画面で⊕を押します。



- 2 キャリッジが移動する旨のメッセージが表示された場合は、[OK] を押します。
 - → キャリッジが移動します。メッセージが再度表示 されます。
- 3 メッセージを表示させたまま、針に糸を通 すか、刺しゅう枠を取り外します。
- 4 [OK] を押します。
 - → 刺しゅう枠が元の位置に戻ります。

電源を切った後、刺しゅうを再開す る

刺しゅうの途中で電源が切れた場合でも、次に ミシンの電源を入れたときに、中断された操作 を続けるか模様を消去するかを選ぶことができ ます。

レジューム記憶を呼び出しますか?	
キャンセル	ок

☆ お願い

- ・刺しゅう機を外さないでください。模様の記 憶が消去されます。
- 1つの糸色の刺しゅうが終わる前に刺しゅう が中断された場合は、針を戻して前のぬい目 に数針重なるようにぬうと、ほつれを防ぐこ とができます。(P. 161)



下糸張力調整用内かま(調整ネジに 着色なし)を調整する

刺しゅうで下糸の糸調子を調整する場合は、下 糸張力調整用内かま(ネジに着色なし)のマイ ナスネジをドライバー(小)で回してください。

- ☆ お願い
- 使用する刺しゅう用下糸によって、使用する かまが異なります。下糸調子を調整できるの は、下糸張力調整用内かまのみです。詳しく は P. 130「きれいに刺しゅうするために」を 参照してください。



- プラスネジは回さないでください。
- ドライバー(小)で調整します。



- 下糸張力調整用内かまのプラスネジは回さないでください。内かまが破損し、使用できなくなるおそれがあります。
- マイナスネジを回しにくい場合、無理に回さないでく ださい。ネジを回し過ぎたり、回る方へ無理に回した りすると、破損するおそれがあります。破損した場合、 適切な糸調子を維持できなくなる場合があります。
 - ☆ お願い -
 - 下糸張力調整用内かまを調整するときは、必ずボビンを取り出してください。

■正しい糸調子

上糸が布地の裏側に少し見えています。



- * 薄い灰色は上糸を表します。
- * 濃い灰色は下糸を表します。

■下糸が弱すぎる場合

下糸が布地の表側に少し見えています。



このようなときは、しめ過ぎないよう時計回りに 30 ~ 45 度程度マイナスネジを回して、糸調子を 強くします。



■下糸が強すぎる場合

表側の上糸が盛り上がり、ループになっていて、 下糸が裏側に見えません。



このようなときは、ゆるめ過ぎないよう反時計回 りに 30 ~ 45 度程度マイナスネジを回して、糸調 子を弱くします。







① USB ポートコネクタ



USB ポートコネクタには、USB メディア以外のものを挿入しないでください。ミシンが破損するおそれがあります。

- 3 保存先を選択し、保存します。
 - * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。



- ① ミシンのメモリーに保存します。
- ② USB メディアに保存します。 模様が [bPocket] という名前のフォルダーに保存 されます。
- ③ 無線機能を使って保存します。
 詳しい手順については、刺しゅう PRO (バージョン11 以降)の取扱説明書を参照してください。

☆お願い -

• [記憶中 …] の画面が表示されているときは、 電源スイッチを切らないでください。記憶し ようとしている模様データが消えるおそれが あります。 基本の刺しゅう

刺しゅう模様を呼び出す

- USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す 場合は、USB メディアをミシンの USB ポートコネクタに差し込みます。
 - * 対応しているファイル拡張子について詳しくは、 P. 269「仕様」を参照してください。



① USB ポートコネクタ

2 🕞 を押します。



3 呼び出し元を押します。



- ① ミシンのメモリーから呼び出します。
- USB メディアから呼び出します。
 USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。
- ③ 無線機能で保存された刺しゅう模様を呼び出します。
 詳しい手順については、刺しゅう PRO (バージョン 11 以降) または Design Database Transfer の

取扱説明書を参照してください。
 (4) Artspira (アートスピラ) アプリから呼び出しま

④ Artspira(アートスヒラ)アプリから呼び出しま す。 (P. 223)

② お知らせ ・呼び出したい刺しゅう模様が USB メディアのフォルダーにある場合は、そのフォルダーのキーを押します。



- 4 呼び出したい模様のキーを押します。
 - * らを押すと、前の画面に戻ります。

	****MB			
€ `` ,				
/hPocket				
28462200 Rose Pick				
戻る	セット			
C				

🖉 お知らせ‐

・ 定を押すと、選択した模様を削除したり、
 ミシンのメモリーに保存したりできます。



④ 選択した模様をミシンに保存します。

5 [セット]を押します。

第5章 いろいろな刺しゅう

色を編集する

刺しゅうの糸色を変える

1 [編集]を押してから 🕮 を押します。



2 変更する部分の色を押し、糸色パレットから新しい色を選択します。



- 1 色を選択するかすべての色を選択するかを切り 替えます。
- ② 糸ブランドを選択します。
- ③ 元の色に戻します。
- ④ 選択された糸色イメージ

🖉 お知らせ

- •[数字入力]を押して糸番号を入力すると、糸 色が検索できます。入力する数字を間違えた 場合は、[C]を押します。
- **3** [OK] を押します。

カラーシャッフル機能を使って、新 しい配色を設定する

カラーシャッフル機能を使用すると、選択した 刺しゅう模様に、ミシンが新しい配色を提示し ます。

- 1 [編集]を押してから 📰 を押します。
- 2 🛛 📦 を押します。



🖉 お知らせ

 選択した模様によっては、この機能を使用で きないものがあります(例:連続模様、ライ センスがある模様)。

3 模様を作成するときの糸ブランドと色数を 選びます。次に、お好みの効果を選択しま す。



- ① 糸ブランド
- ② 使用する色数
- ③ 配色モード
- * [ビビッド]または[ソフト]を選んだ場合は、5 に進んでください。

4 [ランダム]または[グラデーション]を選択した場合は、[自動]を選択してから、[OK]を押します。

🖉 お知らせ

 使用する糸色を指定する場合は、[手動]を選 択します。

[ランダム]モードでは、6色までの糸色を選 択できます。選択した糸色でランダムな配色 が生成されます。

[グラデーション]モードでは、1 色選択でき ます。選択した糸色でグラデーションが生成 されます。



② 選択した糸色が表示されます。

- 5 見本イメージから、お好みの配色を選びま す。
 - * [リフレッシュ]を押すと、新しい配色が表示され ます。



- ① お気に入りの配色を一時的に登録する場合は、
 を押します。お気に入りの配色を解除する場合は、
 をもう一度押します。
- ② 押すと配色のお気に入り画面が表示されます。
 ★を押すと配色のお気に入り画面の配色が解除されます。
- ③ 前の配色見本を確認するときに押します。
- [セット]を押して、表示された配色を選びます。

糸色ごとに並べ替える

糸こまを交換する回数を最小にすることができ ます。

1 縫製画面で[レイアウト]を押します。

2 💵 を押します。

* もう一度押すと、設定を解除します。



→ 糸色ごとに並べ替えられて、刺しゅうの順番が変わります。



🖉 お知らせ

糸色ごとに並び替える機能は、模様が重なっていると使用することができません。

1 色で刺しゅうする

選択した模様を複数の色ではなく1色でぬうこ とができます。模様が完成するまで、ミシンは 糸替えのために停止することなくぬい続けます。

- 1 縫製画面で[レイアウト]を押します。
- 2 夏を押してから[レイアウト]を押します。
 - * もう一度押すと、設定を解除します。



→ 画面の糸色が灰色表示になります。



さまざまな刺しゅうの機能

縫製スキップ設定

模様の特定の糸色部分に縫製スキップ設定(その糸色だけぬわないようにする設定)を設定することができます。

1 刺しゅう編集画面で 뺐 を押します。



- 2 糸色の順番表示から、縫製をスキップする 糸色を選択します。
 - → 選択した糸色が青色で強調表示されます。



3 📈 を押します。

→ 選択した糸色に、縫製をスキップすることを示す マーク MM が表示されます。

模様プレビュー画面では、縫製をスキップする部 分が非表示になります。



お知らせ -

- ・ 縫製スキップ設定を解除する場合は、糸色を 選択して mm を押します。
- 4 必要に応じて、縫製をスキップするすべて の糸色に対して、手順2と3を繰り返しま す。
- 5 設定が完了したら、[OK] を押します。
- 6 ■を押してから@を押して、刺しゅうの 仕上がりの拡大イメージを確認します。
 - * 縫製スキップ設定後は、スキップした糸色部分に 隠れていたステッチが表に出てくることがありま すので、必ず確認してください。

☑ お知らせ

- ・縫製スキップを適用した模様は、縫製スキップの設定も保存されます。ただし、すべての糸色に縫製スキップが適用されている場合は、 模様の保存ができません。
- ・縫製スキップを適用した部分は表示されない だけで、削除されるわけではありません。模 様の刺しゅうに必要な縫製範囲は、元の模様 と同じです。

組み合わせた模様のぬい順を変える

組み合わせた模様のぬい順を変更することがで きます。

- 1 模様を選択し、模様を追加し、模様のレイ アウトを調整し、[編集]ウィンドウを表示 します。
- 2 必要に応じて、 B を押して模様のグループ 化を解除します。



🖉 お知らせ

- グループ化された模様のぬい順は、グループ ごとに変更されます。グループ内の模様のぬ い順を変更する場合は、まずその模様のグ ループ化を解除します。
- 3 🔹 を押します。



4 順番を変更したい模様を選択し、キーを押 してぬい順の位置を変更します。



- ① 選択された模様
- ② 選択した模様のぬい順を1つ後ろに移動します。
- ③ 選択した模様のぬい順を1つ前に移動します。
- ④ 選択した模様のぬい順を先頭に移動します。
- ⑤ 選択した模様のぬい順を最後に移動します。
- ⑥ ぬい順を元に戻します。

🖉 お知らせ

- 重なっている模様の位置は、画面右側のプレビューで確認できます。
- 5 [OK] を押します。





刺しゅうのしつけぬい

刺しゅうする前に、模様のまわりにしつけぬい をすることができます。アイロンやのりで接着 芯を貼り付けられないような布地をぬうときに 役に立ちます。

☆ お願い

- 模様の組み合わせや編集が終わった後で、しつけぬいを設定してください。しつけ設定をした後に模様を編集すると、しつけと模様がずれることがあります。
- を押して、設定画面の [刺しゅうしつけ距離]を表示します。
- 2 模様からしつけぬいまでの距離を指定します。

ß	模様キーの大きさ	
*	刺しゅうしつけ距離	5.0mm >

- **3** [OK] を押します。
- 4 [レイアウト]を押してから、 を押して、 しつけぬいの設定を選択します。
 - * もう一度押すと、設定を解除します。



→ しつけぬいが、ぬい順の最初に追加されます。





「C」の文字の右側部分が刺しゅう枠の内側 に入るようにして、布地をもう一度しゅう 枠に張ります。このとき文字が水平になる ように注意します。残りの文字(「DEF」) を刺しゅうするために、刺しゅう枠をもう 一度ミシンに取り付けます。



- 手順1と同様に、「DEF」の文字模様を選択 します。
- 10 🗄を押してから 📘 を押します。



- → 針が模様の左下隅に来るようにキャリッジが移動 します。このポイントを、前の模様のぬい終わり 位置に合わせる必要があります。
- **11** [OK] を押します。
- - * **き**を押すと、プロジェクターのポインターは布 地に針落ち位置を示します。 (P. 137)



13 スタート/ストップスイッチを押して、残 りの文字模様をぬいます。



印刷と刺しゅうの組み合わせ機能

このミシンには、印刷と組み合わせて完成する 刺しゅう模様が内蔵されています。 布地にアイロン転写した背景や布地に印刷した 背景の上に、刺しゅうを施すことで、美しく立 体感のある刺しゅうデザインが完成します。 例:アイロンプリントシートを使う



■ 背景と配置画像を出力する

キーの左下に「P」が表示されている模様は、印 刷と組み合わせることができます。

🖉 お知らせ

 この機能が使用できる模様については、「模様 一覧」を参照してください。 印刷したデザインと組み合わせできる模様
 を選び、①を押します。



→ 刺しゅう模様のみ表示されます(選択した刺しゅ う模様の背景ではありません)。

模様を選択し、 🖙 を押します。

- \$ 0 ? ÷ 266.2 mm ↓ 0 15407 □ 0 × 0 min 222.9 mm ↓ 15407 □ 7 × 0 min 22 min 00 **10**1 1 10**~**1> 2 V710 7110 2 min ハイイロ コイビンク キミドリ レモンイロ N770 セット 閉じる ſ,
- 1) 背景と模様を組み合わせたイメージが表示されます。
- ② 背景色を変更します。

2

3 ファイルを保存するメディアのキーを押します。



→ 背景画像2点と刺しゅう位置合わせシート1点が、 PDF ファイルで USB メディアに保存されます。 J,

__r.pdf • ☆ お願い -左右反転した画像(アイロン転写用) • アイロンプリントシートまたは印刷できる布 地に印刷する前に、印刷テストをして、印刷 設定をご確認ください。 アイロンプリントシートまたは印刷できる布 地の使い方について詳しくは、それぞれの説 明書を参照してください。 プリンターによっては、アイロンプリント シートを用紙に選択すると、自動的に画像を 反転します。詳しくは、お使いのプリンター n.pdf の説明書を参照してください。 反転していない画像(印刷できる布地用) 3 刺しゅう位置合わせシート (p.pdf) を 普通紙に印刷します。 ☆ お願い -• 刺しゅう位置合わせシートの PDF を印刷する ときは、フルカラー印刷で最高画質に設定し てください。また、マット紙の使用をお勧め します。印刷設定が行われていない場合、ミ p.pdf シンの内蔵カメラは位置あわせマークを正し 位置合わせマークがついた反転していない画 く検知できないおそれがあります。 像(位置合わせ用) 4 アイロンプリントシートをお使いの場合、 布地に転写します。



■刺しゅうする

1 背景がアイロン転写または印刷された布地 を刺しゅう枠に取り付けます。





4 セットを押します。

■背景と刺しゅう位置合わせシートを 印刷する

背景と刺しゅう位置合わせシートの PDF ファイ ルを印刷します。印刷する背景は、アイロンプリ ントシートまたは印刷できる布地のどちらを使用 するかによって異なります。

1 印刷する PDF ファイルを開きます。

☆ お願い ·

背景と刺しゅう位置合わせシートは原寸で印刷してください。サイズを変えて印刷すると、刺しゅう模様と背景の大きさが合わないことがあります。また、内蔵カメラが刺しゅう位置あわせマークを検知できなくなります。印刷設定が正しいか確認してください。

2 背景画像を印刷します。

* アイロンプリントシートに印刷するときは、
 「___r.pdf」(左右反転した画像)を印刷します。
 印刷できる布地に印刷するときは、「___n.pdf」
 (反転していない画像)を印刷します。

- 2 刺しゅう位置合わせシートをカットし、布 地の背景画像に合わせやすくします。
 - * 画像の線や色が変わる境目で位置合わせシートと 背景を合わせると、位置合わせがしやすくなりま す。



3 位置があうように、布の上に位置合わせ シートを置いて、ずれないようにセロハン テープで固定します。



① セロハンテープ

4 模様が選択されていることを確認して、[縫 製]を押します。

☆ お願い・

- 刺しゅうする前に、刺しゅう位置合わせシートが背景と合っていることを確認してください。
- 5 P. 157「刺しゅう位置合わせシールを使う」
 を参照して手順1から7を参照して、刺しゅうの位置を合わせます。
 - * この機能では位置合わせシールの代わりに、布地 に固定した位置合わせシートのマークで位置を合 わせます。「刺しゅう位置合わせシールを使う」 の手順3を行うときは、模様の中心を基準点にし てください。手順4の刺しゅう位置合わせシール の貼り付けは不要です。
- 6 刺しゅう位置合わせシートを取り除き、ス タート/ストップスイッチを押して、刺 しゅうをします。

ピクチャープレイ刺しゅう 機能

写真を刺しゅうデータに変換できます。

🖉 お知らせ

 自動背景除去機能およびスタイル変換機能は 人工知能(AI)技術を使用しています。AI機 能を使用することで期待通りの結果が得られ ることを保証するものではありません。

取り込んだ画像を調整する

🖉 お知らせ

- 変換には、刺しゅうする対象物が大きく写っている写真や、明るくシャープな写真が適しています。
- 以下のような写真は、刺しゅう模様の作成に は適していません。
 - 集合写真など、被写体が小さい写真
 - 室内の写真や逆光で撮影した写真など、被 写体が暗く写っている写真
- 1 刺しゅうデータに変換する写真を USB メモ リーに保存するか、「My Design Snap アプ リ」を使ってミシンに転送します。 (P. 223)

5

2 [ピクチャープレイ刺しゅう]を押します。



3 呼び出し元を押します。

- * 使用できる画像データファイルについて詳しく は、P. 269「仕様」を参照してください。
- * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。



- USB メディアから呼び出します。
- ② My Design Snap アプリから送信された画像データ を呼び出します。(P. 223)

4 呼び出したい画像を選択し、[セット]を押します。



5 刺しゅう模様のサイズを確認し、調整します。



54 3

- ① 画像データのサイズを変更します。元のサイズに 戻すときは、
 ② を押します。
- ② 画像データを 90 度回転させます。
- ③ 刺しゅう枠のサイズに合わせてサイズを変更しま す。(手順 7 を参照)
- ④ 刺しゅうデータに変換する画像の範囲を指定します。(P.177「刺しゅうデータに変換する画像の範囲を指定する」を参照)
- ⑤ 背景を削除します。(手順 6 を参照)

🖉 お知らせ

- 刺しゅう模様の推奨サイズは以下の通りです。
 - 顔のみ:100 × 100 mm 以上
 - 頭と顔:130×180 mm 以上
 - 細かい刺しゅうを要する被写体:75×75 mm 以上
- 範囲指定機能(④)と背景除去機能(⑤)は 同時に使用できません。

- 6 必要に応じて、背景を除去します。 ⑧を押 して [自動 (AI)]を選択し、[背景除去]をオ ンに切り替えます。[プレビュー]を押して 切り抜き範囲を確認して、[OK]を押しま す。
 - * [自動 (AI)]を選択して [背景除去]をオンに設定 している場合、自動的に背景が除去されます。思 い通りの仕上がりにならない場合は、P. 177「[カ スタム]モードで背景を除去する」を参照してく ださい。



- 7 必要に応じて、 ■を押して、指定した刺しゅう枠のサイズに合うように模様のサイズを変更します。
 - * この機能で使用できる刺しゅう枠が表示されま す。

272 × 272	
キャンセル	ок

8 画像の編集が終わったら、[次へ]を押します。



→ P.179「変換方法を選択する」に進みます。

■刺しゅうデータに変換する画像の範囲を指定する

- P. 175「取り込んだ画像を調整する」の手順2~5を行います。
- 2
 ぼうを押します。指定する画像範囲を選択し、[OK]を押します。



- ① ドラッグして画像範囲を指定します。
- ② 範囲指定する形を選択します。
- P. 175「取り込んだ画像を調整する」の手順7~8を行います。

■[カスタム]モードで背景を除去する

この例では、花の写真から背景を除去します。

P. 175「取り込んだ画像を調整する」の手順6で[カスタム]を押します。
 この例では、まず[プレビュー]を押して切り抜き範囲を表示します。



→ 切り抜き範囲が青色で強調表示されます。



🖉 お知らせ

• [カスタム] モードで指定なしで切り抜き範囲 を抽出した場合と、[自動 (AI)] モードで背景 を除去した場合とでは、結果が異なることが あります。

ペン機能を使って、抽出する領域と抽出し ない領域を描きます。終わったら、[プレ ビュー]を押して切り抜き範囲を確認しま す。



- ピンクのペンで抽出する領域に線を引きます(切り抜き範囲に追加されます)。
- ② 黄緑色のペンで抽出しない領域に線を引きます (切り抜き範囲から削除されます)。
- ③ 上記 ① または ② で引いた線の上をなぞると、引い た線が消去されます。
- ④ すべての線を消去します。
- ⑤ ペン①または②で引いた線をすべて非表示にします。
- ⑥ 前の操作を取り消します。
- ⑦ 取り消した最後の操作をやり直します。



*1 を選択し、黄緑色のペンで抽出しない領域に線を引きます。

🖉 お知らせ

切り抜き範囲を追加または削除する場合、領域全体をペンで完全に塗りつぶす必要はありません。

3 意図した切り抜き範囲になるまで、線を描いて[プレビュー]で確認を続けます。



- ① <u>4</u> を選択し、ピンクのペンで抽出する領域に線 を引きます。
- 4 [OK] を押します。



* **&** を押すと、ペンで描いたすべての線が非表示 になります。



5 [次へ]を押します。


🖉 お知らせ

抽出前に、切り抜き範囲を指定する場合は、
 [プレビュー]を押さずに、手順1を行います。手順2で抽出する領域と抽出しない領域を大まかに描いて、[プレビュー]を押します。そのあとは手順3を続けて行ってください。



- ① <u>4</u> を選択し、ピンクのペンで抽出する領 域に線を引きます。
- ② を選択し、黄緑色のペンで抽出しない
 領域に線を引きます。

変換方法を選択する

■ 元の画像を使用する(スタイル変換しない)

表示されている画像を、スタイル変換しないでそのまま刺しゅうデータに変換します。必要に応じて刺しゅうデータに変換する前に、画像を調整します。

1 [オリジナル]がボックスに表示されていることを確認します。



① ボックス

[OK]を押して設定を反映します。



- ② 画像の明るさを調整します。
- ③ 画像のコントラストを調整します。
- ④ 画像の彩度を調整します。
- 3 [次へ]を押します。
 - → P. 181「適切な糸色と糸密度を選択する」に進み ます。
- ■[内蔵]スタイルを使用して変換する

ミシンに内蔵されているスタイルを使うと、元の 画像と印象の異なるさまざまな画像を作り、刺 しゅうデータに変換することができます。 この例では、花の写真を変換します。

1 ボックスにお好みの[スタイル]が表示される までスワイプします。 ♪ のオン/オフを切 り替えます。その後、[プレビュー]を押し ます。





■[カスタム]スタイルを使用して変換 する

お好みの画像をスタイル画像に設定すると、個性的なスタイル変換画像を作ることができます。 この例では、山の写真を変換します。

- スタイルとして使用する画像と刺しゅう データに変換する写真を USB メディアに保 存します。
- 2 取り込んだ画像を調整します。 (P. 175)

3 [カスタム]を押します。⊷=== を押して、 保存した画像を選択します。 ふのオン/オ フを切り替えます。その後、[プレビュー] を押します。



4 画像を確認し、[次へ]を押します。



 オフにすると、元の写真の色を使用するスタイル 変換が適用されます。詳しくは P. 179「[内蔵]ス タイルを使用して変換する」を参照してください。



→ P. 181「適切な糸色と糸密度を選択する」に進み ます。

適切な糸色と糸密度を選択する

 変換結果を確認し、問題がなければ[セット] を押して手順3に進みます。必要に応じ て、糸色の最大数、使用する糸色、糸密度 を指定します。



- ① 糸色の最大数を指定します。
- 糸ブランドを指定します。
- ③ 画像を表示する倍率を変更します。
- ④ 拡大表示をしているときに、表示位置を変更できることを示します(このキーの操作は不要です)。
- ⑤ 刺しゅう模様のイメージを表示します。
- ⑥ 糸色リストの設定をします。使用する糸色を変更 できます。

▲ (糸色保持キー)のピンが青色の場合、横の キーの糸色が刺しゅうデータへの変換時に保持されます。 ▲ (ピンが灰色)を押すと、キーの横の 糸色を保持します。 ▲ (ピンが青色)を押すと、 キーの横の糸色が保持されなくなります。

► を押すと、すべての糸色が保持されます。もう一度キーを押すと、すべての糸色が保持されなくなります。

■+ を押して糸色を選択し、[OK]を押すと、選択した糸色が糸色リストに追加されます。

糸色リストで糸色を選択し、<u></u> を押すと、選択した糸色を削除します。

- ⑦ 糸密度を調節します。
- ⑧ 刺しゅう模様を保存します。

2 この例では、最大色数を12色、2つの糸色を 保持して変換します。[プレビュー]を押し て、模様に設定を適用します。



- ① 糸色の最大数
- ② 保持する糸色 (青色のピン)

3 変換結果を確認して、[セット]を押します。

→ 次のメッセージが表示されます。[OK]を押すと、 変換された模様が刺しゅう編集画面に表示されま す。



☆ お願い

変換した模様は糸密度が高いため、刺しゅうしたときに縮むことがあります。布地を刺しゅう枠にしっかりと固定してから刺しゅうしてください。ピクチャープレイ機能を使用する場合は、布地をよりしっかりと固定できる別売のマグネット枠を使用することをお勧めします。

アップリケとカウチング

アップリケピースを作る

内蔵模様や読み込んだ模様から、アップリケ ピースを作ることができます。布地に直接刺 しゅうできないときや、衣類にアップリケを貼 りたいときに便利です。

■アップリケピースを作る



☆ お願い

- アップリケピースをつくるときは、フェルト やデニムの使用をお勧めします。薄い布地な ど、模様や布地によっては、ぬい縮みするこ とがあります。
- きれいに仕上げるため、刺しゅう用接着芯の 使用をお勧めします。
- 1 模様を選択し、必要に応じて編集します。

☆ お願い

- 模様の組み合わせや編集を終えてから、アッ プリケ設定をしてください。アップリケ設定 をした後に模様を編集すると、アップリケぬ いと模様がずれることがあります。
- アップリケ設定をすると輪郭線が追加される ため、模様が大きくなります。次の図のよう に、はじめに模様の大きさと位置を調整して ください。



- ②約1cm
- ③ 模様の大きさ

2 [編集]を押してから 🞯 を押します。





→ 模様とアップリケピースの輪郭線はグループ化されます。

4 [縫製]を押します。

→ アップリケピースの作成ステップが、刺しゅうの 順番に追加されます。

🖉 お知らせ

 刺しゅうの順番に、アップリケの切り取り線、 布地にアップリケを配置する位置、アップリ ケぬいの3つのステップが追加されます。



- ① アップリケの切り取り線
- ② 布地にアップリケを配置する位置
- ③ アップリケぬい (輪郭線)
- 設定画面で[糸色]を[#123](糸番号)に設 定すると、次の画面が表示されます。

*	1
	1
*******	7

- ☆ お願い -
- ・模様が大きいときや複雑なとき、組み合わせ 模様が近い位置にないときは、アップリケ ピースを作ることはできません。選択した模 様が縫製範囲に収まっていても、輪郭線が追 加されることで、アップリケの模様全体が縫 製範囲を超える場合があります。エラーメッ セージが表示されたときは、別の模様を選択 するか、編集を行ってください。
- 5 アップリケピースとして使用する布(フェ ルトやデニム)の裏に、接着芯を貼ります。
- 6 アップリケ布を刺しゅう枠に張り、ミシン にセットして、刺しゅうします。
- 7 模様の刺しゅうが終わったら、切り取り線 に使用する上糸を通して、切り取り線 (アップリケピース)をぬいます。



① アップリケの切り取り線

- お知らせ -
- アップリケの切り取り線には、布地に近い糸
 色を使用することをお勧めします。
- 8 アップリケ布を刺しゅう枠から外し、ぬい 目の上をていねいに切り取ります。その後、 糸をきれいに取り除きます。



☆ お願い

- 模様の糸密度や布地によっては、模様がぬい 縮みしたり、位置がずれることがあります。 切り取り線より少し外側を切ることをお勧め します。
- 上下対称、左右対称の模様をぬうときは、切り取る前に、チャコペンで模様の向きがわかるように印をつけてください。
- 必ずぬい目の上をていねいに切り取ってくだ さい。ぬい目よりも内側を切るとアップリケ をぬうときに布地に糸がかからなくなります。

9 水溶性シート(不織布タイプ)を2枚重ね て、刺しゅう枠に張ります。



☆ お願い -

- 縫製中に水溶性シートが破れるおそれがあり ますので、2枚重ねて使用してください。
- 10 手順 12 で輪郭線をぬうときに使用する上 糸を通して、模様の配置線(アップリケノ イチ)をぬいます。



(1) 模様の配置線

11 のりを薄くつけ、アップリケピースを配置 線に合わせて貼り付けます。 ・貼り付ける前に、アップリケピースが配置線 と合っていることを確認してください。 **12** 手順 **10** から使用している輪郭線用の上糸 で、輪郭線(アップリケ)をぬいます。 1 ① アップリケの輪郭線 🖉 お知らせ アップリケの輪郭線はサテンぬいでぬわれま す。 ・このとき、刺しゅう押えや針、針板にのりが 付着することがあります。アップリケ縫製後 にのりをふき取ってください。 13 刺しゅうが終わったら、刺しゅう用接着芯 を刺しゅう枠から外します。 14 アップリケの輪郭線の外側の余分な水溶性 シートをはさみで切ります。 15 アップリケピースを水に浸し、水溶性シー トを溶かします。 * 詳しくは、水溶性シートの取扱説明書を参照して ください。 16 アップリケピースを乾かし、必要に応じて アイロンをかけます。

◇ お願い
 ・アイロンで強い力をかけないでください。ぬい目が損傷するおそれがあります。

■ 輪郭に枠模様を使う

お好みの枠模様をアップリケの輪郭として追加す ることができます。枠模様の選択については、 P. 134「枠模様を選ぶ」を参照してください。



- 模様を選択し、必要に応じて編集します。
 その後、[追加]を押します。
- 2 お好みの枠模様を選択し、アップリケ模様 に追加します。
- 3 [編集]を押して、アップリケ模様の大きさに 合うように枠模様を編集します。
- 4 💿 を押します。



- 5 枠模様からアップリケピースの輪郭線まで の距離を指定し、[OK] を押します。
- 6 10 を押して、グループ化を解除します。

7 < > で枠模様を選択し、 ■ を押して、 [OK] を押します。



→ 枠模様が消去されます。

8 [縫製]を押します。



9 P. 182「アップリケピースを作る」の手順 5 以降の操作を行い、アップリケピースを完 成します。

アップリケ模様を刺しゅうする

🖞 お願い -

・「模様一覧」を参照して、内蔵のアップリケ模 様を刺しゅうするための推奨方法を確認して ください。アップリケ模様によっては、本書 の手順と異なる場合があります。

このミシンでは、アップリケが含まれている模様 を刺しゅうすることができます。アップリケを含 む刺しゅう模様を選ぶと、アップリケの手順が刺 しゅう色順番表示に表示されます。[糸色]設定 によって表示は変わります。(P.23)





① [糸色名]を選択した場合。

② [#123] (糸番号) を選択した場合。

用意するもの

- アップリケピース用の布地
- アップリケ土台用の布地
- 刺しゅう用接着芯
- 手芸用のり
- 刺しゅう糸

🛛 お知らせ

• 刺しゅう色順番表示には、アップリケピース を作ったり、貼り付けたりするときに使う具 体的な糸色の名前と番号は表示されません。 アップリケの模様や布地に合った糸色を使用 してください。

- ■1. アップリケピースを作る
- アップリケピース用の布地の裏に刺しゅう 用接着芯を貼ります。
- 2 アップリケピースの切り取り線をぬいます。 アップリケピースの布地を刺しゅう枠から 取り外し、ぬい目の上をていねいに切り取 ります。



- ① アップリケピースの切り取り線
- ② アップリケピース用の布地

☆ お願い -

- 切り取り線よりも内側を切ると、布地に正しくぬいつけられなくなります。必ず切り取り線の上をていねいに切り取ってください。
- アップリケピースを切り取った後、糸はきれいに取り除いてください。
- 2. 土台用の布地にアップリケの位置 をぬう
- アップリケの土台になる布地の裏側に刺しゅう用接着芯を貼ります。

2 アップリケの位置をぬいます。



- 3 刺しゅう枠を刺しゅう機から取り外します。
 - ☆ お**願い**
 - ・ 土台用の布地は、刺しゅうがすべて終わるま で刺しゅう枠から外さないでください。
- ■3. アップリケピースを土台用の布地 に貼り付ける
- アップリケピースの裏側に手芸用のりを薄く付け、P. 186「2. 土台用の布地にアップリケの位置をぬう」の2でぬったアップリケの位置線に合わせてしっかり貼り付けます。



☆ お願い

- 手芸用のりでアップリケピースを土台用の布 地にしっかり固定できない場合は、しつけ糸 で仮止めぬいをしてピースを固定してください。
- アップリケピースに薄い布地を使用するときは、アイロン接着シートで布地の補強と位置合わせをしてください。アップリケしたい場所にアイロンで接着できます。

- アップリケピースを貼り付けたら、刺しゅ う枠をミシンにセットします。
- 3 刺しゅう糸をセットし、押えを下げ、ス タート/ストップスイッチを押し、アップ リケを刺しゅうします。





- ■4.残りのパーツを刺しゅうする
- 刺しゅう色順番表示を確認して刺しゅう糸 を交換し、残りのパーツを刺しゅうします。



🖉 お知らせ

- 刺しゅう押えや針、針板にのりが付くことが ありますので、アップリケ模様の刺しゅうが 終わったら、のりをきれいに拭き取ってくだ さい。
- きれいに仕上げるために、糸替えごとに余分 な糸は切ってください。

枠模様を使ってアップリケを作る

大きさと形が同じ枠模様を使用して、アップリケ を作ることができます。直線ぬいで1つの模様を ぬい、サテンぬいでもう1つの模様をぬいます。

☆ お願い

 アップリケを作るときに、大きさやぬい位置 を変えた場合は、サイズと位置を書き留めて ください。

■ 方法 1

1 直線ぬいの枠模様を選択します。アップリ ケ布に模様を刺しゅうをしてから、ぬい目 の外側をていねいに切り取ります。





- 2 1 と同じ模様を土台布に刺しゅうします。
- 3 1 で作った布の裏側に、薄くのりまたは布 用スプレーのりを付けます。土台布のぬい 目に合わせて、アップリケを貼り付けます。



187

いろいろな刺しゅ

JI

4 同じ形のサテンぬいの枠模様を選択します。 3のアップリケ布と土台布の上に刺しゅう をして、アップリケを作ります。



■ 方法 2

1 直線ぬいの枠模様を選択し、土台布に刺しゅうします。



- 2 手順1で刺しゅうした模様の上にアップリケ布を置き、同じ模様を刺しゅうします。
 - * このとき、ぬい目がアップリケ布からはみでない ようにしてください。



3 刺しゅう機から刺しゅう枠を外し、アップ リケ布のぬい目の外側を切り取ります。そ の後、刺しゅう枠を刺しゅう機に再び取り 付けます。



布地は刺しゅう枠にはめたまま切ってください。また、布地に無理な力をかけないでください。刺しゅう枠に張った布地がたるむことがあります。

4 アップリケと同じ形のサテンぬいの枠模様 を選択し、サテンぬい模様を刺しゅうして アップリケを作ります。







① カウチング模様 ② カウチング文字模様 をロックしてから、押えレバーを上げます。 カウチング刺しゅう押え<Y>を取り付けま



▲ 注意

- カウチング刺しゅう押えくY>を使用する場合は、ミ シンが刺しゅうモードになっていることを確認してく ださい。他のモードを選ぶと、針がカウチング刺しゅ う押えに当たり、折れてけがをするおそれがあります。
- プーリーを回し、針がカウチング刺しゅう 押えくY>の穴の左半分に入っていること を確認します。

針が左半分に入っていない場合は、マルチドライバー を使ってカウチング刺しゅう押え<Y>のネジを回 し、刺しゅう押えの位置を調整します。ネジを手前に 回すと、刺しゅう押えが右に移動します。ネジを後ろ 側に回すと、刺しゅう押えが左に移動します。 調整後、プーリーを回し、針が押えに当たらないこと を確認してください。





ミシンに糸たてスタンドを取り付けます。
 このとき、アンテナを延ばさないでください。



- * 詳しくは、P.43「糸たてスタンドを使う」を参照 してください。
- 10 カウチング用糸ガイドをミシンの左上にあ る差し込み口に挿入します。



11 毛糸をアンテナとカウチング用糸ガイドに 通します(①から②へ)。



☆お願い

- 毛糸がピンと張らないように、毛糸玉から適量の毛糸を引き出してください。
- 作業中に毛糸がからまないように注意してく ださい。
- 12 カウチング刺しゅう押え<Y>のガイドに毛 糸を通します。



13 カウチング刺しゅう押え<Y>に毛糸を通します。

毛糸を紐通しの輪に通し、紐通しをカウチ ング刺しゅう押えくY>の穴の上から下へ 通します。毛糸を手前に引き出します。



図 お知らせ

- 押えの下に紙を敷くと、紐通しをスムーズに カウチング刺しゅう押え<Y>の穴に通すこ とができます。
- 14 Wを押して、すべてのキーと操作スイッチのロックを解除します。
- **15** 糸たて棒を使用して上糸をミシンにセット します。(P. 40)



☆ お願い -

上糸に糸たてスタンドを使わないでください。
 糸同士がからまるおそれがあります。

🖉 お知らせ

- 毛糸と同じ色の上糸を使うと、よりきれいに 仕上がります。
- 16 (」)(押え上下スチッチ)を2回押して押え を上げ、刺しゅう枠を刺しゅう機に取り付 けます。

■ カウチング模様を刺しゅうする

- 1 [縫製]を押します。
- 2 毛糸を 20 cm ほど手前に引き出します。
- 毛糸を手前に持ったまま、スタート/ス トップスイッチを押します。



▲ 注意

毛糸を上に引っ張ると、針に引っかかって毛糸が切れることがあります。毛糸が針に引っかからないように注意してください。

☆ お願い -

- ・刺しゅうをする前に、毛糸、上糸、下糸が十 分にあることを確認してください。
- 毛糸が糸ガイドにスムーズに通ることを確認してください。毛糸がぴんと張らない程度に、 毛糸玉から毛糸を引き出してください。

7

結び目のない毛糸を使ってください。

4 数針刺しゅうしたら、毛糸を放します。

→ 刺しゅうが終わると、自動的に糸を切って止まり ます。

🖉 お知らせ

 密度の高い毛糸を使用すると、上糸の糸調子が乱れることがあります。その場合は、設定 画面の[刺しゅうの押え高さ]を1mmほど上 げると改善されます。

- 5 糸を約 20 cm 残して切ります。
- 6 目打ちやタペストリー針などで布地に穴を 開け、紐通しで残した毛糸を布地の裏側に 引き出します。



毛糸が抜けないように端を結び、余った毛 糸をはさみで切ります。

キルト作品に刺しゅうを使う

デザインの周りにキルティング模様 を作る

マイデザインセンターを使わずに、ミシンに内 蔵の模様や刺しゅうデータの周りにスティップ リング、エコーキルト、デコラティブフィル模 様を作ることができます。

🖉 お知らせ

- キルト綿を布にはさんだ状態でこの機能を使うと、刺しゅう模様とスティップリングがずれる場合があります。
 スティップリングは、模様を刺しゅうした後にマイデザインセンターで追加することができます。詳しくは P. 247「模様の周りに飾りぬいをする」を参照してください。
- 周りにスティップリングを施したい模様を 選択します。
 - * 複数の模様を選択するときは、P. 146「複数の模様を選択する」を参照してください。
- 2 刺しゅう編集画面で 📓 を押します。



→ 選択した模様の周囲にスティップリングが自動で 作成されます。 スティップリングの設定をした後、[OK] を 押します。



- ① 選択した刺しゅう枠のサイズの範囲内でスティッ プリングを追加できます。選択した刺しゅう枠の サイズより模様が大きい場合、刺しゅう枠のサイ ズを示す範囲が灰色の表示になり、スティップリ ングは追加されません。
- ② 模様の輪郭からスティップリングまでの距離を設 定します。
- ③ スティップリングの間隔を設定します。

🖉 お知らせ‐

・ ● を押してエコーキルト模様を作成します。
 ● を押してデコラティブフィル模様を作成します。



- *1 エコーキルト模様
- *² デコラティブフィル模様

布地全体にキルト模様を刺しゅうす る(エッジトゥエッジキルト機能)

指定した範囲の端から端までキルト模様をつな いで刺しゅうします。刺しゅう枠を張り替える ことで、大きな布地いっぱいにキルト模様を刺 しゅうできます。

- ■エッジトゥエッジキルトデータを作 成する
- 刺しゅうする範囲を決めて、チャコペンで 布地に線を引きます。幅と高さを測ります。



- ① 刺しゅうする範囲
 - ☆ お願い
- 刺しゅう枠に布地を張ったときに、チャコペンの線が刺しゅう枠の縫製範囲に入るようにしてください。
- 2 ゜Щ を押してから 🗽 を押します。

Q		_			
	02		*		
001	002	003		005	
	je staling sta				
006	007	008	009	010	

3 刺しゅうする模様を選択し、[セット]を押します。

4 ① ~ ④を指定して、[次へ]を押します。



① 幅

- ② 高さ
- * 値を入力した後、[セット]を押して値を適用しま す。入力した値を消去するときは、[C]を押しま す。
- ③ くまたは>を押して刺しゅう枠のサイズを選択 します。
- ④ [選択]を押すと、1つおきに模様を反転させることができます。反転キーからお好みの反転配置(反転なし、左右反転、上下反転、左右上下反転)を選び、[OK]を押します。

5 模様を確認し、 □ を押して保存します。





- 糸色を変更できます。
- ② 1 重ぬいまたは3 重ぬいを選択します。

J

次のメッセージが表示されたら、[OK] を押します。

本体メモリーにデータを保存しました。続け すか?	⁺て縫製しま
キャンセル	ок

- → ミシンのメモリーから模様を選択できる画面が表示されます。
- ■エッジトゥエッジキルト模様を刺しゅうする
- ミシンのメモリーから模様を選択する画面 で、保存したデータを選択します。



戻る		セット
	U	

2 この例では、画面のガイダンスに従って エッジトゥエッジキルト模様を刺しゅうす るので、エッジトゥエッジキルト模様全体 のサムネイルを選択します。その後、[セッ ト]を押します。



- このキーを押すと、画面のガイダンスに従って エッジトゥエッジキルト模様を刺しゅうできま す。左下の数字は、エッジトゥエッジキルト模様 の総数を示します。
- ② 目視で位置合わせをして刺しゅうするときは、刺しゅうしたい個所が表示されたキーを押します。 各キーに表示されている符号でその模様を刺しゅうする場所と刺しゅうする回数を確認できます。 「A」は最後の行以外、「Z」は最後の行を指し、数字は模様をつなぐ順番を表します。

例:模様を2行3列でつなぐ場合

A:1	A:2	A:3
Z:1	Z:2	Z:3

例:模様を4行4列でつなぐ場合

A:1	A:2	A:3	A:4
A:1	A:2	A:3	A:4
A:1	A:2	A:3	A:4
Z:1	Z:2	Z:3	Z:4

3 エッジトゥエッジキルト模様の左上の角が 縫製範囲に収まるように、布地を刺しゅう 枠に張り、刺しゅう枠を取り付けます。



4 模様移動キーを使って、チャコペンの線の 左上の角と、プロジェクターから布地に映 し出された模様の左上の角を合わせます。 その後、[OK]を押します。



① 左上の角



5 模様を回転させ、右上の角をチャコペンの 線に合わせます。



① 右上の角



- بر ک ج ر
- 6 [OK] を押して、縫製画面を表示します。

🖉 お知らせ -

 ・模様の位置や角度を再調整するときは、[レイ アウト]を押してから
 ・または
 ・を押し ます。



7 スタート/ストップスイッチを押して、最初の模様を刺しゅうします。

8 模様を回転させ、右上の角をチャコペンの線に合わせます。 刺しゅうが終わって次のメッセージが表示 されたら、[OK] を押します。 *\[10" 10°∦% 411 1'7* 縫製が終了しました。 次の模様をつなげますか? *\[0.1' 0.1 + + + + || Ļ Ļ キャンセル ок → 次に刺しゅうする模様が表示されます。 9 画面のガイダンスに従って、模様ごとに位 置合わせをして刺しゅうします。ぬい始め ② 最初の行の右端の列 の位置合わせや刺しゅう枠の張り直しが必 要なときは、メッセージが表示されます。 模様移動キーを使って、ぬい始め位置を前の模様のぬい終わり 位置に合わせます。 0.0 mm \$ Г ^ П < > LVJ 3 (4) (5) ① 最初の行の2列目 . | 右上の角をチャコペンの右上の角に合わせるため、模様の角度と幅を調整します。 10° 74 2 *\]10° 1 *****¶1' 1'/* *1 0.1[°] [[™] *****∜0.1° *2 + + \Box 200 -模様移動キーを使って、ぬい始め位置を前の模様のぬい終わり 位置に合わせます。 *1 模様の角度を変更します。 \$ 0.0 mm ^{*2} 模様の幅を変更します。 ~ 7 Г < > L \sim • ぬい始め位置を正確に合わせるために、プー リーを手前に回して針落ち位置を確認してく ださい。針の位置を確認したら、必ず針上下 スイッチで針を一番高い位置に戻してくださ い。

-1)

0.0 mm \$

^ 7 г

< LVJ

L

>

(



^{*2} 模様の幅を変更します。

します。

2

└──を押して、模様がチャコペンの線に合うように長さを調整

° 0.0° *10 10 1

[1' 1'// *****∜0.1° 0.1° [7* +

 \Box Ļ

1

ł

1

Ŧ

* ∜10'	10'/*
* ¶1'	1' //*
~~ 0.1°	0.1'/
Ŧ	L.
ł	

└ を押して、模様がチャコペンの線に合うように長さを調整



0 0	0.0°
\[10"	10'/ []
* ¶1'	1'7*
\[0.1`	0.1 /
	H
P	

いろいろな刺しゅう

⑤ 2 行目 (最後の行)の右端の列 (_____)

模様移動キーを使って、ぬい始め位置を前の模様のぬい終わり 位置に合わせます。



右上の角を刺しゅうされた上の模様の糸印に合わせるため、模 様の角度と幅を調整します。





」を押して、模様がチャコペンの線に合うように長さを調整 します。





10 糸印を取り除きます。

🖉 お知らせ‐

 ・模様をぬい直したり、ぬわないで次の模様を ぬう必要がある場合は、縫製画面で ・サートを押 して次の模様に進んだり、前の模様に戻った りすることができます。刺しゅうしたいぬい 順の模様を選び、[OK]を押します。



- ① 前の模様に戻ります。
- ② 現在の模様のぬい順/模様の総数
- ③ 次の模様に進みます。

キルトサッシ模様(キルトの縁飾り) を刺しゅうする(自動模様つなぎ)

キルトサッシ模様(キルトの縁飾り)を4分割 して、布地を張り替えながら模様をつなぎます。 内蔵カメラを使用して模様の位置を合わせます。 あらかじめ刺しゅうしたいキルトサッシの大き さを測っておきます。





2 四角形のキルトサッシ模様のカテゴリーから1つを選択します。この例では、1色の四角形キルトサッシ模様を選択します。



- ① 1 色の四角形キルトサッシ模様
- ② 2色の四角形キルトサッシ模様
- 3 キルトサッシ模様を選択して、[セット]を押します。

4 模様をつなぐ方法を選択します。この例では、「自動模様つなぎ」を選択します。



① 自動模様つなぎ

参照してください。

② 半自動模様つなぎ 詳しくは P. 201「キルトサッシ模様(キルトの縁 飾り)を刺しゅうする(半自動模様つなぎ)」を

☆ お願い -

- ・選択した模様のつなぎ方によって、作成できる模様のサイズが異なります。「自動模様つなぎ」で作成したい模様のサイズに設定できない場合は、「半自動模様つなぎ」を選択してください。
- 5 使用する刺しゅう枠のサイズを指定します。 幅と高さ、キルトサッシの幅の値を入力し ます(各値は[セット]で確定します)。3 つの値を入力したら、[次へ]を押します。





- ① 刺しゅう枠のサイズ
- ② 幅
- ③ 高さ
- ④ キルトサッシの幅
- * 値を消去するときは、[C] を押します。
- → 設定を反映した模様が表示されます。

- 分割模様を確認して、□を押します。 6 ō 💠 ? 🖞 🔒 222222222222222 38888888888888888 12 ‡ 420.0 mm コイビンク - 1 (2) 戻る ①糸色を変更します。 ② 1 重ぬいまたは3 重ぬいを選択します。 → 分割模様のデータがミシンに記憶されます。 □ お知らせ • 分割模様のデータはミシン外部に保存できま せん。 7 [OK] を押します。 本体メモリーにデータを保存しました。続けて縫製しま キャンセル ок 8 刺しゅう方法を選択し、[セット]を押しま す。 🔤 🚓 🙃 5 1 2 戻る セット L. ① 内蔵カメラで位置合わせをして刺しゅうするとき は、模様全体が表示されたキーを押します。 ② 目視で位置合わせをして刺しゅうするときは、刺 しゅうしたい個所が表示されたキーを押します。 * ここでは①の方法を紹介しています。②の方法 は P. 213「手動で模様をつなぐ」を参照してくだ さい。
- 9 [縫製]を押します。
- 10 最初の模様が縫製範囲に収まるように布地 を刺しゅう枠に張り、刺しゅう枠をミシン に取り付け、スキャンします。背景スキャ ンについては、P. 155「布地を画面に表示 する」を参照してください。

してアウト してアウト して して アウト し し の の の の の の の の の の の

11 模様を移動、回転させて、背景に合わせま す。



- 模様の移動や回転については、P. 143「[レ イアウト]ウィンドウ」を参照してください。
- 12 最初の模様を刺しゅうします。
- 13 最初の模様がぬい終わると、次のメッセー ジが表示されます。[OK] を押します。

縫製が終了しました。 次の模様をつなげますか?	
キャンセル	ок





15 [OK] を押します。



16 P. 215「位置を指定して模様をつなぐ」の 手順13~18を参照して、残りの部分を 刺しゅうします。

キルトサッシ模様(キルトの縁飾 り)を刺しゅうする(半自動模様つ なぎ)

布地を張り替えながら模様をつなぎあわせるこ とで、大きなキルトサッシ模様(キルトの縁飾 り)を作ることができます。手動で模様の位置 合わせをします。

■ キルトサッシのデータを作成する

1 布地にチャコペンでキルトサッシの内周を 描きます。

キルトサッシの大きさを測ります。



① チャコペンで描いた内周(位置合わせに使用)

- ② 幅 (サッシの幅を含む)
- ③ 高さ (サッシの高さを含む)
- ④ キルトサッシ模様の幅

🛛 お知らせ -

- ・刺しゅう枠に布がはれるように、10 cm ほどの余裕をもたせてキルト布(表地、キルト綿、裏地)を裁断してください。
- 2 を押します。

3 サブカテゴリ — を選択します。 この例では、2 色の四角形キルトサッシ模 様を選択します。



- ① 1 色の四角形キルトサッシ模様
- ② 2色の四角形キルトサッシ模様
- 4 刺しゅうする模様を選択し、[セット]を押し ます。
- 5 模様の分割方法を選択します。この例では、 「セミオート分割」を選択します。



- 自動模様つなぎ 詳しくは P. 199「キルトサッシ模様(キルトの縁 飾り)を刺しゅうする(自動模様つなぎ)」を参 照してください。
- ② 半自動模様つなぎ

6 使用する刺しゅう枠のサイズとキルトサッシのサイズを指定し、[次へ]を押します。

🖉 お知らせ・

向きを間違えないように、チャコペンでキルトサッシの右上の角にしるしをつけておいてください。布地のしるしが右上にあることを確認して、画面で幅と高さを入力します。





- くまたは>を押して刺しゅう枠のサイズを選択します。
- ② 幅 (A)、高さ (B)、キルトサッシの幅 (C) を指定し、[セット]を押します。

2 この例では、画面のガイダンスに従ってキ ルトサッシ模様を刺しゅうするので、キル トサッシ模様全体のサムネイルを選択しま す。その後、[セット]を押します。



- ① このキーを押すと、画面のガイダンスに従ってキ ルトサッシ模様を刺しゅうできます。左下の数字 は、分割されたキルトサッシ模様の総数を示しま す。
- ② 目視で位置合わせをして刺しゅうするときは、刺しゅうしたい分割模様が表示されたキーを押します。各キーの左下の符号でその模様を刺しゅうする場所と刺しゅうする回数を確認できます。

	\rightarrow	•	
U	H1	С	
72		V1	
١٨		V2	
Э	Ŧ	C	

いろいろな刺しゅ

J

C: 角 V1:縦側の最初の模様 V2:縦側の2番目の模様 H1:横側の最初の模様

3 キルトサッシ模様の右上の角が縫製範囲に 収まるように、キルト布を刺しゅう枠に張 り、刺しゅう枠を取り付けます。



7	模様を確認し、		を押して保存します。
-		~	





- 糸色を変更します
- ② 1 重ぬいまたは3 重ぬいを選択します。

- 模様の端が短く表示されることがあります。
- 8 次のメッセージが表示されたら、[OK] を押 します。

本体メモリーにデータを保存しました。続け すか?	て縫製しま
キャンセル	ОК

→ ミシンのメモリーから模様を選択できる画面が表 示されます。

■ キルトサッシ模様を刺しゅうする

 ミシンのメモリーから模様を選択する画面 で、保存したデータを選択します。

24.JFH260	ج بې	7	
300 mm × 500 mm 10 PHX			
戻る			セット

→ キルトサッシ模様全体のサムネイルと、分割模様 のサムネイルが表示されます。

[🖉] お知らせ‐

4 右上の角の位置を合わせます。

→ を選択すると、針が内側の角に移動します。模様 移動キーを使って、キルト布に書いた右上の角と、プ ロジェクターで映した内側の角を合わせます。



① 内側の角



🛛 お知らせ

- プロジェクターから映し出される針落ち位置は、設定画面で補正することができます。手順については P. 255「カメラ/プロジェクターの針位置調整」を参照してください。
- 必要に応じて、模様を回転させ、チャコペン で書いた線に合わせてください。
- 5 [OK] を押して、縫製画面を表示します。
- スタート/ストップスイッチを押して、最 初の模様を刺しゅうします。

7 刺しゅうが終わって次のメッセージが表示 されたら、[OK]を押します。

縫製が終了しました。 次の模様をつなげますか?	
キャンセル	ок

- → 次に刺しゅうする模様が表示されます。
- 8 画面のガイダンスに従って、模様ごとに位置合わせをして刺しゅうします。

ぬい始めの位置合わせや模様の回転、刺しゅう枠の張 り直しが必要なときは、メッセージが表示されます。



① 角の次の模様を刺しゅうする場合 模様移動キーを使って、プロジェクターから映し出されたぬい 始め位置を前の模様のぬい終わり位置に合わせ、[OK]を押し ます。





☆ お願い・

 ぬい始め位置を正確に合わせるために、プー リーを手前に回して針落ち位置を確認してく ださい。針の位置を確認したら、必ず針上下 スイッチで針を一番高い位置に戻してください。。

🖉 お知らせ

布地を張り直さずに次の模様を刺しゅうできる場合は、模様が自動的にぬい始め位置に合うので、位置合わせの案内は表示されません。

模様を回転させて角をチャコペンで書いた線に合わせ、[OK] を押します。



② 角の直前の模様を刺しゅうする場合 模様移動キーを使って、プロジェクターから映し出されたぬい 始め位置を前の模様のぬい終わり位置に合わせ、[OK]を押し ます。



次に、左下の点(次に刺しゅうする模様の内側の角)をチャコ ペンで書いた角に合わせます。模様の角度がずれている場合 は、回転させてください。模様の長さが合わない場合は、左下 の点がチャコペンで書いたの角に合うように模様の長さを調整 します。調整後、[OK]を押します。



*1 次に刺しゅうする模様の内側の角

③ 角の模様を刺しゅうする場合

キルト布を反時計回りに 90 度回転させ、張り直し、刺しゅう 枠をミシンに取り付けます。



模様移動キーを使って、プロジェクターから映し出されたぬい 始め位置を前の模様のぬい終わり位置に合わせ、[OK]を押し ます。





次に、模様の内側の角をチャコペンで書いた角に合わせます。



🖉 お知らせ‐

- 角の模様の幅は、内側の角に合うように調整 できます。ただし、形が崩れないように調整 してください。
- ④ 最後の模様を刺しゅうする場合 模様移動キーを使って、プロジェクターから映し出されたぬい 始め位置を前の模様のぬい終わり位置に合わせ、[OK]を押し ます。





次に、模様のぬい終わり位置を最初の模様のぬい始め位置に合わせます。模様の角度がずれている場合は、回転させてください。模様の長さが合わない場合は、模様の長さを調整します。 調整後、[OK]を押します。



🖉 お知らせ

 ・模様をぬい直したり、ぬわないで次の模様を ぬう必要がある場合は、縫製画面で ・一本を押 して次の模様に進んだり、前の模様に戻った りすることができます。刺しゅうしたいぬい 順の模様を選び、[OK]を押します。



- ①前の模様に戻ります。
- ② 現在の模様のぬい順/分割された模様の総数
- ③ 次の模様に進みます。

六角形キルトサッシ模様(キルトの 縁飾り)

- キルトサッシのデータを作成する
- 布地にチャコペンでキルトサッシの内周を 描きます。
 図のように内周の対角線とキルトサッシの 幅を測ります。



- ① チャコペンで描いた内周(位置合わせに使用)
- ② 対角線
- ③ キルトサッシ模様の幅

🖉 お知らせ -

- 刺しゅう枠に布がはれるように、10 cm ほどの余裕をもたせてキルト布(表地、キルト綿、裏地)を裁断してください。
- 2 を押します。
- 3 \mid 🔘 を押します。



4 刺しゅうする模様を選択し、[セット]を押します。

5 使用する刺しゅう枠のサイズとキルトサッシの寸法を指定し、[次へ]を押します。



- くまたは>を押して刺しゅう枠のサイズを選択します。
- 内周の対角線の長さ(A)とキルトサッシ模様の 幅(B)を指定し、[セット]を押します。
- 6 模様を確認し、 □ を押して保存します。







- ① 糸色を変更します。
- ② 1 重ぬいまたは3 重ぬいを選択します。

 お知らせ

 模様の端が短く表示されることがあります。

7 次のメッセージが表示されたら、[OK]を押します。

本体メモリーにデータを保存しました。 すか?	けて縫製しま
キャンセル	ОК

→ ミシンのメモリーから模様を選択できる画面が表 示されます。

■ キルトサッシ模様を刺しゅうする

 ミシンのメモリーから模様を選択する画面 で、保存したデータを選択します。





→ キルトサッシ模様全体のサムネイルと、分割模様 のサムネイルが表示されます。 2 この例では、画面のガイダンスに従ってキ ルトサッシ模様を刺しゅうするので、キル トサッシ模様全体のサムネイルを選択しま す。その後、「セット」を押します。



- このキーを押すと、画面のガイダンスに従ってキ ルトサッシ模様を刺しゅうできます。左下の数字 は、分割されたキルトサッシ模様の総数を示しま す。
- ② 目視で位置合わせをして刺しゅうするときは、刺しゅうしたい分割模様が表示されたキーを押します。各キーの左下の符号でその模様を刺しゅうする場所と刺しゅうする回数を確認できます。



C: 角 S: 側面

3 キルトサッシ模様の角が縫製範囲に収まる ように、キルト布を刺しゅう枠に張り、刺 しゅう枠を取り付けます。



4 角の位置を合わせます。

模様移動キーを使って、キルト布に書いた角と、プロ ジェクターで映した内側の角を合わせます。



① 内側の角



🖉 お知らせ -

- プロジェクターから映し出される針落ち位置は、設定画面で補正することができます。手順については P. 255「カメラ/プロジェクターの針位置調整」を参照してください。
- 必要に応じて、模様を回転させ、チャコペン で書いた線に合わせてください。
- 5 [OK] を押して、縫製画面を表示します。
- スタート/ストップスイッチを押して、最初の模様を刺しゅうします。
- 7 刺しゅうが終わって次のメッセージが表示 されたら、[OK]を押します。

縫製が終了しました。 次の模様をつなげますか?	

→ 次に刺しゅうする模様が表示されます。

8 画面のガイダンスに従って、模様ごとに位置合わせをして刺しゅうします。

ぬい始めの位置合わせや模様の回転、刺しゅう枠の張 り直しが必要なときは、メッセージが表示されます。



① 角の次の模様を刺しゅうする場合 模様移動キーを使って、プロジェクターから映し出されたぬい 始め位置を前の模様のぬい終わり位置に合わせ、[OK]を押し ます。



☆ お願い -

 ぬい始め位置を正確に合わせるために、プー リーを手前に回して針落ち位置を確認してく ださい。針の位置を確認したら、必ず針上下 スイッチで針を一番高い位置に戻してください。

🛛 お知らせ

布地を張り直さずに次の模様を刺しゅうできる場合は、模様が自動的にぬい始め位置に合うので、位置合わせの案内は表示されません。

模様を回転させて映し出した模様の角をチャコペンで書いた線 に合わせ、[OK] を押します。





② 角の直前の模様を刺しゅうする場合

模様移動キーを使って、プロジェクターから映し出されたぬい 始め位置を前の模様のぬい終わり位置に合わせ、[OK]を押し ます。

ふう。 次に、左下の点(次に刺しゅうする模様の内側の角)をチャコ ペンで書いた角に合わせます。模様の角度がずれている場合 は、回転させてください。模様の長さが合わない場合は、左下 の点がチャコペンで書いたの角に合うように模様の長さを調整 します。調整後、[OK]を押します。



^{*1} 次に刺しゅうする模様の内側の角

🖉 お知らせ

 ・ 六角形の全体の形を保つためには、角の直前 にぬう模様の長さに注意して、調整すること が重要です。

③ 角の模様を刺しゅうする場合

キルト布を反時計回りに回転させ、張り直し、刺しゅう枠をミシンに取り付けます。 模様移動キーを使って、プロジェクターから映し出されたぬい 始め位置を前の模様のぬい終わり位置に合わせ、[OK]を押し ます。





次に、模様の内側の角をチャコペンで書いた角に合わせます。





☑ お知らせ − ● 毎の構構幅は

角の模様幅は、内角に合うように調整できます。ただし、形が崩れないように調整してください。

Ч Ф

④ 最後の模様を刺しゅうする場合

模様移動キーを使って、プロジェクターから映し出されたぬい 始め位置を前の模様のぬい終わり位置に合わせ、[OK] を押し ます。

いた。 茨に、模様のぬい終わり位置を最初の模様のぬい始め位置に合 わせます。模様の角度がずれている場合は、回転させてくださ い。模様の長さが合わない場合は、模様の長さを調整します。 調整後、[OK]を押します。



🖉 お知らせ

 ・模様をぬい直したり、ぬわないで次の模様を ぬう必要がある場合は、縫製画面で
 ・サーを押 して次の模様に進んだり、前の模様に戻った りすることができます。刺しゅうしたいぬい 順の模様を選び、[OK]を押します。



- ① 前の模様に戻ります。
- ② 現在の模様のぬい順/分割された模様の総数
- ③ 次の模様に進みます。

カメラを使って模様をつなぐ

分割模様を刺しゅうする

ミシンには分割模様が内蔵されています。 分割模様は大きな模様がいくつかに分割されて います。分割された模様をつないでいくことで、 大きな模様を作ります。 刺しゅう PRO バージョン 7 以降では、分割模様 を作成できます。詳しくは、刺しゅう PRO の取 扱説明書を参照してください。

内蔵カメラで模様をつなぐ方法と、手動で模様 をつなぐ方法があります。

■ カメラで模様をつなぐ

- 1 📲 を押してから、模様を選択します。
 - * 分割模様を確実に刺しゅうできるように、模様全体の大きさよりも縦横それぞれ 300mm 以上大きな布地と接着芯を準備してください。





 様様全体の大きさ

🖉 お知らせ

- 分割模様の印刷用テンプレートが <u>https://s.brother/cmdke/</u>からダウンロードで きます。テンプレートを参考に模様を配置し てください。印刷時は拡大、縮小しないで、 原寸で印刷してください。
- 刺しゅう PRO で作成した分割模様を刺しゅうする場合は、USBメディアなどを使って、 模様を呼び出してください。模様の呼び出しについて詳しくは、P.166「刺しゅう模様を 呼び出す」を参照してください。模様全体の 大きさの確認は、刺しゅう PRO をご使用く ださい。
- 2 カメラを使って模様をつなぐ場合は、模様 全体が表示されているキーを押して、[セッ ト]を押します。



🖉 お知らせ

- カメラを使用しないで模様をつなぐ場合は、
 P.213「手動で模様をつなぐ」を参照してください。
- 3 最初の模様を刺しゅうします。



[A:a] [A:b] [A:c]

4 [OK] を押します。



☆お願い‐

• 布地は刺しゅう枠から外さないでください。

5 ____を押します。



- 6 模様の配置を確認し、[OK] を押します。
 - * 内蔵されている各模様は適切に配置されるので、 移動させる必要はありません。



7 [OK] を押します。



3 1つ目の刺しゅう位置合わせシールを赤い枠 線の中に収まるよう、シールの四隅を両手で 押え付けて布地に貼ります。画面に表示され ているように、シールの大きな円が上側にな るようにします。その後、[スキャン]を押 します。



- → 内蔵カメラが、1つ目の位置合わせシールの検出 を開始します。
 - ☆ お願い
- 次のメッセージが表示された場合は、刺しゅう位置合わせシールを正しい位置にしっかりと貼り直してください。

位置合わせマークを認識する事がて	きませんでした。
	ОК
位置合わせマークが指示通りに貼ら た。 マークを貼り直して下さい。	られていませんでし
	ОК

9 手順8と同様に2つ目の刺しゅう位置合わせ シールを布地に貼り、[スキャン]を押しま す。



- → カメラが2つ目の刺しゅう位置合わせシールの検 出を開始します。
- 10 2つの刺しゅう位置合わせシールがはがれな いように注意して、ミシンから刺しゅう枠 を取り外し、布地を張り直します。
 - * その際、次に刺しゅうする模様と2つの位置合わ せシールが、縫製範囲に収まっていることを確認 します。



- ① 縫製範囲
- ② 内蔵の分割模様が選択されている場合、使用する 刺しゅう枠の大きさによっては、目盛が表示され ることがあります。
- ③ 刺しゅう位置合わせシール
- ④ 刺しゅう位置合わせシールの2点間の距離

🖉 お知らせ

1つ目と2つ目の模様をきれいにつなげるために、布地を張り直す前と後で、刺しゅう位置合わせシールの間隔(大きな円の中心間の距離)が同じであることを確認してください。距離が同じでない場合は、布地にたるみがあります。このとき、シールを動かして距離を修正しないでください。



 ・ 手順11の後で次のメッセージが表示された場合は、表示された距離と同じになるように 布地を張り直します。その後、[スキャン]を 押します。



 次のメッセージが表示された場合は、布地を 張り直してください。画面に表示されている ように、次に刺しゅうする模様と2つの刺 しゅう位置合わせシールを縫製範囲に収めます。

問題が解決しない場合は、ミシンが刺しゅう 位置合わせシールを検知していない可能性が あります。以下を確認してください。

- 刺しゅう位置合わせシールを邪魔するもの がないことを確認してください。
- 刺しゅう枠に布地を正しく張ってください。
- 部屋やミシンの照明の明るさを調節してく ださい。

位置合わせマークが見つかりませんでした。 マークの中心と縫製する模様が縫製範囲内に収まるよう に布を張りなおして下さい。

 きれいに仕上げるため、布地にしわがよって いる場合は、布地の裏側にアイロンをあてて 伸ばしてから張り直してください。このとき、 刺しゅう位置合わせシールにアイロンをかけ たり、シールをはがしたりしないでください。 11 刺しゅう枠を再び取り付けて、[スキャン]を 押します。

12 [OK] を押して、シールをはがします。

位置合わせマークを認識しました。 マークをはがして、縫製して下さい。	
	ок

🖉 お知らせ

- 内蔵の分割模様は、布地を張り直す前と後で 刺しゅう位置合わせシールの間隔(大きな円の中心間の距離)が数ミリ異なる場合は、模様のサイズが自動的に調整されます。
- 132番目の模様を刺しゅうします。
- 14 残りの模様も同じように刺しゅうします。

■ 手動で模様をつなぐ

1 📲 を押してから、模様を選択します。



- 2 刺しゅうする模様 🦂 を選択します。
 - * 模様はアルファベット順に選択していきます。



3 [縫製]を押して、縫製画面を表示します。



- 4 最初の模様を刺しゅうします。
 → 模様と位置合わせ用の糸印が刺しゅうされます。
- **5** [OK] を押します。



6 次の模様を選択し、[縫製]を押します。



7 布地を張り替えます。最初の模様で刺しゅうした位置合わせ用の糸印と次の模様の針位置が合うように、次の模様の位置と角度を調整します。この例では、金押して左上の針位置を選び、[OK]を押します。



☑ お知らせ

 きれいに仕上げるため、布地にしわがよって いる場合は、布地の裏側にアイロンをあてて 伸ばしてから張り直してください。
- 8 [レイアウト]を押し、最初の模様で刺しゅうした位置合わせ用の糸印と針位置が合うように、次の模様の位置と角度を調整します。
 - * 模様の位置を調整する場合は、
 ◆ を押します。
 - * 模様の角度を調整する場合は、 🔿 を押します。



① 位置合わせ用の糸印

- 9 同様に、左下の針位置を選択し、最初の模様で刺しゅうした位置合わせ用の糸印に針が合うように、次の模様の位置と角度を調整します。
- 102番目の模様を刺しゅうします。
- 11 残りの模様も2つ目の模様と同じように刺 しゅうします。
- 12 位置合わせ用の糸印を取り除きます。

位置を指定して模様をつなぐ

糸印の代わりに内蔵カメラを使用して、縫製画 面で刺しゅう模様をつなぐことができます。 刺しゅう模様の大きさに合わせて、適切な刺 しゅう枠を選んでください。模様と刺しゅう枠 の縫製範囲の間隔は、少なくとも3 cm 必要で す。この機能で模様つなぎをする場合、別売の 刺しゅう枠(20 mm × 60 mm)は使用できません。

例:



- ① 模様 A
- ② 模様 B
- ③ 模様 C
- 1 はじめに模様Aを選択し、[セット]を押しま す。
 - * 枠模様の選択については、P. 134「枠模様を選ぶ」 を参照してください。



上糸と下糸をミシンにセットします。

いろいろな刺しゅ

J

3 刺しゅう枠に布地を張り、枠をミシンに セットします。この例では、刺しゅう枠 (180 mm × 130 mm)を使います。



- 4 [縫製]を押して、縫製画面を表示します。
- 5 [レイアウト]を押します。
- 6 正を押します。



→ III が[戻る]キーの上に表示され、III が III に変わります。

🖉 お知らせ -

- エニは、刺しゅうの途中で押すこともできます。
- 模様つなぎ中は、ミシンに模様を保存することはできません。
- 7 刺しゅう押えを下げて、1番目の模様を刺しゅうします。
- 8 1番目の模様がぬい終わると、次のメッセージが表示されます。[OK]を押します。

縫製が終了しました。 次の模様をつなげますか?		
キャンセル	ок	

9 次のメッセージが表示されたら、[OK] を押します。

布を枠から外さないでください。 次に縫製する模様を選択して下さい。	
	ок

102番目の模様 B を選択し、[セット]を押しま す。



11 □□ を押し、模様のつなぎ方を選択します。

€ 100%Q	• •	? U 82.0mm 31.3mm	Ĥ ↑
			編集
			2□ 1 min
	選択く〉		
追加	Î		

→ 模様つなぎ設定画面が表示されます。

🖉 お知らせ・

この画面で2番目の模様を編集することができます。

12 画面を押して、2 番目の模様をつなぐ位置を 指定します。位置を指定したら、[OK] を押 します。



- ① つなぐ位置
- ② 1番目の模様 A
- ③ 2番目の模様 B
- * 2番目の模様の位置は、以下のキーを使って調整できます。

	1番目の模様を中心として2番目の模様が時計回り に回転します。
	1番目の模様を中心として2番目の模様が反時計回 りに回転します。
90° 💽	2番目の模様を時計回りに90度回転します。

→ メッセージが表示され、[OK] を押すと、キャリッ ジが移動します。

🖉 お知らせ

• 2 番目の模様は、自動的に 1 番目の模様につ ながります。2 番目の模様の位置を手動で変

更したいときは、 く・ > を使って調整してくだ さい。

- •2番目の模様の位置は、画面上でドラッグして移動することもできます。
- 13 刺しゅう位置合わせシールを、2 つ用意します。内蔵カメラが位置合わせマークを検出できるように、画面の指示に従って、刺しゅう位置合わせシールを2 つ布地に貼ります。

☆ お願い

 刺しゅう位置合わせシールは、付属のものを 使用してください。または、お買い上げの販 売店で交換用シールを購入してください。上 記以外のシールを使用すると、カメラがシー ルを検出できないことがあります。 14 1つ目の刺しゅう位置合わせシールを赤い線の中に収まるよう、シールの四隅を両手で 押え付けて布地に貼ります。画面に表示されているように、シールの大きな円が上側になるようにします。その後、[スキャン]を押します。



Ð

J

→ 内蔵カメラが、1つ目の位置合わせシールの検出 を開始します。

☆ お願い ·

- 1つ目の位置合わせシールをはがして、2つ 目の位置合わせに使用しないでください。
- 位置合わせシールは、常に新しいものを使用してください。一度使用したシールは、はがれやすくなります。検出中にシールがはがれると、模様をつなぐことができません。
- 位置合わせシールを布地へ貼るときは、指先 で四隅をしっかりと押え付けてください。 シールがしっかり貼られていない場合、カメ ラが誤検出する可能性があります。
- 次のメッセージが表示された場合は、位置合わせシールを正しい位置へ貼り直してください。その際、大きな円が上側にあることを確認してください。

11直合わせ マー	・クを認識 9	る事かでき	ません(' L /こ₀
				ок
				UK

ок

た。 マークを貼り直して下さい。 15 画面に表示されているように、2 つ目の位置 合わせシールを赤い線の中に収まるよう、 シールの四隅を両手で押え付けて布地に貼 り、[スキャン]を押します。



→ カメラが2つ目の刺しゅう位置合わせシールの検 出を開始します。2つの位置合わせシールが検出 されると、次のメッセージが表示されます。



- ① 縫製範囲
- ② 刺しゅう位置合わせシールの距離(P.210「カメ ラで模様をつなぐ」の手順10の「お知らせ」を 参照してください)

16 2つの刺しゅう位置合わせシールがはがれないように注意して、ミシンから刺しゅう枠を取り外し、布地を張り直します。その際、次に刺しゅうする模様と2つの位置合わせシールが、刺しゅう枠の縫製範囲に収まっていることを確認します。刺しゅう枠を再び取り付けて、[スキャン]を押します。



- ① 次に刺しゅうする模様
- ② シールの大きい円の中心
- → 内蔵カメラが2つの位置合わせシールの検出を開始します。



・以下のいずれかのメッセージが表示された場合は、布地を張り直してください。画面の指示に従って、次に刺しゅうする模様と2つの位置合わせシールを縫製範囲に収めます。
 [スキャン]を押して、刺しゅう位置合わせシールの検知します。





- 次の模様と2つの刺繍位置合わせシールの大きな円の中心が縫製範囲に収まらないことをミシンが検出すると、メッセージが表示されます。画面の指示に従って、刺繍位置合わせシールの位置を変更してください。詳しくは、P.220「位置合わせシールの位置を変更する」を参照してください。
- 検出中にシールがはがれると、模様をつなぐ ことができません。その場合は、作業をはじ めからやり直してください。
- ・ 位置合わせを終了するときは、[キャンセル] を押します。

17 2つの刺しゅう位置合わせシールが検出され たら、[OK]を押し、シールをはがします。

位置合わせマ- マークをはがし	- クを認識しました。 して、縫製して下さい	۱,0	
			ок

18 刺しゅう押えを下げて、2番目の模様を刺 しゅうします。

縫製が終了しました。 次の模様をつなげますカ	й?	
キャンセル		ок

19 次のメッセージが表示されたら、[OK] を押 します。



203番目の模様Cを選択し、[セット]を押しま す。

戻る
□□□を押し、模様のつなぎ方を選択しま
<u></u> ም
→ 模様つなぎ設定画面が表示されます。
🛙 お知らせ
 エエを押す前に模様を編集できます。

21

5

[→] 刺しゅうが終わると、次の画面が表示されます。 3番目の模様をつなぐには、[OK]を押します。

22 画面を確認しながら、3 番目の模様をつなぐ 位置を指定します。

この例では、 全日を2回押してつなぐ位置を指定し、

「** を押します。 位置を指定したら、 [OK] を押します。



- つなぐ位置
- ② 2番目の模様 B
- ③ 3 番目の模様 C



- → メッセージが表示され、[OK]を押すと、キャリッ ジが移動します。
- P. 215「位置を指定して模様をつなぐ」の手順 14 ~ 17 を参照して、模様を配置します。

23 刺しゅう押えを下げて、3 番目の模様を刺 しゅうします。

→ 刺しゅうが終わると、次の画面が表示されます。 [キャンセル]を押して、模様つなぎ機能を終了し ます。

縫製が終了しました。 次の模様をつなげますか?	
キャンセル	ОК

→ 刺しゅうが終わると、[戻る]キーの上に表示され

ていた**工工**が消えます。 **3**つの模様をつなぐことができました。

■ 位置合わせシールの位置を変更する

つなげたい模様や刺しゅう位置合わせシールが縫 製範囲にうまく収まらない場合は、P.215「位置 を指定して模様をつなぐ」の手順15の後に表示 される画面指示に従って、シールを移動してくだ さい。

例として、刺しゅう枠(縦 100 mm × 横 100 mm) を使用して下記のように模様をつなぐ場合は、 シールを移動するための指示画面が表示されま す。



① 模様 A

② 模様 B

P. 215「位置を指定して模様をつなぐ」の手順1から15を参照して、刺しゅう枠(縦100mm×横100mm)を使用して、1番目の模様を刺しゅうして2番目の模様をつなげます。

		05	0	⁷ ♥ 08	09	10
001	003	004	005	006	007	
	 010	011	012	013	014	



2番目の模様や布地に貼られた刺しゅう位置 合わせシールが縫製範囲内に収まらない場 合、P.215「位置を指定して模様をつなぐ」 の手順16で次のメッセージが表示されま す。画面に表示されるように、刺しゅう枠 を張り替えて、[スキャン]を押します。



① 縫製範囲



- *1 刺しゅう済みの1番目の模様
- *2 次に刺しゅうする模様
- ☆ お願い・
- 次のメッセージが表示されたら、画面の指示 に従って布地を張り直し、[スキャン]を押し てください。



3 シールが検出されたら、[OK] を押し、シー ルをはがします。

位置合わせマークを認識しました。 マークをはがして下さい。	
	ОК

4 2番目の模様や位置合わせシールのマークが 縫製範囲に収まるようにするために、画面 の指示に従って、もう一度位置合わせシー ルを貼ります。1つ目のシールを貼り、[ス キャン]を押します。



- → 内蔵カメラが、1つ目の位置合わせシールの検出 を開始します。
- 5 2つ目のシールを貼り、[スキャン]を押します。



→ カメラが2つ目の刺しゅう位置合わせシールの検 出を開始します。 6 2つの位置合わせシールが検出されると、次のメッセージが表示されます。位置合わせシールがはがれないように注意して、画面に表示された例のように布地を張り直します。



① 縫製範囲



① 次に刺しゅうする模様

- 7 [OK] を押した後、P. 215「位置を指定して 模様をつなぐ」の手順 17 以降の操作を続 けます。
- ■レジューム機能

模様つなぎ機能を使用中にミシンの電源を切った 場合、再度電源を入れたときにミシンが自動的に 中断された操作を再開します。再開する工程は、 電源が切られたときの操作段階によって、次のよ うに分けられます。





2番目の模様の刺しゅうを完了します。

モバイルアプリを使用する

My Stitch Monitor アプリ

My Stitch Monitor アプリをモバイル端末にイン ストールして、ミシンとモバイル端末を同じ無 線ネットワークに接続すると、ミシンの動作状 況を確認できます。また、ミシンが停止した際 に通知を受け取ることができます。

■アプリをインストールする

 モバイル端末で下記の QR コードを読み取 り、Google Play または App Store にアクセ スします。



https://s.brother/cadke/

2 [My Stitch Monitor] をインストールします。



My Stitch Monitor

🖉 お知らせ

- Google Play または App Store で [My Stitch Monitor] を検索してアプリのダウンロードと インストールを行うこともできます。
- アプリのサポート情報については、以下の ウェブサイトをご覧ください。 <u>https://s.brother/cpdaf/</u>

■ モニタリング

🖉 お知らせ

- アプリは随時更新されます。以下の説明は実際の画面や操作と異なる場合があります。
- ミシンを無線 LAN に接続します。
 - * 詳しくは、P. 29「無線 LAN 接続機能」を参照し てください。
- モバイル端末とミシンが同じネットワーク に接続されていることを確認します。

- 3 モバイル端末の [My Stitch Monitor] のアイコ ンをタップしてアプリを起動します。
- 4 アプリに表示されるガイダンスに従って、 アプリとミシンを接続します。
 - * ミシンの設定画面で[マシン名]の横に表示され る名前を選択してください。
 - → ミシンをモニタリングできるようになります。

Artspira (アートスピラ) アプリ

アプリに掲載されているコンテンツをミシンに 転送したり、アプリの機能を使ってオリジナル の作品作りを楽しんだりすることができます。 アプリについて詳しくは、専用ウェブサイトを 参照ください。また、アプリを使ったミシンの 操作方法については、専用ウェブサイトに掲載 されている Artspira(アートスピラ)アプリ簡単 ガイドをご覧ください。



https://s.brother/cadkg/

My Design Snap アプリ

モバイル端末に保存した画像をミシンに転送し、 刺しゅう模様を作成することができます。

◎ お知らせ

• アプリの表示言語は英語となります。

■ My Design Snap アプリをインス トールする

モバイル端末で下記の QR コードを読み取り、Google Play または App Store にアクセスします。



https://s.brother/cadkf/

2 [My Design Snap] をインストールします。



My Design Snap

🖉 お知らせ

- Google Play または App Store で [My Design Snap] を検索してアプリのダウンロードとイ ンストールを行うこともできます。
- アプリのサポート情報については、以下の ウェブサイトをご覧ください。 <u>https://s.brother/cpdaf/</u>

■モバイル端末からミシンに画像を転送する

🖉 お知らせ

- アプリは随時更新されます。以下の説明は実際の画面や操作と異なる場合があります。
- ミシンを無線 LAN に接続します。
 - * 詳しくは、P. 29「無線 LAN 接続機能」を参照し てください。
- モバイル端末とミシンが同じネットワーク に接続されていることを確認します。
- 3 モバイル端末の [My Design Snap] アイコン をタップし、アプリを起動します。
- 4 アプリに表示されるガイダンスに従って、 アプリとミシンを接続します。
 - * ミシンの設定画面で[マシン名]の横に表示され る名前を選択します。



を押します。

5

- このアイコンはお使いのミシンでは使用できません。カメラを搭載していないミシンのためのアイコンです。お使いのミシンでは内蔵カメラを使って刺しゅう模様の位置を合わせます。詳しくはP.155「布地を画面に表示する」を参照してください。
- ② このアイコンはお使いのミシンでは使用できません。カメラを搭載していないミシンのためのアイコンです。お使いのミシンでは内蔵カメラを使ってマイデザインセンターで刺しゅう模様を作成します。詳しくは P.239「スキャンした画像や画像データを使って模様を作成する」を参照してください。
- ③ このアイコンを使って、モバイル端末からミシン に画像を転送し、刺しゅう模様を作成することが できます。
- 6 画像を選択してから [Send to the Machine (ミシンに送る)]を選択して、モバイル 端末からミシンに転送します。
 - → 画像がミシンに正常に送信されたことを示す確認 メッセージがアプリに表示されます。

🛛 お知らせ

- 転送した模様を呼び出すときは、各機能の説 明を参照して操作してください。
 - ピクチャープレイ刺しゅう機能(P. 175)
 - マイデザインセンター (P. 239)

第6章 マイデザインセンター

マイデザインセンター

マイデザインセンターで以下の機能を使用する ことができます。

- 液晶画面で描いた絵や、内蔵のスタンプ、図形を使って刺しゅう模様を作成できます。
- 内蔵カメラで線画やイラストをスキャンして 刺しゅう模様を作成できるほか、USBメ ディアからデータを取り込んで刺しゅう模様 を作成できます。
- モバイル端末からミシンに画像を送信して刺しゅう模様を作成できます。
- 作成した模様のステッチの種類、色を設定できます。
- 作成した刺しゅう模様とミシンに内蔵の模様 を組み合わせることができます。

マイデザインセンターは、ホーム画面の [My Design Center] を押すか、刺しゅう模様選択画 面で [My Design Center] を押して起動します。

模様を作る前に

画面上の模様は、実際の大きさより小さく表示されます。[刺しゅう枠表示]の設定で、実際の模様サイズを確認することができます。

- を押して、設定画面の [刺しゅう枠表示]
 を表示します。
- 2 グリッド線と刺しゅう枠を選択します。



- ① 刺しゅう枠の種類
- ② グリッドの種類

基本操作でスティップリン グ模様を作る

例:



- 1 [My Design Center] を押して、 🕞 を押します。
 - * 画面の詳細については、P. 228「描画画面」を参 照してください。

Ŕ	$\underline{\&}$	
₽		
	6	

- マイデザインセンタ
- - * □ を押して、いろいろな形を選択することもできます。
 - * 画面の詳細については、P.229「スタンプキーの 使い方」を参照してください。



^{3 🕞} を押します。

4 お好みのスタンプ図形を選択して、[OK] を 押します。



5 🛄を押します。



- 6 大きさを変えたい方向のキーを押してサイ ズを変更し、[OK] を押します。
 - * 詳しくは、P.234「サイズキーの使い方」を参照 してください。



7 📄 を押します。

- ステッチの種類とステッチの色を選択し、
 [OK] を押します。
 - * 画面の詳細については、P.231「線やステッチの 種類、色を設定する」を参照してください。





① スタンプ図形

10 スティップリングの色とステッチの種類を 設定するために、

一

を押します。



11 🛲 (スティップリング)を押して、ステッ

チの色を選択します。その後、[OK] を押し ます。

* 画面の詳細については、P.232「ブラシの種類、 ステッチの種類、塗りつぶしの色を設定する」を 参照してください。





① スティップリングを施す面

13 [次へ]を押します。

- 14 スティップリングの設定を行い、[セット]を 押します。
 - * 詳しくは P. 238「面ぬいの設定」を参照してくだ さい。



→ [OK] を押すと、刺しゅう編集画面が表示されます。

刺しゅうデータを確定し、"My Design Ce ます。 刺しゅう編集画面に移行してもよろしいて	inter"を終了し ですか?
キャンセル	ок

15 必要に応じて、[編集]を押して選択した模様 を編集します。(P. 140)



16 [縫製]を押します。刺しゅうを始めます。 (P. 138)

キーのはたらき(マイデザ インセンター)

描画画面



* 描画エリア

No.	表示	はたらき	参昭
	名称		2711
1	100 % Q	模様を拡大します。	_
	拡大キー		
2		拡大画面で表示領域を動かしま す。	—
	手のひらツール キー		
3	▼ スキャン/デザイ ンキー	スキャンした画像、線画、イラ スト、画像のデータファイルを 使って模様を作成します。	239
4	Fび出しキー	マイデザインセンターで作成し た模様データをミシンのメモ リーや USB メディアから呼び 出します。	

No	表示	けたこキ	会 四
NO.	名称	はたりさ	梦照
5		[線プロパティ]画面で指定し	231
	線表示	た色とステッテの種類を表示します。	
	Ŕ	線を描画します。[線プロパ	230
	線ツールキー	テイ] 画面で線の種類を指定し ます。	
		選択した線に、[線プロパティ]	231
	 線のバケツツール キー	画面で指定した色とステッチの 種類を適用します。	
		模様の線から色とステッチの種	—
	 線のスポイトツー	類を抽出します。抽出した色と ステッチの種類は[線プロパ	
	ルキー	ティ]画面に反映されます。	
	<u></u> 線プロパティキー	[線プロパティ]画面を表示し ます。線の種類、ステッチの種 類 色を設定します	231
6		[面プロパティ]画面で指定し	232
	面表示	た塗りつぶし色とステッチの種 類を表示します	
		ブラシで描画します。[面プロ	230
	 ブラシッツールキー	パティ]画面でブラシの種類と	
		「面プロパティ」画面で設定し	232
		た色とステッチの種類を、閉じ	
	直のパク クラール キー	ている凶形の内側に適用しま す。	
		模様の面から塗りつぶし色とス	—
	面のスポイトツー	出した塗りつぶし色とステッチ	
	ルキー	の種類は[面ブロバティ]画面 に反映されます。	
		[面プロパティ]画面を表示し	232
	 面プロパティキー	ます。ブラシの種類、ステッチ の種類、塗りつぶし色を設定し	
		ます。	
7	S	描いた線や図形を消します。消 しゴムの大きさや形を選択でき	233
	消しゴムキー	ます。	
8	P	スタンプ図形を選択します。	229
	スタンプ図形キー		00.4
(9)		選択した部分の大きさを変更し ます。	234
	サイズキー		
(10)	\bigcirc	選択した部分を回転します。	_
	回転キー		
1		選択しに部分を左右反転しま す。	_
	反転キー	[、] 翌扣した並行を施制します	
(Z)		迭1/\ U /こ叩刀 ′C ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ ′ じ お 9 。 	
60	複製キー	選択した部分を切り取ります	
U		。	
<u>(</u>)	切り取りキー	前に複動またけ切り取った或公	
UT)		を貼り付けます。	
	貼りつけキー		

表示 No. はたらき 参照 名称 ステッチ設定画面に進みます。 15 次へ (P. 236) 次ヘキー 模様描画データを保存します。 (16) 保存キー 編集する部分を選択します。 233 17 選択キー 18 元に戻すキーで元に戻した操作 をやり直します。キーを押すた びに操作が1つずつやり直さ やり直しキ れます。 最後の操作を取り消して、直前 ____ 19 の状態に戻ります。キーを押す たびに操作が1つずつ取り消 元に戻すキー されます。 線や図形データをすべて消去し 20 Ŵ て、起動時の状態にします。取 全削除キー り込んだ下絵も削除されます。 マイデザインセンターを終了し _ (21) キャンセル ます。すべての線や図形データ キャンセルキー が消去されます。

🖉 お知らせ

 ・模様描画データのファイル拡張子については、
 P. 269「仕様」を参照してください。

スタンプキーの使い方

1 🕞 を押します。



2 スタンプの種類と図形を選択します。



- ① スタンプ図形
- ② スタンプの種類
- ③ 保存した刺しゅう模様の輪郭
- ④ 刺しゅう枠の縫製範囲
- スタンプ図形

	基本図形
	閉じた図形
6	開いた図形

• スタンプの種類(基本図形のみ)

輪郭
タタミぬい
輪郭とタタミぬい

保存した刺しゅう模様の輪郭



刺しゅう枠の縫製範囲



3 [OK] を押して選択したスタンプを配置します。



- 4 模様を編集します。
 - * 詳しくは P. 228「描画画面」を参照してください。



- 5 [次へ]を押して、ステッチを設定します。
 - * 詳しくは P. 236「模様ごとにぬい方を設定する」 を参照してください。

線を描く

- を押して、線やステッチの種類、色を 設定します。(P. 231)
- 線ツールキーを押して線を描きます。



🖉 お知らせ

- 線ツールキーを押すと、線と区別するために、 面部分の表示が薄くなります。
- 3 [次へ]を押して、ステッチを設定します。 (P. 236)

模様を塗る

- を押して、ブラシの種類、ステッチの 種類、塗りつぶしの色を設定します。 (P. 232)
- 2 📝 を押してブラシで塗ります。



3 [次へ]を押して、ステッチを設定します。 (P. 236)

線やステッチの種類、色を設定する

線やステッチの種類、色はいつでも変更ができ ます。線を描く前に設定することもできます。

 を押して、線やステッチの種類、色を 設定します。



→ [線プロパティ]画面が表示されます。



- 線の種類
- ② ステッチの種類
- ③ 線の色選択:線の色をカラーパレットから選択します。

線の種類

R	手書き線を描きます。
Ŕ	手書き線を描きます。線は自動的に始点と終 点を結びます。
	直線を引きます。
5	選択した位置毎に直線の向きが変わります。 始点の近くに終点を作ると、閉じた図形が作 られます。

•	ステ	ッチ	の種類

	ジグザグステッチ
	走りぬい
	3重ぬい
***	キャンドルウィックステッチ
	チェーンステッチ
	E ステッチ
	V ステッチ
XXX	モチーフステッチを選択します。 表示されるモチーフステッチの選択画面で、 選択を押すと、ステッチを選択できます。
	アップリケジグザグステッチ
J.M.M	線をぬわないようにします。ぬわないように 設定された線は薄い灰色の線で区別されます。

2 [OK]を押すと、描画画面に戻ります。

3 № を押してから設定を変更する線を押します。



① 色

② ステッチの種類

🖉 お知らせ

- ステッチの種類を変更しても、線の外観は変わりません。指定したステッチの種類はステッチ設定画面で確認できます。(P.236)
- ・意図通りに線が押せないときは、100%Qを押して拡大表示してください。
- を押してから線を押すと、その線の設定
 が[線プロパティ]画面に反映されます。

ブラシの種類、ステッチの種類、塗 りつぶしの色を設定する

 を押して、ブラシの種類、ステッチの
 種類、塗りつぶしの色を設定します。



→ [面プロパティ]画面が表示されます。



- ① ブラシの種類
- ② ステッチの種類
- ③ 塗りつぶしの色の選択:塗りつぶす色をカラーパレットから選択します。

• ブラシの種類

ブラシのサイズを選択するときは、---または+-を押 します。

	角ブラシ	
•	丸ブラシ	

- ステッチの種類
- グタミぬい

 ※※※
 スティップリング

 デコラティブフィル模様を選択します。

 表示されるデコラティブフィル模様の選択画

 面で、選択を押すと、模様を選択できます。

 ※※※

 ※※

 ステッチで模様を塗りつぶしたくないときは、

 このキーを選択します。
- 2 [OK] を押すと、描画画面に戻ります。



①色

② ステッチの種類

🖉 お知らせ -

- ・意図通りに塗りつぶす面が押せないときは、
 100%Qを押して拡大表示してください。
- を押してから面を押すと、その面の設定 が[面プロパティ]画面に反映されます。



_____ 択しやすい領域を表示します。

4 模様を編集します。(P. 228)

消しゴムキーの使い方

1 💿を押します。



- 消しゴムの形を選択します。
 次に、消去したい面または線に沿ってドラッグします。
 - * 消しゴムのサイズを選択するときは、--または
 +を押します。



3 [OK] を押します。

🖉 お知らせ

 キーが
 と表示されている間、面または線 を消去できます。

サイズキーの使い方

1 🛄 を押します。



 大きさを変える方向のキーを押してサイズ を変更します。



🖉 お知らせ

 数値でサイズを指定する場合は、
 ます。高さまたは幅のボックスを押して、数 字キーで数値を指定し、[セット]を押しま す。



- 高さのボックス
 幅のボックス
- **3** [OK] を押します。

モチーフステッチデータまたはデコラ ティブフィル模様データを取り込む

刺しゅう PRO の [ステッチクリエイター] で作 成したモチーフステッチデータやデコラティブ フィル模様データをマイデザインセンターに取 り込むことができます。

- * モチーフステッチは刺しゅう PRO バージョン 4 以降で作成できます。デコラティブフィル模様 (刺しゅう PRO では飾り模様) は刺しゅう PRO バージョン 11 以降で作成できます。
- * モチーフステッチやデコラティブフィル模様の拡 張子については、P.269「仕様」を参照してくだ さい。



- 1 モチーフステッチデータ、デコラティブ フィル模様データを USB メディアに保存し ます。
- 2 USB メディアをミシンの USB ポートコネク タに差し込みます。
- **3** [My Design Center] を押します。
- 4 モチーフステッチデータを取り込む場合は、

 ●を押します。[線プロパティ]画面が表示 されたら、※※※を押し、[選択]を押します。



5 [カスタム]を押してから ➡を押します。



- 6 モチーフステッチデータを選択し、[OK] を 押します。
 - * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。

(()	0	≎	?	U	Ĥ	♠
•				0	+36	92MB
•⇔xxx	xxxxx					
mymotif		_				
PN	Æ					

- → モチーフステッチデータがミシンに保存されます。
- 7 使用するモチーフステッチを選択し、[OK] を押します。



🖉 お知らせ

- 保存されたモチーフステッチには模様番号が 付けられます。模様番号はキーの左上に表示 されます。
- ミシンに保存できるモチーフステッチは12 個までです。それ以上の模様データを保存しようとすると、メッセージが表示されます。 画面の指示に従って、入れ替えるモチーフステッチデータの模様番号を選択します。
- 保存したモチーフステッチデータをすべて削除する場合は、[全て削除]を押します。
- 8 デコラティブフィル模様データを取り込む 場合は、 を押します。[面プロパティ]画 面が表示されたら、 ####を押し、[選択]を押 します。



9 手順 5 ~ 7 を参照して、取り込んだデコラ ティブフィル模様を選択します。 10 模様を編集します。必要に応じて、 □を押 して模様を保存します。



① 描画画面

② ステッチ設定画面

🖉 お知らせ

- 取り込んだモチーフステッチやデコラティブ フィル模様を模様描画データとして保存する 場合は、ミシンのメモリーにのみ保存できま す。
- ・描画画面でミシンのメモリーに保存した模様 を呼び出すと、現在[カスタム]に登録され ている模様番号のモチーフステッチまたはデ コラティブフィル模様を反映した模様が表示 されます([カスタム]の模様番号に登録され ているモチーフステッチまたはデコラティブ フィル模様を保存時から変更した場合は、保 存時と異なる模様が表示されます)。
- [カスタム]に登録されているモチーフステッ チまたはデコラティブフィル模様がすべて消 去された状態で模様を呼び出した場合は、初 期設定のステッチに置き換えられます。モ チーフステッチはジグザグステッチに置き換 えられます。デコラティブフィル模様は、タ タミぬいに置き換えられます。
- ステッチ設定画面もしくは刺しゅう編集画面 で模様を保存すると、刺しゅうデータとして 保存されるためモチーフステッチまたはデコ ラティブフィル模様は保持されます。

ステッチ設定画面

描画画面(P.228)で模様描画データを作成した後、次のことができます。

- 線と面それぞれのステッチ設定を確認して変更します。
- 模様描画データを保存します。
- 刺しゅう模様に変換し、刺しゅう編集画面に 進み、刺しゅう模様を保存します。

模様ごとにぬい方を設定する

ステッチ設定画面で模様を選択して、線や面の ぬい方を設定します。

- ▲ を使って、線ぬいまたは面ぬい部分 を選択します。
 - → く > を押すごとに、選択部分が赤枠で囲われます。



- 2 変更する設定を選択した後、表示された ポップアップ画面で設定を変更します。(こ の例では、刺しゅうのぬい角度を変更しま す。)
 - * 各設定の詳細については、P.237「線ぬいと面ぬ いの設定」を参照してください。



3 [手動]を押して、-+を使ってぬい角度を 変更します。



- [OK] を押して設定します。
 * 同様に、ほかの設定も変更します。
- 5 必要に応じて、□を押して模様を保存します。
- 6 [セット]を押して刺しゅう模様に変換します。
 - → [OK] を押すと、刺しゅう編集画面が表示されます。



🖉 お知らせ

[My Design Center] で作成した模様を組み合わせるには、[追加]を押してから [My Design Center] を押します。

線ぬいと面ぬいの設定

■線ぬいの設定



- 選択した線のステッチの種類や色を表示/変更します。
- ② 変更したい線を選択します。
- ③ 選択した線のぬい方設定を表示/変更します。
- ④ 模様描画データと刺しゅうデータを保存します。
- ⑤ 刺しゅう編集画面に進みます。
- ⑥ プロジェクターで模様を映し出します。(P. 152)
- ⑦ 模様の詳細情報を確認します。
- ⑧ 模様のイメージを表示します。

□ 線のぬい方を設定する

ジグザグステッチ<u>(MMMM)</u>/ アップリケジグザグステッチ ~~~~~

₩【 [ジグザグ幅]	ステッチの間隔を指定します。
₩₩₩[糸密度]	ステッチの糸密度を指定します。

走りぬい=====/ 3重ぬい =====

・・・・・・ [走りピッチ]	ステッチの長さを指定します。
======	下打ちの ON / OFF を指定します。 走りぬいで下打ちを OFF にすると 1 重ぬい
	で模様が作成できます。ただし糸切りの回数
[下打ち]	が増えることがあります。

キャンドルウィックステッチ ****

米米米 【[サイズ]	模様を拡大/縮小します。
**** [間隔]	キャンドルウィックステッチの間隔を指定し ます。

チェーンステッチ \infty

(サイズ)	模様を拡大/縮小します。
• 王王 •	同じ部分を繰り返し刺しゅうする回数を指定
[重なり]	します。

E ステッチ ユニュ

<u>↓↓↓↓</u> [ステッチ幅]	模様を拡大/縮小します。
└└└└┟↓ [間隔]	E ステッチの間隔を指定します。
• ま い [重なり]	同じ部分を繰り返し刺しゅうする回数を指定 します。
〔〕[反転]	模様を反転する/しないを指定します。

V ステッチ _____

▲▲▲【 [ステッチ幅]	模様を拡大/縮小します。
人べん[間隔]	∨ ステッチの間隔を指定します。
• また り]	同じ部分を繰り返し刺しゅうする回数を指定 します。
〔〕[反転]	模様を反転する/しないを指定します。

モチーフステッチ 🔀 🎇

₩₩₩[[サイズ]	模様を拡大/縮小します。
₩₩₩ [間隔]	モチーフステッチの間隔を指定します。
[反転]	模様を反転する/しないを指定します。

■ 面ぬいの設定



- 選択した面のステッチの種類や色を表示/変更します。
- ② 変更したい面を選択します。
- ③ 選択した面のぬい方設定を表示/変更します。
- ④ 模様描画データと刺しゅうデータを保存します。
- ⑤ 刺しゅう編集画面に進みます。
- ⑥ プロジェクターで模様を映し出します。(P.152)
- ⑦ 模様の詳細情報を確認します。
- ⑧ 模様のイメージを表示します。

□ 面のぬい方を設定する

タタミぬい

▶ [縫い角度]	刺しゅうのぬい角度を指定します。[手動]を 選択すると、タタミぬいのぬい角度を変更でき ます。
[糸密度]	タタミぬいの糸密度を指定します。
[縮み補正]	ぬい目を少し短くしたり長くしたりして、模様の ぬい縮み補正をします。試しぬいの後に模様のぬ い縮み具合を確認してから、設定を変更します。
M [下打ち]	布を安定させるために、必要に応じて下打ち の有無を選択します。

スティップリング

くく [走りピッチ]	スティップリングのステッチの長さを指定し ます。
ぶぶ [間隔]	スティップリングをするときのステッチの間 隔を指定します。
-飜[距離]	模様の輪郭からスティップリングまでの距離 を指定します。
[ぬい目]	ぬいの種類(1 重/3 重ぬい)を指定します。

デコラティブフィル模様

88[[サイズ]	模様を拡大/縮小します。
[縫い角度]	模様の回転角度を指定します。
₩ [アウトライ ン]	[ON] または [OFF] を選択して、輪郭も刺 しゅうデータに変換するか指定します。 [ON] にすると、渡り糸の数を減らすことが できます。
⊗[ゆらぎ]	模様のゆらぎのレベルを指定します。 [ゆらぎ]に1以上を指定すると、[ゆらぎ] の[タイプ]設定を選択できます。
[位置のオフセット]	模様の基点位置を指定します。
88[重なり]	2~3重ぬい/1~2重ぬいを指定します。

一括でぬい方を設定する

同じぬい種類の複数の模様に対して、一括でぬ い設定を変更できます。

< > で設定を変更する模様を選択して、
 ∞を押します。



- を押すと、糸色など様々な情報を確認することができます。
- → 同じぬい種類が一括で選択されます。
- 設定を変更して、刺しゅう模様に変換します。(P. 236)



スキャンした画像や画像 データを使って模様を作成 する

布地をスキャンした画像、線画、イラスト、画像のデータを使用して模様を作成することができます。



- ① 画像を下絵として使用します。(P. 241、P. 242)
- ② 線画を刺しゅうデータに変換します。(P.243)
- ③ イラストを刺しゅうデータに変換します。 (P. 245)

スキャン枠を使用する

1 お好みのイラストなどを準備します。



スキャン中に刺しゅう押えがスキャン対象(イラスト など)に接触すると、スキャン対象や刺しゅう押えが 破損することがあります。厚手の素材やシワや折り目 のある素材など、刺しゅう押えに接触する可能性のあ る素材はスキャンしないでください。

🖉 お知らせ

スキャンする時、スキャン枠に配置できる紙は1枚のみです。

- スキャンする紙をスキャン枠に配置し、マ グネットで固定します。
 - * スキャンする対象が隠れていないことを確認して、紙の周りの6カ所をマグネットで固定します。



☆ お願い

 スキャン枠に紙を置いた時にホワイトバラン スエリアが隠れていないことを確認してくだ さい。正しくスキャンできないおそれがあり ます。この時、スキャン可能エリアにスキャ ン対象が収まるように配置してください。ス キャン対象がスキャン可能エリアから出てい るとスキャンされません。



① ホワイトバランスエリア

② スキャン可能エリア

- ホワイトバランスエリアやスキャン可能エリアに傷や汚れが無いことを確認してください。 正しくスキャンできないおそれがあります。
- スキャン対象を固定するときは、スキャン枠 に付属しているマグネットを使用してください。
- 紙がしっかりと固定されるようにマグネット を配置してください。紙が歪んでいるとうま くスキャンできないおそれがあります。
- スキャン枠が汚れている場合は、水かぬるま 湯を含ませた、やわらかい布を固く絞ってふ いてください。ふいた後は、乾いたやわらか い布で水分をふき取ってください。

- 3 刺しゅう機をミシンに取り付け、ミシンの 電源を入れます。
 - * P.124「刺しゅう機を取り付ける」を参照してく ださい。

🛛 お知らせ

- 糸が針から抜けたり、刺しゅう枠に引っか かったりしないように、上糸を通していない 状態にしてください。
- 4 → (押え上下スイッチ)を押して、刺しゅ
 う押えを上げ、→ (針上下スイッチ)を押して、針を上げます。
 - * 押えレバーを使うと、刺しゅう押えは充分な高さ まで上がりません。

重要

 刺しゅう押えと針はしっかりと上げてください。刺しゅう押えと針が下がったままでスキャンが始まると、 スキャン枠がミシンに当たり、破損する場合があります。

- 5 刺しゅう機にスキャン枠を取り付けた後は、 枠固定レバーを手前に倒しスキャン枠を固 定します。
 - * 詳しくは、P. 129「刺しゅう枠をセットする」を 参照してください。



☆ お願い

・刺しゅう押えくW>以外の押えは取り付けないでください。押えがスキャンされることがあります。

■刺しゅう枠でスキャンする

刺しゅう枠を使って、線画やイラストをスキャン することもできます。スキャンする紙を布地に置 き、テープで固定します。



① 布地

② テープ

下絵をスキャンする

布地やイラストをスキャンして、ミシンに取り 込み、下絵として表示して、模様を作ります。

1 ☞を押します。



2 [画像スキャン]を押します。

●●画像スキャン 愛 ラインデザイン 💣 イラストデザイン

3 スキャン枠にマグネットでイラストを固定してから、ミシンにスキャン枠を取り付けます。(P. 239) 布地をスキャンする場合は、刺しゅう枠をミシンに取り付けます。(P. 129) 4 [スキャン]を押します。

(t-	\$?	l f	↑
ラインスキャン 色情報を取得す い。	∨またはイラ けるために、	ストスキャ [スキャン科	ンする場合は 剤を使用して・	、 適切な くださ
			スキャン]
本機能を使用 ないことに同調 ・すべての適用 悪、ポルノまれ 俗に反する発言 ・他の人のプラ こと	する場合、お うするものと 法令に反する には児童ポル に使用する イバシーや/	客様はコン します。 5目的(特に ノのコンテ うこと パブリシテ・	・テンツに以下 人種差別、差 ・ンツもしくは ィの権利を侵る	を含ま 別、憎 :公序良 書する
画像ファイルな	を選択してく ⊷	ださい (JP	G, BMP, PNG).	×.
戻る				

5 次のメッセージが表示されたら、[OK] を押 します。

C

枠が動いて、スキャンを開始します。		
キャンセル	ок	

→ スキャンを開始します。スキャンが終わると、描 画エリアに下絵が薄く表示されます。

- を押して、付属のデュアルタッチペン を使って下絵をなぞります。
 - * 100%**Q**を押すと模様が拡大できます。 **④**を押す と、表示領域を移動することができます。
 - * 線について、詳しくは P. 230「線を描く」を参照 してください。



- または
 ●
 を押して、下絵の濃淡を調整します。
- 7 編集が終わったら、[次へ]を押して設定を行います。

* 模様の編集について詳しくは、P.228「キーのは たらき(マイデザインセンター)」を参照してく ださい。

- 8 [セット]を押して、刺しゅう編集画面を表示 します。
 - * 詳しくは、P. 236「模様ごとにぬい方を設定する」 を参照してください。

下絵を取り込む

画像データをミシンに取り込み、下絵として表 示して模様を作ります。

1 ┣ を押します。



2 [画像スキャン]を押します。

● 画像スキャン	
🥳 ラインデザイン	
🖉 イラストデザイン	

- データが保存されているデバイスを選択します。
 - * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。



- 直近にスキャンした画像は自動的にミシンのメモ リーに保存されています。このキーを押してス キャン画像を取り込みます。
- ② USB メディアに保存されたデータファイルを取り込みます。USB メディアに.jpg、.bmp、.pngのファイル形式で保存します。取り込めるファイルの詳細については、P.269「仕様」を参照してください。
- ③ My Design Snap アプリから転送された画像デー タを取り込みます。(P. 224)

4 データを選択して、[セット]を押します。

ſ			
[bPock	et	
	💌 XXX.j	pg	
L			

- → 描画エリアに選択した画像が薄く表示されます。
- 刺しゅう模様を作成します。
 P. 241「下絵をスキャンする」の手順 6 を 参照してください。

線画変換で模様を作る

線画から刺しゅう模様を作成できます。線画を スキャンしたり、画像データを取り込んで模様 を作ります。



線画変換に適した線画

- 1 mm ほどの太さの線ではっきりと描かれている もの。
- 線の明暗がはっきりしているもの。
- 線が短すぎたり密集しすぎていると、正しく 変換できません。

🖉 お知らせ

- カラーイラストから刺しゅう模様を作成する 方法について、詳しくは P. 245「イラスト変 換で模様を作る」を参照してください。
- 1 ☞を押します。



2 [ラインデザイン]を押します。



☑ お知らせ

• 画面に表示されている下絵を変換する場合は、 手順 4 に進みます。

- 3 スキャン枠や刺しゅう枠を使ってスキャン するときは、[スキャン]を押します。画像 データファイルを取り込む場合は、保存先 のデバイスを選択します。
 - * USB メディアが2つ接続されている場合は、表示 されている USB メディア名を確認し、使用する USB メディア名を押してください。



- このキーを押すと、スキャン開始のメッセージが表示されます。[OK]を押して、スキャンを開始します。
- ② 直近にスキャンした画像は自動的にミシンのメモ リーに保存されています。このキーを押してス キャン画像を取り込みます。
- ③ USBメディアに保存されたデータファイルを取り込みます。USBメディアに.jpg、.bmp、.pngのファイル形式で保存します。取り込めるファイルの詳細については、P.269「仕様」を参照してください。
- ④ My Design Snap アプリから転送された画像デー タを取り込みます。(P. 224)
- 4 √を動かして、刺しゅう変換する範囲を指定します。その後、[OK]を押します。



- 画像を2階調に変換するためのしきい値を調整します。
- ② 線の色とステッチの種類を変更します。(P.231)

6

マイデザインセンタ

5 変換された画像を確認し、[セット]を押しま す。



- * 必要に応じて、[2値化レベル(2階調化)]、線 の色、ステッチの種類を変更します。設定を変更 すると、[セット]が[再試行]に変わります。[再 試行]を押して、意図通りに変換されていること を確認します。
- * 🔍 を押すと、画像を拡大することができます。
- * [原画表示]を押すと、変換される前の画像が表示 されます。

- **6** 必要に応じて、模様を編集します。
 - * 詳しくは、P.228「キーのはたらき(マイデザイ ンセンター)」を参照してください。



* 画像はステッチに変換された後、描画画面の下絵 として表示されます。 100 または 100 を押して、下 絵の濃淡を調整します。

🖉 お知らせ

- •小さな点や不要な線は、消しゴムキーで消す ことができます。(P. 233)
- 線の太さは認識されずに線画は変換されます。
 線の太さを変更する場合は、ステッチ設定画面で変更します。P.236「ステッチ設定画面」
 を参照してください。

イラスト変換で模様を作る

カラーイラストから刺しゅう模様を作成できま す。イラストをスキャンしたり、画像データを 取り込んで模様を作ります。



イラスト変換に適したイラスト

- ぼかしやグラデーションなどを含まない、 はっきりと描かれたもの。
- 5 mm 四方を超えるもの。
- 単純な形状のもの。
- 1 ●を押します。



2 [イラストデザイン]を押します。



- 🖉 お知らせ
- 画面に表示されている下絵を変換する場合は、 手順 4 に進みます。

3 スキャン枠や刺しゅう枠をスキャンするときは、[スキャン]を押します。画像データファイルを取り込む場合は、保存先のデバイスを選択します。この例では、画像データファイルを取り込みます。



- このキーを押すと、スキャン開始のメッセージが 表示されます。[OK]を押して、スキャンを開始し ます。
- ② 直近にスキャンした画像は自動的にミシンのメモ リーに保存されています。このキーを押してス キャン画像を取り込みます。
- ③ USB メディアに保存されたデータファイルを取り込みます。USB メディアに.jpg、.bmp、.pngのファイル形式で保存します。取り込めるファイルの詳細については、P.269「仕様」を参照してください。
- ④ My Design Snap アプリから転送された画像デー タを取り込みます。(P. 224)

- ▲ ▲ を動かして、刺しゅう変換する範囲を指定します。その後、[OK] を押します。
 - * お好みの模様に変換できるよう、画像を調整しま す。



- ① 画像内の色数を指定した色数以下にします。
- ② 背景除去の設定をします。
- ③ ── を押すと、画像の輪郭を線に変換します。
 (押していない場合、画像の輪郭が面に変換されます。)線の太さは ─ + で指定できます。

■ を押すと、輪郭の色を選択できます。色選択 画面で色を直接押すか、 く・> を使って グを動 かして選択します。



5 変換された画像を確認し、[セット]を押します。



- * 手順 4 と同様に、必要に応じて画像を調整しま す。設定を変更すると、[セット]が[再試行]に 変わります。[再試行]を押して、意図通りに変換 されていることを確認します。
- * 🔍 を押すと、画像を拡大することができます。
- * [原画表示]を押すと、変換される前の画像が表示されます。

6 必要に応じて、模様を編集します。



* 画像はステッチに変換された後、描画画面の下絵 として表示されます。 図または どかます。 として表示されます。 マイデザインセンターでさ まざまな刺しゅうをする

模様の周りに飾りぬいをする



- 模様の輪郭線を保存する
- 1 ホーム画面で[刺しゅう]を押し、模様を選択します。
- 2 [編集]を押してから 😳 を押します。



3 設定を行い、 🖗 を押します。



- ① 模様から輪郭線までの距離を指定します。
- ② オンに設定すると、模様の内側の線も抽出します。

4 [OK] を押します。



- → 模様の輪郭線がスタンプ図形としてマイデザイン センターに保存されます。
- ■保存した輪郭線を使って模様を編集 する
- 1 [追加]を押します。



2 [My Design Center] を押します。



- ty Design Center
- 3 ♀ を押してから ☺ を押します。



4 保存した輪郭線を選択します。



5 ④を押して、スタンプ図形を選択します。



□ を押して、サイズを変更します。



////////		***		
$\sim\!\!\sim\!\!\sim$		***		
~~~~		N%W		

8 № を押して、円を押します。



9 一を押して、ステッチの種類と色を選択します。





- 11 [次へ]を押します。
- 12 ステッチ設定を行い、[セット]を押します。
  - * 詳しくは P. 236「模様ごとにぬい方を設定する」 を参照してください。



→ [OK] を押すと、刺しゅう編集画面が表示されます。



#### 2 枚の布地にキルト綿を挟んで刺 しゅうする場合

表地に刺しゅうを施した後、スキャン機能を 使って模様の位置を合わせます。

🖉 お知らせ

- きれいに刺しゅうするために、刺しゅう速度 を遅くしてください。
- きれいに仕上げるために、接着芯を付けた表 地を刺しゅう枠に張り、模様を刺しゅうして ください。このとき、キルト綿と裏地は一緒 に刺しゅうしないでください。



- 2 [縫製]を押して、模様を刺しゅうします。
- 3 刺しゅうした表地を刺しゅう枠から外しま す。接着芯をはがします。表地にキルト綿 と裏地を重ね、刺しゅう枠で3枚を固定し ます。
- 4 刺しゅう枠をセットします。
- 5 ふを押してから [OK] を押します。ホーム画面で [My Design Center] を押します。
- 6 ☞を押してから[画像スキャン]を押します。 [スキャン]を押して、刺しゅうされた布を スキャンします。(P. 242)
- 7 🕞 を押してから 🚱 を押します。



8 手順1で保存した輪郭線を選択します。

- ② □ を押して、スキャンした刺しゅう模様
   とスタンプ図形が重なるようにスタンプ図
   形を編集します。
  - * スタンプを回転するときは、 🔿 を押します。



10 模様を編集し、[次へ]を押します。

11 ステッチ設定を行い、[セット]を押します。



- * 詳しくは P. 236「模様ごとにぬい方を設定する」 を参照してください。
- → [OK] を押すと、刺しゅう編集画面が表示されます。



# カウチング模様の周りに飾りぬいを する



- ■カウチング模様の輪郭線を保存する
- ホーム画面で[刺しゅう]を押し、カウチング 模様を編集します。(P. 189)
- 2 □を押して、組み合わせたカウチング模様 をミシンのメモリーに保存して後で使用で きるようにします。



- 3 □□△を押してすべての模様を選択してから、 ③を押します。
- 4 設定を行い、 ∞ を押します。



5 **ふ**を押してから [OK] を押します。

■飾り模様を刺しゅうする

- 1 ホーム画面で [My Design Center] を押しま す。
- 2 全を押して、P. 250「カウチング模様の 輪郭線を保存する」の手順4で保存した 輪郭線を選択します。

	6
保存したアウ	トライン

3 ⊕ を押して、正方形を選択します。次に、
 □ を押してサイズを変更します。



4 ■ を押して、ステッチの種類と色を選択します。

線プロパティ	
	/ 5
	***
	へへ 米米米 222222 選択
	yxii

5 愈 を押して、正方形を押します。


////// 2356C IIIIIII N%N 選択

7 ♪を押して、デコラティブフィル模様を 施したい面を押します。



- 8 [次へ]を押します。
- 9 ステッチ設定を行い、[セット]を押します。
  - * 詳しくは P. 236「模様ごとにぬい方を設定する」 を参照してください。



10 [縫製]を押して、模様を刺しゅうします。



11 11 合われていた [OK] を押します。

- カウチング模様を刺しゅうする
- ホーム画面で[刺しゅう]を押して、□を押します。
- 2 保存したカウチング模様を呼び出します。

	•	<u></u>
24IUP520		
Street Contraction of the second		
C PF	ex.	

- 3 ミシンでカウチングの準備をします。カウ チング刺しゅう押えくY>を取り付け、毛 糸を通し、ミシンに上糸を通します。
  - * 詳しくは P. 189「カウチング模様を刺しゅうす る」を参照してください。

# 第7章 お手入れとトラブルシュー ティング

## お手入れのしかた

## ▲ 注意

ミシンの掃除は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。けがをするおそれがあります。

## 注油に関して

お客様ご自身による本製品への注油は行わない でください。故障の原因となります。 本製品の動作に必要な油はあらかじめ十分に塗 布されて出荷されていますので、定期的に注油

する必要はありません。 万一、プーリーを回すと重い、異常な音がする などの症状が発生した場合は、ただちに使用を やめて、お買い上げの販売店または「お客様相 談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。

## ミシンを保管するときのご注意

結露によるさびの発生など、故障の原因となり ますので、以下の場所にミシンを保管しないで ください。

- 温度が著しく高くなる場所
- 温度が著しく低くなる場所
- 急激に温度が変化する場所
- 湿気、湯気が多い場所
- 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- ほこり、油煙の多い場所

#### ☆ お願い

 本製品を未永くご愛用いただくために、とき どき電源を入れて、縫製してください。長期 間保管したまま使用しない状態が続くと、ミ シンの性能を損なうおそれがあります。

## お手入れ

## ■ 画面の汚れの掃除

画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布などで 軽くふき取ってください。

#### 🖉 お知らせ

 液晶画面が結露したり、曇ったりする場合が ありますが、故障ではありません。しばらく すると、結露や曇りはなくなります。

## ■本体表面の掃除

本製品の汚れをふき取るときは、水かぬるま湯を 含ませたやわらかい布を固く絞ってふいてくださ い。 ふいた後は、乾いたやわらかい布で水分をふき

かいた後は、乾いたやわらかい布で水分をかさ 取ってください。

### ■ かまの掃除

5

- 1 ↓(針上下スイッチ)を押して針を上げま す。
- 2 電源スイッチを切って、電源プラグを抜き ます。
- 3 針と押えを取り外します。(P. 34、P. 46)
- 4 補助テーブルまたは刺しゅう機を取り付け ている場合は外します。
  - 針板レバーを手前にスライドさせます。



① 手前にスライドさせます。

→ 針板が開きます。



## ■ 内かま周辺のカッターの掃除

カッターにほこりや糸くずがたまると、 りスイッチ)を押したときや自動糸切り機能を使 用したときに、糸が切れにくくなります。糸が切 れないときは、カッターを掃除してください。

- P. 253「かまの掃除」の手順1~7に従っ て、針板と内かまを取り外します。
- 2 ミシンブラシや掃除機で、内かま周辺の カッターの糸くずやほこりを取り除きます。



① カッター



 けがをするおそれがありますので、カッターに触らな いでください。

3 針板を取り付けます。

## カメラ/プロジェクターの針位置調整

カメラ機能またはプロジェクター機能を使うと きは、針位置調整を必ず行ってください。針位 置の調整をいつも行う必要はありませんが、針 を交換した時はこの設定を行うことをおすすめ します。付属のキャリブレーションステッカー を使用します。

- を押して、設定画面の [カメラ / プロジェ クターの針位置調整]を表示します。
- 2 + を押します。

0	カメラ/プロジェクター の針位置調整	+



① キャリブレーションステッカー

#### ☆ お願い・

- キャリブレーションステッカーは新しいもの を使用ください。ステッカーに穴が開いてい たり、汚れていたりすると、カメラの針位置 が正しく設定できません。
- → 設定が終了すると、[OK] が表示されます。



#### ☆ お願い・

- [NG] が表示されたときは、新しいキャリブレーションステッカーを貼り、[再試行]を押します。針が落ちる位置の設定を繰り返しても設定できない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」にお問い合わせください。
- 4 [OK] を押して、位置設定データを保存します。



OKキーを押すと、針落ち点を記憶します。



**5** ステッカーをはがします。

キャンセル

## 製品を貸与・譲渡・廃却するときの 注意

以下の情報を消去し、お買い上げ時の状態にリ セットしてください。

- 保存されているすべてのデータ
- 設定した内容
- ネットワーク設定情報
- 2 を押してから、[初期状態にリセット]の 横にある[リセット]を押します。
- 2 [リセット]を押します。

☆ お願い -

• [削除中 ...] の画面が表示されているときは、 電源スイッチを切らないでください。

プロダクトナンバー/シリアル番号 (機械番号)を確認する

- ■プロダクトナンバーを確認する
- 1 を押します。
- 2 以下の設定画面を表示します。



① プロダクトナンバー

- ■シリアル番号(機械番号)を確認する
  - ミシン背面の銘板を確認します。



## ミシンのソフトウェアを アップデートする

次の2つの方法をいずれかで、ミシンのソフト ウェアをアップデートします。

## USB メディアでアップデートする

<u>https://s.brother/cpdaf/</u>でアップデートプログラ ムが公開されている場合、ウェブサイトと下記 の手順に従ってファイルをダウンロードしてく ださい。

#### ☆ お願い -

- USB メディアを初期化してください。
- USB メディアにはアップデートファイル (.upf ファイル)のみを保存してください。
- USB ポートから他の USB メディアを取り外してください。
- 一部の USB メディアは、このミシンで使用 できない場合があります。対応している USB メディアについては、P. 269「仕様」を参照 してください。
- 1 電源スイッチを切ります。USB メディアを USB ポートコネクタに差し込みます。



① USB ポートコネクタ

3

2 → (自動糸通しスイッチ)を押し続けなが
 ら、電源スイッチを入れます。



* 以下の画面が表示されるまで + を押し続け、表 示されたらスイッチから手をはなします。



[取り込み]を押してミシンをアップデートします。
 * 以下のメッセージが表示されるまで、電源を切らないでください。

4



- 5 USB メディアを外し、ミシンの電源スイッチを入れ直します。
  - * ミシンが起動するまでに時間がかかることがあり ます。起動中に画面が暗くなることもあります が、電源を切らずにオープニング画面が表示され るまでお待ちください。ミシンの設定によって は、オープニング画面ではなく他の画面が表示さ れることがあります。

## 無線 LAN でアップデートする

ミシンが強力で信頼性の高い無線ネットワーク に接続されている場合は、アップデートファイ ルをミシンに直接ダウンロードすることができ ます。

> お知らせ
>
>
>  ミシンは定期的にサーバー上に新しいアップ デートファイルがあるかどうかを確認します。 新しいアップデートファイルがある場合、無 線 LAN キーが よ表示されます。

🥱 🖸 🌣 🛛 🖞 🔒 🛧

- 1 ミシンを無線 LAN に接続します。
  - * 詳しくは、P. 29「無線 LAN 接続機能」を参照し てください。
- 2 を押して、設定画面の[更新プログラムダ ウンロード]を表示します。
- 3 [スタート]を押します。
  - * サーバー上に新しいアップデートファイルがある 場合、アップデートファイルのダウンロードが開 始されます。

1	ŝ	0	\$	?	L	Ĥ	♠
		-		(;	•		
	更新プロ	ログラムタ	(ウンロ-	- ^ド		スター	- ト
	接続状態	0.X					
	最新バー	・ジョン					•.••

 無線 LAN キーが と表示されているときに [ス タート]を押すと、新しいアップデートファイル があるか確認します。新しいファイルがある場合 はダウンロードを開始します。

#### ☆ お願い・

- ダウンロード中はミシンの電源を切らないで ください。
- ダウンロードを一時停止するときは、[中断] を押します。再開するときは、[再開]を押し ます。
- 4 ダウンロードが終了したら、ミシンの電源 を切り、→→(自動糸通しスイッチ)を押し ながら電源スイッチを入れます。



* 以下の画面が表示されるまで → を押し続け、表 示されたらスイッチから手をはなします。



- 5 🕞 を押します。
- 6 [取り込み]を押してミシンをアップデートします。

* 以下のメッセージが表示されるまで、電源を切ら ないでください。



電源を入れなおして下さい。 最初はミシンの起動に時間がかかります。途中画面が暗くなりま オ

- 7 ミシンの電源スイッチを入れ直します。
  - * ミシンが起動するまでに時間がかかることがあります。起動中に画面が暗くなることもありますが、電源を切らずにオープニング画面が表示されるまでお待ちください。ミシンの設定によっては、オープニング画面ではなく他の画面が表示されることがあります。

#### 🖉 お知らせ

機能の追加や変更があった場合、ミシンに表示される取扱説明書が更新されることがあります。

## 困ったとき

ミシンが思い通りに動かないときは、修理を依 頼する前に次の項目およびブラザーのサポート サイト (<u>https://s.brother/cpdaf/</u>)の「よくある ご質問 (Q&A)」を確認してください。 それでも改善されない場合は、お買い上げの販 売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」 にご相談ください。

🖉 お知らせ

 使い方動画をモバイル端末やパソコンでご覧 いただけます。



https://s.brother/cvdaf/

 
 ・ 画面に表示される QR コードからもアクセス できます。(P. 27)

## ■よくあるご相談

以下のよくあるご相談については、詳しい原因と 対処方法を記載しております。お問い合わせの前 にご確認ください。

- P. 258「上糸がつる」
- P. 259「布裏で糸がからまる」
- P.259「糸調子が合わない」
- P. 260「布がミシンに入り込んでとれなくなった」
- P. 261「ボビン受け座の下に糸がからまってしまった」

## 上糸がつる

## ■ こんなとき

- 上糸がピンと一本線になっている。
- 布地の表に下糸がポツポツと出ている。(イラ スト参照)
- 上糸がつっていて、引くと抜けてしまう。
- 上糸がつっていて、布地にしわがよってしまう。
- 上糸が強く、糸調子を調節してぬい直しても まったく変わらない。



- ① 布地の裏
- ② 布地の表に下糸が出ている
- ③ 上糸
- ④ 布地の表
- ⑤ 下糸

### ■ 原因

下糸のセットがまちがっている

下糸のセットがまちがっていると、下糸に適正な 張力が加わらず、上糸が引き上げられる際に布地 まで一緒に引っぱられてしまいます。そのため、 布地の表に糸が出てしまいます。

### ■ 対処方法

下糸を正しくセットし直します。(P.38)

## 布裏で糸がからまる

- こんなとき
  - 布の裏側で糸がグチャグチャにからんでしまう。



- ぬい始めるとすぐにガタガタと音がして進まなくなる。
- 布地の下側を見ると、かまの中まで糸が何重に もからまっている。



## ■ 原因

#### 上糸のセットがまちがっている

上糸のセットがまちがっていると、布地を貫通し た上糸をしっかりと引き上げることができず、内 かまの中に上糸がたまり、ガタガタと音がしま す。

### ■ 対処方法

からんだ糸を取り除き、上糸をセットし直しま す。

- からんだ糸を取ります。取れない場合は、 はさみで糸を切ります。
  - * 詳しくは、P.253「かまの掃除」を参照してくだ さい。
- 2 いったん上糸をミシンから取り外します。
- 3 P.40「上糸通し」の手順に従って、上糸を かけ直します。
  - * ボビンを内かまから取り出した場合は、P.38「下 糸をセットする」を参照して、正しくボビンを セットしてください。

## 糸調子が合わない

## ■ こんなとき

- 症状①:布地の表にポツポツと下糸が出ている。
- 症状②:布地の表で上糸が直線になる。
- 症状③:布地の裏にポツポツと上糸が出ている。
- 症状④:布地の裏で下糸が直線になる。
- 症状⑤:布地の裏側のぬい目がゆるい、またはたるむ。



□ 症状③



- ① 布地の裏
- ② 布地の表に下糸が出ている
- ③ 上糸
- ④ 布地の表
- ⑤ 下糸
- ⑥ 布地の裏に上糸が出ている

## ■ 原因/対処方法

#### □ 原因 1

糸が正しくミシンにセットされていない。
く上記の症状①、②に該当する場合>
下糸が正しくセットされていません。
上糸調子を標準設定に戻してから、P.38「下糸を
セットする」を参照して下糸をかけ直します。

<上記の症状③~⑤に該当する場合> 上糸が正しく通っていません。 上糸調子を標準設定に戻してから、P.40「上糸通 し」を参照して上糸をかけ直します。

#### □ 原因 2

#### 布地に合った糸や針を使用していない。

ミシン針は布地の種類や糸の太さによって使い分 けが必要です。

布地に合った糸と針を使用しないと、糸調子が合わなかったり、布地にしわが寄ったり、目とびの原因になったりします。

* P.32「布地と糸の種類による針の使い分け」の一 覧表を参照して、布地に合った糸と針を使用して いるか確認してください。

#### □ 原因 3

#### 上糸調子の設定値が適正でない。

適正な糸調子になるように調節します。 使用する布地や糸の種類やぬい方によって、適正 な糸調子は異なります。

- * 実際にお使いになる布地の端切れで試しぬいをし て、糸調子を調節してください。
- * 下糸が布地の表に出る場合は、上糸の糸調子を下 げます。(糸調子を弱くします。)
- * 上糸が布地の裏に出る場合は、上糸の糸調子を上 げます。(糸調子を強くします。)



#### ☆ お願い

上糸の通し方や下糸のセットが正しくされていない場合は、糸調子の調節が正しく行えません。上糸かけ、下糸セットの確認を先に行ってから、糸調子の調節を行ってください。

## 布がミシンに入り込んでとれなく なった

布がミシンに入り込んでとれない場合、糸が針板の下でからんでいることがあります。以下の 手順で、布をミシンから取り外してください。 操作が手順どおりに進まない場合は、無理に作 業を続けず、お買い上げの販売店、またはお客 様相談室(ミシン 119番)にご相談ください。

## ■布をミシンから取り外す

- 1 直ちにミシンを停止させます。
- 電源スイッチを切って、電源プラグを抜い てください。

#### 3 針を取り外します。

針が布地に刺さっている場合は、プーリーを奥側(時 計回り)に回して針を布地から抜いてから、針を取り 外してください。

* P.34「針の交換」を参照してください。

#### 4 押えを取り外します。

押えに糸がからみついている場合は、からんだ糸を取 り除いてから、押えレバーを上げて押えを取り外して ください。押えが破損するおそれがあります。

- * P.46「押えを交換する」を参照してください。
- 5 布地を持ち上げて、布地の下の糸を切ります。

ここで布地を取り外すことができる場合は、取り外し てください。かまの掃除をするために引き続き、次の 手順へお進みください。

6 針板と内かまを取り出します。

内かまに糸が残っている場合は、取り除いてください。

* P.253「かまの掃除」を参照してください。

- 7 外かまや送り歯の周りについている糸くず を取り除きます。
  - * P. 253「かまの掃除」の手順 ⁸ を参照してください。



① ミシンブラシ
 ② 外かま

- 8 内かまを挿入し、針板を取り付けます。
  - * P. 253「かまの掃除」の手順 9 ~ 11 を参照し てください。



9 針の状態を確認して、針をミシンに取り付けます。

曲がっているなど針が悪くなっている場合は、必ず新 しい針を取り付けてください。

* P.34「針の交換」を参照してください。

## ■ ミシンの動作を確認する

いったん針板を取り外したあとは、正しく取り付けられていることを確認するために、ミシンの動作確認をしてください。

#### 1 電源を入れます。

→ 針が左右に動きます。

#### ☆ お願い -

エラーが発生する場合は、ミシンの故障が考えられますので、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。

#### 2 直線(中基線)の模様を選択します。

* P. 271「ぬい方早見表」を参照してください。

#### ☆ お願い -

- 押えと糸は、まだミシンにセットしないでく ださい。
- 3 プーリーをゆっくりと手前(反時計回り) に回し、針が針穴の中央に落ちることを左 右前後から見て確認します。



① 針穴

② プーリー

針や送り歯が針板に当たる場合は、ミシンの故障が考 えられますので、お買い上げの販売店、または「お客 様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。 4 電源を切ってから、ボビンと押えをセット します。

傷がついたまたは破損した押えを使用しないでください。針折れや縫製不良の原因となります。

* P.38「下糸をセットする」と P.46「押えの交換」 を参照してください。

#### 5 上糸をかけ直します。

* 上糸のかけ方については、P. 40「上糸通し」を参照してください。

#### ☆ お願い・

上糸が正しくセットされていないと、糸がからむ原因となります。正しく上糸をセットしてください。

6 普通地で試しぬいをします。

#### ☆ お願い -

 薄い布地をぬう場合、ぬい目の短い中基線を 選択し、直線針板を使用して直線ぬいをして ください。また、布地の下に薄い紙や芯地を 置いてください。

## ボビン受け座の下に糸がからまって しまった

糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていな い状態で下糸を巻くと、ボビン受け座の下に糸 が巻かれてしまうことがあります。 以下の手順に従ってボビン受け座の下に巻かれ た糸をほどいてください。



糸
 ボビン受け座



- ボビン受け座の下に糸が巻かれても、ボビン受け座は 外さないでください。ボビン受け座のカッターでけが をするおそれがあります。
- 1 [ストップ]を押して、下糸巻きを停止します。



2 下糸巻き案内側で、はさみで糸を切ります。



- ① 下糸巻き案内
- 3 ボビンホルダーを右へ押し、下糸巻き軸からボビンを抜きます。ボビンと軸の間で糸を切り、ボビンを軸から完全に取り外します。



4 図のように左手で糸端を持ち、右手でボビン受け座近くの糸をゆっくりと時計回りに回して、からまった糸をほどきます。



## こんなときは

修理を依頼する前に、次の項目を確認してくだ さい。参照ページが「*」の場合は、お買い上げ の販売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。

## ■ぬう前の準備

症状、原因/対処	参照
糸通しができない	
針が正しい位置にない。	12
• (針上下スイッチ)を押して針を上げま す。	
針の取り付け方がまちがっている。	34
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
上糸の通し方がまちがっている。	40
糸通しフックが曲がっていて針穴に通っていな い。	*
糸通し装置が動かない、または元の位置に戻らな い。	*
<ul> <li>9番の針を使っている。</li> <li>糸通し装置に対応しない針です。手で糸を針 穴に通してください。</li> </ul>	40
押えレバーで押えを下げることができない	
」 (押え上下スイッチ)を使って、押えが上 げられている。	12
<ul> <li>・</li> <li>・</li> <li>(押え上下スイッチ)を押して、押えを 下げます。</li> </ul>	
下糸がボビンにきれいに巻けない	
下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていない。	35
ボビンの回転が遅い。	35
引き出した糸を正しくボビンに巻き付けていな い。	35
ボビンが下糸巻き軸に正しくセットされていな い。	35
下糸巻き中、ボビン受け座の下に下糸が巻かれた	=
下糸巻き案内の皿に糸が正しく通っていない。 • からまった糸をほどき、下糸巻きをします。	35

## 困ったとき

症状、原因/対処	参照		
下糸を引き出すことができない		Ξ	ミシ:
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34		日
下糸のセットのしかたがまちがっている。	38		•
ミシンの操作ができない			50
すべてのキーとスイッチが <b>い</b> でロックされて いる。	16		• 
液晶画面に何も表示されない			t
電源スイッチが入っていない。	14		ワ •
電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	14		
液晶画面が見にくい			無 い
画面の明るさ設定が合っていない。	21		•
液晶画面を押しても、反応しない			•
画面がロックされている。 • 次のいずれかのキーを押して、画面ロックを 解除します。	16		•
液晶画面がくもる			
液晶画面が結露している。 • しばらくすると、結露やくもりはなくなりま す。	-		
デュアルタッチペンで操作できない			無 z
デュアルタッチペンの発光部を掃除してくださ い。	-	ŀ	ו) דרי
新しい電池に交換してください。	68	la	, ロ. まカ:
刺しゅう機が動かない			針
刺しゅう機が正しくセットされていない。	124		
初期設定を行う前に刺しゅう枠を取り付けた。	124		
プロジェクターのポインターが正しい位置を示す	きない		
<ul> <li>布地の表面がでこぼこしていると、正しく位置を 認識できません。</li> <li>プロジェクターのポインターの表示は、参考 程度に使用してください。</li> </ul>	_		

症状、原因/対処	参照
ミシンを無線 LAN に接続できない	
日付の設定が数週間以上ずれている。 • 画面下部の日時キーを押して、日付を正しく 設定してください	—
5GHz 帯で無線 LAN に接続しようとした。 ・ 本機は 2.4GHz 帯にのみ対応しています。	—
無線 LAN の設定が有効になっていない。	30
<ul> <li>セキュリティ情報 (SSID /パスワード (ネット ワークキー) /認証方法) が正しくない。</li> <li>SSID とセキュリティ情報を再確認し、必要に 応じて正しい情報を入力してください。</li> </ul>	30
<ul> <li>無線アクセスポイント/ルーターが検出できない。</li> <li>無線アクセスポイント/ルーターの電源が入っていることを確認してください。</li> <li>金属製のドアや壁など、無線ネットワークの電波を遮るものがない場所に移動するか、無線アクセスポイント/ルーターに近づけてください。</li> <li>無線設定を行う際は、無線アクセスポイントから約1m以内にミシンを一時的に移動させてください。</li> <li>無線アクセスポイント/ルーターがMACアドレスフィルタリングを使用している場合は、ミシンのMACアドレスがフィルタリングで許可されていることを確認してください。</li> </ul>	
無線アクセスポイント/ルーターで使用されてい る認証または暗号化方式に本機が対応していな い。	269
プロジェクターによる針位置の投影がずれている はカメラがずれている	ら、また 
針位置調整をしてください。	255

## ■ 操作中

症状、原因/対処	参照
ミシンの操作ができない	
スタート/ストップスイッチを押していない。	12
実用模様が選ばれていない。	49
刺しゅう模様が選ばれていない。	132
押えが下がっていない。	12
フットコントローラーを接続したままスタート/ ストップスイッチを押した。	51
スピードコントロールレバーが振り幅を調節する ように設定されているときに、スタート/ストッ プスイッチを押した。	20、51
針が折れる	_
針の取り付け方がまちがっている。	34
針のとめネジがゆるんでいる。	34
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
布地に合った針や糸を使っていない。	32
模様に合った押えを使用していない。	271
上糸調子が強すぎる。	60、163
縫製中に、布地を無理に引っ張っている。	_
糸こま押えが正しくセットされていない。	40
針板の穴の周辺にキズがある。 * 針板の開口部の左側にミゾがあります。これ は傷ではありません。	*
① ミゾ	
押えの穴の周辺にキズがある。	*
内かまにキズがある。	*
品質の悪い針を使っている。	34
本機純正のボビンを使用していない。	35
上糸の通し方がまちがっている。	40
下糸のセットのしかたがまちがっている。	38
押えの取り付けがまちがっている。	46
押えホルダーのネジがゆるんでいる。	46
布地が厚すぎる。	76
厚い布地などを縫製中に布地を押しこんでいる。	76
ぬい目が細かすぎる。	59
刺しゅうをするときに、布地に刺しゅう用接着芯 を貼っていない。	125
下糸が正しく巻かれていない。	35

症状、原因/対処	参照
上糸が切れる	
上糸の通し方がまちがっている(糸こま押えが正 しくセットされていない、糸こま押えの大きさが 合っていない、糸が針棒糸かけから外れているな ど)。	40
糸にこぶや結び目がある。	—
針に比べて糸が太すぎる。	32
上糸調子が強すぎる。	60、163
糸がからまっている。	_
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
針の取り付け方がまちがっている。	34
針板の穴の周辺にキズがある。 * 針板の開口部の左側にミゾがあります。これ は傷ではありません。	*
() EV	
押えの穴の周辺にキズがある。	*
内かまにキズがある。	
布地に合った針や糸を使っていない。	32
経製中に、糸が結はれたりからんだりしている。	38、40
本機純正のボビンを使用していない。	35
小さな文字など、ぬい目の短い模様を刺しゅうす る場合に、ボールポイント針(刺しゅう用)を使 用してない。	32
布裏で糸がからまる	
上糸の通し方がまちがっている。	40
布地に合った針や糸を使っていない。	32
小さな文字など、ぬい目の短い模様を刺しゅうす る場合に、ボールポイント針(刺しゅう用)を使 用してない。	32
上糸がつる	
下糸のセットのしかたがまちがっている。	38
下糸が切れる	
下糸のセットのしかたがまちがっている。	38
下糸が正しく巻かれていない。	35
傷のあるボビンを使用している。	38
糸がからまっている。	_
本機純正のボビンを使用していない。	35

症状、原因/対処	参照
布地にしわがよる	
上糸の通し方、または下糸のセットのしかたがま ちがっている。	38、40
糸こま押えが正しくセットされていない。	40
布地に合った針や糸を使っていない。	32
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
薄い布地に対してぬい目があらすぎる。	59
糸調子が合っていない。	60、163
模様に合った押えを使用していない。	271
模様が正しくぬえない	
模様に合った押えを使用していない。	271
糸調子が合っていない。	60
内かまなどで糸がからまっている。	253
ぬい目が飛ぶ	
糸の通し方がまちがっている。	40
布地に合った針や糸を使っていない。	32
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
針の取り付け方がまちがっている。	34
品質の悪い針を使っている。	34
針板の下にゴミがたまっている。	253
薄い布地や伸びる布地をぬっている。	77
ぬい目ができない	
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
下糸のセットのしかたがまちがっている。	38
上糸の通し方がまちがっている。	40
ぬい音が高い/ガタガタと音がする	
送り歯にゴミがたまっている。	253
かまの部分に糸くずが巻きこまれている。	253
上糸の通し方がまちがっている。	40
本機純正のボビンを使用していない。	35
内かまに針が刺さった穴やすり傷がある。	253
布地を送らない	
送り歯が下がっている。 ・ つっを押して、フリーモーションモードを解 除します。	109
ぬい目が細かすぎる。	59
模様に合った押えを使用していない。	271
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
	260

症状、原因/対処	参照
ぬい始めに段差があって、ジグザグ押えくJ>が 傾いている。	77
刺しゅう押えがぬい目や布地に引っ掛かってい	23
る。 ・ [刺しゅうの押え高さ]の設定値を大きくしま す。	
布地が逆方向に送られる	
送り機構が故障した。	*
針が針板に当たる	
針のとめネジがゆるんでいる。	34
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
布地がミシンに入り込んでとれない	
糸が針板の下でからんでいる。	259
折れた針がミシンの中に落ちた	
ミシンの電源を切ってから、針板を外します。ミ シンの中に落ちた針が見える場合は、ピンセット などで取り出します。針を取り出したら、針板を 元に戻し、新しい針を取り付けます。 電源を入れる前に、プーリーを手でゆっくり手前 に回してなめらかに回ること、新しい針が針板の 穴の中央を通ることを確認してください。プー リーがなめらかに回らない場合やミシンの中に落 ちた針を取り出せない場合は、お買い上げの販売 店または「お客様相談室(ミシン 119番)」にご 相談ください。	260
プーリーを回したときに重い	
糸が内かまでからんでいる。	259
内蔵カメラがボタン穴かがり押えを検出できない	١
ボタン穴かがり押えが汚れている。	85
押えの「 <b>A+</b> 」マークと <b>3</b> つのドットに影が差し ている、または手や布に隠れている。	85
刺しゅう位置合わせシールを検知しない	
<ul> <li>外からの日光やライトがミシンに入っている。</li> </ul>	—
刺しゅう位置合わせシールの検知をさまたげるも のがないことを確認してください。	
ライトの明るさを調整します。	
刺しゅう枠に布地を正しく張ってください。	
スキャンした画像がとても明るい、またはとても りしている	ҕぽんや
外からの日光やライトがミシンに入っている。 • 外からの光を遮断してください。	_
針に糸を通しにくい、または刺しゅう枠を外しぬ	りくい
刺しゅう枠を移動します。	162

## ■ 縫製/刺しゅう後

症状、原因/対処	参照
糸調子が合わない	
上糸の通し方がまちがっている。	40
下糸のセットのしかたがまちがっている。	38
布地に合った針や糸を使っていない。	32
押えホルダーが正しく取り付けられていない。	46
糸調子が合っていない。	60、163
下糸が正しく巻かれていない。	35
針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	34
純正のボビンを使用していない。	35
文字模様や飾り模様がくずれる	
模様が正しく調整されていない。	103
模様がくずれる	
模様に合った押えを使用していない。	271
薄い布地や伸びる布地に刺しゅう用接着芯を貼っ ていない。	77
糸調子が合っていない。	60、163
ぬっている途中で布地を引っ張ったり押えたり、 布地がずれて送られたりしている。 • 布地がまっすぐ送られるように、布に手を軽 く添えてぬいます。	49
内かまなどで糸がからまっている。	259
刺しゅう模様がくずれる	
糸がからまっている。	
糸調子が合っていない。	60、163
刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない(布 地の張り方がゆるいなど)。	128
刺しゅう用接着芯を貼っていない。 • 特に伸びる布地、薄地、目の粗い布地、ぬい 縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着 芯を貼ります。適切な接着芯については、お 買い上げの販売店または「お客様相談室(ミ シン 119番)」にご相談ください。	125
刺しゅう時に、キャリッジや刺しゅう枠がミシン の周辺に置いてある物に当たっている。	124
刺しゅう押えがぬい目や布地に引っ掛かってい る。 ・ [刺しゅうの押え高さ]の設定値を大きくしま す。	23
刺しゅう枠の端からはみでた布地がミシンに干渉 し、刺しゅう機が動かない。 ・刺しゅう枠からはみ出た布地がミシンに触れ ないように布を刺しゅう枠にセットして、模 様を回転させて刺しゅうをします。	128

#### 症状、原因/対処 参照 重い衣類に刺しゅうしていたら、刺しゅう機の動 きが悪くなった。 • 刺しゅう機の近くに厚い本などを置き、重い 側を軽く持ち上げて水平になるようにします。 置いた本が刺しゅう機や刺しゅう枠の動きを 妨げないようにしてください。 130 テーブルから刺しゅうする布地が垂れ下がってい る。 • 布地が垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、 刺しゅう機の動きが悪くなります。テーブル から布地が垂れ下がらないようにします。 布地がひっかかっている、またははさみ込まれて いる。 • ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。 160 刺しゅうの途中で、刺しゅう枠を取り外したり、 取り付けたりしたときに、刺しゅう押さえにあて たり、押したりした。または、刺しゅう機を動か した。 刺しゅう用接着芯が、刺しゅう枠よりも小さいな 125 ど、正しく貼られていない。 糸切れなどで刺しゅうを途中から始めると、刺 161 しゅう模様によってはぬい目ができないことがあ ります。 ● (止めぬいスイッチ) を押してぬい始め に止めぬいをしてから、刺しゅうを続けてく ださい。 刺しゅうした布地の表側に糸のループができる 163 糸調子が正しく調節されていない。 131 布地、糸、模様の組み合わせによって、上糸が浮 いてしまう。 • 刺しゅう専用針板カバーを使用します。 内かまと下糸の組み合わせが正しくない。 130

## エラーメッセージ

誤った操作を行うと、液晶画面にメッセージや アドバイスが表示されます。エラーメッセージ が表示された場合は、以下の表を参照し、適切 な処置を行ってください。表示されたメッセー ジが一覧にない場合は、画面の指示に従ってく ださい。[OK]を押すか、エラーメッセージが表 示されている間に正しい操作をすると、メッ セージが消えます。それでも改善されない場合 は、お買い上げの販売店、または「お客様相談 室(ミシン 119 番)」にご相談ください。

No.	エラーメッセージ、原因/対処
1	USB メディアエラー
	USB メディアでエラーが発生したときに表示されます。他
	の USB メディアを使用してください。対応している USB
	メティアについては、P. 269「仕様」を参照してください。
2	アップデートに失敗しました。アップデートプログ
2	フムを再度ダブブロードして、イブスドールしてく
	P.256「ミシンのソフトウェアをアップデートする」を参
	照してください。
	アップデートに失敗しました。プログラムを再度イ
	ンストールしてください。
3	* それでも問題がある場合は、アップデートプログラ
	ムをダウンロードし直し、インストールしてくださ
	F.230「ミシンのノントウェアをアックチートする」を参 昭してください。
	安全装置が働きました。糸がからんでいませんか?
4	針が曲がっていませんか?
	糸がらみなどが原因で、モーターがロックしたときに表示
	されます。
5	位置合わせマークを認識する事ができませんでした。
	ミシンが位置合わせマークを認識できなかったときに表示     さわます
	● 選択範囲の中に位置合わせマークがあることを確認して
	ください。P. 157「刺しゅう位置合わせシールを使う」
	の手順 <b>3</b> ~ <b>4</b> を参照してください。
	<ul> <li>プリントされた位置合わせマークを認識できませんでし</li> <li>カーの際のはんごての別さる」と認知されてきませんでし</li> </ul>
	た。実際のサイ人で印刷するよう設定を変更し(払大縮
	いしない、 しう 反利しゅう $位 自 17 e < う e > 9$ ントしてみてください。 (P. 174)
	• P. 264「操作中」の「刺しゅう位置合わせシールを検知
	しない」を参照してください。
6	位置合わせマークをはがして下さい。
	ミシンが位置合わせマークを認識したときに表示されます。 刺しゅう位置合わせシールをはがして IOKI を押し、操作を
	続けてください。 🗄 を押すと、刺しゅう位置合わせ
	シールがはがしやすくなります。 (P. 157)
7	押えレバーを下げてください。
	押えレバーが上がっていて針が下がっている状態で、
	(」)(押え上下スイッチ)を押したときに表示されます。
8	 この U S B メディアは使用できません。
	使用できないメディアを使おうとしたときに表示されます。
	他の USB メディアを使用してください。対応している
	USB メディアについては、P. 269「仕様」を参照してくだ   
	さい。

No.	エラーメッセージ、原因/対処
9	このキーは使えません。
	実用模様モード以外で[ぬい方]を押したときや、実用模様
	/文字模様ぬいモード以外で[模様説明]を押したときに表
10	この刺しゅう枠でぬうことはできません。大きい枠
	刺しゆうモートで、刺しゆう枠を取り付けているとさに、  選んだ模様が刺しゅう枠に収まりきらない場合に表示され
	ます。
	また、内蔵力メラで刺しゅう模様の位置合わせをしている
	こさに、位直調金した模体が取り付けられいる刺しゆう伴うの縫製範囲に収まっていない場合に表示されます。
11	このファイルは使用できません。
	ミシンが対応していないサイズや形式のファイルを読み込
	もうとしたときに表示されます。ファイルのサイズと形式
	を確認してください。 (P. 269)
12	この模様は使えません。
	データが破損している場合など、このミシンでは使用でき   ない増増な哑び出そうとしたときに表示されます
	はい候様を守び出てりてしたことに及かされより。 <b>向しゅう枠を外して 下幺をな场してください 枠</b>
13	をつけたあと <b>OK</b> キーを押すと、前の位置に戻りま
	す。
	刺しゅう用下糸を交換するときに表示されます。 (P. 160)
14	下糸が少なくなりました。
	下糸が少なくなったときに表示されます。スタート/ス
	トップスイッチを押すと数針ぬうことができますが、速や
	かに利しい下糸こ交換してくたさい。(P.30)
	^ ボルダなくなりました。  * " 止めぬいスイッチ " を押すと、 止め縫いできま
4 -	
15	* 枠移動キーを押すと、糸切りして、枠を脱着用の位
	置に移動します。のちほど、前の位置に自動で戻り
	ます。
	ト糸が少なくなったときに表示されます。スタート/ス   トップスイッチを畑すと数針めうことができますが 速や
	かに新しい下糸と交換してください。(P. 160)
16	下糸巻きの安全装置が働きました。糸がからんでい
10	ませんか?
	下糸巻き中に、糸がらみなどでモーターがロックしたとき
	に表示されます。 「季要なフィープラー」 ギャルキナー 何始 いい 司ウ東天
17	里安などツノナートかのりまり。 無線 LAN 設定画面   からマップデート  エノださい
	ンをアップデートしてください。(P. 257)
	スピードコントロールレバーで振り幅を調節すると
18	きは、スタート/ストップスイッチは使用できませ
	ん。フットコントローラーを使用してください。
	スピードコントロールレバーで振り幅を調節するように設  完されている状能でスタート/ストップスイッチを押した
	ときに表示されます。設定画面で[振り幅コントロール]を
	オフに設定してスタート/ストップスイッチを使用するか
	(P. 20) 、ノットコントローラーで操作してください   (P. 71)
10	
10	においれていたが、この定期になりました。 ミシンの定期占検が必要なときに表示されます
	上記の表示が出た場合は、お買い上げの販売店にご相談の
	うえ、定期点検をご依頼ください。[OK]を押すと、表示は
	消えてミシンの機能を引き続き使うことができますが、適
20	「ジンネホ(ア) パンプレージョン には何度も衣示されます。 デュアルフィードモジュールたみし アイギュロ
	<mark>  ノ ユノ ルノ1   「 しノユ ⁻ ルビフト U C ヽ/と C い。</mark>  デュアルフィードが取り付けらわている状能であしゅうを
	しようとすると表示されます。刺しゅうモードに入る前に、
	デュアルフィードを取り外してください。

No.	エラーメッセージ、原因/対処
21	特別な模様が含まれているため、外部メモリーには 保存できません。本体メモリーに保存してください。
	著作権で保護された模様を外部に保存しようとしたときに
	表示されます。著作権法上、複製や編集が禁止されている
	模様は外部に保存できません。このメッセージが表示され    た場合は、ミシンのメモリーに構样を保存  てください
22	2000 とううのうとう ことをなる してんさい。 分析を差形するときけ 雪頂を切ってください
	としたときに表示されます。
	ミシンの電源を入れたまま針板を取り外したとき、または
	ミシンの電源を入れて、刺しゅうモードを選択したときにしまま示される場合があります
	つっイルサイズが大きすぎます 相定サイズ以内の
23	ファイルを使用して下さい。
	ミシンが対応していないサイズのファイルを読み込もうと
	したときに表示されます。ファイルのサイズと形式を確認
	してくたさい。(P. 269)
24	フットコントローフーか付いているときは、人ター
	字・模様ぬいをするためにスタート/ストップスイッチを
	押したときに表示されます。
25	ボーダー模様の組み合わせが解除されます。よろし
	縫製曲面上で、連続模様(ホーター模様)を回転しようと    」たときに表示されます
	経製エリアから模様がはみ出します。位置を変更し
26	てスキャンし直して下さい。
	内蔵カメラで刺しゅう位置合わせをしているときに、刺
	しゅう位置合わせシールが端に寄りすぎていたり、模様が
	雑袈軛囲の外に出ていたりした場合に表示されます。   横様が縫製範囲内に収まるように布地を張り直し、再度位
	置合わせをしてください。
27	ポケットがいっぱいです。
	実用模様の設定をこれ以上保存できない場合に表示されま
	す。この場合、新しい設定を保存するために、保存済みの    設定を消去してください (P 61)
<u> </u>	ボタンホール抽え "4+" を取り付けてください 内
28	蔵のカメラで、「A+」マークと3つのドットを認識
	することで、「A+」押えと判断しています。
	ボタン穴かがり押えく A+ >を取り付けずにボタン穴かが
	りぬいを開始すると表示されます。
29	文字の配列ができません。
	文字数が多くて曲線の配列ができないときに表示されます。
30	容量が不足しています。
	模様の最大数が保存されているか、保存しようとしている     横様が大景のメモリた上右  ているため ミシンが保存で
	そない場合に表示されます。ミシンのメモリーから模様を
	削除するか(P. 166)、USB メディアに模様を保存してくだ
31	谷重が小足しているためデータを保存できません。     魚の増増た消土するか、メディマを充満してくださ
51	118の疾隊を消去するか、ヘナイナを父換してくたさ
	れます。模様を保存するために、前に保存した実用模様ま
	たは刺しゅう模様を削除してください。 (P. 62、P. 166)
32	レジューム記憶を呼び出しますか?
	縫製中にミシンの電源を切った後で、もう一度電源を入れ   たときに表示されます。「CVI た畑オレ、電源た切ったしき」
	の状態(模様の位置と縫製済みの針数)に戻ります。
	(P. 162)

No.	エラーメッセージ、原因/対処
22	レジューム記憶を呼び出しますか?(My Design
55	Center
	マイデザインセンターで模様を編集中にミシンの電源を切
	り、その後電源を入れ直してからマイデザインセンターを
	起動した場合に表示されます。[OK] を押すと、電源を切る
	前の画面に戻ります。
34	枠をはみ出します。これ以上組み合わせるときは、
54	模様を回転して、追加入力してください。
	刺しゅうモードで、組み合わせた文字模様が縫製範囲より
	大きいときに表示されます。模様を 90 度回転させると、
	引き続き模様を組み合わせることができます。
35	枠をはみ出します。これ以上は入力できません。
	刺しゅうモードで、組み合わせた文字模様が縫製範囲より
	大きいときに表示されます。
36	F**
	ここかちんられま9。の良い上りの販売店または「お各様
	相談至(ミンジ 119 奋)」 までお問い合わせくたさい。

# 第**8**章 付録

# 仕様

項目		仕様			
本体寸法	751 mm(幅)× 337 mm(奥行	)×350mm(高さ)			
製品質量	19.7 kg				
刺しゅう機付き本体寸法	1090 mm ( 幅 ) × 671 mm ( 奥行	<b>テ)×350mm(高さ)</b>			
刺しゅう機付き本体質量	約 27.0 kg				
ぬい速度	毎分 70 ~ 1050 針				
刺しゅうの最高速度	毎分 1050 針				
定格電圧/消費電力	100 V(50-60Hz)/ 87 W				
インターフェース	無線 LAN ^{*1}	なし、Enhanced Open、WEP. Personal ・WPA/WPA2/WPA3 エンターフ	、WPA/WPA2-Personal、WPA3- ¹ ライズの無線 LAN 接続はできません。		
メモリー					
		10 MB			
	マイデザインセンター	100 MB			
データの種類 ^{*2}	実用模様 ^{*3}	.pmz、.pmp、.pmv、.pmx、.p	mu		
	刺しゅう模様 ^{*4}	.pes、.phc、.phx、.dst、.pen			
	マイデザインセンターで呼び 出し/取り込みできるデータ	<ul> <li>・模様描画データ (.pm9)</li> <li>・モチーフステッチデータ (.pmf)</li> <li>・デコラティブフィル模様データ (.plf)</li> </ul>			
	マイデザインセンターとピク チャープレイ刺しゅう機能で 使用できる画像データ - 6 MB 未満かつ 1600 万画素以内				
飾り模様の組み合わせ数	70 個まで				
最大刺しゅう範囲	465 mm × 297 mm				
使用可能な USB デバイス/メディ アの種類	<ul> <li>USB フラッシュドライブ(L 対応形式: FAT32 と NTFS 推奨容量:8~32 GB</li> </ul>	JSB フラッシュメモリー)(Typ	e A)		
	<ul> <li>本機で使用できない USB メ</li> </ul>	ディアもあります。			
[エコモード]と[電源オフサポート	[エコモード]	設定可能な時間	OFF、10 ~ 120 分		
モード]の条件		スタート/ストップスイッチ	緑色の点滅		
		停止する機能	ミシンライト、画面表示		
		復帰後	停止時の操作から再スタート		
	[電源オフサポートモード]	設定可能な時間	OFF、1~12 時間		
		スタート/ストップスイッチ	緑のゆっくりした点滅		
		停止する機能	全機能		
		復帰後	エラーメッセージが表示されます。 ミシンの電源を入れ直して再起動し てください		
スクリーンセーバーに対応している	ファイル形式	.jpg			
凹像ノアイル 	ファイルサイズ	1 画像につき最大 2MB			
	解像度	800×1280 ピクセル以下(幅7 込まれた画像は幅 800 ピクセル	が <b>800</b> ピクセルを超える場合、取り レに縮小されます。)		
	設定できるファイル数	5 ファイルまで			

* 仕様は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

付録

- *1 無線 LAN 接続は、IEEE 802.11b/g/n 規格に準拠し、2.4 GHz の周波数を使用します。 パソコンからミシンにデータを転送するときは、Design Database Transfer または刺しゅう PRO バージョン 11 以降を使用してくださ い。ソフトウェアに対応している OS については、ブラザーのサポートサイト (<u>https://s.brother/cndkc/</u>) を参照してください。
- *2 他の機種で保存したデータを呼び出すと、保存時と異なる表示になることがあります。呼び出したデータを確認してください。
- *3 「.pmp」、「.pmv」、「.pmu」、「.pmx」ファイルは読み込むことはできますが、本機で保存し直したときは「.pmz」ファイルとして保存 されます。本機または「.pmp」、「.pmv」、「.pmx」、「.pmu」に対応したミシンで作成された模様以外のデータを使用すると、ミシンが 誤作動するおそれがあります。
- *4 当社正規のデータ作成ソフトウェアまたはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、本機が誤作動するおそれがあります。上記 拡張子のファイルをミシンに読み込んで、保存しなおしたときは「.phx」ファイルとして保存されます。 Tajima (.dst) データには、具体的な糸色の情報が含まれていないため、標準的な糸色で表示されます。プレビューを確認し、必要に 応じて糸色を変えてください。

#### () お願い -

 ファイルおよびフォルダーの名前には、アルファベット26文字(A~Z、a~z)、0~9の数字、「-」 もしくは「_」を使用してください。半角文字を使用してください。

・ 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる縫製や3回以上の重ねぬいをすると、糸が切れたり、針が曲がったり折れたりするおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成ソフトウェア(刺しゅう PRO など)で、刺しゅうデータを修正して使用してください。

#### 🖉 お知らせ

- 各模様の自動返しぬい/止めぬいについては、
   P.54「自動返しぬい/止めぬい」を参照してください。
- フリーモーションモードが「つ (オフ) または
   (オン) のときに各画面に表示される押えは、「押え」の表に示されています。

下記の表の「押え」の項目に「*」が付いている 実用模様は、ジグザグ押えくJ>を取り付けれ ば2本針でも使用できます。

構体	ᄪᆞᆞ	2称/田冷	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
侯侬			自動 手動	自動 手動
	J*/O	<b>直線(左基線)</b> 地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	_	<b>2.5</b> 0.2 - 5.0
1-02	J*/O	<b>直線(左基線)</b> 地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	_	<b>2.5</b> 0.2 - 5.0
1-03	J*/O	<b>直線(中基線)</b> 地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	_	<b>2.5</b> 0.2 - 5.0
1-04	J*/O	<b>直線(中基線)</b> 地ぬい、ギャザー、ピンタッ クなどに使用します。	_	<b>2.5</b> 0.2 - 5.0
1-05	J*/O	3 重ぬい 丈夫なぬい目なので、袖つ けや股下をぬうときに便利 です。また、伸びる布地を ぬうときやステッチをかけ るときに使用します。	_	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
1-06 \$ \$ \$	J*/O	伸縮ぬい 伸縮性のあるぬい目なの で、伸びる布地をぬうとき に使用します。また、飾り ぬいとしても使用します。	<b>1.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
1-07               	N+*/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	_	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
1-08       	J/O	<b>しつけぬい</b> しつけに使用します。	_	<b>5.0</b> 5.0
1-09 <b>W</b>	J*/O	<b>ジグザグ(中基線)</b> たち目かがりやアップリ ケなどに使用します。	<b>3.5</b> 0.0 - 7.0	<b>1.4</b> 0.0 - 5.0
1-10 WWW	J*/O	<b>ジグザグ(中基線)</b> たち目かがりやアップリ ケなどに使用します。	<b>3.5</b> 0.0 - 7.0	<b>1.4</b> 0.0 - 5.0
1-11 ••••V	J*/O	<b>ジグザグ (右基線)</b> 右の針位置からぬい始ま ります。	<b>3.5</b> 2.5 - 5.0	<b>1.4</b> 0.3 - 5.0

		<b>夕</b> 徙 /田)A	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
侯俅	押入	名称/用述	自動 手動	自動 手動
1-12	J*/O	<b>ジグザグ(左基線)</b> 左の針位置からぬい始ま ります。	<b>3.5</b> 2.5 - 5.0	<b>1.4</b> 0.3 - 5.0
1-13	J*/O	2 点ジグザグ 普通地、伸びる布地のた ち目かがりやゴムひもつ け、つくろいぬいなど幅 広い用途に使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
	J*/O	2 点ジグザグ 普通地、伸びる布地のた ち目かがりやゴムひもつ け、つくろいぬいなど幅 広い用途に使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
1-15 <i>S</i>	J*/O	3 点ジグザグ 普通地、厚地、伸びる布 地のたち目かがりやゴム ひもつけ、つくろいぬい など幅広い用途に使用し ます。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
	G	<b>たち目かがり</b> 薄地、普通地のたち目か がりに使用します。	<b>3.5</b> 2.5 - 5.0	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0
	G	<b>たち目かがり</b> 厚地のたち目かがりに使 用します。	<b>5.0</b> 2.5 - 5.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
	G	たち目かがり 普通地や厚地、破れやす い布地のたち目かがりや 飾りぬいに使用します。	<b>5.0</b> 3.5 - 5.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
	J*/O	<b>たち目かがり</b> 伸びる布地のたち目かが りに使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
1-20	J*/O	たち目かがり 普通地の伸びる布や厚地 のたち目かがりや飾りぬ いに使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
	J*/O	<b>たち目かがり</b> 伸びる布地のたち目かがり や飾りぬいに使用します。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>4.0</b> 0.4 - 5.0
	J/O	<b>たち目かがり</b> 伸びるニット地のたち目 かがりに使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>4.0</b> 0.4 - 5.0
	J*/O	<b>たち目かがり</b> 伸びる布地のたち目かが りに使用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0
1-24	J*/O	<b>たち目かがり</b> 伸びる布地のたち目かが りに使用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.8</b> 0.4 - 5.0
1-25	S	<b>サイドカッター</b> 布を切りながら直線ぬい をします。	_	<b>2.5</b> 0.2 - 5.0
1-26 \$\$s	S	<b>サイドカッター</b> 布を切りながらジグザグ ぬいをします。	<b>3.5</b> 3.5 - 5.0	<b>1.4</b> 0.0 - 5.0

8

付録

带持	<b>七</b> 日	<b>夕</b> 延 / 田 A	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)		4 <del> 4</del>	41.2	友班 /田本	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
侯侬	ያቸ <i>ላ</i>	<b>石桥/用</b> 坯	自動 手動	自動 手動	1	医你	<u>የ</u> ሞሊ	石林/ 用逐	自動 手動	自動 手動
1-27 <b>&gt;</b> <b>s</b>	S	<b>サイドカッター</b> 布を切りながらたち目かが りをします。	<b>3.5</b> 3.5 - 5.0	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0		2-06	N+*/O	サテンスカラップ 半月状の丸いカーブの連続した 波形の模様をスカラップといい ます。ブラウスやハンカチなど のふち飾りに使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>0.5</b> 0.1 - 5.0
1-28	S	<b>サイドカッター</b> 布を切りながらたち目かが りをします。	<b>5.0</b> 3.5 - 5.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0		2-07	N+/O	スカラップ 半月状の丸いカーブの連続した 波形の模様をスカラップといい ます。ブラウスやハンカチなど	<b>7.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.4</b> 0.4 - 5.0
1-29	S	<b>サイドカッター</b> 布を切りながらたち目かが りをします。	<b>5.0</b> 3.5 - 5.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0		2-08	J*/O	のふち飾りに使用します。 <b>つきあわせ</b> パッチワークや飾りぬいに 使用します。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.2</b> 0.2 - 5.0
1-30	J/O	ビーシング直線(右基線) ビーシング用の直線です。 押えの右端に布地を合わせ てぬうと、ぬいしろの幅が 6.5 mm でぬえるように針位 置が設定されています。	_	<b>2.0</b> 0.2 - 5.0		2-09	J*/O	<b>つきあわせ</b> パッチワークや飾りぬいに 使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
1-31	J/C	ビーシング直線(中基線) ピーシング用の直線です。 * フリーモーションキルト押え <c>の使用時は必ず直線</c>	_	<b>2.0</b> 0.2 - 5.0		2-10	J*/O	<b>つきあわせ</b> コードなどを使った飾りぬ いに使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.2</b> 0.2 - 5.0
1-32	J/O			<b>2.0</b> 0.2 - 5.0		2-11	J*/O	スモッキング スモッキングや飾りぬいに 使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
1-33	J/O	6.5 mm でぬえるように針位 置が設定されています。 手ぬい風直線 上糸にナイロン透明糸、下 糸にキルトに合った色の糸、 ちまましたちい見のさせ		<b>2.5</b> 0.4 - 5.0		2-12	J*/O	ノアコティンク 布地と布地の間を離して糸で かがる方法をファゴティング といいます。ブラウスや子供 服などに使用します。また、 飾りぬいとしても使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
1-34	J/O	を使うと子ぬい風のイルト 直線がぬえます。 ジ <b>グザグ</b> アップリケキルトやフリー モーションキルト、サテン ぬいなどに使用します。	<b>3.5</b> 0.0 - 7.0	<b>1.4</b> 0.0 - 5.0		2-13	J*/O	ファゴティング 布地と布地の間を離して糸で かがる方法をファゴティング といいます。ブラウスや子供 服などに使用します。また、 飾りぬいとしても使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
1-35 ] q	J/O	<b>アップリケ</b> アップリケやバインディング をするときに使用します。	<b>1.5</b> 0.0 - 7.0	<b>1.8</b> 0.4 - 5.0		2-14	J*/O	<b>ゴムひもつけ</b> 伸びる布地にゴムひもをつ けるときに使用します。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
1-36 1-35 255 257 257 257 257 257 257 257 257 25	J/O	<b>キルティング模様</b> キルトで背景を埋めるとき に使用します。	<b>7.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0		2-15	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0
2-01	R	<b>まつりぬい</b> 普通地のまつりぬいに使用 します。 * 振り幅設定の単位は、 mm でけありません。	<b>00</b> 3 ← - → 3	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0		2-16	J*/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
2-02	R	まつりぬい 伸びる布地のまつりぬいに 使用します。 * 振り幅設定の単位は、	00 3 ← - → 3	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0		2-17	J*/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>1.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
2-03	J*/O	アップリケ アップリケ アップリケに使用します。	<b>3.5</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0			J*/O	かりぬいに使用します。 体的ないに使用します。	<b>5.5</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
2-04	J*/O	 <b>アップリケ</b> アップリケに使用します。	<b>2.5</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0		2-19	N+*/O	かりのい 飾りぬいやゴムひもつけに 使用します。 体的ない	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
2-05 [	1*/0	シェルタック シェルタックは貝殻を直線状 にならべたような円弧状のひ	4.0	2.5		2-20	N+*/O	<b>即りぬい</b> 飾りぬいやアップリケに使 用します。 	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
	J*/O	たを作るもので、ふち取りな どに用いるほか、プラウス、 ワンピースなどの胸元や袖に 飾りぬいとして使用します。	0.0 - 7.0	0.2 - 5.0		2-21 2-25555855	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0

描译	细子	畑之 乞称/田涂	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
侯侬	ታቸሊ	石称/用坯	自動 手動	自動 手動
3-01	N+*/O	<b>飾りぬい</b> 左基線の3重ぬいで、す そ飾りなどに使用します。	_	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
3-02	N+*/O	<b>飾りぬい</b> 中基線の3重ぬいで、す そ飾りなどに使用します。	_	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
3-03 <b>X</b>	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0
3-04	N+/O	<b>飾りぬい</b> レースつけやふち飾りな どに使用します。	<b>3.5</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
3-05	N+/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用します。	<b>3.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0
3-06 * * *	N+/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0
3-07 \$\$\$\$\$\$	N+/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0
3-08	N+/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0
3-09	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0
3-10	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>4.0</b> 0.4 - 5.0
3-11 X X	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
3-12 ************************************	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
3-13	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.5</b> 0.4 - 5.0
3-14 X X X	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
3-15	N/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0
3-16 X X X	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>4.0</b> 0.4 - 5.0

144 134	4		振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
<b>候</b> 様	押え	名称/用速	自動 手動	自動 手動
3-17	N+/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>4.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
3-18 	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用しま す。薄地、普通地の平織 りの布に適しています。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0
3-19 	N+*/O	<b>飾りぬい</b> つき合わせや飾りぬいに 使用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0
3-20	N+*/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りや、ぬった後にリ ボンを通して飾りとして使 用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0
3-21 2 2 2 2 2 2 3 2 1 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-21 2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3-2 3	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいやスモッキング に使用します。	<b>6.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
3-22 700000000000000000000000000000000000	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいやスモッキング に使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
3-23	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいやスモッキング に使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
3-24	N+/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
3-25	N+/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りや、ぬった後にリ ボンを通して飾りとして使 用します。	<b>7.0</b> 0.0 - 7.0	<b>1.6</b> 0.4 - 2.5
4-01	A+	<b>ボタン穴かがり</b> ねむり穴、横穴用。薄地か ら普通地のボタン穴かがり に使用します。ブラウス、 シャツなどに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-02 U	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 横穴用。厚地の布や厚みのある ボタンを使うときに使用します。	<b>5.5</b> 3.5 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-03	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 横穴用。ウエストベルトなど力 がかかるところに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-04	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 横穴用。厚地のボタン穴 かがりに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4.05	A+	<b>ボタン穴かがり</b> ボタン穴かがり + かんどめ	<b>5.0</b> 3.0 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-06	A+	<b>ボタン穴かがり</b> ねむり穴。普通地から厚 地のボタン穴かがりに使 用します。ジャケットや ブラウスに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-07	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 両止めボタン穴かがり。麻、 木綿など、ある程度腰のある 素材に適しています。ホーム ウェアやブラウスなど手軽に ぬえるものに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0

8

付録

带持	-m ->	拥う 夕称/田途		ぬい目の長 さ (mm)
侯侬	<i>የ</i> ተሊ	石称/ 用坯	自動 手動	自動 手動
4-08	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 両止めボタン穴かがり。厚 地の布や厚みのあるボタン を使うときに使用します。	<b>5.5</b> 3.5 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-09	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 横穴用。厚地のボタン穴か がりに使用します。	<b>5.0</b> 3.0 - 6.5	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-10	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 伸びる布地や編み地のボタ ン穴かがりに使用します。 芯ひもを入れてぬいます。	<b>6.0</b> 3.0 - 6.5	<b>1.0</b> 0.5 - 2.0
4-11	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 伸びる布地のボタン穴か がりに使用します。芯ひ もを入れてぬいます。	<b>6.0</b> 3.0 - 6.5	<b>1.5</b> 1.0 - 3.0
4-12	A+	<b>ボタン穴かがり</b> 玉ぶち穴かがり(バウン ドボタンホール)を作る ときに使用します。	<b>5.0</b> 0.0 - 6.5	<b>2.0</b> 0.2 - 4.0
4-13	A+	<b>ボタン穴かがり</b> はとめ穴。厚地や毛足の 長い布のボタン穴かがり に使用します。ブレザー、 スーツ、コートなどに使 用します。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>0.5</b> 0.3 - 1.0
4-14	A+	<b>ボタン穴かがり</b> はとめ穴。普通地から厚 地のボタン穴かがりに使 用します。ジーンズ、ズ ボンなどに使用します。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>0.5</b> 0.3 - 1.0
4-15	A+	<b>ボタン穴かがり</b> はとめ穴。厚地や毛足の長 い布の横穴ボタン穴かがり に使用します。厚手のコー トなどに使用します。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>0.5</b> 0.3 - 1.0
4-16	N+/O	<b>4ステップボタンホール1</b> 4 ステップボタン穴かがりの 左側です。	<b>5.0</b> 1.5 - 7.0	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-17	N+/O	<b>4ステップボタンホール2</b> 4 ステップボタン穴かが りの下側のかんどめです。	<b>5.0</b> 1.5 - 7.0	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-18	N+/O	<b>4ステップボタンホール 3</b> 4ステップボタン穴かがりの 右側です。	<b>5.0</b> 1.5 - 7.0	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-19	N+/O	<b>4ステップボタンホール4</b> 4 ステップボタン穴かが りの上側のかんどめです。	<b>5.0</b> 1.5 - 7.0	<b>0.4</b> 0.2 - 1.0
4-20	A+	<b>ダーニング</b> 普通地のつくろいぬいに 使用します。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.0</b> 0.4 - 2.5
4-21	A+	<b>ダーニング</b> 厚地のつくろいぬいに使 用します。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.0</b> 0.4 - 2.5
4-22	A+	<b>かんどめ</b> ぬい目がほどけやすい箇 所やポケットロなどのあ き止まり部分の力の加わ る部分を補強したい場合 に用います。	<b>2.0</b> 1.0 - 3.0	<b>0.4</b> 0.3 - 1.0

描述	畑マ	夕称 / 田冷	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
17-174	ያተሊ		自動 手動	自動 手動
4-23 	Μ	<b>ボタンつけ</b> ボタンつけに使用します。	<b>3.5</b> 2.5 - 4.5	_
4-24 O	N+/O	<b>アイレット</b> ベルトの調節用の穴をか がるときなどに使用しま す。普通地に使用します。	<b>7.0</b> 5.0 6.0 7.0	<b>7.0</b> 5.0 6.0 7.0
4-25 \$	N+/O	<b>アイレット</b> 星型の穴をかがるときに 使用します。	_	_
5-01	N+/O	<b>横送り直線</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-02	N+/O	<b>横送り直線</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-03	N+/O	<b>横送り直線</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-04 	N+/O	<b>横送り直線</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-05 →	N+/O	<b>横送り直線</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-06	N+/O	<b>横送り直線</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-07	N+/O	<b>横送り直線</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-08	N+/O	<b>横送り直線</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-09 ~~~	N+/O	<b>横送りジグザグ</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-10 ₩ →	N+/O	<b>横送りジグザグ</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-11 \$	N+/O	<b>横送りジグザグ</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_
5-12 \$ 1	N+/O	<b>横送りジグザグ</b> でき上がった服の袖やズ ボンのすそにワッペンを つけるときに使用します。	_	_

144 H¥	+m ⇒	<b>夕</b> む /田'A	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
侯侬	ያቸሊ	石桥/ 用逐	自動 手動	自動 手動
Q-01	J/C	<b>ピーシング直線(中基線)</b> ピーシング用の直線です。	_	<b>2.0</b> 0.2 - 5.0
Q-02	J/O	<b>ビーシング直線(右基線)</b> ビーシング用の直線です。押 えの右端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が6.5 mm でぬえるように針位置が設定 されています。	_	<b>2.0</b> 0.2 - 5.0
Q-03	J/O	<b>ビーシング直線 (左基線)</b> ビーシング用の直線です。押 えの左端に布地を合わせてぬ うと、ぬいしろの幅が6.5 mm でぬえるように針位置が設定 されています。	_	<b>2.0</b> 0.2 - 5.0
Q-04	J/O	<b>手ぬい風直線</b> 上糸にナイロン透明糸、下糸 にキルトに合った色の糸を使 うと手ぬい風のキルト直線が ぬえます。	_	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-05	J/O	<b>しつけぬい</b> しつけに使用します。	_	<b>5.0</b> 5.0
Q-06 7 7 7 7	J/O	伸縮ぬい 伸縮性のあるぬい目なので、 伸びる布地をぬうときに使用 します。また、飾りぬいとし ても使用します。	<b>1.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-07	J/O	<b>ジグザグ</b> アップリケキルトやフリー モーションキルト、サテンぬ いなどに使用します。	<b>3.50</b> 0.00 - 7.00	<b>1.6</b> 0.0 - 5.0
Q-08	J/O	<b>ジグザグ(右基線)</b> 右の針位置からぬい始まります。	<b>3.50</b> 2.50 - 5.00	<b>1.6</b> 0.3 - 5.0
Q-09	J/O	<b>ジグザグ(左基線)</b> 左の針位置からぬい始まります。	<b>3.50</b> 2.50 - 5.00	<b>1.6</b> 0.3 - 5.0
Q-10	J/O	2 点ジグザグ 普通地、伸びる布地のたち目 かがりやゴムひもつけ、つく ろいぬいなど幅広い用途に使 用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
Q-11	J/O	3 点ジグザグ 普通地、厚地、伸びる布地の たち目かがりやゴムひもつけ、 つくろいぬいなど幅広い用途 に使用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
Q-12	J/O	<b>アップリケ</b> アップリケやバインディングを するときに使用します。	<b>2.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0
	J/O	シェルタック シェルタックは貝殻を直線状に ならべたような円弧状のひだを 作るもので、ふち取りなどに用 いるほか、ブラウス、ワンピー スなどの胸元や袖に飾りぬいと して使用します。	<b>4.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.2 - 5.0
Q-14	J/O	<b>アップリケ</b> アップリケに使用します。	<b>3.50</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-15	J/O	<b>キルティング模様</b> キルトで背景を埋めるときに 使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
Q-16	J/O	<b>たち目かがり</b> 伸びるニット地のたち目かが りに使用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>4.0</b> 0.4 - 5.0

+# +*	400 2	存近 /田汝	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
侯俅	押入	名称/用述	自動 手動	自動 手動
Q.17	J/O	<b>ゴムひもつけ</b> 伸びる布地にゴムひもをつけ るときに使用します。	<b>5.50</b> 0.00 - 7.00	<b>1.4</b> 0.2 - 5.0
Q-18	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいやゴムひもつけに使 用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.0</b> 0.2 - 5.0
Q-19	J/O	ファゴティング ファゴティングは布地と布地の 間を離して糸でかがる方法です。 ブラウスや子供服などに使用し ます。また、飾りぬいとしても 使用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-20	J/O	ファゴティング ファゴティングは布地と布地の 間を離して糸でかがる方法です。 ブラウスや子供服などに使用し ます。また、飾りぬいとしても 使用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-21	J/O	<b>つきあわせ</b> コードなどを使った飾りぬい に使用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>1.2</b> 0.2 - 5.0
Q-22	J/O	<b>つきあわせ</b> パッチワークや飾りぬいに使 用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-23	J/O	<b>スモッキング</b> スモッキングや飾りぬいに使 用します。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
Q-24	J/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>4.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-25	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいやアップリケに使用 します。	<b>6.00</b> 0.00 - 7.00	<b>1.0</b> 0.2 - 5.0
Q-26	J/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>5.50</b> 0.00 - 7.00	<b>1.6</b> 0.4 - 5.0
Q-27 	N+/O	<b>飾りぬい</b> ふち飾りなどに使用します。 薄地、普通地の平織りの布に 適しています。	<b>5.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0
Q-28	N+/O	<b>飾りぬい</b> つき合わせや飾りぬいに使用 します。	<b>6.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0
Q-29	J/O	<b>たち目かがり</b> 伸びる布地のたち目かがりに使用 します。	<b>6.00</b> 0.00 - 7.00	<b>3.0</b> 0.4 - 5.0
Q-30	J/O	たち目かがり 伸びる布地のたち目かがりや 飾りぬいに使用します。	<b>4.00</b> 0.00 - 7.00	<b>4.0</b> 0.4 - 5.0
Q-31	N+/O	<b>アップリケ</b> アップリケや飾り模様ぬいに 使用します。	<b>3.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.0</b> 0.4 - 5.0
Q-32	N+*/O	<b>アップリケ</b> アップリケに使用します。	<b>4.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0

8

付録

- 275

***	<u>د مب</u>		振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
<b>候</b> 様	押え	名称/用速	自動 手動	自動 手動
Q.33	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-34	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-35	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-36 47 47 47	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-37 & & & & & & & & & & & & & & & & & & &	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-38 888	N+/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
0.00 C	N+*/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>2.5</b> 0.4 - 5.0
Q-40	N+*/O	<b>飾りぬい</b> 飾りぬいに使用します。	<b>7.00</b> 0.00 - 7.00	<b>0.4</b> 0.1 - 5.0
S-01	x	フリーモーションカウチ ング カウチング押え(別売) でフリーモーションカウ チングをするときに使用 します。	_	_
S-02       B	N+	<b>フリーモーションしつけ ぬい</b> フリーモーションでしつ けぬいをするときに使用 します。	_	-
S-03 I I I H I	J/O	手ぬい風直線 上糸にナイロン透明糸、 下糸にキルトに合った色 の糸を使うと手ぬい風の キルト直線がぬえます。	_	_
S-04 I I I I H	J/O	<b>手ぬい風直線</b> 上糸にナイロン透明糸、 下糸にキルトに合った色 の糸を使うと手ぬい風の キルト直線がぬえます。	_	_
S-05       H	J/O	<b>手ぬい風直線</b> 上糸にナイロン透明糸、 下糸にキルトに合った色 の糸を使うと手ぬい風の キルト直線がぬえます。	_	_
T-01 	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>1.0</b> 0.1 - 5.0
	N+/O	テーパリング ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>5.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.5</b> 1.4 - 5.0

+## +##	401 2	存近 /田法	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
侯俅	押入	<u> 名称/</u> 用述	自動 手動	自動 手動
T-03 •1	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>5.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.5</b> 1.4 - 4.0
T-04	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.0</b> 1.0 - 4.0
T-05	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>3.5</b> 2.5 - 4.0
T-06	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>3.0</b> 2.0 - 5.0
T-07	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>3.0</b> 2.5 - 5.0
T-08	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>2.5</b> 2.5 - 4.0
¹⁻⁰⁹	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.5</b> 1.4 - 4.0
T-10	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 3.0 - 7.0	<b>2.5</b> 2.0 - 4.0
T-11	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 4.0 - 7.0	<b>3.0</b> 2.5 - 4.0
T-12	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>1.0</b> 0.4 - 5.0
T-13	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>6.0</b> 4.0 - 7.0	<b>0.3</b> 0.2 - 2.0
T-14	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>6.0</b> 4.0 - 7.0	<b>0.3</b> 0.2 - 2.0
T-15	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 3.5 - 7.0	<b>0.3</b> 0.1 - 2.0
T-16 ◆\$\$\$\$\$\$\$	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 4.0 - 7.0	<b>3.5</b> 2.5 - 4.0
T-17 *** **	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 4.0 - 7.0	<b>2.5</b> 2.0 - 4.0
T-18	N+/O	テーパリング ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 4.5 - 7.0	<b>2.5</b> 2.0 - 4.0

描述	畑マ	夕称 / 田冷	振り幅 (mm)	ぬい目の長 さ (mm)
1天1水	「アイン」「白松ノ川辺」		自動 手動	自動 手動
T-19	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 2.5 - 7.0	<b>2.5</b> 1.6 - 4.0
T-20 # # #	N+/O	<b>テーパリング</b> ぬい始めとぬい終わりで 模様を細くすることがで きます。	<b>7.0</b> 4.0 - 7.0	<b>2.5</b> 2.0 - 4.0
SR-01	SR	<b>直線 (中基線)</b> ステッチレギュレーター モードの直線ぬいに使用 します。	_	<b>2.5</b> 1.0 - 4.5
SR-02	SR	<b>ジグザグ(中基線)</b> ステッチレギュレーター モードのジグザグぬいに 使用します。	<b>2.5</b> 0.0 - 3.0	<b>1.6</b> 1.0 - 3.0
SR-03	SR	フリーモーションしつけ ぬい ステッチレギュレーター モードのしつけぬいに使 用します。	_	<b>20.0</b> 10.0 - 30.0

**8** 

#### 索引

# 索引

#### 数字

<b>致</b> 于	
 1色で刺しゅうする	169
2本針	104
L	

L/R シフト		59
---------	--	----

#### Μ

My Design Snap アプリ	223
My Stitch Monitor アプリ	223

## U

-			
USB マウス		1	15
USB メディア	2,	16	35

### あ

Ø	
アイレット	92, 134
アクセサリーケース	12
アダプター	46
厚い布地	
アップデート	256
アップリケ	105, 182
アップリケピース	182
アプリ	223
アルファベット文字	57, 135

## 11

位置を合わせる 糸	155, 157, 159
糸調子	60, 163
布地と糸と針の組み合わせ	
糸案内	
糸案内板	11, 37, 40
糸色ごとに並べ替える	
糸切り	11, 49
糸切りスイッチ	
糸こま押え	11
糸こまネット	
糸印	150
糸たてスタンド	43
糸たて棒	11
糸密度	141
糸密度キー	19

## う

-	
 上ふた	11
薄い布地	
内かま	130
掃除	253
上糸通し	40

## え

 液晶画面	11, 15
エコーキルト	111, 192
エコモード	25
エッジトゥエッジキルト機能	193
エラーメッセージ	267

## お

00		
 送り歯 押え	11,	109

圧力	
種類	271
取り外す	46
押え上下スチッチ	12
押えホルダー	11, 46
押えホルダーのネジ	11
押えレバー	11
お手入れ	253

## か

ガイドライン	
カウチング	
返しぬいスイッチ	12, 54
返しぬい/止めぬい	53
カメラ	
カラーシャッフル機能	167
かんどめ	

#### ŧ

	_
キーのはたらき	
刺しゅう	140
実用ぬい	. 17
マイイラスト機能	119
マイデザインセンター	228
記憶する	
刺しゅう模様	165
マイイラスト	121
ミシンのメモリー	62
模様の設定	61
ギャザー	106
キルト	108
刺しゅう	192
ステッチレギュレーター	112
デュアルフィード	109
フリーモーション	109
キルトサッシ模様 199, 201,	206

### け

言語	21
----	----

z	
ー コードガイドふた 肉ったとき	
ゴムひもつけ	106

```
さ
サポートテーブル ...... 124
```

## し

シェルタック	. 107
シクリクぬい	81
刺しゅう	
アップリケ 182, 185	, 187
位置を合わせる	. 155
糸色を変える	. 167
キーのはたらき	. 140
組み合わせ模様	. 145
組み合わせる	. 145
自動糸切り機能	. 139
速度を調節する	. 131
編集	. 140
保存する	. 165
文字をつなげる	. 172
呼び出す	. 166

連続模様 148
渡り糸切り機能 139
刺しゅう位置合わせシール
刺しゅう押えくW> 123
刺しゅう機
キャリッジ
刺しゅうシート 129
刺しゅう専用針板カバー
刺しゅう範囲トレースキー
刺しゅう模様
位置の確認
刺しゅう枠
刺しゅうシートの使い方
取り外し方
布地の張り方
下糸
下糸巻き案内 11. 35. 37
しつけぬい
実用ぬい
キーのはたらき 17
記憶する
ぬい方早見表
呼び出す
自動糸切り
自動糸通しスイッチ
自動押え圧補正
自動止めぬい
仕様
昭明

### す

		107
スキャン		
スキャン枠を使用する		239
背景イメージ1	55,	241
スクリーンセーバー		. 25
スタート/ストップスイッチ		. 12
スティップリング1	92,	225
ステッチの種類		. 49
ステッチレギュレーター		112
ステップ模様		102
スピードコントロールレバー	. 12	, 49

### ť

接着芯	. 125
設定	
刺しゅうの設定	23
実用ぬい、文字模様ぬいの設定	20
自動糸切り	, 139
設定キー	20
ミシン本体の設定	21

## そ

	12
速度	12, 131
外かま	253

## た

ダーニング (つくろいぬい)	91
たち目かがり	82

## 5

直線押え	80
直線内に	79
直線针板	80
	00

## っ

	15
筒もの	76

## τ

デコラティブフィル模様	192, 232, 234
デコラティブフィル模様データを取り込む	234
デニム	
手ぬい風直線	117
デュアルタッチペン	13, 68, 153
デュアルフィード	47, 109
電源オフサポートモード	25
電源コード	14
電源スイッチ	11, 14

索引

## ٤

動画	. 28
 時計	. 14
止めぬい	. 53
止めぬいスイッチ 12,	54

## な

ナイロン透明糸	 32

## に

ニーリフター	11,	70
ニット用針		32

## ぬ

ぬい終わり位置設定	
ぬい方早見表	271
布地	
厚い布地をぬう	
薄い布地をぬう	77
布地と糸と針の組み合わせ	32
伸びる布地をぬう	77, 88

## <mark>の</mark> 伸≀

申びる布地	 7

### <mark>は</mark> 針

針	
2本針	
ニット用針	
布地と糸と針の組み合わせ	
針位置の変え方	
針位置の確認	
針の交換	
針板	
針板ふた	
針位置設定	
↓ ·	
針上下スイッチ	
針のとめネジ	
ハンドル	

## V

ピーシング	
皮革	
ピクチャープレイ刺しゅう機能	
ビニール生地	
ピボット	

## ふ

プーリー	11
ファイル形式	269
ファスナーつけ	93
フォント	135

付録

#### 索引

12
51
111
111
110
110
109
71
173
19, 151
63
152
68
153
137
256
210

#### ほ

			148
			16
ホイスカイタンス			26
縫製スキップ設定			169
補助糸たて棒			35
補助テーブル	11,	13,	124
ボタンつけ			90
ボタンホール			
1 ステップ			85
4 ステップ			89
変わった形のボタン/ボタンが台皿にのらない場合			87
刺しゅう			134
ボビン			
下糸が少なくなったら			160
下糸を引き出す			39
セットする			38
巻く			35
ボリューム			21

#### ま

マイイラスト機能	8
?イデザインセンター	5
キーのはたらき	8
線と領域の設定	7
模様を作成する	9
<b>ミ</b> つりぬい	3
マルチ機能フットコントローラー5	1
7ルチドライバー1	3

### み

<u> </u>	
ミシンの使い方キー	

#### む

#### 80

	, 40
メモリー	165

### ŧ

	19, 142
文字・模様ぬい	
調整	103
保存する	62
呼び出す	62
モチーフステッチ	231, 234
モチーフ模様データを取り込む	234
戻る/進むキー	161
模様を組み合わせる	57, 145

#### 模様をつなげる ...... 210

## <u>አ</u>

横送り	101
呼び出す	
刺しゅう模様	166
実用ぬいの設定	. 61
マイイラスト	121
文字・模様ぬい	. 62

## れ

連続模様		148
------	--	-----





別売品に関する情報は https://s.brother/codkc/ をご覧ください。





必ず最新のソフトウェアをインストールしてください。 最新バージョンでは、様々な機能向上を行っています。

## アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室 (ミシン 119番)」にお問い合わせください。

- 保証書について
  - ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店 で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
  - 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低 8 年間保有しています。性能 部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
  - 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室(ミシン 119 番)」に ご相談ください。
- お客様相談室(ミシン119番)

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

https://s.brother/crgka/



● お客様相談室 (ミシン119番) は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
 ● 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
 ミシン背面の定格ハリマーク (銀色シール)の下記部分をご確認ください。



■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。 https://www.brother.co.jp/

ブラザーのサポートサイトでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。 https://s.brother/cpdaf/



本製品は日本国内のみでのご使用となりますので、海外でのご使用はお止めください。海外での各 国の通信規格に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品に適切でないおそれがありま す。海外で本製品をご使用になりトラブルが発生した場合、当社は一切の責任を負いかねます。ま た保証の対象となりませんのでご注意ください。

This machine is made for use in Japan only. We can not recommend using it overseas it may violate the Telecommunications Regulations that country and the power requirements of your machine may not be compatible with the Power available in foreign countries. Using Japan models overseas is at your own risk will void your warranty.

